令和５年度

「授業評価アンケート」報告書

令和６年 10 月

学習院大学

FD・SD 推進委員会

はじめに

学習院大学 FD・SD 推進委員会委員長
千葉　功

本報告書は、令和５年度に実施した「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一環として「学生による授業評価アンケート」を年２回各学期末に実施しており、令和５年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって 18 年目を迎えた。マークシートでの回答と比較して、回収の手間がかからないこと、結果がすぐに集計できることから、昨年度に続き Web での実施とした。

集計された「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立ててもらえるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。さらに、このアンケート結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、このアンケートの結果を受けて、自部門における授業の実施方法等について、良かった点、改善が求められる点などを評価、分析し、次年度の改善点を第３章「各部門の分析・評価」にて記載している。

第二に、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、第４章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有することができる。

コロナ禍が終息を迎えた今、大学を取り巻く環境は絶えず変化しており、「例年通り」のようにいかない状況が今後も続くことが考えられる。そのため、授業評価アンケートの実施方法や活用用途などその時々の状況に応じて柔軟に取り組む必要がある。

また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形でＦＤに関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学のＦＤ活動の見直しを続けていきたい。その一環として、令和５年度から、ファカルティ・ディベロップメント推進委員会の位置づけや役割を見直し、全学的に FD を推進する体制を整備するとともに、全学的に SD を推進する体制を新たに整備するため、FD・SD 推進委員会を設置した。引き続き、授業改善に寄与する取り組みをはじめ、本学の教育改善に資する FD・SD 活動を続けていきたい。

令和６年 10 月

目　次

はじめに

第１章　授業評価アンケート実施の概要 …… 4
I.　実施の経緯 …… 5
II.　実施の方法 …… 6
III.　実施にかかる全体的な状況、集計結果 …… 8
IV.　今後の授業評価、ＦＤ活動に向けて …… 17

第２章　令和５年度の概観 …… 18

第３章　各部門の分析・評価 …… 30
I.　法学部 …… 31
II.　経済学部 …… 40
III.　文学部 …… 55
IV.　理学部 …… 82
V.　国際社会科学部 …… 91
VI.　計算機センター …… 105
VII.　外国語教育研究センター …… 111
VIII.　スポーツ・健康科学センター …… 119
IX.　全学共通教育運営委員会 …… 126
X.　教職課程 …… 135
XI.　学芸員課程委員会 …… 141

第４章　授業への取り組み例 …… 148

第５章　資料集（質問項目別基礎データクロス表） …… 171

令和６年度 FD・SD 推進委員会委員一覧 …… 189

第１章

授業評価アンケート実施の概要

Ⅰ．実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下ＦＤ）が本学において意識されるようになったのは、平成 15 年８月の各学部・センターの有志の教員 14 名からなる「ＦＤ勉強会」の組織からである。ここでは、ＦＤの定義についての確認、ＦＤに関する他大学の情報共有等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、各学部・学科、センターにおけるＦＤへの取り組み状況や、経済学部、法学部法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは実施を予定）していた授業評価アンケートについての報告がなされた。

その後「ＦＤ勉強会」は「ＦＤ研究プロジェクト」と名称を変え、ＦＤをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやＦＤを推進していくための組織について討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「ＦＤ推進委員会」）が発足、平成 16 年７月、第１回の委員会が開催された。

当時の委員会規程によれば、本学におけるＦＤとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされた。委員会では、そのために取り組むべき活動として、全学的な「学生による授業評価アンケート」の実施を最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なＦＤ活動に活かすための基礎的な情報収集という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられるためである。

その後、ＦＤ推進委員会においては、「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」及び、学習院個人情報保護規程をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これらのガイドラインにもとづき、平成 18 年度、全学的な「学生による授業評価アンケート」が初めて実施された。

以降、「学生による授業評価アンケート」は、本学におけるＦＤ活動の基礎として、改善を加えながら毎年度実施されている。令和５年度から FD 活動は FD・SD 推進委員会で議論がなされており、前述の通り、授業評価アンケートのみを扱うのではなく、時代に則して裾野を広げ、学部及び大学院の教職員に求められる教育、研究及び社会貢献等の諸活動に必要な能力の向上を図るための組織的な研修及び研究等の活動を行っている。

Ⅱ．実施の方法

第１学期は７月、第２学期は 12 月の所定の期間中に、Web アンケート形式にて実施した。LMS(ラーニングマネジメントシステム)上にシステムのログイン用 URL を記したお知らせを掲載し、回答を促した。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼすべての科目が該当する。

第１学期 ： 第１学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第２学期 ： 第２学期科目及び通年科目及び集中講義科目

注 1. 大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

2. 総履修者数のうち本学学部生が５名以下の科目は対象外。

3. 本学学部生が６名以上の科目においても、回答者数が５名以下の科目は、集計結果の担当教員へのフィードバックを行わず、また、各種集計データに含めない。

なお、集計結果の分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態		
法学部	講義	演習	
経済学部	講義	演習	
文学部	講義	演習	
理学部	講義	演習	
国際社会科学部	講義	演習	語学
計算機センター	講義		
外国語教育研究センター	語学		
スポーツ・健康科学センター	演習		
全学共通科目運営委員会	講義	演習	
教職課程	講義	演習	
学芸員課程委員会	講義	演習	

質問項目は、原則として「5.強くそう思う」～「1.全くそう思わない」の５段階の評価方式としている。（別途指定のある設問・枝問を除く）

実際に使用した質問項目を以下に掲載する。

No.	設　　問
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ
(3)-2	※(4)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人を除く 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5：4.5時間以上　4：3時間以上4.5時間未満　3：2時間以上3時間未満　2：90分以上2時間未満　1：90分未満
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している
(9)-2	※(10)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5：多い　　4：少ない
(10)	この授業の水準に満足している
(10)-2	※(11)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答 授業の水準について、どのように感じましたか 5：高すぎる　　4：低すぎる
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる
(15)	※自由記述欄 この授業について、①工夫がなされていたと感じた点、②そのほかの意見や気付いた点があれば記入してください（回答は任意です。200字まで。記入内容を担当教員へ直接伝えることはせず、大学として今後の授業改善の参考にいたしますので、自由に記入してください。）

Ⅲ．実施にかかる全体的な状況、集計結果

前述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数５名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。令和５年度は、対象科目数2,621、実施科目数 2,597、実施率 99.08%となった。学生の回答率（＝延べ回答者数／延べ履修者数）は 42.16%であった。

なお、令和５年度は、質問項目を昨年度から一部変更している。(Q13 を新設、遠隔授業に関する質問を削除)

令和６年３月、授業担当者へのフィードバックとして、個々の科目についての集計結果を、非常勤講師を含む各教員に送付した。また、同年６月には昨年度と同様に本学 HP ページ上で速報(https://www.univ.gakushuin.ac.jp/news/30005.html)を公開し、開設部門別・授業形態別に、各質問項目に関する回答の平均値の経年変化及び回答率の経年変化のグラフを掲載した。

本報告書では、上記に加え、各項目を部門別・形態別・学年別・総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」、各項目の相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」、及び各項目の平均値の経年変化（５年間）を部門別・形態別に纏めた「経年変化比較表」を掲載している。さらに、授業評価アンケートの結果を受けた「授業への取り組み例」も、引き続き収集し取りまとめている。

「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」は第３章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第４章に、「基礎データクロス表」は第５章に掲載する。

１．実施概要

令和５年度のアンケートは、第１学期は７月３日から７月 15 日まで、第２学期は 12 月６日から 12 月 19 日までのそれぞれ期間に、学部生が履修することのできる科目を対象として Web アンケート形式で行った。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表１**である。

令和５年度は、対象科目数 2,621 に対して、実施科目数 2,597、実施率は 99.08%となり、前年度から若干の上昇を見せた（前年度比+0.97）。

また、集計対象科目における学生の回答率（＝集計対象科目の延べ回答者数／集計対象科目の延べ履修者数）は 42.16%（前年度比+6.88）となった。学生に対して回答のリマインドを複数回行う等の工夫を行いながら、職員が複数科目の教室に足を運び回答案内を行ったことが、回答率の上昇につながったと考えられる。引き続き回答率を上昇させる工夫を講じていきたい。

また、回答者の種類を表したのが、**図表２**である。例年通り、１年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向がある。

図表1　アンケート実施率及び集計対象科目の回答率

			実施率			集計対象科目数	集計対象外科目数	回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率			集計対象科目履修者数	集計対象科目回答者数	回答率
部門別	計セ	講義	92	92	100.00%	85	7	4,567	2,634	57.67%
		合計	92	92	100.00%	85	7	4,567	2,634	57.67%
	外セ	語学	562	559	99.47%	483	76	10,997	6,621	60.21%
		合計	562	559	99.47%	483	76	10,997	6,621	60.21%
	スポ健	演習	116	114	98.28%	100	14	2,370	1,643	69.32%
		合計	116	114	98.28%	100	14	2,370	1,643	69.32%
	全学共通	講義	145	145	100.00%	134	11	17,026	6,298	36.99%
		演習	5	5	100.00%	4	1	172	56	32.56%
		合計	150	150	100.00%	138	12	17,198	6,354	36.95%
	法学部	講義	135	135	100.00%	121	14	18,588	6,475	34.83%
		演習	128	127	99.22%	70	57	1,809	940	51.96%
		合計	263	262	99.62%	191	71	20,397	7,415	36.35%
	経済学部	講義	141	138	97.87%	120	18	22,766	6,727	29.55%
		演習	107	99	92.52%	42	57	756	375	49.60%
		合計	248	237	95.56%	162	75	23,522	7,102	30.19%
	文学部	講義	272	271	99.63%	242	29	14,767	7,084	47.97%
		演習	319	318	99.69%	225	93	5,749	2,891	50.29%
		合計	591	589	99.66%	467	122	20,516	9,975	48.62%
	理学部	講義	127	127	100.00%	117	10	6,272	2,850	45.44%
		演習	34	34	100.00%	30	4	1,305	537	41.15%
		合計	161	161	100.00%	147	14	7,577	3,387	44.70%
	国際社会科学部	講義	82	81	98.78%	68	13	9,011	2,784	30.90%
		演習	39	38	97.44%	22	16	386	250	64.77%
		語学	194	191	98.45%	142	49	2,411	1,604	66.53%
		合計	315	310	98.41%	232	78	11,808	4,638	39.28%
	教職課程	講義	39	39	100.00%	38	1	2,219	1,174	52.91%
		演習	54	54	100.00%	46	8	1,909	897	46.99%
		合計	93	93	100.00%	84	9	4,128	2,071	50.17%
	学芸員	講義	20	20	100.00%	19	1	806	381	47.27%
		演習	10	10	100.00%	4	6	35	27	77.14%
		合計	30	30	100.00%	23	7	841	408	48.51%
形態別	講義計		1,053	1,048	99.53%	944	104	96,022	36,407	37.92%
	演習計		812	799	98.40%	543	256	14,491	7,616	52.56%
	語学計		756	750	99.21%	625	125	13,408	8,225	61.34%
全科目			2,621	2,597	99.08%	2,112	485	123,921	52,248	42.16%

注 1　総履修者数のうち本学学部生が 5 名以下の科目はアンケート実施対象外。

注 2　アンケート実施対象科目であっても、実際の回答者数が 5 名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11 の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」:授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」:アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」:アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	24,085	16,170	9,219	2,514	134	0	52,122
大学院生(博士前期課程)	47	14	0	0	16	0	77
大学院生(博士後期課程)	8	1	3	0	0	0	12
学部聴講生	0	0	0	0	0	0	0
学部研修生	0	0	0	0	5	0	5
大学院研修生	0	0	0	0	0	0	0
大学院委託生	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生(学部)	0	0	0	0	3	0	3
科目等履修生(大学院)	0	0	0	0	0	0	0
大学院交流生	0	0	0	0	0	0	0
他大学生(大学院生含む)	0	0	0	0	22	0	22
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	24,140	16,185	9,222	2,514	187	0	52,248

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階に分け、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが**図表３**である。令和５年度における履修者数の傾向は、昨年度と比べおおむね変わらないが、語学の25名以下の科目の比率が前年度より上昇(+7.90%)し、26～50名の科目の比率が減少している(-5.32%)。

図表3 形態別・総履修者数別実施科目数

			履修者数別				
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名
形態別	講義	科目数	108	223	247	97	88
		%	12.44%	25.69%	28.46%	11.18%	9.97%
	演習	科目数	281	168	19	2	0
		%	59.79%	35.74%	4.04%	0.43%	0.00%
	語学	科目数	256	177	0	0	0
		%	59.12%	40.88%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	645	568	266	99	88
		%	36.42%	32.07%	15.02%	5.59%	4.66%

			履修者数別					
			201～250名	251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	50	32	23	12	21	944
		%	5.30%	3.39%	2.44%	1.27%	2.22%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	0	543
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	0	625
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	50	32	23	12	21	2,112
		%	2.37%	1.52%	1.09%	0.57%	0.99%	100.00%

２．部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「部門別・形態別」「形態別」「学年別」「履修者数別」に分類し、各項目（主な 13 項目＋α）に対する回答の平均値・標準偏差を表にしたものを以下に示す。

別紙　質問項目別単純集計表【第３章各部門頁末、第５章】

３．授業満足度による集計結果

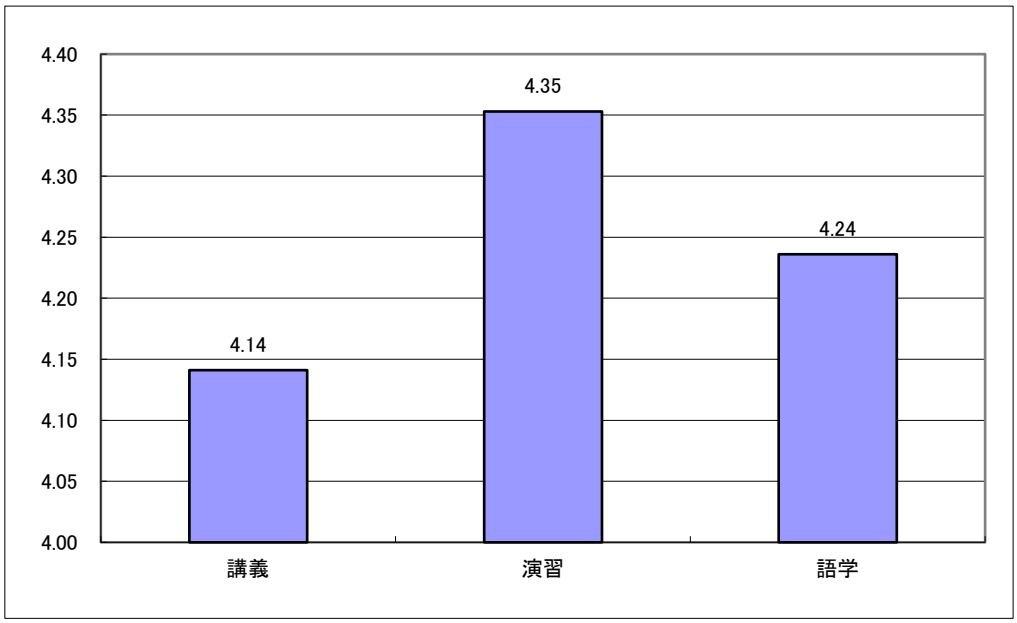
アンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計する「科目ベース」の２種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計のみでは、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

以下では、「Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に着目し、授業に対する満足度を「授業の形態別」「学部生の学年別」の視点から概観する。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という３種類の形態別に集計した結果が**図表４－１**である。この結果を過去５年間の経年変化で示した**図表４－２**から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高い授業形態である「演習」に比べると、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加の機会が少ないと思われる「講義」、反復学習が重要な初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低くなりがちであることが考えられる。なお、各形態の満足度は昨年度と同程度の値となっている。

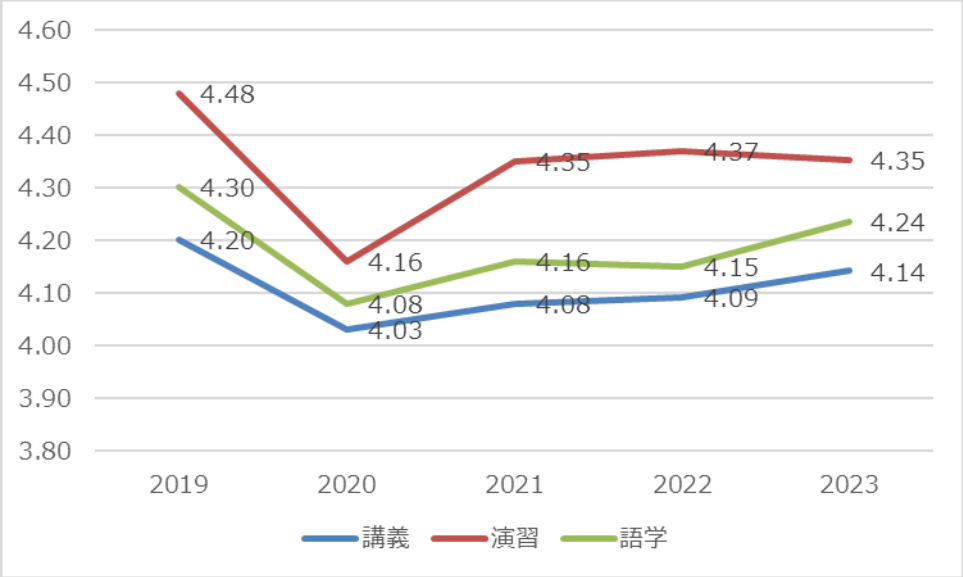
図表4－1 「14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）



講義	演習	語学
4.14	4.35	4.24

図表４－２ 「14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）

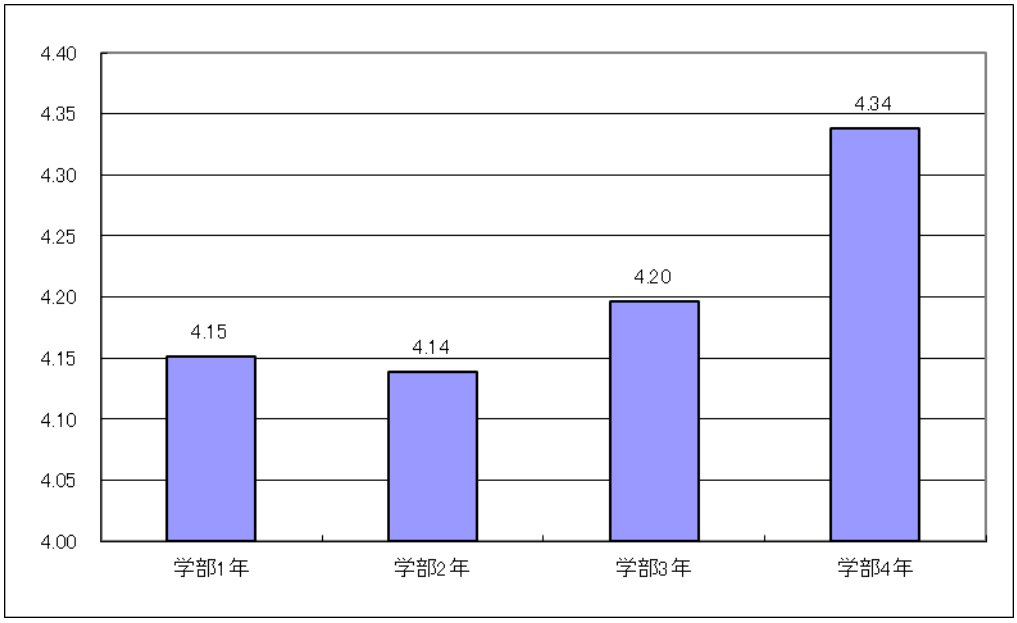
（過去５年）



・「学年別」による集計結果

学部生の回答に限定して、学年別の集計を行った結果が**図表５**である。コロナ禍前までのの傾向として、学年が進むにつれて評価値が高くなっていくが、令和３年度及び令和２年度は、学部２年生が最も低い値となっていた。しかし、令和４年度は学年が進むにつれて評価値が高くなっており、コロナ禍前までの傾向に戻ったことがうかがえたが、令和５年度は、学部２年生が最も低い値となっている。

図表５ 「14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果（回答者ベース）



学部１年	学部２年	学部３年	学部４年
4.15	4.14	4.20	4.34

４．シラバスの活用度

本学のシラバスは、「到達目標（授業の目的・ねらい）」、「各回の授業内容」、「授業方法」、「成績評価の方法・基準」を必須項目とし、成績評価の方法・基準を分かりやすく示せるよう、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

令和２年度から追加した「Q１履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」の項目では、学生の受講前のシラバス活用度を確認している。この項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は 81.11%（+3.64）であった。昨年度と比較し、若干の上昇が見られ、約８割の学生がシラバスを読んだ上で授業に臨んでいることがうかがえる。また、一昨年度から追加した「Q4 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」の項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は 86.41%（+1.69）となり、昨年度に引き続き教員の工夫がうかがえる結果となった。さらに、令和５年度に新設した「Q13 シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」の項目では、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は 77.80%となり、７割強の学生が、到達目標を達成できたと評価したことが確認できた。これらの結果から、シラバスの活用に関しては学生・教員共に十分になされていると言える。

シラバスは、履修科目を選択する際だけでなく、学期を通じて授業の進度や今後の学習計画を確認したり、ひいては卒業までに身につけるべき知識・能力を整理し、学習の道のりを自己管理したりするために、常に学生が自律的に学ぶガイドとなることが望まれる。シラバスの内容をブラッシュアップすることはもちろん、学生に向けてその意義をしっかりと説明し、活用を促進していく必要があるだろう。引き続きシラバスの活用度を注視していく必要があると考える。

Ⅳ．今後の授業評価、ＦＤ活動に向けて

令和５年度は、本学に「学生による授業評価アンケート」を導入して 18 年目となったが、無事にアンケートを実施でき、報告書の作成に至ったことについて、関係各位のご協力に対し、ここに改めて感謝の意を表したい。FD・SD 推進委員会は、今後も円滑な実施と情報提供に向け努めていくものである。

授業評価アンケートは、その授業の概況や基礎的な条件の到達度を検証するには重要な活動であるが、授業評価アンケートの取り組みだけでは捉えきれない、各教員の創意工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での創意工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、引き続き本報告書に掲載することとした。

令和５年度は、昨年度に引き続き、授業担当者側の振り返りで得られた回答を、学生の授業評価アンケートの回答と合わせて、FD の観点から分析、検討し、教学改善に生かすことを目的に教員向けにも授業評価アンケートを実施した。なお、令和４年度の授業評価アンケート報告書に学生の結果と教員の結果とを連結し、関連性を調べた内容を掲載している。

現在、「学生による授業評価アンケート」の取り組みは、教員にも学生にも定着している。しかし、その真の目的は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びつき、学生に届いてはじめて達成されることになる。今後は、Web 上での実施を続ける中でアンケートの回答率を向上させることが課題となる。

前身のファカルティ・ディベロップメント推進委員会は、授業評価アンケートの実施や大学教員への FD 研修を活動の主軸としてきたが、教員に求められる資質は常に変わることから、活動目的や内容を見つめなおすことが必要である。

FD 活動を授業評価アンケートによる教育改善に限定するのではなく、研究活動の活性化や社会貢献に資する取り組みを含めることで、これまで以上に裾野を広げた FD 活動を進めていきたいと考える。

第２章

令和５年度の概観

自由記述回答の分析

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴い、大学の授業実施方法は大きく変化した。授業評価における自由記述回答（以下、テキストデータと呼ぶ）の特徴にも明確な変化が見られたと考えている。例えば、「スライドや配布されたレジュメは良好であったが、通信環境の不安定さにより Zoom の接続が途切れた」という回答があった場合「教材・配付資料」「授業実施方法」「通信環境」という複数の評価観点を確認できる。このような複数の観点を含むテキストデータは、コロナ禍以降、増加傾向にあると考えている。

そこで、授業評価アンケートのテキストデータに含まれる観点を特定し評価するため、マルチラベル分類（Multi-label Classification）を行うこととした。

マルチラベル分類とは、学生の記述内容から特徴を複数抜き出し、いくつかの共通点でまとめて分類化することを指す。

対象の設問は自由記述「この授業について、①工夫がなされていたと感じた点、②そのほかの意見や気付いた点があれば記入してください」の①工夫がなされていたと感じた点を対象とした。本設問は、もともと効果的な授業実践事例を拾うことを意図したものであるが、実態として改善を要する点への指摘も含まれる。このため、授業設計や改善に資する情報を整理することを目的としてマルチラベル分類を実施した。

マルチラベル分類の実施にあたっては、Open Ai の ChatGPT と API(Application Program Interface)を用いて、処理を行った。API とはプログラムを介して処理のやりとりを行うものである。Open AI は API を用いて使ったデータを、再学習に用いないとポリシーに明記している。このためセキュアな環境で大きなデータを処理することが可能である。

１．全体の流れ

マルチラベル分類にあたり、以下のようなプロセスで処理を行った。

1）テキストデータの前処理・個人を特定する情報の除去
2）各行のテキストデータに対して、ChatGPT と API を用いて、最大 3 件の基礎ラベルを付与する。
3）付与されたラベルを統合処理し、最終的なラベル*を生成（*本稿では、前段の工程と識別すべく“カテゴリー”と呼ぶ）
4）生成されたカテゴリーを元に、各行のテキストデータに対して、ChatGPT の API を用いてマルチラベル分類（ネガティブ or ポジティブの感情分析を含む）を行う。
5）得られた結果を整理し、目検で修正を行う。

１）テキストデータの前処理

「特になし」等の回答や、明らかに文章となっていない分析不可能な記述の除去を行った。また、個人を特定するための情報を除去した。そのほか、「面白かった」「楽しかった」等の単純な感想、「優しかった」「人柄が素晴らしい」等の教員のパーソナリティにとどまる記述は、対象から除外した。

２）基礎ラベルの付与

原文のテキストデータに対して、要約(summary の生成)を行い、その結果から、最大３件のラベルを付与した（図１）。一度要約のプロセスを挟んでいるのは、誤字脱字あるいは不明瞭な文章を修正するためである。また、外国語で作成された回答データに対しても、日本語で統一的な表記への変換を可能している。

この結果、次のような要約とラベルが生成される。

(例)

原文：事前説明用の動画だけでなく当日用の作業説明 pdf を用意したり、授業の間に実演をしている点。

要約：学生は事前の動画説明や当日用の作業説明 PDF、授業中の実演が授業の理解を助ける工夫となっていると述べている

ラベル：事前動画説明、作業説明 PDF、実演授業

```
def generate_summary_and_labels(text):
    try:
        prompt = f"""
        次のテキストは、学生が授業について感じたことを述べた文章です。
        {text}
        このテキストについて、以下の手順で分析してください：

        1. テキストの内容を1-2文で簡潔に要約してください。
        2. 要約したテキストを分類するうえで、重要なキーワードやトピックを3つ提案してください。

        **回答形式：**
        要約: [1-2文の要約]
        ラベル:
        1. [ラベル1]
        2. [ラベル2]
        3. [ラベル3]

        **注意事項:**
        - **「授業の工夫」やそれに類似する一般的な表現はラベルとして使用しないでください。**
        - ラベルは具体的で、テキストの内容に直接関連する単語やフレーズを選んでください。
        - 一般的な表現ではなく、テキストで言及されている特定のポイントに焦点を当ててください。

        **回答例:**

        要約: 学生はグループディスカッションが学習に役立ったと感じている。

        ラベル:
        1. グループディスカッション
        2. アクティブ・ラーニング
        3. 協働学習

        """
        response = openai.chat.completions.create(
            model="gpt-4o",
            messages=[
```

図１ プログラムに用いたプロンプト（１）

３）基礎ラベルの統合処理

２）で得られたラベルを統合し、９つのカテゴリーを作成した。それぞれのカテゴリーは、次のような名称と内容で作成を行った（表１）。

表１ カテゴリー名称とその内容

カテゴリー名称	カテゴリーの内容
a. ICT 活用とデジタル教材の利用	Googe フォーム、Zoom、LMS、YouTube 等の利用を含むもの
b. アクティブ・ラーニングと学習者の積極的関与	グループ・ディスカッションにおける履修者の積極的参加、LMS や各種アプリケーションを活用し、学生の積極的な関与を促しているもの。
c. 協働学習とグループワーク	グループワーク、ペアワークを行うもの。b との違いは、積極的かどうかを原文から読み取れるかどうかで分けている。
d. フィードバック手法と個別化指導	リアクションペーパーやアンケートを活用し、フィードバックを図っているもの。 フィードバックを得て学生の理解度を測るもの。小テスト等の実施を含む。学生の理解度をもとに授業を展開するもの
e. 視覚教材とマルチメディアの活用	図や写真、映像、音声などを用いているもの。ただし、動画については、原文からストリーミングサービス(e.g. YouTube)と示唆されるものは a に含める。
f. 実践的学習と現実社会への適用	実際に社会に出て働くことを意識した学習、実際の現場での活用を目指した内容。教員養成等の資格に関連する授業を含む。 現実社会の課題や問題を取り上げたもの。
g. 授業設計と進行管理の工夫	授業のデザイン、時間配分、授業の進行をスムーズにするための工夫（e.g.見やすいレジュメの作成）を含む。
h. 学習支援、学習環境の整備	予習・復習に資する教材や資料を使っている。学習環境・教室環境の整備を含む。 発言しやすい環境・雰囲気等の構築は g でなくこちらに含む。
i. その他	上記の a から h のいずれにも当てはまらないもの

4）マルチラベル分類

学生の回答 1 件ごとに、a から i のうち、どのカテゴリーに該当するか分類を行った。a から h のカテゴリーは、必ずしも排他的な概念とは限らないため、複数のカテゴリーにまたがるものがある。ただ、この場合でも原文をもとに、より強いニュアンスを持つカテゴリ

ーを選択するようにした。例えば「b. アクティブ・ラーニングと学習者の積極的関与」と「c. 協働学習とグループワーク」は近接するカテゴリーであるが、積極性を読み取れる場合には b を、そうでない場合は c を選択している。またこれらの分類を行うと同時に感情分析を行った（図２）。

```
df["プロンプト案"] = '''
このテキストは、授業の工夫に対する学生の回答を要約したものです。授業は大学の授業と捉えてください。
このテキストについて、以下の手順で分析してください：
要約した内容が該当するカテゴリーを選択し、各カテゴリーに対する感情評価を行ってください。
最大3つのカテゴリーまで選択可能です。
カテゴリー：
a. ICT活用とデジタル教材の利用
b. アクティブ・ラーニングと学習者の積極的関与
c. 協働学習とグループワーク
d. フィードバック手法と個別化指導
e. 視覚教材とマルチメディアの活用
f. 実践的学習と現実社会への適用
g. 授業設計と進行管理の工夫
h. 学習支援、学習環境の整備
i. その他

各カテゴリーに対して、感情評価を positive または negative で行ってください。
明確に positive または negative と判断できない場合は、より強い傾向がある方を選択してください。

回答形式：
以下の JSON 形式で回答してください。
{
"categories": [
{
"name": "[カテゴリー名]",
"reason": "[このカテゴリーを選択した理由を簡潔に説明]",
"sentiment": "[positive / negative]"
},
{
"name": "[カテゴリー名]",
"reason": "[このカテゴリーを選択した理由を簡潔に説明]",
"sentiment": "[positive / negative]"
},
{
"name": "[カテゴリー名]",
"reason": "[このカテゴリーを選択した理由を簡潔に説明]",
"sentiment": "[positive / negative]"
}
]
}
注意：

テキストの内容によっては、該当するカテゴリーが1つか2つの場合もあります。
その場合は、該当する数のカテゴリーのみを含めてください。
各カテゴリーの感情評価は、そのカテゴリーに関連する内容のみを考慮して判断してください。
回答は必ず有効な JSON 形式にしてください。
```

図２ プログラムに用いたプロンプト（２）

5）結果の修正

3166 件のそれぞれのテキストデータに対して、最大 3 件のラベルを付与しているため、のべ 9348 件のカテゴリーがされ得ることになる。しかしながら、9348 件ものデータに対し、Excel を使って目視で確認・修正することは、適切な修正を困難することから、Python と Flask（Web アプリケーションフレームワーク）を用いて、アノテーションツール(AI や機械学習の分野で、データにタグやメタデータと呼ばれる情報を付与する作業を自動化・効率化するツール)を作成し、Web ブラウザベースで修正作業を行った（図 3）。

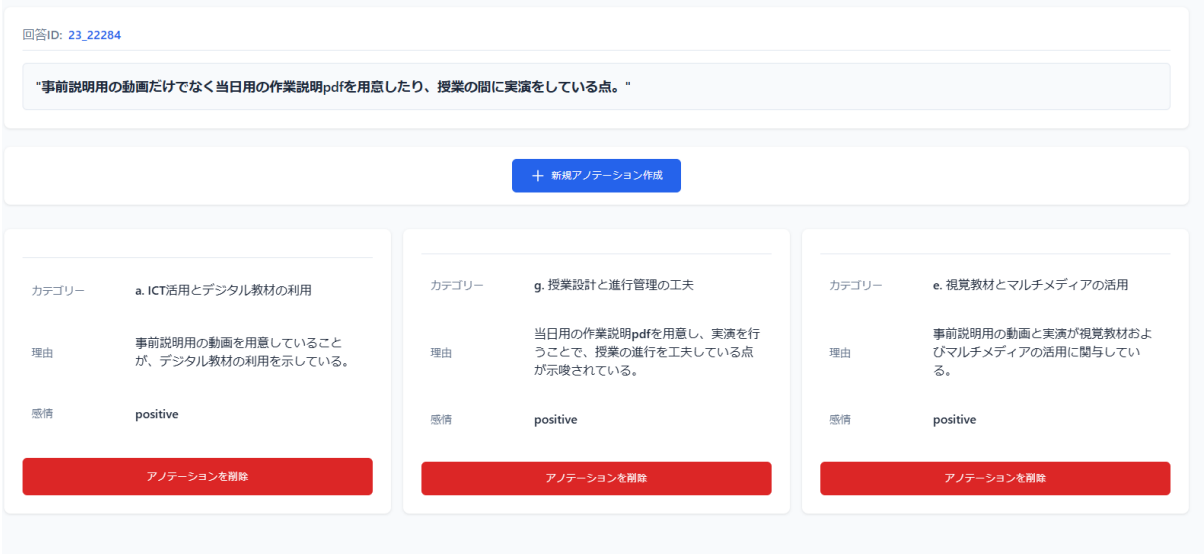


図 3　アノテーションを行うために用いたツール

2．結果および考察

修正を行い、3166 件のデータに対して、5180 件のラベルを生成した。ラベルの内訳は Positive が 4976 件、Negative は 204 件であった。それぞれの内訳は次頁表 2 の通りとなった。

表２　マルチラベル分類の結果

カテゴリー	positive	negative	総計
a. ICT 活用とデジタル教材の利用	369	24	393
b. アクティブ・ラーニングと学習者の積極的関与	487	7	494
c. 協働学習とグループワーク	415	6	421
d. フィードバック手法と個別化指導	499	15	514
e. 視覚教材とマルチメディアの活用	371	7	378
f. 実践的学習と現実社会への適用	426	1	427
g. 授業設計と進行管理の工夫	1825	100	1925
h. 学習支援、学習環境の整備	569	36	605
i. その他	15	8	23
	4976	204	5180

本解析の元となった設問は、もともと効果的な授業実践事例の収集が意図されている。しかし、回答の中には改善を要する点への指摘も一定数含まれていたため、分析にあたっては肯定的・否定的両面の要素を含めたマルチラベル分類を採用した。

このように、事後的に分析手法を拡張したという経緯があるため、本分析結果の解釈には一定の制約がある。仮に「良かった点」「改善すべき点」を明示的に問う質問設計であれば、肯定的・否定的評価の比率や、各カテゴリーの出現頻度が現在の分析結果とは異なるパターンを示していたと考えられる。このため定量的な評価にもとづく考察は控え、ラベル数の多かった上位のカテゴリーに含まれる内容と実際の記述を中心に報告をまとめる。

本設問で得られた自由記述に対してマルチラベル分類を行った結果、最も高い出現頻度を示したのは **g. 授業設計と進行管理の工夫**カテゴリーの肯定的評価で、1825 件であった。

このカテゴリーには、「専門的な知識を日常的な具体例を用いて説明する」、あるいは「図やイラストを使って説明する」等の取り組みが含まれる。本質的に授業内容そのものに近い取り組みといえ、大多数がここに該当するのはごく妥当といえる。

ほかには、「さまざまな教員が講義を担当するオムニバス講義であった」「外部講師の招へい」といった授業の骨格に関わる内容から、「グループ・ディスカッションの時間配分」「グループ・ワークにおけるメンバー編成の工夫」「出席管理の工夫」等の授業運営上の具体的な工夫まで、様々な取り組みが含まれる。教材面では、「レジュメやスライドが分かりやすく作られている」ことが肯定的な評価として挙げられている一方で、それらが分

かりにくい場合は否定的な評価として指摘されている。

否定的な意見には、「説明が分かりづらい」等の記述が目立つ。しかしながら、「どういう点で分かりづらいのか」までは触れられておらず、単なる不満の表明にとどまっている。これは、自由記述回答の特徴と同時に限界といえる。ほかには授業内での時間配分（講義とディスカッション、動画の収録時間が長い）、形式（双方向性が見られない）、授業のスピードが速い／遅い等の記述が見られる。

例年通り、レジュメの内容や量に関する意見が寄せられている一方で、PDF などの電子化を求める意見も見られた。内容や量に加えて、フォーマットに関する配慮が求められる時期にさしかかったと推察される。

2 番目に多いラベル数を示したのは、**h. 学習支援、学習環境の整備**のカテゴリーであった。このカテゴリーには、「予習・復習に役立つ教材・コンテンツの提供」や「復習を目的とした課題や小テストの実施」等が含まれる。特に、オンデマンド型の動画配信や LMS（学習管理システム）を通じた資料配布に関連する取り組みが評価を得ている。先にレジュメの電子化についての意見に触れたが、現在在籍している学生の多くが高校時代をコロナ禍で過ごしてきたことを踏まえると、LMS や電子ファイルといったシステムは身近で慣れ親しんだものと考えられる。そのような文脈で、LMS 活用の Good Practice が FD の教材となるのかもしれない。

また、このカテゴリーには「質問のしやすい教室環境」という要素も含まれている。これは単に授業の雰囲気づくりだけでなく、マイクの適切な使用や TA（ティーチング・アシスタント）の配置といった、設備面や人的支援の整備も含んでいる。

なお、このカテゴリーにおける否定的な評価の多くは「課題やレポートの量が多い」であった。コロナ禍以降、全国的にみられる傾向であるため、単位の実質化という観点で、不相当に多い課題を課していないか注視が必要である。

ほか、多かったのは **d. フィードバック手法と個別化指導**のカテゴリーで、肯定的な評価は 499 件であった。このカテゴリーには、「学生からの質問への回答」に加え、リアクションペーパー等を活用した学生の理解度把握や、それに基づく授業の難易度調整といった取り組みなどを含んでいる。もともと効果的な事例を尋ねる質問であるため、肯定的な評価が多い。

自由記述に見られた記述内容

次の a から h は具体的な自由記述の回答例(原文ママ)である。マルチラベル分類を行っているため、実際には複数のカテゴリーに割り付けられるが、代表的な内容を取り上げている。

a. ICT 活用とデジタル教材の利用

- 先生が自ら製作し youtube に投稿した学習動画をクラスのグループに共有し、学習の手助けをしてくれていた。
- Google フォームで授業毎に講師に対して質問ができるところは、理解をより深められることができたので良かったと思います。
- 毎授業、約 50 枚程のスライドを準備してくださっていて、内容にも無駄がなくて読みやすいです。moodle で最新の授業をトップに配置していたり、日付が記載されていることで、余計なストレスを感じないところも最高です。
- コロナ禍のオンデマンド型の授業の録画を zoom で流すだけなので、だったらオンデマンド型にしてくれた方が自分の好きな時間に視聴することができていいと思います。内容も数年間アップロードされていないし、先生の他の授業ととても似た内容なので、あまり新たに学ぶことはないです。

b. アクティブ・ラーニングと学習者の積極的関与

- 毎回の授業で必ず 1 回は発言の機会が設けられているので、思考力が鍛えられた気がする。
- 授業中にグループ・ディスカッションの後に発言する機会を設けて下さったため、人前で英語を発言することの練習ができたのでとても良かったです。
- 一方的な講義形式ではなく、受講生との質疑応答を交えながら授業が進められたので、能動的に考えながら授業を受けることができ、学習効果が高かった。
- 授業の 90 分間すべてがノンストップで板書をノートに書き写す作業ばかりなので、もう少し学生自身が考えたり意見交換したりなどする時間を設けてほしいと思いました。

c. 協働学習とグループワーク

- 授業内に話し合う時間があり、他の授業ではなかなかないスタイルで知識のアウトプットになって良いと思いました。
- ペアワークなどもあり、聞くだけの講義ではなくコミュケーションも楽しめる素敵な授業でした。
- 高頻度で周りの人と話し合いをする時間が設けられていたことで、英語のみで進行される本授業への抵抗が少なくなる効果があったのではないかと感じる。
- グループワークなどを、zoom の機能を用いてグループごとのミーティングに招待して行っていたのは、工夫されているなと思いました。しかし、zoom で先生もそのグループに入っていない時間の方が長かったので、ほぼ誰もしゃべらない状態ではありました。

d. フィードバック手法と個別化指導

- アンケートをとって学生の希望に沿った授業展開をしてくださったり、発言や話し合いの機会も多く、とても学習しやすい雰囲気の講義でした。
- 他の受講者のコメントシートが共有されることが多かった為、様々な意見が共有されていて良かった。
- 小テスト 2 回分をあらかじめ成績開示していただいた点が、今後の見通しも立ちとてもありがたかった
- 授業内容は専門性が高く、説明も的確で図版も多く充実していた。しかしリアクションペーパーでの質問に対して全く回答がもらえず、授業時間内にも生徒からの反応を聞く場が設けられていなかったことが残念だった。

e. 視覚教材とマルチメディアの活用

- 映画を見ることで社会学的分析を考えさせていた点
- 言語の知識だけでなく、スペイン語圏の映画やドキュメンタリー、楽器など様々な角度かスペイン語を紹介していただいた点
- その都度説明、解説動画や予習動画など丁寧な作りになっていてわかりやすかった。

f. 実践的学習と現実社会への適用

- 実際に作品をお持ちいただき、調査をさせていただく機会に恵まれてとても楽しい授業でした。
- オフィスツアーなど将来の具体的なイメージに繋がってよかった
- 外部の講師の方で実際に弁護事務所で働いてらっしゃる方で、実務の経験などが偶に授業中に聞けて興味深かったです。

g. 授業設計と進行管理の工夫

- グラフや表を用いて、伝わりやすいパワーポイントになっていて、オンデマンドでもきちんと学ぶことができた点。
- ボリュームが多く濃い時間が過ごせるようにうまく時間配分されていて良かった
- 短い休憩時間を取ることで集中力を回復させた点。
- レジュメすら用意せずただその場で教科書を読んで補足をするだけの授業があり、満足できなかった。

h. 学習支援、学習環境の整備

- 動画による予習復習が可能だったので、授業中に理解しきれなかったことについてよく考えることができました。
- 講義専用ページから過去の講義の動画や資料などを予習と復習に使えるので、授業中に聞き逃した箇所を見直せるので理解が進んだ。

- 履修者同士で課題に取り組む時間が確保されていたり、先生がよく学生の席を周ってくれていたので質問や発言をしやすい雰囲気の授業でした。
- インストラクターの方が居て、質問しやすいようになっていたと思う。しかし、そのインストラクターの方の教える気があまり見られず、ただふらふら突っ立っているだけのことも多かった。

i. その他

- 先生の専門や経験による情熱が伝わってくる授業なのでよかった。
- 感情を乗せて話してくれるから、受けてて面白かった。

第３章

各部門の分析・評価

Ⅰ 法学部

1 集計データからわかること

集計では、学生回答単純集計および部門別・形態別集計の 2 種類が行われている。学生回答単純集計は学生の回答をすべて用いたものであるため、受講生の多い講義への評価は全体評価に対してより大きく寄与することとなる。 本指標は、 学生が本学（各学部）の授業をどのように経験しているかを見る上で適した指標といえる。他方で部門別・形態別集計は各講義に対して与えられた点数を集計しており、受講者数で重み付けせずにすべての講義に同一のウェイトをかけて集計したものと解釈できる。それゆえ、本学（各学部）で提供される授業の質を見る上で適した指標といえる。いずれの指標を用いるかは関心によるが、以下では断りのない限り学生回答単純集計の結果をもとにその結果を確認する。

経年比較については、2020 年 3 月から 3 年間にわたり続いたコロナ禍の影響による授業形態の変化（オンライン授業が主となったこと）に伴い、2020 年度より授業評価アンケートの実施方法がマークシート方式からＷＥＢ方式へと変更され、回答率が 2019 年度以前に比して低下していることに注意が必要である。法学部の場合、2020 年度と比べて 2021 年度には回答率が大きく上昇し、以後微増傾向にあるものの（17.3%→35.4%→33.4%→36.4%)、 2019 年度の水準（45.5%）には達していない。 集計値の偏りは回答率の高低のみならずどのような学生が授業評価アンケートに回答するのかによっても左右されるため、低い回答率が必然的にバイアスにつながるとは限らないが、より信頼できる集計値を得るためには、回答率の向上をめざす取り組み（令和 5 年度より、全学的に 1 週目終了時に回答率が 30%を下回っている科目について、2 週目に教職員が授業時間内に回答時間を設けるよう促す措置がとられている）が必要だろう。

以上の点に留意して、各回答結果を確認する。

Q1（私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身に着けたいと思う知識や能力をイメージしていた）への回答の平均は 4.04（講義)、4.21（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q2（私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む)） への回答の平均は 3.97（講義)、4.30（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q3（私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ）への回答の平均は 3.70（講義)、4.14（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部

門と比べても同程度の水準である。この質問に関連して、Q3-2 では 1 週間あたり平均でどの程度この授業のために時間を使ったかを尋ねている。とくに演習は講義と比べて学習時間はかなり多く、無回答を除いて集計すれば、約 43%の学生が週 2 時間以上時間をとって学習している（講義は約 18%）。本学部の演習は学生に相応の負荷を要求し、かつ学生もそれに対して積極的に応えていることを示唆する。

Q4（授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった） への回答の平均は 4.13 （講義）、 4.36（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q5 （この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った）への回答の平均は 4.12（講義）、4.34（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q6（この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた）への回答の平均は 4.01（講義）、4.42（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q7（この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた）への回答の平均は 3.38 （講義）、 4.19 （演習）であった。この値は 2021 年度に前年度（2.79）と比べやや上昇し、2022 年度も同水準で推移したが、2023 年度にはさらなる上昇が見られた（講義のみ比較）。オンライン授業への対応のなかで、各教員が授業方法を工夫し、履修者どうしの意見交換の機会を設けるための方策を見つけ、それを実行することで評価の改善につながった可能性があるが、対面授業回帰後も上昇傾向が続いていることから、オンライン授業に際してなされた試みが対面授業においても生かされている可能性がある。また、本質問については、従来、法学部が他部門と比べると講義に関する評価がやや低く、他方演習に対する評価はやや高いというように、両者の点数の差が大きいことが指摘され、それは講義では主に学生への知識の教授を、演習では参加者同士での議論を行うとう役割分担がなされていることを示唆するものと分析されていたが、講義形式の授業についてもいわゆるアクティブ・ラーニング等の試みが強化され、両者の差が縮減しつつあるのかについて今後の動向を注視したい。

Q8 （教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた）への回答の平均は 4.12（講義）、4.39（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q9 （この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している）への回答の平均は 4.07

（講義)、4.28（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。付随して、授業のボリュームをどのように感じたかを尋ねた Q9-2 では、多いとした回答者が約 85%（講義)、約 87%（演習）であった。この比率は昨年度と同程度である。

Q10（この授業の水準に満足している）への回答の平均は 4.09（講義)、4.29（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較)。他部門と比べても同程度の水準である。付随して、授業の水準をどのように感じたかを尋ねた Q10-2 では、高すぎるとする回答が約 79%（講義)、76%（演習）であった。この比率は昨年度と同程度である。

Q11 （この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした）への回答の平均は 4.15（講義)、4.34（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q12（この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる）への回答の平均は 4.13（講義)、4.34（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q13(シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる)は、今年度より設定された質問であるが、回答の平均は 3.96（講義)、4.17（演習）であった。他部門と比べても同程度の水準である。

Q14（総合的に見てこの授業は高く評価できる）への回答の平均は 4.13（講義)、4.38（演習）であった。この値は 2022 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

相関係数に関する結果については、とくに授業に対する高い評価（Q14）と強く相関する項目として、 Q4（授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった)、Q5（この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った)、Q8（教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた)、Q9（この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している)、Q10（この授業の水準に満足している)、Q11（この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした)、Q12（この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる)、Q13(シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる）が挙げられる。要するに、シラバスや授業方法についての説明が適切で、教材の質がよく、理解しやすい説明に努め、適度なボリューム・水準で、知的好奇心が刺激され、自らの知識や能力向上およびシラバスに記載されている到達目標の達成の実感を持

てるような授業の評価がよい傾向がある、という結果を示しているといえる。この傾向は昨年度と変わらない。

2 今後の授業改善に向けて

以上、集計結果からいえるのは以下の 2 点である。第一に、概して法学部の授業に対する学生からの評価は他部門と同程度の水準であり、また過年度と比べて下がっているといったような傾向はない。また、オンライン授業への対応を経て、2020 年度以降、改善傾向が見られる項目――履修者同士の意見交換の機会の増加――もある。総じていえば、コロナ禍における対応が一段落した 2021 年度に確立した水準が 2022 年度以降も続いているといえよう。ほぼ授業の方式が対面授業に一元化され、コロナ禍以前の形式へと回帰した 2023 年度においては、引き続きオンラインの経験を活かしながら高い水準の授業を提供していくことが望まれる。

第二に、講義と比べて演習に対する評価は概して高い。これは、意欲の高い学生が演習を履修するというセレクションによる要因も含まれているかもしれないが、法学部が掲げる少人数教育が学生にとっても満足度の高いものとして経験されていることを示唆している。演習の質が現状と同程度に担保されるならば、演習形式の授業の拡張は、学生評価のさらなる向上につながる可能性がある。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

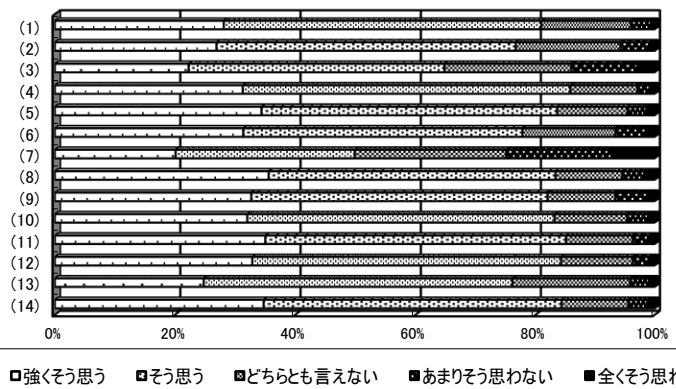
部門名　　法学部

形態名　　講義

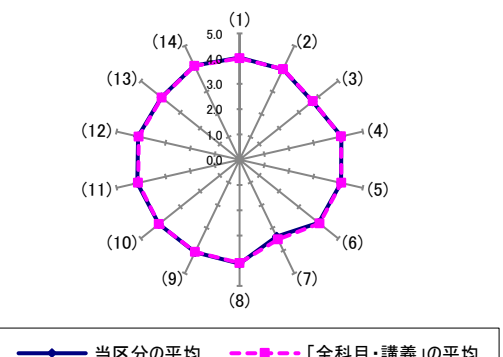
	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,475	18,588	34.83%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,807	3,400	969	215	42	42	6,475	4.04	0.789	4.06	0.214
		27.91%	52.51%	14.97%	3.32%	0.65%	0.65%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,731	3,204	1,132	308	63	37	6,475	3.97	0.850	4.00	0.256
		26.73%	49.48%	17.48%	4.76%	0.97%	0.57%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,433	2,739	1,365	714	188	36	6,475	3.70	1.026	3.74	0.262
		22.13%	42.30%	21.08%	11.03%	2.90%	0.56%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	99	157	421	1,440	1,545	1,875	5,537	1.86	0.966	1.91	0.316
		1.79%	2.84%	7.60%	26.01%	27.90%	33.86%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,010	3,509	724	134	53	45	6,475	4.13	0.752	4.15	0.245
		31.04%	54.19%	11.18%	2.07%	0.82%	0.69%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,212	3,170	761	205	90	37	6,475	4.12	0.837	4.16	0.283
		34.16%	48.96%	11.75%	3.17%	1.39%	0.57%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	2,017	2,989	1,006	326	98	39	6,475	4.01	0.900	4.05	0.345
		31.15%	46.16%	15.54%	5.03%	1.51%	0.60%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,293	1,918	1,621	1,143	462	38	6,475	3.38	1.193	3.31	0.517
		19.97%	29.62%	25.03%	17.65%	7.14%	0.59%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,287	3,073	723	234	116	42	6,475	4.12	0.873	4.11	0.350
		35.32%	47.46%	11.17%	3.61%	1.79%	0.65%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	2,102	3,173	735	343	81	41	6,475	4.07	0.873	4.05	0.292
		32.46%	49.00%	11.35%	5.30%	1.25%	0.63%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	360	47	–	–	–	17	424	–	–	–	–
		84.91%	11.08%	–	–	–	4.01%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	2,056	3,285	784	224	74	52	6,475	4.09	0.823	4.09	0.284
		31.75%	50.73%	12.11%	3.46%	1.14%	0.80%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	235	46	–	–	–	17	298	–	–	–	–
		78.86%	15.44%	–	–	–	5.70%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,254	3,226	722	172	65	36	6,475	4.15	0.798	4.17	0.248
		34.81%	49.82%	11.15%	2.66%	1.00%	0.56%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	2,112	3,308	775	177	59	44	6,475	4.13	0.791	4.14	0.251
		32.62%	51.09%	11.97%	2.73%	0.91%	0.68%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	1,592	3,301	1,270	204	62	46	6,475	3.96	0.811	3.97	0.246
		24.59%	50.98%	19.61%	3.15%	0.96%	0.71%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,236	3,195	722	205	81	36	6,475	4.13	0.826	4.13	0.298
		34.53%	49.34%	11.15%	3.17%	1.25%	0.56%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

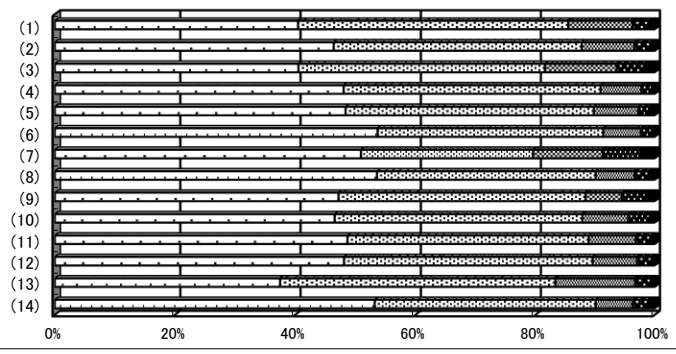
部門名　　法学部

形態名　　演習

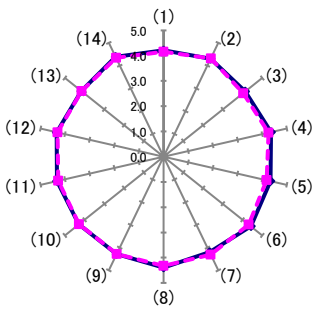
	合計	総履修者数	回答率
回答数	940	1,809	51.96%

	質問項目	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計 平均	学生回答単純集計 標準偏差	科目ベース 部門別形態別 平均	部門別形態別 標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	379	422	101	26	9	3	940	4.21	0.816	4.25	0.379
		40.32%	44.89%	10.74%	2.77%	0.96%	0.32%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	435	388	83	26	6	2	940	4.30	0.794	4.36	0.347
		46.28%	41.28%	8.83%	2.77%	0.64%	0.21%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	380	385	113	43	17	2	940	4.14	0.924	4.21	0.454
		40.43%	40.96%	12.02%	4.57%	1.81%	0.21%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	66	73	126	191	158	264	878	2.51	1.285	2.54	0.742
		7.52%	8.31%	14.35%	21.75%	18.00%	30.07%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	450	402	64	17	4	3	940	4.36	0.727	4.37	0.326
		47.87%	42.77%	6.81%	1.81%	0.43%	0.32%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	454	389	70	17	9	1	940	4.34	0.774	4.37	0.355
		48.30%	41.38%	7.45%	1.81%	0.96%	0.11%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	503	353	59	18	4	3	940	4.42	0.733	4.46	0.381
		53.51%	37.55%	6.28%	1.91%	0.43%	0.32%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	478	269	110	60	22	1	940	4.19	1.028	4.30	0.565
		50.85%	28.62%	11.70%	6.38%	2.34%	0.11%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	502	342	61	23	9	3	940	4.39	0.795	4.43	0.405
		53.40%	36.38%	6.49%	2.45%	0.96%	0.32%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	442	386	57	38	14	3	940	4.28	0.865	4.30	0.435
		47.02%	41.06%	6.06%	4.04%	1.49%	0.32%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	45	6	–	–	–	1	52	–	–	–	–
		86.54%	11.54%	–	–	–	1.92%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	436	387	72	34	8	3	940	4.29	0.825	4.33	0.402
		46.38%	41.17%	7.66%	3.62%	0.85%	0.32%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	32	6	–	–	–	4	42	–	–	–	–
		76.19%	14.29%	–	–	–	9.52%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	456	377	74	24	6	3	940	4.34	0.783	4.40	0.384
		48.51%	40.11%	7.87%	2.55%	0.64%	0.32%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	452	390	70	24	4	0	940	4.34	0.761	4.39	0.381
		48.09%	41.49%	7.45%	2.55%	0.43%	0.00%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	352	431	126	26	5	0	940	4.17	0.799	4.22	0.396
		37.45%	45.85%	13.40%	2.77%	0.53%	0.00%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	499	346	58	25	10	2	940	4.38	0.806	4.43	0.417
		53.09%	36.81%	6.17%	2.66%	1.06%	0.21%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　**部門名　法学部**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.609 (**)	1													
Q3	.455 (**)	.634 (**)	1												
Q3-2	.135 (**)	.191 (**)	.313 (**)	1											
Q4	.518 (**)	.491 (**)	.403 (**)	.119 (**)	1										
Q5	.471 (**)	.469 (**)	.382 (**)	.124 (**)	.613 (**)	1									
Q6	.390 (**)	.391 (**)	.326 (**)	.070 (**)	.527 (**)	.510 (**)	1								
Q7	.318 (**)	.365 (**)	.340 (**)	.088 (**)	.357 (**)	.376 (**)	.520 (**)	1							
Q8	.489 (**)	.473 (**)	.351 (**)	.086 (**)	.586 (**)	.614 (**)	.554 (**)	.415 (**)	1						
Q9	.485 (**)	.470 (**)	.354 (**)	.052 (**)	.559 (**)	.556 (**)	.506 (**)	.396 (**)	.691 (**)	1					
Q10	.521 (**)	.518 (**)	.388 (**)	.077 (**)	.595 (**)	.601 (**)	.522 (**)	.392 (**)	.706 (**)	.775 (**)	1				
Q11	.558 (**)	.544 (**)	.402 (**)	.134 (**)	.574 (**)	.590 (**)	.496 (**)	.374 (**)	.668 (**)	.631 (**)	.696 (**)	1			
Q12	.575 (**)	.582 (**)	.435 (**)	.132 (**)	.583 (**)	.595 (**)	.504 (**)	.375 (**)	.665 (**)	.639 (**)	.699 (**)	.790 (**)	1		
Q13	.598 (**)	.585 (**)	.452 (**)	.105 (**)	.591 (**)	.577 (**)	.510 (**)	.425 (**)	.636 (**)	.637 (**)	.695 (**)	.702 (**)	.758 (**)	1	
Q14	.551 (**)	.543 (**)	.407 (**)	.092 (**)	.628 (**)	.641 (**)	.555 (**)	.408 (**)	.773 (**)	.712 (**)	.774 (**)	.744 (**)	.760 (**)	.728 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　法学部**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.535 (**)	1													
Q3	.424 (**)	.619 (**)	1												
Q3-2	.181 (**)	.266 (**)	.382 (**)	1											
Q4	.567 (**)	.485 (**)	.339 (**)	.091 (*)	1										
Q5	.505 (**)	.483 (**)	.356 (**)	.075	.671 (**)	1									
Q6	.486 (**)	.416 (**)	.316 (**)	.079 (*)	.586 (**)	.600 (**)	1								
Q7	.410 (**)	.408 (**)	.388 (**)	.143 (**)	.454 (**)	.394 (**)	.508 (**)	1							
Q8	.534 (**)	.529 (**)	.315 (**)	.089 (*)	.654 (**)	.668 (**)	.547 (**)	.458 (**)	1						
Q9	.530 (**)	.479 (**)	.269 (**)	-.027	.602 (**)	.654 (**)	.534 (**)	.424 (**)	.715 (**)	1					
Q10	.568 (**)	.552 (**)	.333 (**)	.047	.640 (**)	.614 (**)	.538 (**)	.422 (**)	.724 (**)	.791 (**)	1				
Q11	.555 (**)	.552 (**)	.352 (**)	.116 (**)	.599 (**)	.606 (**)	.544 (**)	.505 (**)	.684 (**)	.642 (**)	.703 (**)	1			
Q12	.560 (**)	.573 (**)	.407 (**)	.116 (**)	.596 (**)	.607 (**)	.530 (**)	.508 (**)	.693 (**)	.657 (**)	.702 (**)	.822 (**)	1		
Q13	.590 (**)	.580 (**)	.435 (**)	.121 (**)	.585 (**)	.560 (**)	.519 (**)	.471 (**)	.605 (**)	.621 (**)	.687 (**)	.728 (**)	.757 (**)	1	
Q14	.555 (**)	.559 (**)	.349 (**)	.063	.652 (**)	.659 (**)	.552 (**)	.443 (**)	.760 (**)	.722 (**)	.789 (**)	.741 (**)	.754 (**)	.678 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　法学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.94	0.935	3.97	0.246	4.03	0.767	4.05	0.238	4.06	0.758	4.07	0.210	3.91	0.797	3.95	0.241	4.04	0.789	4.06	0.214
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.61	1.067	3.65	0.377	4.03	0.873	4.03	0.335	4.02	0.825	4.02	0.234	3.87	0.871	3.92	0.278	3.97	0.850	4.00	0.256
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.00	0.958	4.00	0.370	3.97	0.902	3.96	0.256	3.81	0.940	3.85	0.270	3.70	1.026	3.74	0.262
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.27	1.051	2.26	0.444	2.15	1.023	2.20	0.433	1.97	0.933	2.02	0.322	1.86	0.966	1.91	0.316
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.02	0.887	4.02	0.457	4.12	0.768	4.08	0.309	4.06	0.749	4.09	0.270	4.13	0.752	4.15	0.245
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.06	0.921	4.06	0.439	4.14	0.794	4.13	0.296	4.09	0.796	4.11	0.305	4.12	0.837	4.16	0.283
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.85	1.028	3.86	0.556	3.93	0.925	3.95	0.415	3.88	0.946	3.97	0.464	4.01	0.900	4.05	0.345
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.79	1.258	2.78	0.588	3.07	1.197	3.06	0.424	3.00	1.188	3.07	0.446	3.38	1.193	3.31	0.517
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.09	0.967	4.10	0.435	3.94	0.970	3.94	0.510	4.07	0.838	4.03	0.334	4.03	0.844	4.04	0.357	4.12	0.873	4.11	0.350
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.93	0.951	3.94	0.458	4.02	0.870	3.99	0.327	3.98	0.861	3.97	0.365	4.07	0.873	4.05	0.292
	(10)	この授業の水準に満足している	4.00	0.940	4.00	0.361	3.98	0.890	3.99	0.444	4.05	0.816	4.02	0.305	4.00	0.812	4.01	0.327	4.09	0.823	4.09	0.284
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.08	0.908	4.11	0.331	4.05	0.865	4.07	0.385	4.11	0.788	4.11	0.272	4.04	0.791	4.10	0.271	4.15	0.798	4.17	0.248
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.03	0.863	4.04	0.380	4.10	0.779	4.10	0.263	4.04	0.792	4.09	0.258	4.13	0.791	4.14	0.251
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.96	0.811	3.97	0.246
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.16	0.891	4.17	0.357	3.98	0.931	3.99	0.488	4.08	0.816	4.06	0.351	4.03	0.820	4.06	0.344	4.13	0.826	4.13	0.298

部門名　法学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.26	0.882	4.30	0.438	4.06	0.837	4.05	0.443	4.19	0.821	4.18	0.435	4.02	0.864	4.03	0.433	4.21	0.816	4.25	0.379
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.29	0.809	4.32	0.368	4.30	0.751	4.30	0.332	4.45	0.645	4.44	0.263	4.30	0.733	4.36	0.336	4.30	0.794	4.36	0.347
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.38	0.768	4.37	0.301	4.42	0.726	4.43	0.303	4.20	0.911	4.28	0.434	4.14	0.924	4.21	0.454
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.90	1.249	2.96	0.712	2.92	1.313	2.87	0.914	2.69	1.300	2.76	0.899	2.51	1.285	2.54	0.742
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.22	0.876	4.21	0.427	4.37	0.692	4.37	0.285	4.36	0.695	4.37	0.279	4.36	0.727	4.37	0.326
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.20	0.826	4.19	0.391	4.38	0.739	4.38	0.341	4.33	0.744	4.33	0.341	4.34	0.774	4.37	0.355
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.32	0.840	4.34	0.426	4.43	0.752	4.46	0.378	4.51	0.656	4.51	0.343	4.42	0.733	4.46	0.381
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.85	1.244	3.95	0.752	4.28	0.940	4.34	0.554	4.35	0.841	4.41	0.492	4.19	1.028	4.30	0.565
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.45	0.818	4.52	0.405	4.25	0.837	4.24	0.425	4.38	0.765	4.39	0.433	4.35	0.775	4.38	0.367	4.39	0.795	4.43	0.405
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.17	0.865	4.15	0.398	4.32	0.832	4.34	0.410	4.28	0.813	4.27	0.417	4.28	0.865	4.30	0.435
	(10)	この授業の水準に満足している	4.37	0.834	4.42	0.390	4.18	0.820	4.18	0.423	4.32	0.779	4.33	0.407	4.32	0.769	4.33	0.378	4.29	0.825	4.33	0.402
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.46	0.782	4.51	0.418	4.30	0.772	4.31	0.367	4.39	0.715	4.39	0.347	4.38	0.718	4.41	0.393	4.34	0.783	4.40	0.384
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.30	0.750	4.30	0.319	4.42	0.655	4.42	0.272	4.37	0.692	4.40	0.335	4.34	0.761	4.39	0.381
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.17	0.799	4.22	0.396
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.51	0.763	4.57	0.403	4.30	0.783	4.30	0.391	4.41	0.710	4.42	0.370	4.42	0.727	4.44	0.375	4.38	0.806	4.43	0.417

Ⅱ 経済学部

１．集計データからわかること

令和5(2023）年の調査結果について、令和4(2022)年度からの変化を中心に分析したい。

表１－１と１－２は、今回得られた令和5（2023）年度の経済学部平均から、令和4（2022）年度の経済学部平均を引いて平均値の変化を提示したものである。表１－１は講義科目について、表１－２は演習科目について示している。質問項目に関する「回答者ベース」の平均値変化を昨年度報告と同様に示すとともに、「科目ベース」の平均値変化も併記する。なお、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計であり、「回答者ベース」による集計のみでは、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を受けるため「科目ベース」の結果も示している。グラフは、「科目ベース」による結果を示している。

平均値分析(表1－1、表1－2)

1） 表1－1が示す通り、講義について、経済学部のスコアは、各項目について、前年度よりも若干の増加をみている項目が多い。減少しているのは、回答者ベースと科目ベースともに、質問項目（3）「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」と質問項目（3）－2「この授業に使った時間」のみである。

2） 表1－2は、演習について、表1－1と同等な集計を示している。大半の項目で緩やかな上昇を見せた講義と異なり、演習については、多くの項目についてスコアが前年度よりも減少している。質問項目(1)「履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」という項目についてのみ、回答者ベースと科目ベースの符号が異なっている。

3） スコア変化を詳細に見ると、講義についての減少項目は、上記のとおり質問項目（3）「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」（科目ベース数値0.089減）が目立つ。この項目については、図1及び図2からわかるように、経済学部だけでなく全

学において3年連続で減少している。本スコアの減少は、学習時間の低下を意味するが、対面授業への回帰が進んだ直近3年間に継続的な減少をみており、今後の継続的な観察に値する。授業に限らず対面活動の機会が広がってきたことと、本項目の数値変化には何らかの関係があるかもしれない。

4） 講義について、他の質問項目ではスコア増加がみられているが、増加が大きい項目は、科目ベース数値の順に、項目(7)「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」(0.313増)、項目(1)「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」（0.067増）、項目(6)「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」（0.046増）、項目（14)「総合的に見てこの授業は高く評価できる」（0.037増）、である。項目（7）については、図3及び図4からわかるように、全学でも同様に数値が上昇している。対面授業への回帰により、教室における履修者間のコミュニケーション機会が回復してきたことと整合的な結果を示している。

5） 講義について、上記の項目（3）と（7）を除けば、コロナ禍直後を除く直近3年間のスコアは概ね横ばいであった。

6） 表1－2について上述の通り、演習については、ほぼすべて項目についてスコアが前年度よりも減少している。質問項目(1)「履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、科目ベース数値では0.054のスコア上昇だが、回答者ベースではマイナス0.008となり、回答者ベースでみれば全項目について経済学部の演習科目スコアは平均的に前年度よりも減少している。

7） 演習科目においてスコアの減少が大きい上位2項目は、質問項目（3）「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」（科目ベース数値0.187減）と、質問項目(3)-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）」（科目ベース数値0.277減）であり、どちらも学習時間の減少を意味する。講義科目に関する結果も同じ傾向をみせており、学習時間の減少を示している。大規模人数の講義科目のおける対面授業への復帰に比べると、演習科目については、対面への復帰が前年度

以前に行われた科目が多かったが、講義科目・演習科目いずれも今回並んで学習時間の減少を示していることからは、対面授業への復帰が学習時間の低下をもたらした原因と判断するには否定的な結果である。

8） 講義科目についての図1及び図2で上述したように、この質問項目（3）「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」の推移は、経済学部の講義・演習に共通するばかりか、全学において講義・演習を通じて3年連続での減少が示されている。講義と演習の両方で、全学生の学習時間の減少傾向が示唆される。

9） 演習について、他にスコア減少が中程度の項目は、項目(7)「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」（0.136減）、項目(10)「この授業の水準に満足している」（0.141減）、項目(9)「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」(0.129減)、項目(8)「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」（0.122減）、項目(6)「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」（0.111減）、である。これらの項目においては、講義科目は横ばいであるのに対して、演習科目はスコア減少を示している。もともと演習科目は講義科目に対して高いスコアを示しているが、その差が縮小したとみることもできる。

項目間の相関係数分析（表2－1，表2－2）

表 2－1、表2－2に示した値は、2023年度の授業評価で用いられた質問項目間の相関係数である。評価項目間の相関係数のうち0．6以上を「高い相関」とみなしたときに見えてくることを記してみたい。

1）講義について、項目（14） の総合評価と相関が高いのは、項目（4）「授業方法や、シラバスの記載内容の変更についての教員からの説明は適切だった」、項目（5）「この授業で配付された教材は、学習を進めるのに役立った」、項目（8）「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、項目（9）「この授業のボリュームに満足している」、項目（10）「この授業の水準に満足している」、項目（11）「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、項目（12）

「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」項目（13）「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」、である。特に、項目（8）、（10）～（13）は、相関係数0.7以上である。教材や指導の理解しやすさ、授業の水準、自身の知的好奇心や能力の向上感と、高い総合評価に関係が深いことが示唆されている。

2）項目（10）は授業の水準への満足を問う質問であるが、講義・演習とも項目（8）、項目（9）との相関係数が特に高い。授業の理解しやすさと学ぶ内容量が評価の観点であることが示唆される。

3）演習について、項目（14）の総合評価と相関が高いのは、項目（2）「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」、項目（4）～項目（6）、項目（8）～項目（13）である。特に、項目（8）～項目（10）と項目（12）と（13）は、0.7以上である。授業の内容量や理解しやすさ、水準、そして、自身の知的好奇心や能力の向上感と、高い総合評価との関係が示唆されている。

4）前回の調査と同じ傾向だが、講義、演習共に、項目（3）「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」や項目（3-2）(取り組み時間の具体的時間数に関する質問)は、どの項目とも相関係数は0.5未満である。

5）項目（1）「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」について、講義では、項目（13）「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」との相関係数が最も大きく0.593、以下、項目（12）（知識能力の向上感）が0.591、項目（2）（私はこの授業に意欲的に取り組んだ）が0.583と続く。演習では、項目(1)との相関が最大なのは、項目（12）（知識能力の向上感）で0.609、以下、項目（13）が0.561、項目（2）が0.560と続く。学生がシラバスを読み授業選択を行うこと、意欲的に取り組むこと、満足度に反映すること、それぞれに正の相関が認められる。

6）項目（7）「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」については、講義、演習共に、他の質問項目との相関が高いとはいえない。ただし、前年度は、項目（14）の総合評価との相関は、講義科目では0.406、演習科目では0.344であった。一方、今回は、講義科目では0.424と似た傾向だったところ、演習科目では0.560と相関

係数が高くなった。

２．今後の授業改善に向けて

経済学部では、経済学科、経営学科共に、コロナ禍で、2020年度から全員の教員がオンデマンド・オンライン授業を導入し、遠隔授業の工夫を急速に進めた。2021年度末には、遠隔授業実施の基盤が出来上がったと思われ、学部教員は状況に適切に対応してきたと考えられる。その後、段階的に対面授業が再開され、2023年度は、基本的には対面授業への復帰が全面的になされた。コロナ禍以前と同じ水準に復帰したのか、を検証するには、今回の経済学部の回答率は講義科目で約3割、演習科目でも約5割であって、とくに演習科目においてはコロナ禍より前の水準を大幅に下回っている（図5）。コロナ禍以前との比較のためには、回答率を高めることが望まれる。

授業に対して一定の時間を確保して取り組んだか、に関する設問（3）については、講義科目も演習科目も同じく減少傾向をみせており、この傾向は全学においても過去3年とも同様であった。授業だけでなく、社会生活におけるさまざまな対面活動の幅広い再開により影響を受けていることのほか、就職活動時期の長期化も可能性として考えられるが、本調査では手がかりがない。昨年度までは、コロナ禍と遠隔授業への対応に問題意識が集まっていたが、それ以外に授業の前提や効果に与える要因はさまざまに考え得るので、本調査を活用しつつも、視野と対応方法については広く準備をしてゆく姿勢が望まれるだろう。

表1－1　令和5(2023)年度と令和4(2022)年度の差　講義科目

番号	質問内容	2023年度−2022年度数値（回答者ベース）	2023年度標準偏差	2023年度−2022年度数値（科目ベース）	2023年度標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	0.078	0.870	0.067	0.245
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	0.030	0.909	0.011	0.285
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	−0.107	0.965	−0.089	0.344
(3)−2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満1:90 分未満	−0.033	1.023	−0.003	0.502
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	0.038	0.836	0.030	0.233
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	0.016	0.887	0.007	0.295
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	0.105	0.994	0.046	0.283
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	0.422	1.244	0.313	0.482
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	0.036	0.947	0.000	0.362
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	0.025	0.935	0.008	0.333
(10)	この授業の水準に満足している	0.040	0.878	0.027	0.338
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	0.034	0.896	0.020	0.296
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	0.036	0.876	0.029	0.273
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる（今回の新設項目）				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	0.062	0.912	0.037	0.324

表1－2　令和5(2023)年度と令和4(2022)年度の差　演習科目

番号	質問内容	2023年度−2022年度数値（回答者ベース）	2023年度標準偏差	2023年度−2022年度数値（科目ベース）	2023年度標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	−0.008	0.826	0.054	0.328
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	−0.118	0.692	−0.081	0.262
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	−0.229	0.931	−0.187	0.428
(3)−2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満1:90 分未満	−0.279	1.191	−0.277	0.714
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	−0.049	0.719	−0.013	0.305
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	−0.069	0.828	−0.019	0.353
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	−0.153	0.693	−0.111	0.378
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	−0.180	0.808	−0.136	0.454
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	−0.163	0.757	−0.122	0.370
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	−0.173	0.780	−0.129	0.327
(10)	この授業の水準に満足している	−0.179	0.760	−0.141	0.342
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	−0.100	0.722	−0.056	0.330
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	−0.106	0.707	−0.057	0.318
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる（今回の新設項目）				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	−0.132	0.719	−0.081	0.336

図1　質問項目（3）「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」（経済学部）

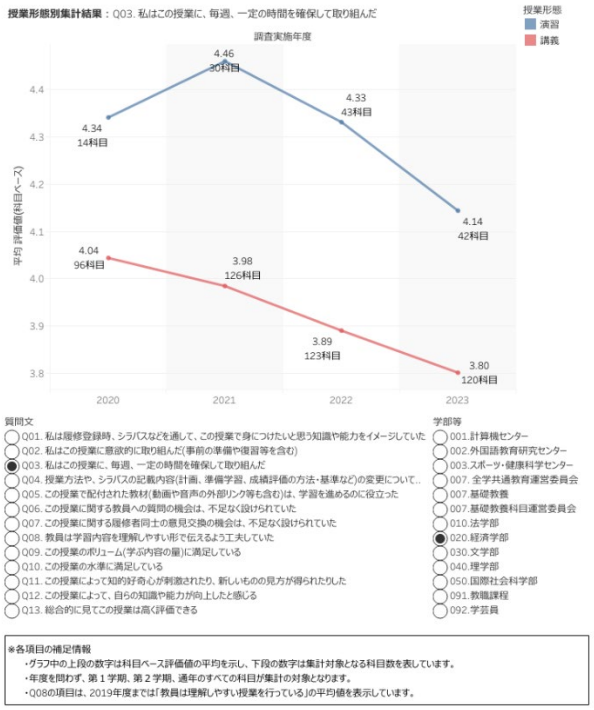


図2　質問項目（3）「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」（全部門）

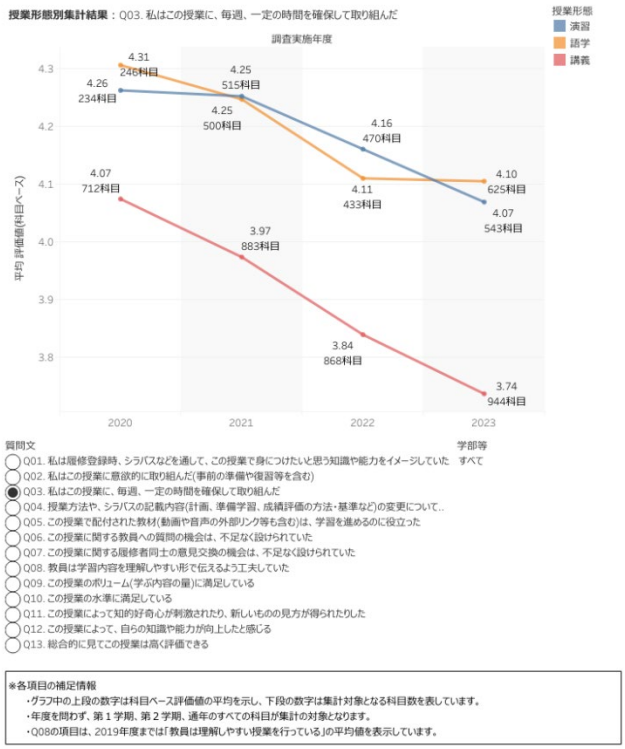


図3　質問項目(7)「履修者同士の意見交換の機会」(経済学部)

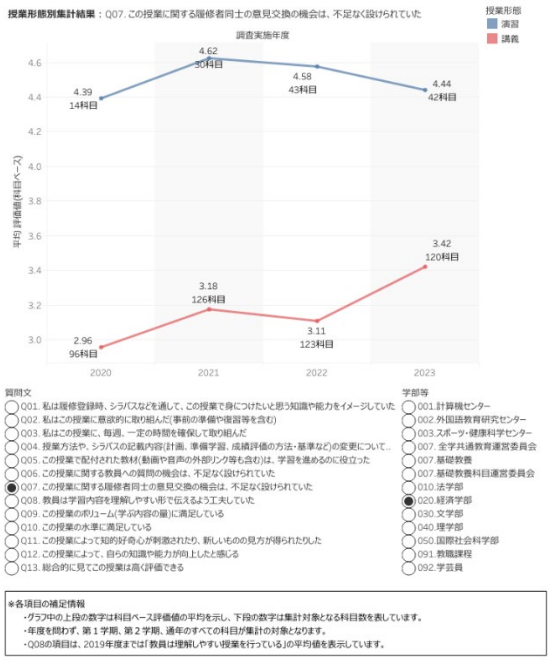


図4　質問項目(7)「履修者同士の意見交換の機会」(全部門)

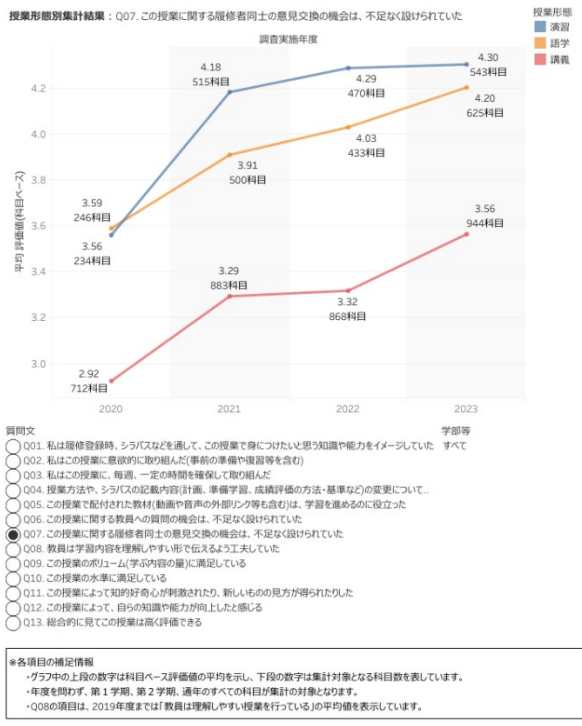


表2－1

相関係数表　　部門名　経済学部
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.583 (**)	1													
Q3	.453 (**)	.667 (**)	1												
Q3-2	.149 (**)	.216 (**)	.305 (**)	1											
Q4	.515 (**)	.491 (**)	.374 (**)	.077 (**)	1										
Q5	.489 (**)	.501 (**)	.379 (**)	.092 (**)	.655 (**)	1									
Q6	.401 (**)	.430 (**)	.349 (**)	.084 (**)	.543 (**)	.517 (**)	1								
Q7	.361 (**)	.399 (**)	.348 (**)	.105 (**)	.367 (**)	.340 (**)	.511 (**)	1							
Q8	.502 (**)	.496 (**)	.366 (**)	.078 (**)	.647 (**)	.671 (**)	.550 (**)	.415 (**)	1						
Q9	.453 (**)	.468 (**)	.329 (**)	.005	.569 (**)	.569 (**)	.450 (**)	.368 (**)	.652 (**)	1					
Q10	.510 (**)	.527 (**)	.377 (**)	.074 (**)	.599 (**)	.632 (**)	.492 (**)	.378 (**)	.725 (**)	.700 (**)	1				
Q11	.561 (**)	.579 (**)	.416 (**)	.136 (**)	.577 (**)	.599 (**)	.485 (**)	.397 (**)	.665 (**)	.600 (**)	.673 (**)	1			
Q12	.591 (**)	.618 (**)	.473 (**)	.153 (**)	.584 (**)	.625 (**)	.493 (**)	.393 (**)	.659 (**)	.591 (**)	.671 (**)	.791 (**)	1		
Q13	.593 (**)	.618 (**)	.461 (**)	.105 (**)	.596 (**)	.604 (**)	.498 (**)	.451 (**)	.651 (**)	.631 (**)	.689 (**)	.721 (**)	.759 (**)	1	
Q14	.544 (**)	.557 (**)	.400 (**)	.107 (**)	.650 (**)	.661 (**)	.547 (**)	.424 (**)	.781 (**)	.691 (**)	.775 (**)	.742 (**)	.747 (**)	.729 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

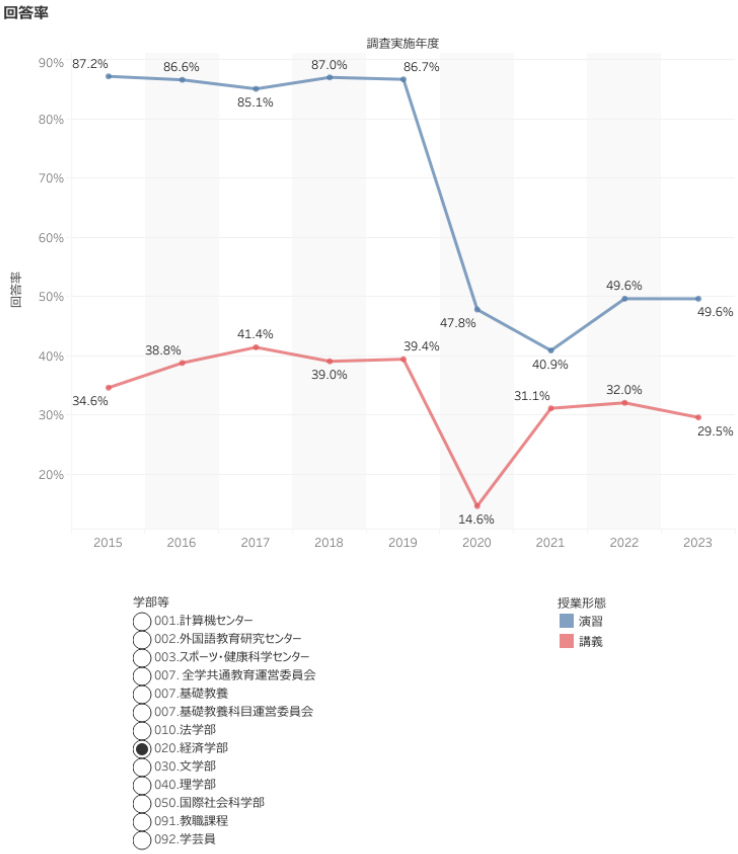
表2－2

相関係数表　　部門名　経済学部
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.560 (**)	1													
Q3	.391 (**)	.595 (**)	1												
Q3-2	.259 (**)	.188 (**)	.334 (**)	1											
Q4	.503 (**)	.546 (**)	.455 (**)	.179 (**)	1										
Q5	.488 (**)	.458 (**)	.343 (**)	.141 (*)	.624 (**)	1									
Q6	.477 (**)	.491 (**)	.365 (**)	.107	.629 (**)	.558 (**)	1								
Q7	.399 (**)	.509 (**)	.457 (**)	.122	.490 (**)	.421 (**)	.561 (**)	1							
Q8	.521 (**)	.574 (**)	.424 (**)	.084	.625 (**)	.616 (**)	.650 (**)	.615 (**)	1						
Q9	.479 (**)	.487 (**)	.366 (**)	.082	.592 (**)	.551 (**)	.592 (**)	.530 (**)	.737 (**)	1					
Q10	.516 (**)	.560 (**)	.456 (**)	.110	.658 (**)	.594 (**)	.631 (**)	.601 (**)	.744 (**)	.808 (**)	1				
Q11	.594 (**)	.567 (**)	.433 (**)	.192 (**)	.515 (**)	.530 (**)	.587 (**)	.520 (**)	.629 (**)	.632 (**)	.658 (**)	1			
Q12	.609 (**)	.617 (**)	.467 (**)	.212 (**)	.556 (**)	.543 (**)	.623 (**)	.508 (**)	.640 (**)	.646 (**)	.668 (**)	.833 (**)	1		
Q13	.561 (**)	.619 (**)	.483 (**)	.180 (**)	.615 (**)	.584 (**)	.615 (**)	.489 (**)	.699 (**)	.665 (**)	.726 (**)	.658 (**)	.703 (**)	1	
Q14	.527 (**)	.638 (**)	.464 (**)	.166 (*)	.612 (**)	.611 (**)	.663 (**)	.560 (**)	.761 (**)	.720 (**)	.792 (**)	.686 (**)	.720 (**)	.753 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

図5　回答率推移（経済学部）



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

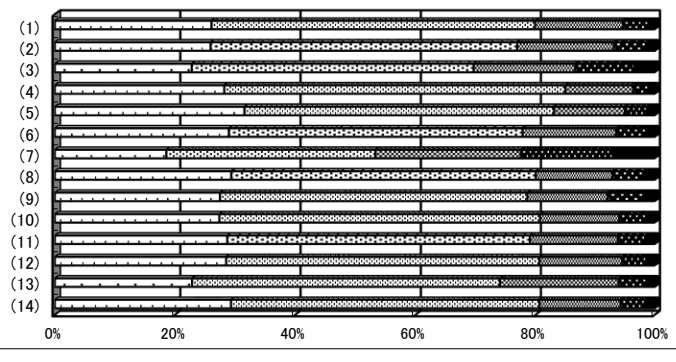
部門名　　経済学部

形態名　　講義

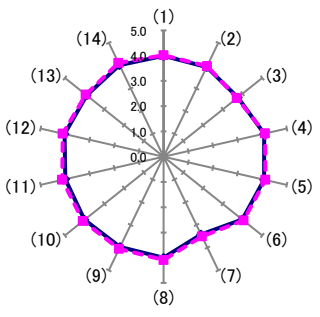
	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,727	22,766	29.55%

	質問項目	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,745	3,607	988	286	72	29	6,727	4.00	0.822	4.01	0.245
		25.94%	53.62%	14.69%	4.25%	1.07%	0.43%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,738	3,421	1,088	363	99	18	6,727	3.94	0.876	3.97	0.285
		25.84%	50.85%	16.17%	5.40%	1.47%	0.27%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,525	3,141	1,138	669	226	28	6,727	3.76	1.021	3.80	0.344
		22.67%	46.69%	16.92%	9.95%	3.36%	0.42%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	173	228	505	1,386	1,410	2,102	5,804	2.02	1.088	2.00	0.502
		2.98%	3.93%	8.70%	23.88%	24.29%	36.22%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,882	3,796	762	177	64	46	6,727	4.09	0.762	4.11	0.233
		27.98%	56.43%	11.33%	2.63%	0.95%	0.68%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,113	3,453	798	245	91	27	6,727	4.08	0.834	4.10	0.295
		31.41%	51.33%	11.86%	3.64%	1.35%	0.40%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,941	3,277	1,054	337	97	21	6,727	3.99	0.882	4.03	0.283
		28.85%	48.71%	15.67%	5.01%	1.44%	0.31%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,242	2,328	1,621	1,038	469	29	6,727	3.42	1.160	3.42	0.482
		18.46%	34.61%	24.10%	15.43%	6.97%	0.43%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,965	3,394	862	343	133	30	6,727	4.00	0.898	4.02	0.362
		29.21%	50.45%	12.81%	5.10%	1.98%	0.45%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,841	3,426	905	403	127	25	6,727	3.96	0.905	3.99	0.333
		27.37%	50.93%	13.45%	5.99%	1.89%	0.37%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	456	58	–	–	–	16	530	–	–	–	–
		86.04%	10.94%	–	–	–	3.02%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	1,828	3,565	889	299	99	47	6,727	4.01	0.848	4.03	0.338
		27.17%	53.00%	13.22%	4.44%	1.47%	0.70%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	311	72	–	–	–	15	398	–	–	–	–
		78.14%	18.09%	–	–	–	3.77%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,919	3,370	988	308	107	35	6,727	4.00	0.873	4.03	0.296
		28.53%	50.10%	14.69%	4.58%	1.59%	0.52%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,910	3,495	930	272	95	25	6,727	4.02	0.845	4.04	0.273
		28.39%	51.95%	13.82%	4.04%	1.41%	0.37%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	1,529	3,430	1,333	313	94	28	6,727	3.89	0.854	3.92	0.266
		22.73%	50.99%	19.82%	4.65%	1.40%	0.42%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,966	3,445	915	272	112	17	6,727	4.03	0.861	4.06	0.324
		29.23%	51.21%	13.60%	4.04%	1.66%	0.25%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

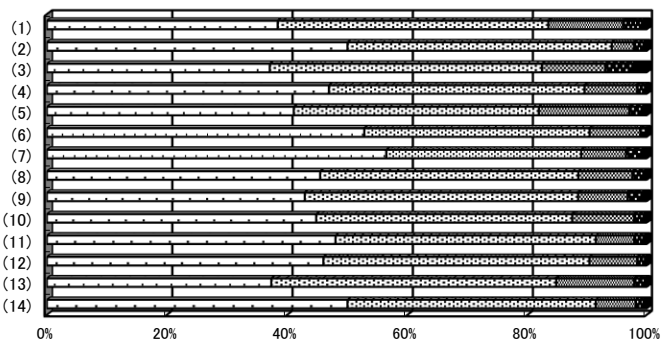
部門名　　経済学部

形態名　　演習

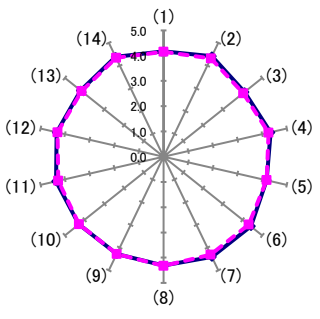
	合計	総履修者数	回答率
回答数	375	756	49.60%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	144	169	47	12	3	0	375	4.17	0.826	4.23	0.328
		38.40%	45.07%	12.53%	3.20%	0.80%	0.00%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	187	165	14	6	2	1	375	4.41	0.692	4.45	0.262
		49.87%	44.00%	3.73%	1.60%	0.53%	0.27%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	139	170	40	17	9	0	375	4.10	0.931	4.14	0.428
		37.07%	45.33%	10.67%	4.53%	2.40%	0.00%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	17	16	47	76	76	117	349	2.23	1.191	2.20	0.714
		4.87%	4.58%	13.47%	21.78%	21.78%	33.52%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	175	159	33	5	1	2	375	4.35	0.719	4.37	0.305
		46.67%	42.40%	8.80%	1.33%	0.27%	0.53%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	154	153	57	8	3	0	375	4.19	0.828	4.23	0.353
		41.07%	40.80%	15.20%	2.13%	0.80%	0.00%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	198	141	32	4	0	0	375	4.42	0.693	4.46	0.378
		52.80%	37.60%	8.53%	1.07%	0.00%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	210	121	28	10	3	3	375	4.41	0.808	4.44	0.454
		56.00%	32.27%	7.47%	2.67%	0.80%	0.80%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	170	161	34	7	2	1	375	4.31	0.757	4.35	0.370
		45.33%	42.93%	9.07%	1.87%	0.53%	0.27%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	160	170	31	9	3	2	375	4.27	0.780	4.31	0.327
		42.67%	45.33%	8.27%	2.40%	0.80%	0.53%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	6	6	–	–	–	0	12	–	–	–	–
		50.00%	50.00%	–	–	–	0.00%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	168	160	39	6	2	0	375	4.30	0.760	4.32	0.342
		44.80%	42.67%	10.40%	1.60%	0.53%	0.00%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	5	2	–	–	–	1	8	–	–	–	–
		62.50%	25.00%	–	–	–	12.50%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	180	163	24	6	2	0	375	4.37	0.722	4.41	0.330
		48.00%	43.47%	6.40%	1.60%	0.53%	0.00%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	172	166	30	5	1	1	375	4.34	0.707	4.39	0.318
		45.87%	44.27%	8.00%	1.33%	0.27%	0.27%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	140	178	49	7	1	0	375	4.20	0.752	4.24	0.320
		37.33%	47.47%	13.07%	1.87%	0.27%	0.00%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	187	155	25	5	2	1	375	4.39	0.719	4.43	0.336
		49.87%	41.33%	6.67%	1.33%	0.53%	0.27%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　部門名　経済学部
　　形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.583 (**)	1													
Q3	.453 (**)	.667 (**)	1												
Q3-2	.149 (**)	.216 (**)	.305 (**)	1											
Q4	.515 (**)	.491 (**)	.374 (**)	.077 (**)	1										
Q5	.489 (**)	.501 (**)	.379 (**)	.092 (**)	.655 (**)	1									
Q6	.401 (**)	.430 (**)	.349 (**)	.084 (**)	.543 (**)	.517 (**)	1								
Q7	.361 (**)	.399 (**)	.348 (**)	.105 (**)	.367 (**)	.340 (**)	.511 (**)	1							
Q8	.502 (**)	.496 (**)	.366 (**)	.078 (**)	.647 (**)	.671 (**)	.550 (**)	.415 (**)	1						
Q9	.453 (**)	.468 (**)	.329 (**)	.005	.569 (**)	.569 (**)	.450 (**)	.368 (**)	.652 (**)	1					
Q10	.510 (**)	.527 (**)	.377 (**)	.074 (**)	.599 (**)	.632 (**)	.492 (**)	.378 (**)	.725 (**)	.760 (**)	1				
Q11	.561 (**)	.579 (**)	.416 (**)	.136 (**)	.577 (**)	.599 (**)	.485 (**)	.397 (**)	.665 (**)	.600 (**)	.673 (**)	1			
Q12	.591 (**)	.618 (**)	.473 (**)	.153 (**)	.584 (**)	.625 (**)	.493 (**)	.393 (**)	.659 (**)	.591 (**)	.671 (**)	.791 (**)	1		
Q13	.593 (**)	.618 (**)	.461 (**)	.105 (**)	.596 (**)	.604 (**)	.498 (**)	.451 (**)	.651 (**)	.631 (**)	.689 (**)	.721 (**)	.759 (**)	1	
Q14	.544 (**)	.557 (**)	.400 (**)	.107 (**)	.650 (**)	.661 (**)	.547 (**)	.424 (**)	.781 (**)	.691 (**)	.775 (**)	.742 (**)	.747 (**)	.729 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　経済学部**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.560 (**)	1													
Q3	.391 (**)	.595 (**)	1												
Q3-2	.259 (**)	.188 (**)	.334 (**)	1											
Q4	.503 (**)	.546 (**)	.455 (**)	.179 (**)	1										
Q5	.488 (**)	.458 (**)	.343 (**)	.141 (*)	.624 (**)	1									
Q6	.477 (**)	.491 (**)	.365 (**)	.107	.629 (**)	.558 (**)	1								
Q7	.399 (**)	.509 (**)	.457 (**)	.122	.490 (**)	.421 (**)	.561 (**)	1							
Q8	.521 (**)	.574 (**)	.424 (**)	.084	.625 (**)	.616 (**)	.650 (**)	.615 (**)	1						
Q9	.479 (**)	.487 (**)	.366 (**)	.082	.592 (**)	.551 (**)	.592 (**)	.530 (**)	.737 (**)	1					
Q10	.516 (**)	.560 (**)	.456 (**)	.110	.658 (**)	.594 (**)	.631 (**)	.601 (**)	.744 (**)	.808 (**)	1				
Q11	.594 (**)	.567 (**)	.433 (**)	.192 (**)	.515 (**)	.530 (**)	.587 (**)	.520 (**)	.629 (**)	.632 (**)	.658 (**)	1			
Q12	.609 (**)	.617 (**)	.467 (**)	.212 (**)	.556 (**)	.543 (**)	.623 (**)	.568 (**)	.640 (**)	.646 (**)	.668 (**)	.833 (**)	1		
Q13	.561 (**)	.619 (**)	.483 (**)	.180 (**)	.615 (**)	.584 (**)	.615 (**)	.489 (**)	.699 (**)	.665 (**)	.726 (**)	.658 (**)	.703 (**)	1	
Q14	.527 (**)	.638 (**)	.464 (**)	.166 (*)	.612 (**)	.611 (**)	.663 (**)	.560 (**)	.761 (**)	.720 (**)	.792 (**)	.686 (**)	.720 (**)	.753 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　経済学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.87	0.994	3.96	0.317	3.97	0.803	4.00	0.255	4.02	0.807	4.03	0.242	3.92	0.870	3.94	0.267	4.00	0.822	4.01	0.245
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.70	1.048	3.81	0.399	4.03	0.830	4.05	0.319	4.01	0.841	4.02	0.245	3.91	0.909	3.96	0.303	3.94	0.876	3.97	0.285
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.06	0.851	4.04	0.353	3.98	0.906	3.98	0.266	3.86	0.965	3.89	0.322	3.76	1.021	3.80	0.344
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.35	1.066	2.30	0.566	2.23	1.061	2.24	0.437	2.05	1.023	2.01	0.423	2.02	1.088	2.00	0.502
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.02	0.834	4.01	0.408	4.10	0.779	4.11	0.261	4.05	0.836	4.08	0.314	4.09	0.762	4.11	0.233
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.00	0.964	4.01	0.551	4.12	0.826	4.13	0.291	4.07	0.887	4.09	0.312	4.08	0.834	4.10	0.295
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.80	1.054	3.85	0.635	3.92	0.930	3.97	0.422	3.88	0.994	3.99	0.414	3.99	0.882	4.03	0.283
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.85	1.212	2.96	0.634	3.10	1.177	3.18	0.482	3.00	1.244	3.11	0.515	3.42	1.160	3.42	0.482
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.06	0.991	4.14	0.454	3.85	1.065	3.91	0.631	4.03	0.880	4.05	0.354	3.97	0.947	4.02	0.396	4.00	0.898	4.02	0.362
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.93	0.921	3.96	0.428	4.01	0.860	4.03	0.287	3.94	0.935	3.98	0.368	3.96	0.905	3.99	0.333
	(10)	この授業の水準に満足している	3.97	0.961	4.04	0.398	3.91	0.897	3.94	0.492	4.03	0.816	4.04	0.306	3.97	0.878	4.00	0.344	4.01	0.848	4.03	0.338
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.97	0.972	4.08	0.405	3.90	0.905	3.94	0.424	4.00	0.838	4.03	0.286	3.97	0.896	4.01	0.318	4.00	0.873	4.03	0.296
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	3.97	0.872	3.98	0.397	4.03	0.818	4.05	0.262	3.99	0.876	4.02	0.290	4.02	0.845	4.04	0.273
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.89	0.854	3.92	0.266
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.07	0.940	4.17	0.411	3.92	0.958	3.95	0.540	4.03	0.847	4.04	0.341	3.96	0.912	4.02	0.374	4.03	0.861	4.06	0.324

部門名　経済学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.14	0.952	4.13	0.451	3.85	0.895	3.86	0.416	4.34	0.851	4.31	0.509	4.18	0.872	4.18	0.445	4.17	0.826	4.23	0.328
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.37	0.740	4.38	0.288	4.50	0.619	4.48	0.290	4.57	0.596	4.56	0.255	4.53	0.661	4.53	0.308	4.41	0.692	4.45	0.262
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.36	0.755	4.34	0.380	4.48	0.673	4.46	0.266	4.33	0.878	4.33	0.439	4.10	0.931	4.14	0.428
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.66	1.229	2.61	0.802	2.75	1.229	2.61	0.701	2.51	1.131	2.48	0.665	2.23	1.191	2.20	0.714
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.32	0.681	4.32	0.343	4.51	0.586	4.50	0.235	4.39	0.669	4.39	0.305	4.35	0.719	4.37	0.305
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.21	0.753	4.23	0.332	4.34	0.795	4.34	0.358	4.26	0.809	4.25	0.389	4.19	0.828	4.23	0.353
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.50	0.619	4.51	0.333	4.66	0.550	4.65	0.194	4.57	0.629	4.58	0.276	4.42	0.693	4.46	0.378
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.40	0.785	4.39	0.385	4.63	0.673	4.62	0.313	4.59	0.704	4.58	0.393	4.41	0.808	4.44	0.454
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.53	0.687	4.52	0.321	4.34	0.658	4.34	0.291	4.55	0.605	4.55	0.264	4.47	0.680	4.47	0.334	4.31	0.757	4.35	0.370
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.31	0.676	4.31	0.324	4.54	0.633	4.54	0.264	4.45	0.687	4.44	0.289	4.27	0.780	4.31	0.327
	(10)	この授業の水準に満足している	4.43	0.748	4.42	0.351	4.33	0.670	4.34	0.307	4.58	0.574	4.56	0.252	4.48	0.661	4.46	0.334	4.30	0.760	4.32	0.342
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.49	0.701	4.49	0.319	4.39	0.667	4.39	0.332	4.58	0.558	4.57	0.254	4.47	0.756	4.47	0.354	4.37	0.722	4.41	0.330
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.32	0.681	4.32	0.340	4.52	0.621	4.50	0.266	4.45	0.698	4.45	0.319	4.34	0.707	4.39	0.318
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.20	0.752	4.24	0.320
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.55	0.677	4.54	0.327	4.41	0.670	4.40	0.314	4.62	0.550	4.61	0.242	4.52	0.669	4.51	0.369	4.39	0.719	4.43	0.336

Ⅲ 文学部

1. 集計データからわかること

1.1 実施方法、実施率、回答率

2023 年度は、コロナ禍がほぼ終息したとの認識から全面的に対面授業に移行した。昨年度までの授業形式を問う最初の質問はなくなった。他方、2020 年度から始まったオンライン形式のアンケートが本年度も継続して実施された。

過去 5 年間の文学部実施率の推移
2019 年度 98.11%
2020 年度 92.02%
2021 年度 98.48%
2022 年度 99.16%
2023 年度 99.66%

この実施率の高さは、教員及び関係職員の努力の結果であると言える。これとは対照的に回答率は 2020 年からのオンライン形式導入時に大幅に下落した。

過去 5 年間の文学部の回答率の推移
2019 年度 76.94%
2020 年度 22.61%
2021 年度 42.73%
2022 年度 38.37%
2023 年度 48.62%

回答率を上げるために、学生に働きかけるさまざまな工夫をするようになり、昨年度は 50%近くまで回復した。今後も一層の周知徹底をはかり、回答率を上げていく計画が話し合われている。

1.2 質問項目別の分析

Q1　「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

文学部講義：

2020 年度　講義　回答者ベース 3.96・科目ベース 3.99
2021 年度　講義　回答者ベース 3.99・科目ベース 4.01
2022 年度　講義　回答者ベース 3.94・科目ベース 4.02
2023 年度　講義　回答者ベース 4.02・科目ベース 4.08

文学部演習

2020 年度　演習　回答者ベース 4.08・科目ベース 4.10
2021 年度　演習　回答者ベース 4.15・科目ベース 4.18
2022 年度　演習　回答者ベース 4.09・科目ベース 4.13
2023 年度　演習　回答者ベース 4.16・科目ベース 4.19

2023 年度を例に選択肢の分布をみると、講義においては「5. 強くそう思う」が 25.90%、「4. そう思う」が 55.69%で、合計 81.59%にのぼる。演習では、「5. 強くそう思う」が 33.48%、「4. そう思う」が 52.58%で、合計 86.06%となり、演習を選択する時の方がより多くシラバスを参照して知識や能力を意識していることがわかる。いずれにせよ、この 2 つの選択肢で 8 割を超えていることは、シラバスが科目選択時の大きな指針となっているとみなせる。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.10・科目ベース 4.13
2021 年度回答者ベース 4.04・科目ベース 4.07
2022 年度回答者ベース 3.97・科目ベース 4.07
2023 年度回答者ベース 4.02・科目ベース 4.10

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.37・科目ベース 4.38
2021 年度回答者ベース 4.34・科目ベース 4.36
2022 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.32

2023 年度回答者ベース 4.30・科目ベース 4.31

この質問は学生が持つ授業に対する意識を問うている。一見してどちらも高い値を示しているものの、講義と演習ではそれなりの差がある。2023 年度を例にみると、講義においては「5. 強くそう思う」が 27.16%、「4. そう思う」が 53.54%で、合計 80.7%であるが、演習では、「5. 強くそう思う」が 41.51%、「4. そう思う」が 49.46%で、合計 90.97%となり、演習を受講する時の意欲が極めて高いことがわかる。

Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.06・科目ベース 4.04
2021 年度回答者ベース 3.96・科目ベース 3.96
2022 年度回答者ベース 3.80・科目ベース 3.85
2023 年度回答者ベース 3.69・科目ベース 3.75

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.32
2021 年度回答者ベース 4.26・科目ベース 4.28
2022 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.17
2023 年度回答者ベース 4.10・科目ベース 4.11

授業に対して一定の時間をかけて取り組んだかどうかを尋ねる質問である。これは、特定の授業に一定の時間をかけて予習や復習、演習の場合には課題に取り組み、口頭発表の準備をする時間が含まれる。講義に関しては回答者ベースでも科目ベースでも下降傾向が見てとれる。演習においても同様に下降傾向が見られる。ただし、2023 年度の講義においては、「5. 強くそう思う」が 20.68%、「4. そう思う」が 46.74%で、合計しても 67.42%にしかならないが、演習においては「5. 強くそう思う」が 35.11%、「4. そう思う」が 47.39%で、合計すると 82.5%であり、演習科目にはきちんと一定時間をかけて取り組んでいるようすがわかる。

Q3-2「※(3)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人を除く
私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、１週間あたり平均で 5：4.5 時間以上 4：3 時間以上 4.5 時間未満 3：2 時間以上 3 時間未満 2：90 分以上 2 時間未満 1：90 分未満」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 2.26・科目ベース 2.27

2021 年度回答者ベース 2.08・科目ベース 2.09

2022 年度回答者ベース 1.90・科目ベース 1.94

2023 年度回答者ベース 1.74・科目ベース 1.79

文学部演習

2020 年度回答者ベース 2.62・科目ベース 2.56

2021 年度回答者ベース 2.61・科目ベース 2.60

2022 年度回答者ベース 2.46・科目ベース 2.42

2023 年度回答者ベース 2.17・科目ベース 2.16

Q3 に引き続くこの質問は、一定の時間を確保して授業に取り組まなかった学生（「2. あまりそう思わない」～「1. 全くそう思わない」を選択した学生）は対象範囲外である。具体的な時間を問うこの質問では、一番多い時間が 1 週間あたり平均 4.5 時間以上、という選択肢である。過去 4 年間の推移をみると、1 週間あたり平均 4.5 時間以上かける学生は講義科目では一桁にすぎないが、演習科目ではおよそ一割の学生がこれだけの時間を使っている。他方、一番少ない時間の選択肢は、90 分未満であり、講義でも演習でも例年回答者の 2 割から 3 割を占めている。具体的な時間をどれだけかけて学習すれば効果があがるかは個人差があり、効率的な時間の使い方も同時に求められる。

Q4「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.06・科目ベース 4.06

2021 年度回答者ベース 4.13・科目ベース 4.13

2022 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.17

2023 年度回答者ベース 4.18・科目ベース 4.20

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.24・科目ベース 4.23

2021 年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.26

2022 年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.25

2023 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.23

実際の授業を開始する段になると、当初の予定と変更せざるをえない事態が起こることも稀ではない。そのような場合、適切に説明があったかどうかを問う質問である。講義においても演習においても説明は高い頻度でなされたことが見てとれる。コロナ禍がほぼ終息したことから、オンライン授業と対面授業の変更のような事態は減少したと思われる。

Q5「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.18・科目ベース 4.19
2021 年度回答者ベース 4.21・科目ベース 4.21
2022 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.25
2023 年度回答者ベース 4.21・科目ベース 4.24

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.20
2021 年度回答者ベース 4.27・科目ベース 4.27
2022 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.23
2023 年度回答者ベース 4.27・科目ベース 4.27

授業で配布されたさまざまな資料が学習において役立ったかどうかを問う質問である。ここでは動画や音声の外部リンクという表現があるように、マルチメディア資料が意識された質問となっている。ネット環境が整った教室での授業が普通な状況となっているためか、講義でも演習でも高い値が維持されており、使用教材の工夫が行われていることが裏付けられる。

Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 3.95・科目ベース 3.95
2021 年度回答者ベース 4.12・科目ベース 4.13
2022 年度回答者ベース 4.13・科目ベース 4.15
2023 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.18

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.20・科目ベース 4.20

2021 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.33

2022 年度回答者ベース 4.33・科目ベース 4.35

2023 年度回答者ベース 4.29・科目ベース 4.31

教員への質問の機会を問う質問である。講義科目で学生が質問することは、必ずしも簡単ではない。教員側が意識して質問を促したり、質問時間を設けるなどしたりして工夫することで改善が見込める。2020 年度は 4 ポイントに届かなかったが、その後は講義も演習も高い値を示しているので、質疑は高い頻度で行われていると思われる。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 3.00・科目ベース 3.09

2021 年度回答者ベース 3.37・科目ベース 3.54

2022 年度回答者ベース 3.40・科目ベース 3.55

2023 年度回答者ベース 3.59・科目ベース 3.71

文学部演習

2020 年度回答者ベース 3.69・科目ベース 3.73

2021 年度回答者ベース 4.06・科目ベース 4.11

2022 年度回答者ベース 4.11・科目ベース 4.13

2023 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.21

授業に関する履修者同士の意見交換とは、主に授業中の学生同士の議論を指す。講義形態の授業では、通常はディスカッションを奨励しないことが多いため、数値はやや低い。演習では、2021 年度以降、安定して 4 ポイントを上回っていることから、演習授業での（アクティブラーニングを含む）議論が頻繁に行われるようになっていることがわかる。

Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.10・科目ベース 4.11

2021 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.19
2022 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.23
2023 年度回答者ベース 4.19・科目ベース 4.23

文学部演習
2020 年度回答者ベース 4.24・科目ベース 4.23
2021 年度回答者ベース 4.28・科目ベース 4.28
2022 年度回答者ベース 4.30・科目ベース 4.31
2023 年度回答者ベース 4.29・科目ベース 4.30

どのように学習内容を理解しやすい形で伝えるかという教員側の工夫を、学生側が理解できたかを問う質問である。講義も演習も非常に高いポイントとなっている。注目すべきは、コロナ禍でもこの授業の工夫は継続されたことである。質問項目には具体的な言及がないが、オンライン授業で教員が身に着けた LMS の活用が、現在では普通になりつつある。

Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

文学部講義
2020 年度回答者ベース 4.03・科目ベース 4.02
2021 年度回答者ベース 4.14・科目ベース 4.16
2022 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.21
2023 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.20

文学部演習
2020 年度回答者ベース 4.14・科目ベース 4.13
2021 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.24
2022 年度回答者ベース 4.24・科目ベース 4.27
2023 年度回答者ベース 4.24・科目ベース 4.25

授業で学ぶ内容の量を問う質問である。教員側では、これだけのことは理解して欲しいというレベルがあるが、実際の学生の反応を見ながら分量の調整が必要となるのが現実の授業の姿である。学生側の理解度を把握しやすいのが演習であるため、演習のポイントが高くなっているが、講義科目でも十分高い数値を維持している。2023 年度の講義においては、「5. 強くそう思う」が 34.08%、「4. そう思う」が 52.91%、合計して 86.99%であり、

演習においては「5. 強くそう思う」が 40.40%、「4. そう思う」が 48.15%で、合計 88.55%と大差がない。

Q9-2 「※(9)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答
授業のボリュームについて、どのように感じましたか
5：多い 4：少ない」

2022 年から導入された Q9 に関連した 2 択質問で、授業のボリュームに満足していない学生（Q9 で「2. あまりそう思わない」～「1. 全くそう思わない」と回答した学生）を対象に、その理由を問うものである。

文学部講義

2022 年度	多い：76.74%	少ない：20.47%
2023 年度	多い：77.46%	少ない：20.95%

文学部演習

2022 年度	多い：74.70%	少ない：25.30%
2023 年度	多い：69.83%	少ない：24.14%

Q9 で学習量に関する満足度が低い人にその理由を尋ねている。講義と演習を比較すると、講義の方で分量が多すぎることを理由にしている。演習では、「多い」という感想が 2023 年度で 5 ポイント程度減少しているが、前述したように演習での授業の方が、学生の理解度を把握しやすく、その状況を把握した上で分量の調節を行っている結果であろう。

Q10 「この授業の水準に満足している」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.08・科目ベース 4.09
2021 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.18
2022 年度回答者ベース 4.17・科目ベース 4.22
2023 年度回答者ベース 4.17・科目ベース 4.20

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.20・科目ベース 4.20

2021 年度回答者ベース 4.26・科目ベース 4.27
2022 年度回答者ベース 4.29・科目ベース 4.30
2023 年度回答者ベース 4.27・科目ベース 4.27

授業の水準に関しての満足度は、ほぼ一定して高い。2023 年度の講義においては、「5. 強くそう思う」が 33.03%、「4. そう思う」が 53.87%、合計して 86.90%であり、演習においては「5. 強くそう思う」が 40.47%、「4. そう思う」が 48.74%で、合計 89.21%と大差はない。

Q10-2 「※(10)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答
授業の水準について、どのように感じましたか
5：高すぎる 4：低すぎる」

2022 年から導入された Q10 に関連した 2 択質問で、「2. あまりそう思わない」～「1. 全くそう思わない」と回答した人がどのような観点から満足していないのかを問うたものである。

文学部講義

2022 年度	高すぎる：74.07%	低すぎる：22.84%
2023 年度	高すぎる：77.46%	低すぎる：20.95%

文学部演習

2022 年度	高すぎる：74.42%	低すぎる：29.58%
2023 年度	高すぎる：64.71%	低すぎる：30.59%

講義では授業の水準について高すぎると判断した学生が演習よりも顕著に多い。逆に、演習では低すぎるから満足できないとした学生が 3 割にのぼる。これだけで明確な判断はできないが、今後、授業のレベルに関しては、学生の理解度と併せて注視していく必要がある。

Q11 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.24
2021 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.25
2022 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.29
2023 年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.29

文学部演習
2020 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.23
2021 年度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.33
2022 年度回答者ベース 4.30・科目ベース 4.31
2023 年度回答者ベース 4.30・科目ベース 4.30

授業を通じて学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方を伝えるのは教える側にとっては常に意識されるものである。授業を受ける学生の側でも、それを十分に感じ取っており、講義でも演習でも学生の理解が浸透していることが推察される。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

文学部講義
2020 年度回答者ベース 4.14・科目ベース 4.16
2021 年度回答者ベース 4.17・科目ベース 4.19
2022 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.23
2023 年度回答者ベース 4.18・科目ベース 4.24

文学部演習
2020 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.22
2021 年度回答者ベース 4.34・科目ベース 4.34
2022 年度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.33
2023 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.31

授業を受けた学生が、実感として感じる知識や能力の向上に関する質問である。2023 年度の講義においては、「5. 強くそう思う」が 33.67%、「4. そう思う」が 54.16%、合計して 87.83%であり、演習においては「5. 強くそう思う」が 42.62%、「4. そう思う」が 48.08%で、合計 90.70%と共に高い数値を示している。

Q13「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」

2023 年度から導入されたこの質問は、シラバスを学生が読んで理解していることを前提とする。その上で講義と演習の結果を比較すると以下のようになる。

文学部講義

2023 年度回答者ベース 4.00・科目ベース 4.06

文学部演習

2023 年度回答者ベース 4.12・科目ベース 4.12

2023 年度の講義においては、「5. 強くそう思う」が 24.51%、「4. そう思う」が 54.84%、合計して 79.35%であり、演習においては「5. 強くそう思う」が 31.37%、「4. そう思う」が 51.89%で、合計 83.26%となっており、肯定的な評価の合計が 8 割にのぼる。この指標の推移は、今後も注視していく必要がある。

Q14 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

文学部講義

2020 年度回答者ベース 4.11・科目ベース 4.13

2021 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.16

2022 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.22

2023 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.25

文学部演習

2020 年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.25

2021 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.33

2022 年度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.33

2023 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.32

総合的に見て授業に対する評価は高くなっている。2020 年度がコロナ禍の遠隔授業が始まった時期だったので、その後、対面授業が徐々に復活し昨年度からはほぼ対面授業に移行した。2023 年度の講義においては、「5. 強くそう思う」が 36.31%、「4. そう思う」が 52.41%、合計して 88.72%であり、演習においては「5. 強くそう思う」が 44.07%、「4. そう思う」が 46.35%で、合計 90.42%となっている。

2. 今後の授業改善に向けて

2023 年度から、文学部の授業は原則対面で行われるようになった。2020 年度から始まったコロナ禍の緊急体制の授業は、WebClass、Manaba のような LMS の積極的活用の元で展開されたオンデマンド型の授業や、Zoom を活用したオンライン授業、respon の導入によるリアルタイムアンケートなどで今までにないほどの変化を遂げた。教員も学生も新しいメディアを活用した学びの場を体験してきた。現状では、新型コロナウイルス感染症が無くなったわけではないが、コロナ禍前の対面形式の授業とは違う授業が模索されている。

2024 年度からは、105 分授業が開始され、LMS も Moodle に一本化された。対面授業においても、学生は積極的にノート PC やタブレット端末を持ち歩くようになり、教員側もただ印刷物を配布するだけではなく、LMS を通じて資料を配布したり、学生側からのリアクションを得ることが多くなりつつある。

授業評価アンケートは、学生側の状況を把握するとともに、教員側の働きかけがどのように受け取られているかを理解する上で重要な指標を提供する。但し、その効力を上げるためには、授業評価アンケートの回収率を上げることが求められる。

上述したように、2020 年度から導入された Web 形式の授業評価アンケートは、手軽にできる反面、簡単にやり過ごしてしまうこともできるシステムである。文学部実施率の推移でわかるように、99% を越える実施率であっても、実際に回収率は 2023 年度で 48.62% であった。この状況は、改善する必要がある。そのためには、実施側の教員と事務職員の努力や工夫もさることながら、学生にも授業アンケートの重要さを再認識してもらう必要があるだろう。

3. 学科別の分析

【哲学科】

アンケートの回答方式がオンラインになったことにより、哲学科も回答率が伸び悩んでおり、引き続き回答への呼びかけを続ける必要がある。

アンケート結果に関しては、質問の機会（６）のポイントが若干低下した。また 2022 年度に目立ってポイントが低下していた意見交換の機会（７）については、今回は微増した。その他に関してはおおむね例年通り、ないしポイントが微増している。

2022 年度はそれ以前の全面オンラインから一部対面ないしハイフレックスに移行し、授業運営に不慣れ・混乱が生ずるケースがあったが、2023 年度はほぼ全面的に対面授業に移行したため、スムーズに授業運営が行われることとなり、全体的な好評価につながったものと思われる。

質問の機会に関しては、リアクションペーパーという形で質問の機会を確保し、授業内でそれに対して丁寧にコメントをする、授業内でも学生に質問をしてみるなど、様々な方策

が考えられるだろう。リアクションペーパーはMoodleから提出させるなど、コロナ禍の時期に獲得されたLMSの利点を引き続き活用するべきだろう。
意見交換については、数回に一度はグループワークをする、学生に多く質問を投げかけてみるなど、教員の側からの一方的なレクチャーにならないように工夫することが可能である。

【史学科】
本年度は、昨年からひきつづき対面授業を柱とした教育を行った。教育の柱は以下の通りである。

基礎教育の充実

「基礎演習」においては、学科の専任教員が全員関わるかたちで、歴史学の研究手法、研究倫理等について日本史、東洋史、西洋史それぞれの立場から教育をおこなった。これらの授業運営においては、オンライン講義の時期に工夫がなされた学生との双方向のコミュニケーションを充実させる手法もとりいれつつ、授業を行った。「日本史概説」「東洋史概説」「西洋史概説」「史学概論」「史資料入門」の講義科目とともに、基礎教育の一層の充実を試みた。

双方向性の拡充

上記のツールの一例として、CommentScreenの利用があげられる。講義、演習どちらの形態においても、学生の反応を引き出しやすいツールとして、教室における教員と学生との双方向のやりとり、また、学生のアウトプットを滑らかにする効果がみとめられ、学生からも好評である。

研究力の向上

卒業論文執筆のための基礎的研究力を目指した試みを進めた。たとえば文献探索からオンラインデータベースやデジタルアーカイブズの活用など、これまで各々の演習内で個々に行われていた教育を講義内にとりいれることで、学科全体として学生の主体的に調べる力を向上させるための試みを進めている。これは、アンケート項目「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」に対する回答が2023年度を通じて4.12とやや低いことに対する対処として進めているものである。

【日本語日本文学科】
1 各部門のアンケート結果に基づく評価
質問事項（2）「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む)」に関して、講義では4.12、演習4.28、また、質問事項（8）「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」に関して、講義では4.26、演習4.39となっており、ともに全学平均よりやや高い状況になっている。総じて講義科目に比べ、演習科目の方が数値

は高くなる傾向がある中、質問（11)「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」に関しては、講義 4.46、演習 4.20 と講義の方が高い数値を示している。さまざまな専門性の高い内容の講義を開講していることで得られた成果と評価できる。

【英語英米文化学科】

1　各部門のアンケート結果に基づく評価

■集計データからわかること

令和 3 年度まで、学生回答単純集計の平均値は、講義、演習ともにほとんどの設問について 4 以上であった。それに対し、令和 4 年度は講義科目の多くの設問で 4 を割ったという変化がみられ、令和 5 年度もその傾向は継続している。前年度までと同様令和 5 年度においても演習はすべての設問について 4 以上であったが、講義では 14 つの設問のうち 7 つで 4 未満となった。具体的には、Q1 (講義 3.82、演習 4.07)、Q2（講義 3.93、演習 4.23)、Q3（講義 3.65、演習 4.00)、Q7（講義 3.82、演習 4.18)、Q9（講義 3.99、演習 4.20)、Q10 （講義 3.99、演習 4.20)、Q13 （講義 3.88、演習 4.04）という結果になった。Q1 に関しては、英語英米文化学科のカリキュラムの場合、学生に選択の余地の少ない講義も存在するため（全員必修の 3 つの入門講義や各コースで履修が求められるコース講義など)、シラバスを参照せずに履修登録する学生が多いことが推測できる。

一方、上に挙げた設問の多く（講義科目）について、4 未満ではある一方、令和 4 年度に比べ改善傾向がみられた。具体的には、Q1（令和 4 年度は Q 2)「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」(令和 4 年度 3.75、令和 5 年度 3.82)、Q2（令和 4 年度は Q 3)「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む)」(令和 4 年度 3.84、令和 5 年度 3.93)、Q7（令和 4 年度は Q8)「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」(令和 4 年度 3.22、令和 5 年度 3.82)、Q9 （令和 4 年度は Q10)「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」(令和 4 年度 3.94、令和 5 年度 3.99)、Q10（令和 4 年度は Q11)「この授業の水準に満足している」(令和 4 年度 3.98、令和 5 年度 3.99）となった。

こうした変化の原因としては、令和 5 年度からほぼ全面的に授業が対面に戻ったという点が考えられる。特に Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」に関する数字が令和 4 年度に比べ大幅に改善したほか、Q2 、Q9 など授業に対する学生の意欲や満足度が高まっており、意見交換や教員とのやり取りを行いやすい対面授業の良さが評価されたといえるだろう。Q14 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」についても、令和 4 年度は 3.99 と若干 4 を割ったのに対し、令和 5 年度は 4.06 となった。

他方、Q3（令和 4 年度は Q4）「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」（講義科目）に関しては令和 4 年度より数字が下がっている（令和 4 年度 3.71、令和 5 年度 3.65）。対面授業が増えて通学時間が増えたこと、またコロナ禍が明けて学業以外の活動が活発になったことが関係していると推測できるが、学生の授業への取り組みをさらに高められるような工夫も今後必要であると考えられる。

■授業改善に向けて

前項で述べた通り、授業がほぼ全面的に対面に切り替わった令和 5 年度の授業評価アンケートでは、特に講義科目に対する評価について、前年度からの大きな改善が見られた。教室で顔を見ながら対面授業を行うことで、授業のボリュームの調整もしやすく、また履修者同士の意見交換の場も設けやすくなる。その結果学生の授業に対する意欲も高まったと考えられる。

一方、講義科目の中で令和 4 年度に対して評価が下がった Q3（学生が授業への取り組みにかける時間）については、改善の余地があるだろう。Q3 については、英語英米文化学科のみならず、国際社会科学部以外の全学部で前年度と比べて数字が下がっており、全学的な傾向であると推測できるが、今後、たとえば授業の課題の内容・分量を再検討するなどの必要があると考えられる。

以上のように、授業改善の余地はあるものの、全体としては前年度よりも授業に対する評価は高くなっている。今後も対面授業の良さを生かしつつ、コロナ禍で経験した ICT 機器も活用しながら、さらに魅力的で質の高い授業を展開できるよう工夫を重ねていきたい。

【ドイツ語圏文化学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

学生回答の単純集計平均を見ると、Q 1 ～Q14 のすべての質問項目において、ドイツ語圏文化学科は全学および文学部平均を上回る数値となっている。具体的な数値は以下のとおり。

Q 1　私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた（学科：4.31、全学：4.04、文学部：4.06）

Q 2　私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）（学科：4.36、全学：4.06、文学部：4.10）

Q 3　私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ（学科：4.22、全学：3.82、文学部：3.81）

Q４　授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった（学科：4.37、全学：4.15、文学部：4.20）
Q５　この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った（学科：4.40、全学：4.15、文学部：4.22）
Q６　この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた（学科：4.40 、全学：4.12、文学部：4.19）
Q７　この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた（学科：4.33、全学：3.73、文学部：3.77）
Q８　教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた（学科：4.43、全学：4.15、文学部：4.22）
Q９　この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している（学科：4.39、全学：4.11、文学部：4.18）
Q１０　この授業の水準に満足している（学科：4.38、全学：4.13、文学部：4.20）
Q１１　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした（学科：4.46、全学：4.14、文学部：4.26）
Q１２　この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる（学科：4.42、全学：4.14、文学部：4.22）
Q１３　シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる（学科：4.26、全学：3.99、文学部：4.04）
Q１４ 総合的に見てこの授業は高く評価できる（学科：4.44、全学：4.17、文学部：4.25）

このなかで全学および文学部平均を最も大きく上回るのは、「Q７　この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」であり、過半数を上回る約 53 パーセントの学生が「強くそう思う」と回答している。「Q６　この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」も 50%近い学生が「強くそう思う」と回答していることと考え合わせると、ドイツ語圏文化学科においてはインタラクティブ な授業展開が高程度に行われていることがうかがえる。また、「Q２　私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む)」や「Q３　私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ)」も全学および文学部平均を大きく上回っており、学生が主体的に取り組むアクティブ・ラーニングを取り入れた授業がうまく展開できていると言えるであろう。今後さらに改善できるよう努めていきたい。

【フランス語圏文化学科】

【各部門のアンケート結果に基づく評価】

令和４年度のアンケート結果と比較して、講義形式についてほぼ全問で数値が上昇し、コロナ禍以前の水準への回復が見られた。とりわけ数値改善が見られた設問は「(1)私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」「(2)私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む)」「(6)この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」「(7)この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」「(9)この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」「(14)総合的に見てこの授業は高く評価できる」である。自由記述欄においても、紹介された本を読んでみたい、大学で講義を受ける意義を理解することができたなど、学生の学習意欲が刺激されている様子が窺われる回答があった。授業が全面的に対面形式に戻ったこともあり、教員の熱意や工夫が功を奏したと考えることができる。唯一、数値下落が見られたのは(3)-2 の学生が当該授業に割いた１週間あたりの平均時間に関する設問である。この結果は、コロナ禍において制限されていた学生の課外活動が再び活性化したことによる影響と捉えることができ、同様の傾向は文学部全体でも見られた。しかしながら、フランス語圏文化学科の結果が示す学習時間は文学部平均よりもさらに短いものであった。

演習科目においては、４項目において顕著な数値下落が見られた。該当設問は、講義科目と同様の傾向が見られた(3)-2 に加え、「(8)教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」「(9)この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」「(12)この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」であり、言い換えれば授業の履修生に理解度・到達度の自己評価を問う設問である。授業内容について問う設問を見ると、「(9)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか」という設問に 80%が「多い」と回答し、「(10)-2 授業の水準について、どのように感じましたか」という設問に 92.31%が「高すぎる」と回答していることから、演習授業の課題を学生がこなしきれていない状況があると推察できる。一方、授業の総合的な評価を問う「(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の結果は文学部全体の結果と比較しても悪いものではないことから、課題自体の妥当性というよりは、(3)-2 の回答結果に見られるような全体の学習時間数減少の論理的帰結と考えることができるだろう。このような結果を受けて課題の量や質を落とすようなことをしても本質的な解決につながるとは思われない。フランス語圏文化学科が目指すフランス語習得レベルに到達するためには相応の学習時間、とりわけ予習時間の確保が重要であることに対して、再度学生の理解を促すとともに激励をしていく必要があると考える。

【心理学科】

1　各部門のアンケート結果に基づく評価

1）集計データからわかること

集計データを、以下の３つの観点から分析した。

A）心理学科の授業に対する受講生の評価を知るために、「個々の質問項目に対する回答の平均値」についての分析を行なった。

B）令和４年度から令和５年度にかけての経年変化を知るために、「令和４年度と令和５年度の平均値の差」を検討した。

C）文学部の授業全体に比べて心理学科の授業がどのように評価されているのかを知るために、「文学部全体に対する平均値と心理学科に対する平均値の差」を分析した。

A）個々の質問項目に対する回答の平均値に対する分析

講義・演習ともに、回答の平均値は全体として 4.0 に近い値かそれ以上であり、心理学科の授業に対する評価が全体として良好であったことが窺われる。ここでは、その中で平均値が 3.5 を下回っている質問項目について検討する。

＜講義＞

平均値が 3.5 を下回っていたのは下の２項目であった（括弧内は回答の平均値)。

Q３：私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ　(3.48)

Q７：この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた (3.13)

Q3 の結果から、授業時間外の勉強時間の確保がやや不足していたのではないかということが窺われる。学生にとってはアルバイトやサークル活動なども大学生活の重要な側面であることは当然のことであるが、講義科目における授業時間外の勉強時間の確保が改善課題のひとつであることとは言えるだろう。

＜演習＞

演習に関しては、回答の平均値が 3.5 を下回っている項目はなかった。演習については、全体として良好な評価であったと言えよう。

B）令和４年度と令和５年度の平均値の比較

令和４年度から令和５年度にかけての経年変化を知るために、令和４年度の平均値と令和５年度の平均値を比較した。その結果、講義も演習も、すべての質問項目において平均値が下していることがわかった。また、講義と演習についてみると、講義よりも演習の方が低下の幅が大きかった。このことは、心理学科の授業に対する評価が低下していること、それが演習においてより顕著であることを示している。この結果を重く受け止め、低下傾

向に歯止めをかける努力が必要であろう。

＜講義＞

令和４年度と令和５年度の平均値の差が 0.1 をよりも大きかった質問項目は、下の４項目であった（括弧内は、令和４年度と令和５年度それぞれの平均値、およびその差を示す。マイナスは、令和５年度の評価の方が低かったことを示す)。

Ｑ２：私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）
3.93 → 3.80 (-0.13)

Ｑ３：私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ
3.78 → 3.48 (-0.30)

Ｑ５：この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った　4.23 → 4.09 (-0.14)

Q10：この授業の水準に満足している　4.12 → 4.01 (-0.11)

全体として評価が低下している中で、前述の「A）個々の質問項目に対する回答の平均値に対する分析」でも論じた「Ｑ３：私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」の低下が大きいことが分かる。

この背景には、いわゆるポストコロナのもとでサークル活動やアルバイト等の活動が正常化・活発化し、授業時間外の学生の活動が多様化したことがあるのではないだろうか。もちろん、アルバイトやサークル活動が正常化し、授業外の大学生の生活が多様化し充実してきたことは喜ばしいことである。しかし、講義に対する授業時間外の学習時間をこれ以上減らさないように指導することは極めて重要であろう。今後、学生に対する適切な指導が望まれよう。

＜演習＞

演習では、講義よりも平均値の低下の大きさが大きかったので、令和４年度と令和５年度平均値の差が 0.2 よりも大きかった項目について分析する。

Ｑ４：授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった　4.30 → 4.05 (-0.25)

Ｑ５：この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った　4.34 → 4.13 (-0.21)

Ｑ６：この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
4.33 → 3.97 (-0.36)

Ｑ７：この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた
4.31 → 4.09 (-0.22)

Q８：教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

4.33 → 4.03 (-0.30)

Q９：この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している

4.20 → 3.89 (-0.31)

Q11：この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

4.29 → 4.05 (-0.24)

この結果について、次の２点に注目したい。ひとつは、平均値の低下がもっとも大きかった「Q６：この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」についてである。演習という授業形態は、学生と学生、ならびに教員と学生との間の双方向的なやりとりを基本とした授業形態である。この結果をみると、心理学科の演習科目が全体として一方通行になっているのではないかと危惧される。来年度以降は、学生が教員に対して質問する機会を増やすとともに、質問に対する心理的なハードルを下げるなどといった、授業構成上のさらなる工夫をする必要があるだろう。

第二の注目点は、「Q11：この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」である。受講生の知的好奇心を刺激したり、新しいものの見方を得るように促すことは、大学の授業（講義・演習を問わず）において極めて重要なミッションであろう。その点に対する評価が下がっているということは、心理学科の演習科目において、例えば文献の読み取りであったり、あるいはプレゼンテーションやレポート執筆のスキルを身につけるなどとった面により力点が置かれるようになったのではないだろうか。そのこと自体は決して悪いことではないが、ここで大学の授業の原点に立ち返り、受講生の知的好奇心を刺激したり、新しいものの見方が得られたりといった方向への授業改善が望まれるだろう。

C）文学部全体に対する平均値と心理学科に対する平均値の差

＜講義＞

すべての質問項目において、心理学科の講義に対する平均値は、文学部に対する平均値よりも低かった。その中で、心理学科に対する評価が文学部平均よりも 0.2 を超えて下回っている項目について検討する（差の値がマイナスであることは、心理学科の平均値が文学部全体を下回っていることを示す)。

Q３：私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

心理学科：3.48　　文学部全体：3.75　　その差：-0.27

Q７：この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

心理学科：3.13　　文学部全体：3.34　　その差：-0.21

Q11：この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

心理学科：4.08　　文学部：4.33　　その差：-0.25

これらの結果から推測されることは、心理学科の講義科目は、文学部の講義科目に比べると全体として知的好奇心が刺激されることが少なく、新しいものの見方が得られる程度が少ないと受講生が感じているということである。そのことが、授業外の学習時間を確保しようというモチベーションを下げているのではないだろうか。演習科目のみならず講義科目においても、受講生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方が得られるようさらなる工夫が求められよう。

＜演習＞

講義と異なり、演習においては、14 項目中の 10 項目で心理学科の授業に対する平均値が文学部に対する平均を上回っていた。このことは、演習科目については、心理学科の授業が文学部全体に比べて遜色またはそれ以上の質を担保していることを示しているであろう。以下に、心理学科に対する評価と文学部に対する評価が 0.2 よりも大きな差がある項目に注目し、心理学科に対する評価の方が高かった項目と、文学部に対する評価の方が高かった項目に分けて検討する（差の値がプラスであれば心理学科の方が、マイナスであれば文学部の方が、それぞれ評価が高かったことを示す)。

i) 心理学科に対する評価の方が高かった項目

Q 7 ：この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

心理学科：4.09　　文学部：3.60　　その差：0.49

Q 8 ：教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

心理学科：4.03　　文学部：3.60　　その差：0.43

上の結果は、心理学科の演習科目については、学習内容を理解しやすい形で受講生に伝えようとする工夫が一定程度奏功していることを示している。また、すでに考察した通り、受講生は教員に対する質問機会に不足を感じているようであったが、上記のQ7 の結果をみると、履修者どうしの意見交換については文学部平均以上の満足を感じているようであった。これらの点については評価できるものと言えよう。

とは言え、評価の平均値は Q 7 で 4.09、Q 8 で 4.03 と、まだまだ伸び代がある。演習科目についても今後さらなる授業改善が望まれよう。

ii) 文学部に対する評価の方が高かった項目

Q 1 ：私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

心理学科：3.85　　文学部：4.10　　その差：-0.25

Q13：シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる

心理学科：3.91　　文学部：4.20　　その差：-0.29

文学部平均に比べて評価が低かったこれらの 2 項目は、いずれもシラバスに関するもの

である。このことは、心理学科の演習科目においては、シラバスが十分に活用されていないことを示唆している。すなわち、心理学科の演習科目では、文学部平均に比べて、受講生は到達目標や身につけたいと思う知識や能力を十分明瞭にイメージせずに履修登録し、そのために、授業終了時になっても到達目標に達したという実感を感じにくくなっているのではないだろうか。全体として、心理学科の演習科目に関しては、シラバスの作りにさらなる工夫をするとともに、学生にシラバスの活用を具体的に指導するなどの方策が必要であろう。

２）今後の授業改善に向けて

以上より、今後の心理学科の授業に関して、以下のような授業改善が望まれる。

・令和４年度から令和５年度にかけての低落現象に歯止めをかける必要がある。
・講義科目に関しては、授業時間外の学習時間の確保が必要である。ただし、ポストコロナのもとで正常化しているサークル活動やアルバイトなどと両立させ、全体的に充実した大学生活が送れるような配慮が求められよう。
・演習科目に関しては、以下のような授業改善が望まれる。

ａ. 教員に対する質問機会を増やす。

ｂ. 演習の内容として、知的好奇心を刺激したり新しいものの見方が得られたりするような工夫が求められる。

ｃ. シラバスの内容を工夫するとともに、学生にシラバスの活用を促す指導が必要であろう。

【教育学科】

Ａ各部門のアンケート結果に基づく評価

教育学科では 2013 年の学科設置以来、一貫して学生同士の学び合いを重視して学生指導を行ってきているが、2023 年度のアンケート結果には前年度までと同様に、こうした学科の取り組みが高く評価されていると思われる項目がいくつか見られる。例えば、Q7 の「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」という項目に関しては、講義科目で 4.30、演習科目で 4.09 というようにかなり高い評価が得られている。学生同士の学び合いの場を設定していることは必然的に、学生の授業に対する意欲も高め、それがQ2 の「私はこの授業に意欲的に取り組んだ」という項目に対する高評価にも繋がっていると考えられる。

一方で、授業の水準に対する満足度については、授業の水準が「高すぎる」と回答している回答が 50%以上ある一方で、反対に「低すぎる」という回答も 30%を超えており、この点に関しては、学生個々の授業の理解度や課題意識をリフレクションペーパーへの記述内容から把握して、授業改善を図っていく必要があると考える。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

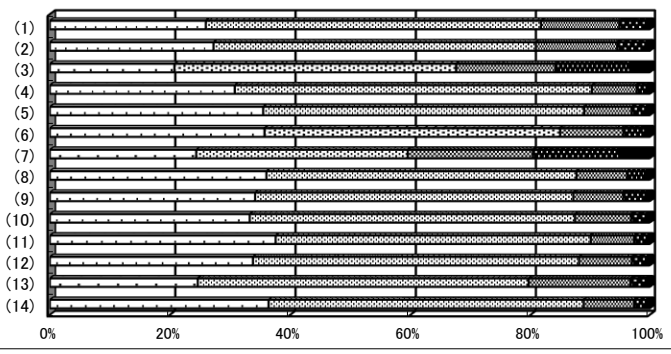
部門名　　文学部

形態名　　講義

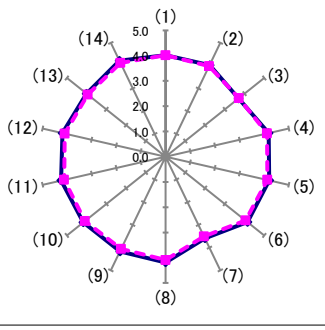
	合計	総履修者数	回答率
回答数	7,084	14,767	47.97%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,835	3,945	930	314	48	12	7,084	4.02	0.793	4.08	0.253
		25.90%	55.69%	13.13%	4.43%	0.68%	0.17%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,924	3,793	967	334	52	14	7,084	4.02	0.815	4.10	0.303
		27.16%	53.54%	13.65%	4.71%	0.73%	0.20%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,465	3,311	1,173	887	233	15	7,084	3.69	1.038	3.75	0.391
		20.68%	46.74%	16.56%	12.52%	3.29%	0.21%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	103	97	353	1,540	1,900	1,956	5,949	1.74	0.909	1.79	0.472
		1.73%	1.63%	5.93%	25.89%	31.94%	32.88%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,169	4,197	531	116	38	33	7,084	4.18	0.681	4.20	0.241
		30.62%	59.25%	7.50%	1.64%	0.54%	0.47%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,508	3,783	564	166	48	15	7,084	4.21	0.739	4.24	0.262
		35.40%	53.40%	7.96%	2.34%	0.68%	0.21%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	2,526	3,482	752	260	54	10	7,084	4.15	0.810	4.18	0.320
		35.66%	49.15%	10.62%	3.67%	0.76%	0.14%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,718	2,482	1,472	1,026	360	26	7,084	3.59	1.151	3.71	0.638
		24.25%	35.04%	20.78%	14.48%	5.08%	0.37%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,543	3,650	599	213	57	22	7,084	4.19	0.776	4.23	0.322
		35.90%	51.52%	8.46%	3.01%	0.80%	0.31%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	2,414	3,748	594	265	50	13	7,084	4.16	0.783	4.20	0.289
		34.08%	52.91%	8.39%	3.74%	0.71%	0.18%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	244	66	–	–	–	5	315	–	–	–	–
		77.46%	20.95%	–	–	–	1.59%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	2,340	3,816	664	178	42	44	7,084	4.17	0.744	4.20	0.282
		33.03%	53.87%	9.37%	2.51%	0.59%	0.62%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	167	38	–	–	–	15	220	–	–	–	–
		75.91%	17.27%	–	–	–	6.82%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,650	3,707	514	152	33	28	7,084	4.25	0.719	4.29	0.267
		37.41%	52.33%	7.26%	2.15%	0.47%	0.40%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	2,385	3,837	625	175	38	24	7,084	4.18	0.735	4.24	0.260
		33.67%	54.16%	8.82%	2.47%	0.54%	0.34%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	1,736	3,885	1,207	188	40	28	7,084	4.00	0.758	4.06	0.279
		24.51%	54.84%	17.04%	2.65%	0.56%	0.40%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,572	3,713	599	140	45	15	7,084	4.22	0.733	4.25	0.301
		36.31%	52.41%	8.46%	1.98%	0.64%	0.21%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

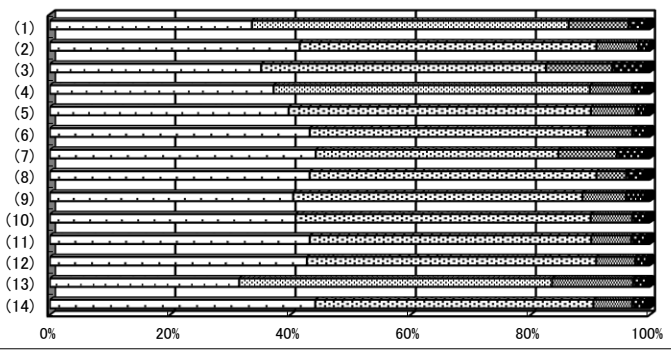
部門名　　文学部

形態名　　演習

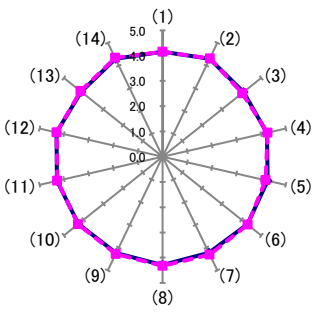
	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,891	5,749	50.29%

	質問項目	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	968	1,520	289	80	23	11	2,891	4.16	0.772	4.19	0.325
		33.48%	52.58%	10.00%	2.77%	0.80%	0.38%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,200	1,430	203	50	6	2	2,891	4.30	0.694	4.31	0.271
		41.51%	49.46%	7.02%	1.73%	0.21%	0.07%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,015	1,370	321	150	32	3	2,891	4.10	0.872	4.11	0.386
		35.11%	47.39%	11.10%	5.19%	1.11%	0.10%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	109	150	306	614	631	896	2,706	2.17	1.168	2.16	0.678
		4.03%	5.54%	11.31%	22.69%	23.32%	33.11%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,072	1,519	203	60	27	10	2,891	4.23	0.746	4.23	0.417
		37.08%	52.54%	7.02%	2.08%	0.93%	0.35%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,145	1,454	217	46	22	7	2,891	4.27	0.730	4.27	0.384
		39.61%	50.29%	7.51%	1.59%	0.76%	0.24%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,246	1,335	217	63	22	8	2,891	4.29	0.761	4.31	0.372
		43.10%	46.18%	7.51%	2.18%	0.76%	0.28%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,276	1,167	283	132	28	5	2,891	4.22	0.872	4.21	0.491
		44.14%	40.37%	9.79%	4.57%	0.97%	0.17%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,245	1,379	144	83	31	9	2,891	4.29	0.780	4.30	0.455
		43.06%	47.70%	4.98%	2.87%	1.07%	0.31%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,168	1,392	210	90	26	5	2,891	4.24	0.790	4.25	0.423
		40.40%	48.15%	7.26%	3.11%	0.90%	0.17%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	81	28	–	–	–	7	116	–	–	–	–
		69.83%	24.14%	–	–	–	6.03%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	1,170	1,409	199	63	22	28	2,891	4.27	0.749	4.27	0.409
		40.47%	48.74%	6.88%	2.18%	0.76%	0.97%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	55	26	–	–	–	4	85	–	–	–	–
		64.71%	30.59%	–	–	–	4.71%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,244	1,351	193	69	21	13	2,891	4.30	0.758	4.30	0.400
		43.03%	46.73%	6.68%	2.39%	0.73%	0.45%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,232	1,390	188	56	15	10	2,891	4.31	0.723	4.31	0.378
		42.62%	48.08%	6.50%	1.94%	0.52%	0.35%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	907	1,500	392	64	17	11	2,891	4.12	0.761	4.12	0.376
		31.37%	51.89%	13.56%	2.21%	0.59%	0.38%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,274	1,340	187	63	23	4	2,891	4.31	0.755	4.31	0.443
		44.07%	46.35%	6.47%	2.18%	0.80%	0.14%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　**部門名　文学部**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	**.539 (**)**	1													
Q3	.354 (**)	**.523 (**)**	1												
Q3-2	.064 (**)	.154 (**)	.282 (**)	1											
Q4	**.463 (**)**	**.415 (**)**	.289 (**)	.060 (**)	1										
Q5	**.416 (**)**	**.401 (**)**	.284 (**)	.031 (*)	**.597 (**)**	1									
Q6	.352 (**)	.337 (**)	.261 (**)	.034 (*)	**.507 (**)**	**.486 (**)**	1								
Q7	.294 (**)	.365 (**)	.313 (**)	.085 (**)	.339 (**)	.324 (**)	**.424 (**)**	1							
Q8	**.444 (**)**	**.440 (**)**	.272 (**)	.002	**.597 (**)**	**.631 (**)**	**.520 (**)**	**.401 (**)**	1						
Q9	**.430 (**)**	**.427 (**)**	.262 (**)	.008	**.523 (**)**	**.534 (**)**	**.449 (**)**	.342 (**)	**.671 (**)**	1					
Q10	**.452 (**)**	**.469 (**)**	.287 (**)	.009	**.569 (**)**	**.574 (**)**	**.476 (**)**	.346 (**)	**.677 (**)**	**.736 (**)**	1				
Q11	**.487 (**)**	**.506 (**)**	.300 (**)	.048 (**)	**.505 (**)**	**.557 (**)**	**.442 (**)**	.325 (**)	**.618 (**)**	**.592 (**)**	**.649 (**)**	1			
Q12	**.507 (**)**	**.544 (**)**	.346 (**)	.064 (**)	**.526 (**)**	**.552 (**)**	**.444 (**)**	.346 (**)	**.599 (**)**	**.561 (**)**	**.629 (**)**	**.745 (**)**	1		
Q13	**.558 (**)**	**.561 (**)**	.368 (**)	.038 (*)	**.540 (**)**	**.501 (**)**	**.444 (**)**	.387 (**)	**.566 (**)**	**.552 (**)**	**.608 (**)**	**.610 (**)**	**.674 (**)**	1	
Q14	**.481 (**)**	**.508 (**)**	.306 (**)	.015	**.605 (**)**	**.623 (**)**	**.523 (**)**	.377 (**)	**.746 (**)**	**.669 (**)**	**.738 (**)**	**.695 (**)**	**.699 (**)**	**.645 (**)**	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　文学部**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.554 (**)	1													
Q3	.398 (**)	.546 (**)	1												
Q3-2	.076 (**)	.156 (**)	.320 (**)	1											
Q4	.488 (**)	.448 (**)	.353 (**)	.030	1										
Q5	.489 (**)	.477 (**)	.343 (**)	.054 (*)	.679 (**)	1									
Q6	.444 (**)	.398 (**)	.285 (**)	.036	.563 (**)	.596 (**)	1								
Q7	.343 (**)	.355 (**)	.280 (**)	.052 (*)	.392 (**)	.420 (**)	.519 (**)	1							
Q8	.460 (**)	.443 (**)	.290 (**)	.015	.679 (**)	.661 (**)	.636 (**)	.449 (**)	1						
Q9	.463 (**)	.424 (**)	.247 (**)	-.044	.581 (**)	.580 (**)	.539 (**)	.423 (**)	.673 (**)	1					
Q10	.480 (**)	.437 (**)	.288 (**)	-.008	.628 (**)	.627 (**)	.563 (**)	.433 (**)	.698 (**)	.762 (**)	1				
Q11	.528 (**)	.494 (**)	.308 (**)	.058 (*)	.579 (**)	.609 (**)	.508 (**)	.407 (**)	.627 (**)	.611 (**)	.677 (**)	1			
Q12	.520 (**)	.521 (**)	.362 (**)	.103 (**)	.567 (**)	.602 (**)	.505 (**)	.413 (**)	.616 (**)	.601 (**)	.674 (**)	.751 (**)	1		
Q13	.558 (**)	.510 (**)	.374 (**)	.042	.608 (**)	.592 (**)	.521 (**)	.431 (**)	.587 (**)	.615 (**)	.658 (**)	.669 (**)	.713 (**)	1	
Q14	.511 (**)	.473 (**)	.303 (**)	.007	.650 (**)	.646 (**)	.607 (**)	.458 (**)	.760 (**)	.719 (**)	.783 (**)	.729 (**)	.722 (**)	.685 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　文学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.84	1.020	3.91	0.369	3.96	0.814	3.99	0.296	3.99	0.826	4.01	0.296	3.94	0.823	4.02	0.278	4.02	0.793	4.08	0.253
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.76	1.009	3.87	0.436	4.10	0.813	4.13	0.327	4.04	0.823	4.07	0.295	3.97	0.831	4.07	0.299	4.02	0.815	4.10	0.303
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.06	0.880	4.04	0.412	3.96	0.901	3.96	0.348	3.80	0.983	3.85	0.372	3.69	1.038	3.75	0.391
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.26	1.049	2.27	0.634	2.08	0.918	2.09	0.418	1.90	0.851	1.94	0.435	1.74	0.909	1.79	0.472
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.06	0.841	4.06	0.430	4.13	0.783	4.13	0.360	4.15	0.744	4.17	0.303	4.18	0.681	4.20	0.241
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.18	0.844	4.19	0.435	4.21	0.777	4.21	0.344	4.22	0.762	4.25	0.310	4.21	0.739	4.24	0.262
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.95	1.043	3.95	0.652	4.12	0.878	4.13	0.420	4.13	0.845	4.15	0.397	4.15	0.810	4.18	0.320
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.00	1.266	3.09	0.854	3.37	1.210	3.54	0.723	3.40	1.239	3.55	0.732	3.59	1.151	3.71	0.638
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.21	0.929	4.31	0.416	4.10	0.876	4.11	0.497	4.16	0.821	4.19	0.405	4.16	0.840	4.23	0.377	4.19	0.776	4.23	0.322
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.03	0.896	4.02	0.468	4.14	0.822	4.16	0.356	4.15	0.784	4.21	0.318	4.16	0.783	4.20	0.289
	(10)	この授業の水準に満足している	4.14	0.890	4.23	0.365	4.08	0.824	4.09	0.433	4.15	0.764	4.18	0.347	4.17	0.761	4.22	0.323	4.17	0.744	4.20	0.282
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.26	0.862	4.35	0.353	4.22	0.795	4.24	0.366	4.23	0.764	4.25	0.328	4.22	0.765	4.29	0.295	4.25	0.719	4.29	0.267
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.14	0.800	4.16	0.357	4.17	0.756	4.19	0.303	4.16	0.756	4.23	0.282	4.18	0.735	4.24	0.260
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.00	0.758	4.06	0.279
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.27	0.859	4.37	0.381	4.11	0.853	4.13	0.468	4.15	0.797	4.16	0.402	4.16	0.797	4.22	0.366	4.22	0.733	4.25	0.301

部門名　文学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.01	0.945	4.06	0.341	4.08	0.829	4.10	0.378	4.15	0.784	4.18	0.301	4.09	0.805	4.13	0.342	4.16	0.772	4.19	0.325
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.16	0.821	4.17	0.298	4.37	0.683	4.38	0.306	4.34	0.689	4.36	0.265	4.31	0.670	4.32	0.250	4.30	0.694	4.31	0.271
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.32	0.728	4.32	0.367	4.26	0.790	4.28	0.331	4.16	0.839	4.17	0.368	4.10	0.872	4.11	0.386
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.62	1.218	2.56	0.728	2.61	1.163	2.60	0.638	2.46	1.164	2.42	0.648	2.17	1.168	2.16	0.678
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.24	0.700	4.23	0.350	4.25	0.710	4.26	0.291	4.25	0.723	4.25	0.346	4.23	0.746	4.23	0.417
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.23	0.796	4.20	0.435	4.27	0.715	4.27	0.328	4.23	0.757	4.23	0.377	4.27	0.730	4.27	0.384
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.20	0.883	4.20	0.526	4.31	0.750	4.33	0.320	4.33	0.760	4.35	0.377	4.29	0.761	4.31	0.372
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.69	1.225	3.73	0.898	4.06	1.012	4.11	0.606	4.11	0.977	4.13	0.639	4.22	0.872	4.21	0.491
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.39	0.781	4.40	0.366	4.24	0.818	4.23	0.512	4.28	0.775	4.28	0.364	4.30	0.741	4.31	0.397	4.29	0.780	4.30	0.455
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.14	0.870	4.13	0.496	4.22	0.788	4.24	0.340	4.24	0.781	4.27	0.348	4.24	0.790	4.25	0.423
	(10)	この授業の水準に満足している	4.25	0.819	4.25	0.370	4.20	0.748	4.20	0.404	4.26	0.735	4.27	0.333	4.29	0.710	4.30	0.327	4.27	0.749	4.27	0.409
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.36	0.784	4.37	0.344	4.23	0.787	4.23	0.428	4.32	0.722	4.33	0.318	4.30	0.751	4.31	0.372	4.30	0.758	4.30	0.400
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.23	0.746	4.22	0.415	4.34	0.688	4.34	0.299	4.32	0.723	4.33	0.321	4.31	0.723	4.31	0.378
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.12	0.761	4.12	0.376
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.41	0.764	4.42	0.354	4.25	0.780	4.25	0.446	4.31	0.746	4.33	0.339	4.31	0.741	4.32	0.370	4.31	0.755	4.31	0.443

Ⅳ 理学部

① アンケート結果に基づく評価

1）集計データからわかること

Q1 では、シラバスなどにより、履修登録時に授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていたかどうかが問われている。理学部の科目ベースでの平均値は 3.92 であり、他学部の値（法 4.04 経 4.00 文 4.02 国社 3.98）に比べて若干低い値を示している。この傾向は従来と同様である。理学部では必修科目がかなりの割合を占めており、授業を選択する際の幅がより少ないため、平均値が他学部に比べて低くなると推測される。一方、経年変化では科目ベース平均値は講義と演習の双方とも 3 年間で最高であり、近年、学生が授業内容を事前に把握しようとする傾向が強くなっていることが伺える。

Q2 は授業への取り組みに対する意欲についての設問である。科目ベースでの平均値は講義が 3.95（法 3.97 経 3.94 文 4.02 国社 3.89）、演習が 4.32（法 4.30 経 4.41 文 4.30 国社 4.31）であり他学部と同程度である。演習の平均点について過去 5 年間の推移をみると、2019 年度以降は高止まり状態であり、演習への取り組みの重要性が学生に意識されていることを反映していると考える。

Q3 は、授業に対して毎週一定の時間を確保して取り組んだかどうかについての設問である。講義では回答者ベース平均値で、昨年度の 3.88 から 3.74 へと減少している。同様に、演習でも昨年度の 4.33 から 4.22 へと減少している。設問 Q3-2 に示されている、一週あたりの授業に使った平均時間に関する回答者ベースのポイント数は、講義で 2.40 から 2.19 に、演習で 3.61 から 3.15 に有意な減少を記録した。特に演習においてはポイント数が大幅に減少している。その主な要因は、4.5 時間以上の学習時間が、演習に関しては 2020 年度は回答者ベースで 40.65%であったものが、今年度は 21.53%にまで落ち込んでいることにある。2020 年度に比べて対面授業、対面演習の割合が増え、その結果遠隔授業での課題などに充てる時間が減少したことと関係があるものと考えられる。しかしながら、演習においては授業に取り組んだ時間の減少にもかかわらず、相関が高いはずの Q2 の授業に対する取り組む意欲については例年と同程度であり、顕著な減少傾向はみられない。これらの傾向を説明するために、コロナ禍の影響を定量化して解析することは困難かと考える。

Q4 は、授業方法やシラバスの記載内容の変更についての説明が十分であったかどうかの設問である。科目ベースでの平均値は、講義で 4.01、演習で 4.12 であり、昨年度とほぼ同じであった。

Q5 では、授業で配布した教材の学習効果が問われている。科目ベースでの理学部の平均値は 3.99 であり、昨年度 4.09 から少し下がった。しかしながらこの 5 年間に講義では数値 4、演習では数値 4.2 を多少上下するデータに大きな変動はなく、これらの数値から昨年度の特異性を読む取ることは難しい。

Q6 は、教員への質問の機会が設けられていたかについて問われている。科目ベースの平均値で、講義 3.97・演習 4.30 であり、昨年度の 4.00 と 4.28 と比較するとほぼ同じ比較的高いレベルを保っている。遠隔授業の場合でも LMS などを用いて教員への質問ができることから、顕著な変化は現れなかったのではないかと推測される。いずれにせよ理学部全体における学生にとっての教員のアクセシビリティーは担保されていると言えよう。

Q 7 は、学生どうしの意見交換の機会が設けられていたかについての設問である。特に、理学部の科目ベースの講義の平均値は、昨年度の 3.48 から今年度は 3.56 へ、科目ベースの演習の平均値は、昨年度の 4.30 から今年度は 4.33 へと増加している。この 5 年間を鑑みても単調増加しており、コロナ禍を底として、それ以降の対面授業の割合の増加による効果が反映されているとみてよいであろう。

Q8 では、教員が学習内容を理解しやすい形で伝えていたかどうかが問われている。理学部の科目ベースの平均でみると、過去 5 年において 3.90〜4.00 というほぼ同じ水準を保っている。しかしながら、講義については「2. あまりそうは思わない」と「1. 全くそう思わない」の合計が約 8 %程度であり、この数値は学期末において授業のペースから完全に脱落してしまった学生を表すものとして解釈されるべきであろう。

Q9 は、授業の学習量についての満足度の設問である。科目ベースでの平均値で、講義については昨年度の 3.94 に対して今年度は 3.89 と同程度であった。一方、演習においては昨年度の 4.10 とほぼ同等の 4.08 という比較的高い値である。この演習における傾向は、Q3 の学習に割り当てた時間数の減少に示されるように、遠隔形式による課題などの負担が多少軽減され、対面での実験・実習に集中して取り組む様子を反映しているかもしれない。

Q10 は、授業の水準への満足度についての設問である。科目ベースの平均値で、講義においては昨年度と同じ 4.08 を維持しており、過去 5 年間で見ても 3.80~4.00 の間を推移している。このことから、講義の水準に関しては、対面でも遠隔でもほぼ変わりはないと学生は判断していると解釈される。また、演習に関しては、科目ベースの平均値で過去 5 年における最低値であった 2020 年度の 3.81 からここ数年は従来のレベルの 4.00~4.10 に戻っている。理学部の場合、特に実験においては、遠隔授業で水準を維持することは難しいことがデータから裏付けされている。

Q11 は授業による知的好奇心の満足度や新しいものの見方の獲得について、Q12 は授業による知識や能力の向上について問われている。これらの設問も Q10 と同様にある種の授業の水準への満足度といってもよく、それらの間の相関はかなり高い。Q11 及び Q12 に関しては、講義と演習の双方において、科目ベース平均値の過去 5 年の推移は Q10 とほぼ同じであり、2022、2023 年度の値が、講義及び演習の双方において 4 点台に安定していることは、この設問に関する学生の満足度をある程度反映していると考えたい。

Q13 は、授業シラバスに対する総合評価である。科目ベース平均値で講義は 3.94、演習は 4.05 である。昨年度から始まったこの設問に関する解釈は今後のデータの蓄積を待つことになるが、差し当たってはシラバスにおける情報提供は機能していると考える。

Q14 は、授業に対する総合評価である。理学部では講義においては回答者ベース 3.96, 科目ベース平均値 4.00、演習においては回答者ベース 4.22, 科目ベース平均値 4.22 と安定した値を保っており、コロナ禍後の教育システムがコロナ以前のレベルもしくはそれ以上の満足度をもって学生に受け入れられていることが読み取れる。

２）今後の授業改善に向けて

遠隔授業がほぼ廃止され、対面での講義及び演習が通常となった現状においては、昨年度の数値は、理学部における教育がおおよそ機能していることが読み取れるデータとなった。一方で、授業形態の数値が演習形態の数値より、軒並み 0.2 ポイント程度低い状況は、後者のアクティブラーニングを介した学習の方が、学生には印象深いという、ある意味では想像に難くない結果が出ている。「講義は“パッシブラーニング”なのか」、「講義は“パッシブラーニング”に甘んじていいのか」というような問いは、教員側に上掲されるべきものかと考える。特に今年度から導入された 1 コマ 105 分体制は、聴講している学生の集中力にこれまでにない負担になっていることは間違いなく、講義と演習という古典的な区分を差し置いて、今後は新たな視点から学生にとっての主体的な学びの機会を最大化する試みを試

行錯誤して行くことが、各教員に求められていると認識されるべきである。

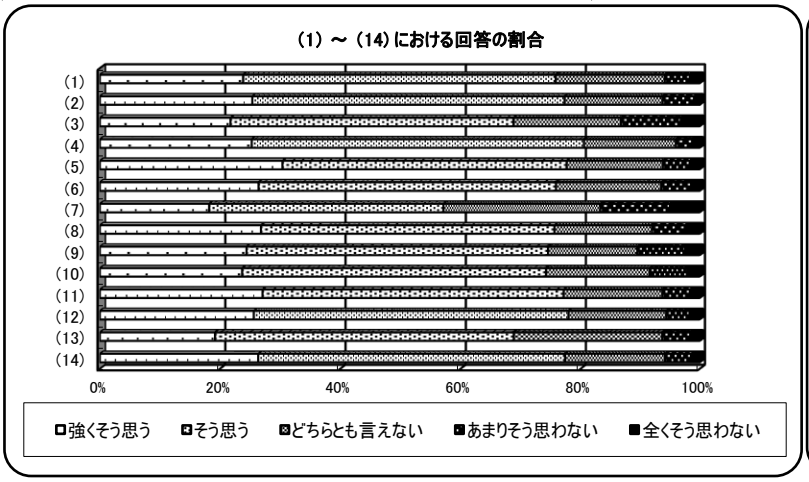
学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

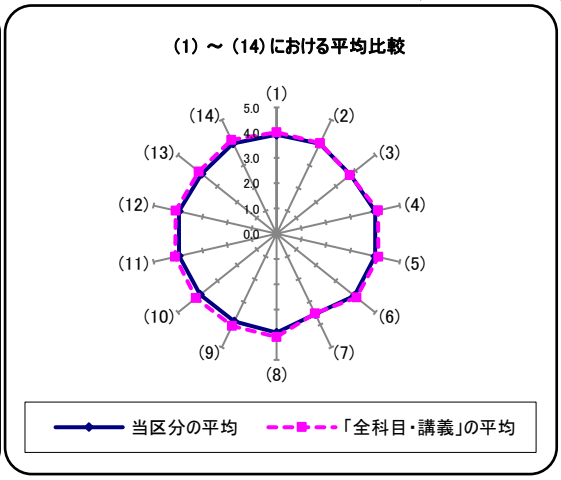
部門名　　理学部

形態名　　講義

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,850	6,272	45.44%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	677	1,476	520	120	47	10	2,850	3.92	0.856	3.95	0.239
		23.75%	51.79%	18.25%	4.21%	1.65%	0.35%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	722	1,478	468	151	27	4	2,850	3.95	0.845	3.98	0.249
		25.33%	51.86%	16.42%	5.30%	0.95%	0.14%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	618	1,338	511	285	91	7	2,850	3.74	1.010	3.76	0.357
		21.68%	46.95%	17.93%	10.00%	3.19%	0.25%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	99	131	325	610	564	738	2,467	2.19	1.140	2.17	0.510
		4.01%	5.31%	13.17%	24.73%	22.86%	29.91%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	717	1,569	438	82	32	12	2,850	4.01	0.790	4.02	0.271
		25.16%	55.05%	15.37%	2.88%	1.12%	0.42%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	864	1,345	460	128	48	5	2,850	4.00	0.893	3.99	0.348
		30.32%	47.19%	16.14%	4.49%	1.68%	0.18%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	751	1,407	503	143	41	5	2,850	3.94	0.877	3.97	0.271
		26.35%	49.37%	17.65%	5.02%	1.44%	0.18%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	517	1,107	743	332	143	8	2,850	3.54	1.072	3.56	0.401
		18.14%	38.84%	26.07%	11.65%	5.02%	0.28%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	762	1,387	466	157	71	7	2,850	3.92	0.933	3.95	0.379
		26.74%	48.67%	16.35%	5.51%	2.49%	0.25%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	694	1,426	426	228	70	6	2,850	3.86	0.957	3.89	0.313
		24.35%	50.04%	14.95%	8.00%	2.46%	0.21%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	250	45	–	–	–	3	298	–	–	–	–
		83.89%	15.10%	–	–	–	1.01%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	672	1,434	493	183	56	12	2,850	3.87	0.911	3.91	0.323
		23.58%	50.32%	17.30%	6.42%	1.96%	0.42%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	204	29	–	–	–	6	239	–	–	–	–
		85.36%	12.13%	–	–	–	2.51%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	767	1,419	470	131	47	16	2,850	3.96	0.877	4.01	0.314
		26.91%	49.79%	16.49%	4.60%	1.65%	0.56%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	727	1,486	466	112	48	11	2,850	3.96	0.854	3.99	0.281
		25.51%	52.14%	16.35%	3.93%	1.68%	0.39%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	545	1,412	707	134	45	7	2,850	3.80	0.856	3.84	0.286
		19.12%	49.54%	24.81%	4.70%	1.58%	0.25%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	749	1,451	477	124	42	7	2,850	3.96	0.859	4.00	0.337
		26.28%	50.91%	16.74%	4.35%	1.47%	0.25%	100.00%				





学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

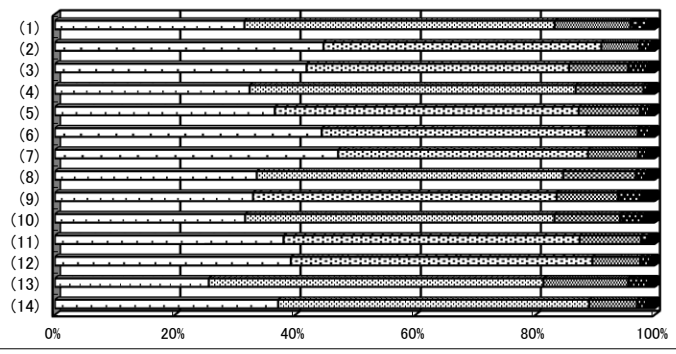
部門名　　理学部

形態名　　演習

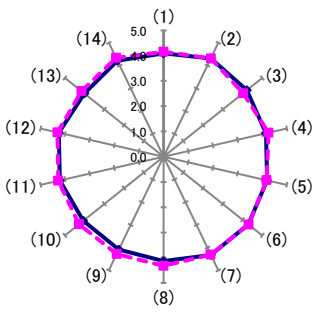
	合計	総履修者数	回答率
回答数	537	1,305	41.15%

質問項目		回答者ベース									科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	169	277	68	15	7	1	537	4.09	0.815	4.15	0.235
		31.47%	51.58%	12.66%	2.79%	1.30%	0.19%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	239	248	34	10	4	2	537	4.32	0.741	4.36	0.228
		44.51%	46.18%	6.33%	1.86%	0.74%	0.37%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	224	234	53	17	7	2	537	4.22	0.847	4.25	0.336
		41.71%	43.58%	9.87%	3.17%	1.30%	0.37%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	110	51	58	66	76	150	511	3.15	1.540	3.13	0.930
		21.53%	9.98%	11.35%	12.92%	14.87%	29.35%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	173	290	61	4	6	3	537	4.16	0.738	4.19	0.256
		32.22%	54.00%	11.36%	0.74%	1.12%	0.56%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	195	270	55	8	5	4	537	4.20	0.757	4.20	0.265
		36.31%	50.28%	10.24%	1.49%	0.93%	0.74%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	237	236	46	10	5	3	537	4.29	0.778	4.30	0.286
		44.13%	43.95%	8.57%	1.86%	0.93%	0.56%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	252	223	45	7	8	2	537	4.32	0.802	4.33	0.245
		46.93%	41.53%	8.38%	1.30%	1.49%	0.37%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	179	272	65	9	8	4	537	4.14	0.802	4.13	0.318
		33.33%	50.65%	12.10%	1.68%	1.49%	0.74%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	176	270	55	21	12	3	537	4.08	0.887	4.08	0.288
		32.77%	50.28%	10.24%	3.91%	2.23%	0.56%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	30	3	–	–	–	0	33	–	–	–	–
		90.91%	9.09%	–	–	–	0.00%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	169	275	59	21	10	3	537	4.07	0.866	4.08	0.344
		31.47%	51.21%	10.99%	3.91%	1.86%	0.56%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	25	6	–	–	–	0	31	–	–	–	–
		80.65%	19.35%	–	–	–	0.00%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	202	262	55	6	6	6	537	4.22	0.764	4.24	0.254
		37.62%	48.79%	10.24%	1.12%	1.12%	1.12%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	210	269	43	9	4	2	537	4.26	0.737	4.28	0.232
		39.11%	50.09%	8.01%	1.68%	0.74%	0.37%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	137	298	76	18	6	2	537	4.01	0.797	4.05	0.273
		25.51%	55.49%	14.15%	3.35%	1.12%	0.37%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	199	278	43	8	8	1	537	4.22	0.774	4.22	0.281
		37.06%	51.77%	8.01%	1.49%	1.49%	0.19%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　**部門名　理学部**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.600 (**)	1													
Q3	.466 (**)	.645 (**)	1												
Q3-2	.162 (**)	.242 (**)	.356 (**)	1											
Q4	.514 (**)	.486 (**)	.359 (**)	.096 (**)	1										
Q5	.467 (**)	.457 (**)	.377 (**)	.089 (**)	.614 (**)	1									
Q6	.458 (**)	.445 (**)	.348 (**)	.061 (*)	.585 (**)	.591 (**)	1								
Q7	.422 (**)	.398 (**)	.325 (**)	.101 (**)	.408 (**)	.389 (**)	.536 (**)	1							
Q8	.491 (**)	.476 (**)	.340 (**)	.106 (**)	.588 (**)	.617 (**)	.615 (**)	.446 (**)	1						
Q9	.440 (**)	.452 (**)	.316 (**)	.102 (**)	.496 (**)	.513 (**)	.509 (**)	.399 (**)	.607 (**)	1					
Q10	.494 (**)	.504 (**)	.343 (**)	.119 (**)	.521 (**)	.547 (**)	.522 (**)	.410 (**)	.644 (**)	.741 (**)	1				
Q11	.587 (**)	.571 (**)	.403 (**)	.167 (**)	.538 (**)	.551 (**)	.531 (**)	.434 (**)	.630 (**)	.575 (**)	.625 (**)	1			
Q12	.567 (**)	.593 (**)	.437 (**)	.157 (**)	.556 (**)	.579 (**)	.513 (**)	.396 (**)	.634 (**)	.580 (**)	.647 (**)	.783 (**)	1		
Q13	.583 (**)	.572 (**)	.437 (**)	.188 (**)	.564 (**)	.553 (**)	.532 (**)	.472 (**)	.608 (**)	.580 (**)	.635 (**)	.660 (**)	.708 (**)	1	
Q14	.549 (**)	.546 (**)	.402 (**)	.119 (**)	.619 (**)	.659 (**)	.622 (**)	.460 (**)	.762 (**)	.644 (**)	.710 (**)	.701 (**)	.724 (**)	.673 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　理学部**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.629 (**)	1													
Q3	.463 (**)	.621 (**)	1												
Q3-2	.128 (*)	.286 (**)	.480 (**)	1											
Q4	.583 (**)	.539 (**)	.404 (**)	.127 (*)	1										
Q5	.565 (**)	.564 (**)	.433 (**)	.202 (**)	.647 (**)	1									
Q6	.495 (**)	.494 (**)	.418 (**)	.118 (*)	.605 (**)	.622 (**)	1								
Q7	.467 (**)	.576 (**)	.404 (**)	.188 (**)	.570 (**)	.566 (**)	.655 (**)	1							
Q8	.487 (**)	.445 (**)	.353 (**)	.163 (**)	.572 (**)	.621 (**)	.588 (**)	.550 (**)	1						
Q9	.508 (**)	.405 (**)	.322 (**)	.029	.513 (**)	.557 (**)	.496 (**)	.420 (**)	.609 (**)	1					
Q10	.504 (**)	.479 (**)	.348 (**)	.158 (**)	.574 (**)	.592 (**)	.524 (**)	.481 (**)	.636 (**)	.730 (**)	1				
Q11	.651 (**)	.609 (**)	.477 (**)	.200 (**)	.639 (**)	.638 (**)	.569 (**)	.557 (**)	.609 (**)	.628 (**)	.664 (**)	1			
Q12	.566 (**)	.589 (**)	.488 (**)	.271 (**)	.553 (**)	.648 (**)	.522 (**)	.517 (**)	.604 (**)	.629 (**)	.652 (**)	.764 (**)	1		
Q13	.614 (**)	.577 (**)	.451 (**)	.189 (**)	.567 (**)	.580 (**)	.513 (**)	.518 (**)	.589 (**)	.585 (**)	.595 (**)	.678 (**)	.683 (**)	1	
Q14	.534 (**)	.536 (**)	.397 (**)	.154 (**)	.619 (**)	.667 (**)	.647 (**)	.594 (**)	.723 (**)	.679 (**)	.722 (**)	.760 (**)	.770 (**)	.678 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　理学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.66	1.063	3.70	0.341	3.83	0.878	3.84	0.293	3.91	0.783	3.92	0.260	3.87	0.864	3.88	0.283	3.92	0.856	3.95	0.239
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.61	1.042	3.64	0.359	4.10	0.769	4.10	0.276	4.00	0.785	4.00	0.286	3.96	0.883	3.97	0.281	3.95	0.845	3.98	0.249
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.17	0.779	4.17	0.286	3.99	0.830	3.98	0.328	3.88	0.957	3.88	0.381	3.74	1.010	3.76	0.357
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.73	1.157	2.73	0.713	2.55	1.100	2.58	0.641	2.40	1.155	2.32	0.574	2.19	1.140	2.17	0.510
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	3.95	0.886	3.95	0.398	3.98	0.778	3.98	0.310	4.03	0.798	4.01	0.301	4.01	0.790	4.02	0.271
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.02	0.931	4.01	0.506	4.02	0.862	4.02	0.388	4.09	0.849	4.09	0.373	4.00	0.893	3.99	0.348
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.88	0.989	3.87	0.491	3.92	0.892	3.94	0.378	3.99	0.849	4.00	0.377	3.94	0.877	3.97	0.271
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.98	1.158	3.02	0.521	3.35	1.071	3.36	0.401	3.47	1.092	3.48	0.416	3.54	1.072	3.56	0.401
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.87	1.043	3.92	0.478	3.91	0.989	3.91	0.561	3.90	0.908	3.90	0.419	3.92	0.931	3.98	0.412	3.92	0.933	3.95	0.379
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.87	0.910	3.90	0.407	3.91	0.854	3.91	0.343	3.90	0.945	3.94	0.378	3.86	0.957	3.89	0.313
	(10)	この授業の水準に満足している	3.77	1.026	3.82	0.438	3.89	0.903	3.90	0.447	3.89	0.865	3.90	0.350	3.93	0.870	3.96	0.349	3.87	0.911	3.91	0.323
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.86	1.010	3.91	0.410	3.95	0.869	3.95	0.389	3.96	0.830	3.97	0.334	3.97	0.881	4.00	0.311	3.96	0.877	4.01	0.314
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	3.95	0.865	3.95	0.355	3.99	0.793	4.00	0.320	4.02	0.834	4.02	0.279	3.96	0.854	3.99	0.281
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.80	0.856	3.84	0.286
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.96	0.960	4.02	0.446	3.92	0.929	3.92	0.478	3.96	0.845	3.96	0.379	3.97	0.867	4.00	0.353	3.96	0.859	4.00	0.337

部門名　理学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.85	0.999	3.86	0.236	3.83	0.917	3.86	0.361	3.98	0.865	4.00	0.286	4.01	0.835	4.03	0.267	4.09	0.815	4.15	0.235
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.07	0.907	4.10	0.301	4.24	0.761	4.28	0.310	4.28	0.760	4.30	0.256	4.35	0.776	4.38	0.234	4.32	0.741	4.36	0.228
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.42	0.755	4.43	0.298	4.29	0.793	4.31	0.272	4.33	0.831	4.36	0.215	4.22	0.847	4.25	0.336
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	4.05	1.142	4.06	0.724	3.52	1.455	3.65	0.850	3.61	1.432	3.68	0.758	3.15	1.540	3.13	0.930
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	3.89	0.816	3.96	0.359	4.00	0.827	4.02	0.321	4.14	0.720	4.12	0.387	4.16	0.738	4.19	0.256
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.02	0.838	4.05	0.350	4.11	0.845	4.11	0.318	4.25	0.753	4.26	0.316	4.20	0.757	4.20	0.265
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.94	0.879	4.02	0.415	4.17	0.836	4.21	0.314	4.25	0.829	4.28	0.415	4.29	0.778	4.30	0.286
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.21	1.216	3.36	0.755	4.08	0.953	4.13	0.434	4.31	0.811	4.30	0.438	4.32	0.802	4.33	0.245
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.07	0.885	4.09	0.260	3.87	0.902	3.93	0.493	4.07	0.829	4.08	0.308	4.15	0.806	4.18	0.400	4.14	0.802	4.13	0.318
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.71	0.959	3.73	0.441	3.97	0.913	3.98	0.349	4.07	0.883	4.10	0.373	4.08	0.887	4.08	0.288
	(10)	この授業の水準に満足している	4.00	0.931	4.03	0.323	3.76	0.874	3.81	0.400	4.04	0.875	4.06	0.310	4.16	0.777	4.16	0.442	4.07	0.866	4.08	0.344
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.14	0.890	4.14	0.302	3.96	0.819	4.00	0.375	4.13	0.809	4.15	0.318	4.23	0.764	4.24	0.351	4.22	0.764	4.24	0.254
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	3.94	0.850	4.02	0.398	4.15	0.746	4.18	0.254	4.24	0.736	4.26	0.295	4.26	0.737	4.28	0.232
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.01	0.797	4.05	0.273
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.16	0.865	4.17	0.272	3.85	0.867	3.92	0.412	4.14	0.764	4.16	0.303	4.23	0.775	4.21	0.407	4.22	0.774	4.22	0.281

Ⅴ　国際社会科学部

１．集計データからわかること

Ａ．講義科目

講義科目の令和 5（2023）年度アンケートの実施率は 98.78%となり前年度（98.73%）より上昇した。アンケートの回答率は 30.90%であり、前年度（22.09%）よりも高くなった。

講義科目の全学平均値との比較では継続的学習度（Q3）（3.69）、配布された教材の評価（Q5）（4.08）、授業内容の量の適切さ（Q9）（4.00）、および総合評価（Q14）（4.06）については全学平均値を若干下回ったが、履修者同士の意見交換の機会（Q7）（3.80）については全学平均値を上回った。

前年度との比較においては、履修者同士の意見交換の機会（Q7）（3.80）において前年度値（3.50）を上回ったが、継続的学習度（Q3）（3.69）および各授業の全学習時間（Q3-2）（1.92）は前年度値と同等な数字である。オンライン授業から対面授業に切り替わることで受講生同士の交流の機会は増えたものの、講義科目の修学にかける時間が減ったことが推測される。

表Ⅴ－１　国際社会科学部　講義科目の授業評価アンケート平均値（科目ベース）

		2021 年度		2022 年度		2023年度	
		科目ベース		科目ベース		科目ベース	
番号	質問内容	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.08	0.240	3.96	0.253	4.04	0.232
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.03	0.310	3.88	0.316	3.96	0.271
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	3.99	0.332	3.64	0.358	3.69	0.356
(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上 4.5 時間未満 3:2 時間以上 3 時間未満　2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満	2.21	0.379	1.90	0.342	1.92	0.375

(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	4.10	0.337	4.04	0.290	4.12	0.253
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	4.13	0.347	3.97	0.391	4.08	0.280
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	4.05	0.416	3.99	0.413	4.04	0.385
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	3.32	0.635	3.50	0.661	3.80	0.524
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.04	0.409	3.95	0.423	4.05	0.399
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	4.00	0.348	3.87	0.409	4.00	0.338
(10)	この授業の水準に満足している	4.02	0.345	3.94	0.383	4.00	0.343
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.06	0.333	3.97	0.339	4.07	0.298
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	4.09	0.263	3.97	0.320	4.04	0.289
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	－	－	－	－	3.95	0.269
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.02	0.378	3.92	0.410	4.06	0.371

Ｂ．演習科目

今年度の演習科目のアンケート実施率は 97.44%となり前年度（97.67%）から少し減少した。しかしながらアンケートの回答率は 64.77%であり、前年度の回答率（43.17%）からは改善した。

演習科目の全学平均値との比較では、シラバス等を通じた目標理解（Q1）（3.82）における評価が全学平均値を大きく下回った。シラバスの改善や教材の使用意図などをより明確にすることで学生との相互理解を図ることが望まれる。一方で履修者同士の意見交換の機会（Q7）（4.48）においては全学平均値を若干上回った。

前年度との比較では学習時間（Q3-2）（2.19）が前年度値（2.26）をさらに下回り、教材への評価（Q5）（4.04）および総合評価（Q14）（4.20）は前年度と同等な数字である。2023 年度は全ての演習科目が対面で行われた。このことが学習時間の低下と教材への満足度および高い総合評価につながった可能性が考えられる。

表Ｖ－２　国際社会科学部　演習科目の授業評価アンケート平均値（科目ベース）

		2021 年度		2022 年度		2023年度	
		科目ベース		科目ベース		科目ベース	
番号	質問内容	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.75	0.537	3.81	0.515	3.82	0.397
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.28	0.323	4.30	0.361	4.23	0.303
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	4.03	0.377	4.19	0.261	4.10	0.357
(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上 4.5 時間未満 3:2 時間以上 3 時間未満 2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満	2.65	0.577	2.26	0.683	2.19	0.499
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	4.09	0.372	4.18	0.421	4.18	0.322
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	3.84	0.494	4.07	0.416	4.04	0.445

(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	4.31	0.371	4.29	0.338	4.34	0.385
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	4.28	0.609	4.44	0.361	4.48	0.260
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.19	0.505	4.19	0.516	4.21	0.421
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	4.01	0.461	4.17	0.484	4.05	0.440
(10)	この授業の水準に満足している	4.13	0.425	4.22	0.352	4.13	0.324
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.11	0.482	4.14	0.417	4.08	0.443
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	4.14	0.387	4.21	0.420	4.09	0.388
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	3.97	0.324
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.02	0.470	4.21	0.527	4.20	0.366

C．英語科目

今年度の英語科目のアンケート実施率は 98.45%となり前年度（93.42%）から改善した。また、アンケートの回答率は 66.53%であり、前年度の回答率（54.63%）から大幅に改善した。

語学科目の全学平均との比較では、学習時間（Q3-2）（2.39）と授業に関する履修者同士の意見交換の機会（Q7）（4.45）が全学平均値を大きく上回った。それ以外の項目では全学平均に近い値となった。

前年度との比較においては学習時間（Q3-2）（2.39）が前年度値（2.32）と同様であり、継続的学習度（Q3）（4.28）も前年度値（4.12）を若干改善した。2023 年度は全ての英語科目が対面授業になったことが、比較的に短い予習・復習時間につながった可能性が考えられる。

表Ⅴ－3　国際社会科学部　英語科目の授業評価アンケート平均値（科目ベース）

		2021 年度		2022 年度		2023年度	
		科目ベース		科目ベース		科目ベース	
番号	質問内容	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.98	0.325	3.88	0.356	4.05	0.334
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.38	0.290	4.19	0.363	4.32	0.277
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	4.38	0.258	4.12	0.405	4.28	0.301
(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上 4.5 時間未満 3:2 時間以上 3 時間未満　2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満	2.72	0.636	2.32	0.631	2.39	0.578
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	4.02	0.410	4.14	0.432	4.16	0.456
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	4.14	0.356	4.16	0.463	4.19	0.397

(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	4.34	0.354	4.32	0.360	4.32	0.405
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	4.40	0.327	4.43	0.343	4.45	0.350
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.19	0.477	4.27	0.450	4.29	0.481
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	4.06	0.434	4.13	0.448	4.16	0.427
(10)	この授業の水準に満足している	4.14	0.425	4.17	0.431	4.23	0.394
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.11	0.303	4.09	0.371	4.12	0.386
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	4.19	0.359	4.15	0.417	4.21	0.380
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	4.09	0.372
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.15	0.408	4.18	0.458	4.26	0.454

２．今後の授業改善に向けて

2023 年度は、ほとんど全ての本学部開講科目が対面授業となった。前年度に引き続き今年度もアンケートの回答率がオンラインアンケート導入前の 2019 年度と比較して大幅に低下した。そのため得られたアンケート結果の代表性には疑問が残るが、全体的な評価を見ると改善の傾向がみられる。

上記をふまえた上で今年度の結果を見ると、多くの項目においておおむね全学平均値に近い評価が得られており、適切な教育を行う努力がなされたことが推測される。徐々にコロナ前と同様の授業内容に戻り、学生同士のコミュニケーションや学習度が改善しているように考えられる。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

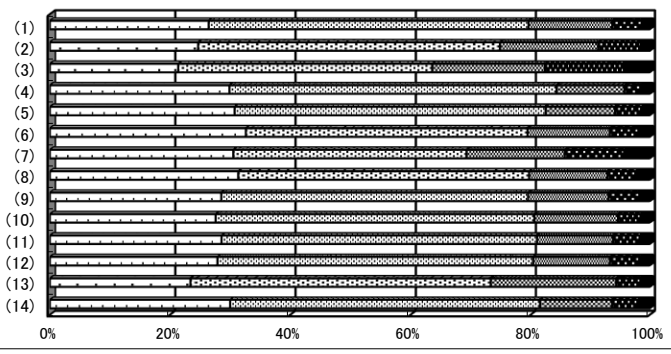
部門名　　国際社会科学部

形態名　　講義

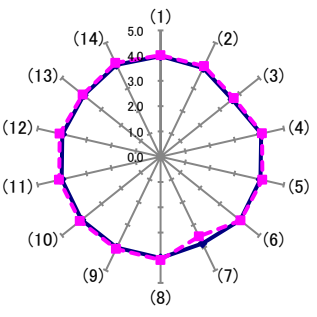
	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,784	9,011	30.90%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	734	1,478	391	138	37	6	2,784	3.98	0.851	4.04	0.232
		26.36%	53.09%	14.04%	4.96%	1.33%	0.22%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	685	1,394	457	198	43	7	2,784	3.89	0.908	3.96	0.271
		24.60%	50.07%	16.42%	7.11%	1.54%	0.25%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	593	1,173	522	369	120	7	2,784	3.63	1.089	3.69	0.356
		21.30%	42.13%	18.75%	13.25%	4.31%	0.25%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	57	68	202	479	685	797	2,288	1.88	1.053	1.92	0.375
		2.49%	2.97%	8.83%	20.94%	29.94%	34.83%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	827	1,508	315	78	40	16	2,784	4.09	0.805	4.12	0.253
		29.71%	54.17%	11.31%	2.80%	1.44%	0.57%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	852	1,436	324	121	40	11	2,784	4.06	0.852	4.08	0.280
		30.60%	51.58%	11.64%	4.35%	1.44%	0.40%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	904	1,300	383	134	52	11	2,784	4.03	0.908	4.04	0.385
		32.47%	46.70%	13.76%	4.81%	1.87%	0.40%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	846	1,075	455	276	120	12	2,784	3.81	1.106	3.80	0.524
		30.39%	38.61%	16.34%	9.91%	4.31%	0.43%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	869	1,342	365	130	67	11	2,784	4.02	0.922	4.05	0.399
		31.21%	48.20%	13.11%	4.67%	2.41%	0.40%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	792	1,418	376	144	48	6	2,784	3.99	0.885	4.00	0.338
		28.45%	50.93%	13.51%	5.17%	1.72%	0.22%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	157	30	-	-	-	5	192	-	-	-	-
		81.77%	15.63%	-	-	-	2.60%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	766	1,473	390	105	43	7	2,784	4.01	0.841	4.00	0.343
		27.51%	52.91%	14.01%	3.77%	1.54%	0.25%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	86	51	-	-	-	11	148	-	-	-	-
		58.11%	34.46%	-	-	-	7.43%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	792	1,456	354	124	47	11	2,784	4.02	0.863	4.07	0.298
		28.45%	52.30%	12.72%	4.45%	1.69%	0.40%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	773	1,456	358	137	48	12	2,784	4.00	0.873	4.04	0.289
		27.77%	52.30%	12.86%	4.92%	1.72%	0.43%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	648	1,383	583	113	43	14	2,784	3.90	0.858	3.95	0.269
		23.28%	49.68%	20.94%	4.06%	1.54%	0.50%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	832	1,431	335	119	57	10	2,784	4.03	0.881	4.06	0.371
		29.89%	51.40%	12.03%	4.27%	2.05%	0.36%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

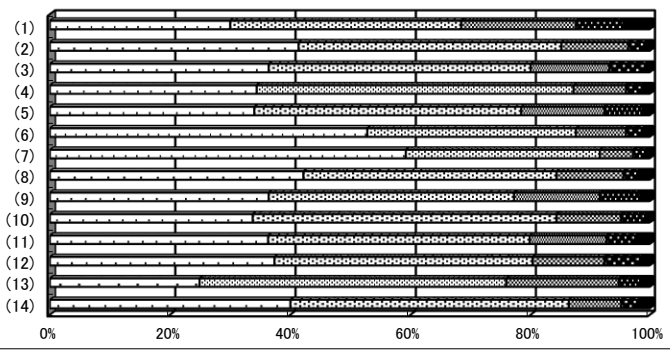
部門名　　国際社会科学部

形態名　　演習

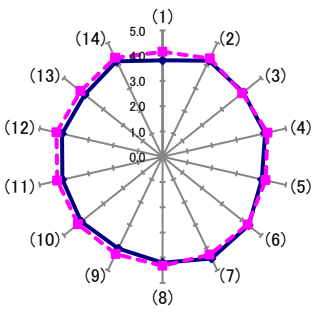
	合計	総履修者数	回答率
回答数	250	386	64.77%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	75	96	48	20	11	0	250	3.82	1.086	3.82	0.397
		30.00%	38.40%	19.20%	8.00%	4.40%	0.00%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	103	109	28	7	2	1	250	4.22	0.815	4.23	0.303
		41.20%	43.60%	11.20%	2.80%	0.80%	0.40%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	91	109	33	15	2	0	250	4.09	0.896	4.10	0.357
		36.40%	43.60%	13.20%	6.00%	0.80%	0.00%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	8	14	31	52	49	79	233	2.22	1.145	2.19	0.499
		3.43%	6.01%	13.30%	22.32%	21.03%	33.91%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	86	132	22	7	3	0	250	4.16	0.792	4.18	0.322
		34.40%	52.80%	8.80%	2.80%	1.20%	0.00%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	85	111	35	16	3	0	250	4.04	0.920	4.04	0.445
		34.00%	44.40%	14.00%	6.40%	1.20%	0.00%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	132	87	21	7	3	0	250	4.35	0.843	4.34	0.385
		52.80%	34.80%	8.40%	2.80%	1.20%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	148	81	14	5	2	0	250	4.47	0.761	4.48	0.260
		59.20%	32.40%	5.60%	2.00%	0.80%	0.00%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	105	105	28	6	5	1	250	4.20	0.880	4.21	0.421
		42.00%	42.00%	11.20%	2.40%	2.00%	0.40%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	91	102	36	17	4	0	250	4.04	0.963	4.05	0.440
		36.40%	40.80%	14.40%	6.80%	1.60%	0.00%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	20	1	–	–	–	0	21	–	–	–	–
		95.24%	4.76%	–	–	–	0.00%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	84	126	27	10	2	1	250	4.12	0.816	4.13	0.324
		33.60%	50.40%	10.80%	4.00%	0.80%	0.40%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	8	3	–	–	–	1	12	–	–	–	–
		66.67%	25.00%	–	–	–	8.33%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	90	108	32	12	6	2	250	4.06	0.950	4.08	0.443
		36.00%	43.20%	12.80%	4.80%	2.40%	0.80%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	93	107	30	15	4	1	250	4.08	0.936	4.09	0.388
		37.20%	42.80%	12.00%	6.00%	1.60%	0.40%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	62	127	47	9	4	1	250	3.94	0.852	3.97	0.324
		24.80%	50.80%	18.80%	3.60%	1.60%	0.40%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	100	116	22	7	5	0	250	4.20	0.863	4.20	0.366
		40.00%	46.40%	8.80%	2.80%	2.00%	0.00%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

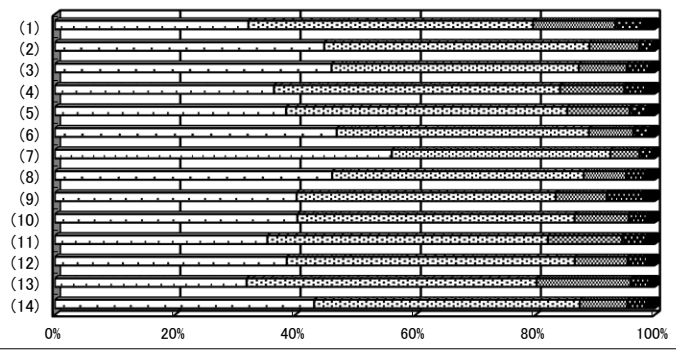
部門名　　国際社会科学部

形態名　　語学

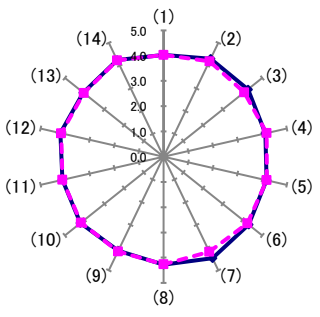
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,604	2,411	66.53%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	515	758	221	72	34	4	1,604	4.03	0.912	4.05	0.334
		32.11%	47.26%	13.78%	4.49%	2.12%	0.25%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	718	709	134	35	7	1	1,604	4.31	0.751	4.32	0.277
		44.76%	44.20%	8.35%	2.18%	0.44%	0.06%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	733	657	128	59	16	11	1,604	4.28	0.839	4.28	0.301
		45.70%	40.96%	7.98%	3.68%	1.00%	0.69%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	74	82	235	361	242	524	1,518	2.38	1.156	2.39	0.578
		4.87%	5.40%	15.48%	23.78%	15.94%	34.52%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	582	761	172	56	26	7	1,604	4.14	0.860	4.16	0.456
		36.28%	47.44%	10.72%	3.49%	1.62%	0.44%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	615	749	168	44	23	5	1,604	4.18	0.835	4.19	0.397
		38.34%	46.70%	10.47%	2.74%	1.43%	0.31%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	750	673	119	41	17	4	1,604	4.31	0.803	4.32	0.405
		46.76%	41.96%	7.42%	2.56%	1.06%	0.25%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	896	584	78	33	8	5	1,604	4.46	0.728	4.45	0.350
		55.86%	36.41%	4.86%	2.06%	0.50%	0.31%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	735	669	113	50	27	10	1,604	4.28	0.857	4.29	0.481
		45.82%	41.71%	7.04%	3.12%	1.68%	0.62%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	643	690	137	100	29	5	1,604	4.14	0.940	4.16	0.427
		40.09%	43.02%	8.54%	6.23%	1.81%	0.31%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	96	29	–	–	–	4	129	–	–	–	–
		74.42%	22.48%	–	–	–	3.10%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	644	738	145	48	22	7	1,604	4.21	0.833	4.23	0.394
		40.15%	46.01%	9.04%	2.99%	1.37%	0.44%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	31	36	–	–	–	3	70	–	–	–	–
		44.29%	51.43%	–	–	–	4.29%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	563	744	199	62	25	11	1,604	4.10	0.875	4.12	0.386
		35.10%	46.38%	12.41%	3.87%	1.56%	0.69%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	617	768	142	52	21	4	1,604	4.19	0.828	4.21	0.380
		38.47%	47.88%	8.85%	3.24%	1.31%	0.25%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	510	772	252	50	15	5	1,604	4.07	0.826	4.09	0.372
		31.80%	48.13%	15.71%	3.12%	0.94%	0.31%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	689	708	127	51	23	6	1,604	4.24	0.842	4.26	0.454
		42.96%	44.14%	7.92%	3.18%	1.43%	0.37%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　部門名　国際社会学部
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.571 (**)	1													
Q3	.436 (**)	.633 (**)	1												
Q3-2	.174 (**)	.238 (**)	.373 (**)	1											
Q4	.527 (**)	.498 (**)	.354 (**)	.149 (**)	1										
Q5	.492 (**)	.507 (**)	.381 (**)	.166 (**)	.671 (**)	1									
Q6	.402 (**)	.405 (**)	.289 (**)	.127 (**)	.592 (**)	.588 (**)	1								
Q7	.336 (**)	.367 (**)	.283 (**)	.183 (**)	.422 (**)	.407 (**)	.496 (**)	1							
Q8	.488 (**)	.491 (**)	.357 (**)	.164 (**)	.660 (**)	.682 (**)	.607 (**)	.434 (**)	1						
Q9	.497 (**)	.467 (**)	.334 (**)	.152 (**)	.585 (**)	.610 (**)	.507 (**)	.375 (**)	.662 (**)	1					
Q10	.513 (**)	.517 (**)	.367 (**)	.145 (**)	.623 (**)	.651 (**)	.560 (**)	.401 (**)	.725 (**)	.730 (**)	1				
Q11	.550 (**)	.582 (**)	.440 (**)	.163 (**)	.609 (**)	.655 (**)	.526 (**)	.403 (**)	.677 (**)	.612 (**)	.700 (**)	1			
Q12	.561 (**)	.608 (**)	.460 (**)	.158 (**)	.623 (**)	.662 (**)	.529 (**)	.400 (**)	.688 (**)	.628 (**)	.720 (**)	.810 (**)	1		
Q13	.561 (**)	.604 (**)	.451 (**)	.178 (**)	.609 (**)	.620 (**)	.538 (**)	.443 (**)	.649 (**)	.598 (**)	.689 (**)	.705 (**)	.757 (**)	1	
Q14	.530 (**)	.560 (**)	.394 (**)	.139 (**)	.668 (**)	.693 (**)	.604 (**)	.420 (**)	.790 (**)	.679 (**)	.768 (**)	.756 (**)	.770 (**)	.721 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　国際社会学部**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.503 (**)	1													
Q3	.388 (**)	.559 (**)	1												
Q3-2	.201 (*)	.161 (*)	.413 (**)	1											
Q4	.460 (**)	.551 (**)	.274 (**)	.060	1										
Q5	.481 (**)	.544 (**)	.313 (**)	.081	.692 (**)	1									
Q6	.369 (**)	.497 (**)	.262 (**)	.041	.617 (**)	.621 (**)	1								
Q7	.314 (**)	.501 (**)	.280 (**)	-.040	.597 (**)	.572 (**)	.697 (**)	1							
Q8	.496 (**)	.530 (**)	.265 (**)	.056	.761 (**)	.717 (**)	.742 (**)	.671 (**)	1						
Q9	.441 (**)	.505 (**)	.262 (**)	.002	.656 (**)	.652 (**)	.548 (**)	.558 (**)	.723 (**)	1					
Q10	.498 (**)	.561 (**)	.348 (**)	.120	.653 (**)	.675 (**)	.591 (**)	.527 (**)	.712 (**)	.754 (**)	1				
Q11	.534 (**)	.636 (**)	.386 (**)	.169 (*)	.688 (**)	.685 (**)	.616 (**)	.572 (**)	.726 (**)	.697 (**)	.735 (**)	1			
Q12	.525 (**)	.644 (**)	.408 (**)	.144	.633 (**)	.679 (**)	.549 (**)	.543 (**)	.668 (**)	.641 (**)	.683 (**)	.862 (**)	1		
Q13	.545 (**)	.644 (**)	.466 (**)	.179 (*)	.682 (**)	.665 (**)	.545 (**)	.547 (**)	.686 (**)	.680 (**)	.713 (**)	.781 (**)	.762 (**)	1	
Q14	.506 (**)	.621 (**)	.331 (**)	.104	.758 (**)	.715 (**)	.628 (**)	.660 (**)	.791 (**)	.726 (**)	.742 (**)	.821 (**)	.757 (**)	.750 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　国際社会学部**
形態名　語学

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.517 (**)	1													
Q3	.422 (**)	.634 (**)	1												
Q3-2	.141 (**)	.118 (**)	.256 (**)	1											
Q4	.452 (**)	.474 (**)	.369 (**)	.098 (**)	1										
Q5	.421 (**)	.460 (**)	.331 (**)	.085 (**)	.667 (**)	1									
Q6	.373 (**)	.413 (**)	.282 (**)	.051	.636 (**)	.614 (**)	1								
Q7	.315 (**)	.421 (**)	.281 (**)	.017	.513 (**)	.541 (**)	.624 (**)	1							
Q8	.375 (**)	.425 (**)	.270 (**)	.023	.691 (**)	.642 (**)	.703 (**)	.628 (**)	1						
Q9	.424 (**)	.370 (**)	.237 (**)	−.022	.565 (**)	.567 (**)	.551 (**)	.489 (**)	.661 (**)	1					
Q10	.453 (**)	.504 (**)	.344 (**)	.033	.589 (**)	.589 (**)	.576 (**)	.536 (**)	.667 (**)	.681 (**)	1				
Q11	.479 (**)	.499 (**)	.392 (**)	.106 (**)	.573 (**)	.608 (**)	.557 (**)	.485 (**)	.603 (**)	.559 (**)	.674 (**)	1			
Q12	.506 (**)	.544 (**)	.450 (**)	.084 (**)	.575 (**)	.602 (**)	.545 (**)	.478 (**)	.592 (**)	.539 (**)	.646 (**)	.780 (**)	1		
Q13	.573 (**)	.573 (**)	.434 (**)	.104 (**)	.600 (**)	.597 (**)	.558 (**)	.488 (**)	.581 (**)	.581 (**)	.657 (**)	.698 (**)	.720 (**)	1	
Q14	.485 (**)	.519 (**)	.362 (**)	.046	.669 (**)	.671 (**)	.659 (**)	.614 (**)	.754 (**)	.678 (**)	.758 (**)	.714 (**)	.714 (**)	.703 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　国際社会科学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2019年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2019年度 科目ベース 部門別形態別平均	2019年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2020年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2020年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2020年度 科目ベース 部門別形態別平均	2020年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2021年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2021年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2021年度 科目ベース 部門別形態別平均	2021年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2022年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2022年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2022年度 科目ベース 部門別形態別平均	2022年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2023年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2023年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2023年度 科目ベース 部門別形態別平均	2023年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.89	1.015	3.87	0.262	4.02	0.778	3.99	0.268	4.07	0.790	4.08	0.240	3.92	0.844	3.96	0.253	3.98	0.851	4.04	0.232
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.74	1.030	3.74	0.302	4.17	0.756	4.12	0.300	4.03	0.840	4.03	0.310	3.82	0.922	3.88	0.316	3.89	0.908	3.96	0.271
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.20	0.813	4.12	0.356	4.00	0.919	3.99	0.332	3.61	1.051	3.64	0.358	3.63	1.089	3.69	0.356
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.38	0.983	2.42	0.403	2.25	1.016	2.21	0.379	1.85	0.889	1.90	0.342	1.88	1.053	1.92	0.375
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	3.99	0.857	3.95	0.395	4.11	0.782	4.10	0.337	4.00	0.806	4.04	0.290	4.09	0.805	4.12	0.253
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.05	0.971	3.98	0.558	4.15	0.826	4.13	0.347	4.00	0.868	3.97	0.391	4.06	0.852	4.08	0.280
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.90	0.951	3.84	0.486	4.03	0.910	4.05	0.416	3.94	0.929	3.99	0.413	4.03	0.908	4.04	0.385
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.76	1.261	2.82	0.572	3.31	1.256	3.32	0.635	3.48	1.235	3.50	0.661	3.81	1.106	3.80	0.524
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.11	0.947	4.12	0.313	3.90	1.036	3.84	0.612	4.07	0.878	4.04	0.409	3.94	0.949	3.95	0.423	4.02	0.922	4.05	0.399
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.95	0.930	3.87	0.468	4.04	0.875	4.00	0.348	3.88	0.933	3.87	0.409	3.99	0.885	4.00	0.338
	(10)	この授業の水準に満足している	3.99	0.936	3.97	0.310	3.95	0.886	3.88	0.485	4.07	0.808	4.02	0.345	3.94	0.846	3.94	0.383	4.01	0.841	4.00	0.343
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.09	0.923	4.07	0.291	4.05	0.882	3.96	0.402	4.10	0.822	4.06	0.333	3.96	0.856	3.97	0.339	4.02	0.863	4.07	0.298
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.04	0.866	3.96	0.361	4.10	0.821	4.09	0.263	3.95	0.872	3.97	0.320	4.00	0.873	4.04	0.289
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.90	0.858	3.95	0.269
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.14	0.898	4.12	0.305	3.94	0.931	3.85	0.500	4.05	0.854	4.02	0.378	3.92	0.917	3.92	0.410	4.03	0.881	4.06	0.371

部門名　国際社会科学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2019年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2019年度 科目ベース 部門別形態別平均	2019年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2020年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2020年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2020年度 科目ベース 部門別形態別平均	2020年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2021年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2021年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2021年度 科目ベース 部門別形態別平均	2021年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2022年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2022年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2022年度 科目ベース 部門別形態別平均	2022年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差	2023年度 回答者ベース 学生回答単純集計平均	2023年度 回答者ベース 学生回答単純集計標準偏差	2023年度 科目ベース 部門別形態別平均	2023年度 科目ベース 部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.91	1.075	3.94	0.546	3.58	0.936	3.55	0.625	3.74	1.097	3.75	0.537	3.74	1.052	3.81	0.515	3.82	1.086	3.82	0.397
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.18	0.860	4.19	0.357	4.33	0.760	4.31	0.452	4.26	0.717	4.28	0.323	4.26	0.799	4.30	0.361	4.22	0.815	4.23	0.303
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.08	0.813	4.04	0.518	4.03	0.945	4.03	0.377	4.19	0.802	4.19	0.261	4.09	0.896	4.10	0.357
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.48	1.273	2.46	0.841	2.59	1.077	2.65	0.577	2.25	1.090	2.26	0.683	2.22	1.145	2.19	0.499
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.00	0.970	3.98	0.507	4.10	0.809	4.09	0.372	4.14	0.894	4.18	0.421	4.16	0.792	4.18	0.322
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.02	0.852	3.97	0.532	3.83	0.949	3.84	0.494	4.08	0.854	4.07	0.416	4.04	0.920	4.04	0.445
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.31	0.919	4.29	0.511	4.32	0.756	4.31	0.371	4.27	0.812	4.29	0.338	4.35	0.843	4.34	0.385
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.15	0.937	4.15	0.786	4.30	0.911	4.28	0.609	4.39	0.875	4.44	0.361	4.47	0.761	4.48	0.260
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.40	0.789	4.41	0.343	4.15	0.978	4.13	0.708	4.16	0.955	4.19	0.505	4.16	0.939	4.19	0.516	4.20	0.880	4.21	0.421
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.92	1.026	3.92	0.641	4.00	0.987	4.01	0.461	4.12	0.948	4.17	0.484	4.04	0.963	4.05	0.440
	(10)	この授業の水準に満足している	4.27	0.817	4.27	0.333	4.04	0.937	4.04	0.682	4.12	0.803	4.13	0.425	4.20	0.757	4.22	0.352	4.12	0.816	4.13	0.324
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.33	0.824	4.34	0.377	4.10	0.823	4.08	0.460	4.08	0.904	4.11	0.482	4.10	0.859	4.14	0.417	4.06	0.950	4.08	0.443
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.15	0.751	4.15	0.416	4.11	0.828	4.14	0.387	4.16	0.807	4.21	0.420	4.08	0.936	4.09	0.388
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.94	0.852	3.97	0.324
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.40	0.766	4.41	0.310	4.08	0.904	4.06	0.664	3.99	0.945	4.02	0.470	4.16	0.922	4.21	0.527	4.20	0.863	4.20	0.366

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　国際社会科学部
形態名　語学

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.96	1.072	3.98	0.385	3.94	0.848	3.94	0.395	3.99	0.921	3.98	0.325	3.84	1.013	3.88	0.356	4.03	0.912	4.05	0.334
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.26	0.807	4.27	0.338	4.43	0.633	4.43	0.270	4.40	0.655	4.38	0.290	4.20	0.807	4.19	0.363	4.31	0.751	4.32	0.277
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.39	0.709	4.38	0.323	4.39	0.673	4.38	0.258	4.14	0.880	4.12	0.405	4.28	0.839	4.28	0.301
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.85	1.135	2.78	0.696	2.77	1.221	2.72	0.636	2.30	1.175	2.32	0.631	2.38	1.156	2.39	0.578
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.12	0.773	4.12	0.283	4.03	0.926	4.02	0.410	4.16	0.834	4.14	0.432	4.14	0.860	4.16	0.456
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.18	0.767	4.18	0.340	4.14	0.823	4.14	0.356	4.21	0.818	4.16	0.463	4.18	0.835	4.19	0.397
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.42	0.664	4.42	0.275	4.34	0.791	4.34	0.354	4.34	0.729	4.32	0.360	4.31	0.803	4.32	0.405
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.47	0.745	4.48	0.283	4.41	0.768	4.40	0.327	4.48	0.707	4.43	0.343	4.46	0.728	4.45	0.350
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.37	0.880	4.37	0.480	4.33	0.708	4.34	0.256	4.20	0.954	4.19	0.477	4.33	0.774	4.27	0.450	4.28	0.857	4.29	0.481
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.13	0.870	4.14	0.406	4.08	0.998	4.06	0.434	4.19	0.858	4.13	0.448	4.14	0.940	4.16	0.427
	(10)	この授業の水準に満足している	4.23	0.889	4.24	0.427	4.22	0.704	4.23	0.357	4.15	0.880	4.14	0.425	4.21	0.814	4.17	0.431	4.21	0.833	4.23	0.394
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.25	0.875	4.25	0.416	4.14	0.772	4.16	0.333	4.12	0.841	4.11	0.303	4.11	0.831	4.09	0.371	4.10	0.875	4.12	0.386
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.20	0.822	4.21	0.357	4.19	0.843	4.19	0.359	4.18	0.813	4.15	0.417	4.19	0.828	4.21	0.380
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.07	0.826	4.09	0.372
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.34	0.866	4.34	0.476	4.28	0.748	4.29	0.340	4.16	0.879	4.15	0.408	4.21	0.822	4.18	0.458	4.24	0.842	4.26	0.454

Ⅵ 計算機センター

アンケート結果に基づく評価

集計データからわかること

集計データからわかることをまとめると向上した点が 2 点、低下した点が 2 点ある。

向上

・この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた(Q7)

・この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた(Q6)

低下

・私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ(Q3)

・授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)(Q3－2)

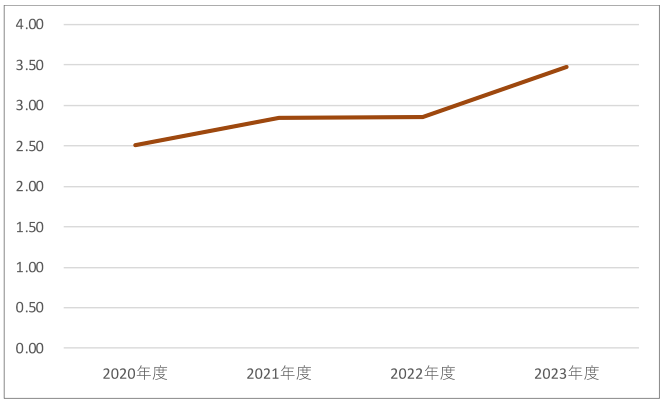


図 1: この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた(Q7)

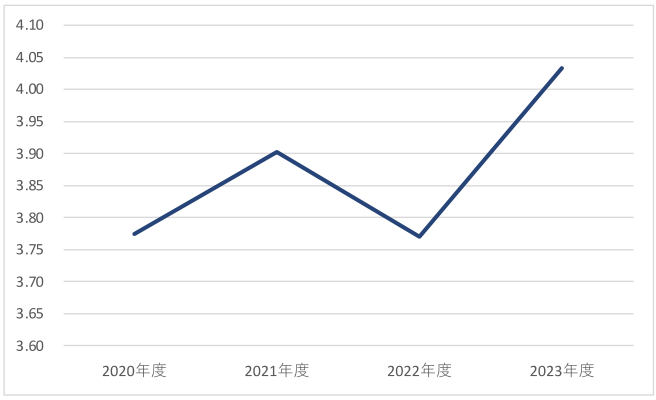


図 2 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた(Q6)

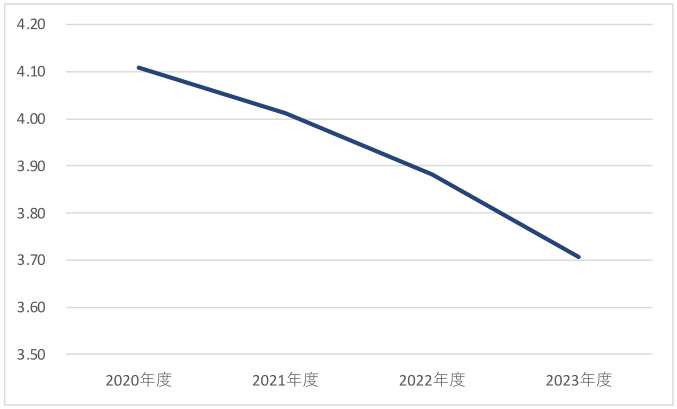


図 3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ(Q3)

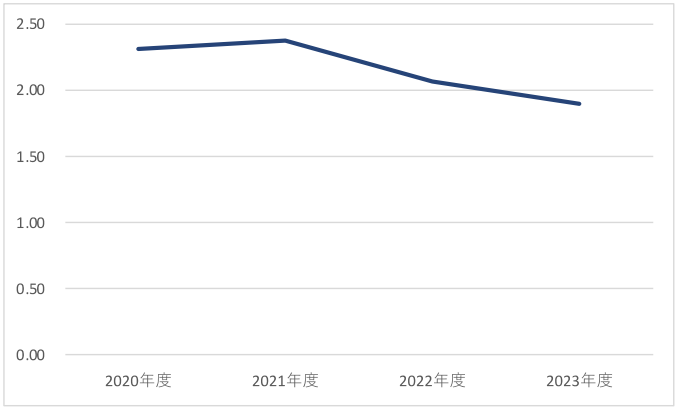


図 4 授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)(Q3－2)

Q7・3・3-2 についてはコロナのオンライン講義形式から対面講義形式に戻って以降のトレンドではあるものの、上記の4つの質問のいずれについても、R4 年度と比較しても同様の変化があった。

互いに相関係数の高いアンケート質問の答えを見ると、下記2つの質問の回答の相関係数が高く(.717)、教員が理解しやすいように伝える努力をすることと、学生の授業への評価が強く関係していることがわかる。

・Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

・Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる

また、Q11 と Q12 の相関係数(.732)と、Q12 と Q13 の相関係数(.730)が高いことから、学生にとって知的好奇心と自身の能力向上が強く関係し、またそれがシラバスに記載された到達目標の達成度と関連していることがわかる。

・Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られた

・Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

・Q13 シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる

今後の授業改善に向けて

今回のアンケート結果から、学生の学習時間を多く取れるような授業作りが必要である。毎授業の理解度を確認するレポート・小テストなどの時間を取る科目を増やすことが必要である。また、学生の授業評価において、教員によるわかりやすさの向上のための準備をこれまで以上にすることが重要である。最後に、学生は授業シラバスから、自身の成長できる授業を選び、それが達成されることで知的好奇心の刺激を得て、成長を感じている。このことから、シラバスで学生の得られる能力を明確にしつつ、その内容を授業で実現することが重要である。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

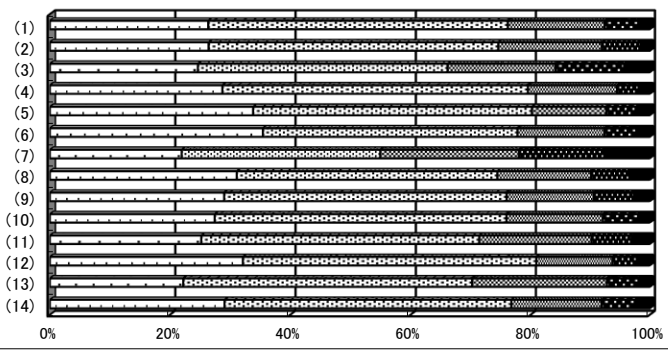
部門名　　計算機センター

形態名　　講義

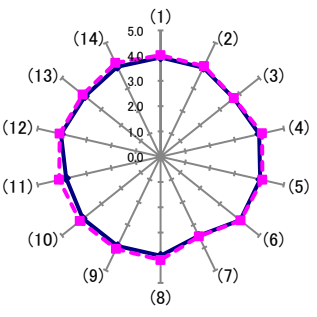
	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,634	4,567	57.67%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	692	1,308	427	149	50	8	2,634	3.93	0.905	3.96	0.299
		26.27%	49.66%	16.21%	5.66%	1.90%	0.30%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	693	1,264	456	171	40	10	2,634	3.91	0.910	3.95	0.289
		26.31%	47.99%	17.31%	6.49%	1.52%	0.38%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	646	1,089	472	303	113	11	2,634	3.71	1.091	3.71	0.380
		24.53%	41.34%	17.92%	11.50%	4.29%	0.42%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	47	72	180	541	614	753	2,207	1.90	1.013	1.87	0.362
		2.13%	3.26%	8.16%	24.51%	27.82%	34.12%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	753	1,334	393	95	49	10	2,634	4.01	0.866	4.01	0.336
		28.59%	50.65%	14.92%	3.61%	1.86%	0.38%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	889	1,220	329	130	62	4	2,634	4.04	0.934	4.06	0.383
		33.75%	46.32%	12.49%	4.94%	2.35%	0.15%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	930	1,111	383	141	59	10	2,634	4.03	0.958	4.05	0.415
		35.31%	42.18%	14.54%	5.35%	2.24%	0.38%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	576	867	606	377	200	8	2,634	3.47	1.197	3.47	0.496
		21.87%	32.92%	23.01%	14.31%	7.59%	0.30%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	815	1,136	413	173	85	12	2,634	3.92	1.009	3.93	0.475
		30.94%	43.13%	15.68%	6.57%	3.23%	0.46%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	761	1,233	384	177	70	9	2,634	3.93	0.970	3.95	0.394
		28.89%	46.81%	14.58%	6.72%	2.66%	0.34%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	195	45	–	–	–	7	247	–	–	–	–
		78.95%	18.22%	–	–	–	2.83%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	719	1,272	424	156	51	12	2,634	3.94	0.919	3.94	0.394
		27.30%	48.29%	16.10%	5.92%	1.94%	0.46%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	148	53	–	–	–	6	207	–	–	–	–
		71.50%	25.60%	–	–	–	2.90%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	662	1,215	495	180	77	5	2,634	3.84	0.976	3.89	0.378
		25.13%	46.13%	18.79%	6.83%	2.92%	0.19%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	842	1,281	336	107	57	11	2,634	4.05	0.898	4.06	0.343
		31.97%	48.63%	12.76%	4.06%	2.16%	0.42%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	583	1,262	593	140	49	7	2,634	3.83	0.895	3.84	0.337
		22.13%	47.91%	22.51%	5.32%	1.86%	0.27%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	762	1,251	398	146	66	11	2,634	3.95	0.943	3.96	0.429
		28.93%	47.49%	15.11%	5.54%	2.51%	0.42%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　**部門名　計算機センター**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	**.553 (**)**	1													
Q3	.389 (**)	**.568 (**)**	1												
Q3-2	.081 (**)	.154 (**)	.264 (**)	1											
Q4	**.468 (**)**	**.434 (**)**	.314 (**)	.041	1										
Q5	**.497 (**)**	**.445 (**)**	.296 (**)	.047	**.646 (**)**	1									
Q6	.380 (**)	.368 (**)	.259 (**)	.016	**.591 (**)**	**.586 (**)**	1								
Q7	.320 (**)	.375 (**)	.314 (**)	.084 (**)	**.406 (**)**	.379 (**)	**.505 (**)**	1							
Q8	**.453 (**)**	**.448 (**)**	.293 (**)	.055 (*)	**.674 (**)**	**.676 (**)**	**.638 (**)**	**.442 (**)**	1						
Q9	**.466 (**)**	**.424 (**)**	.280 (**)	.016	**.571 (**)**	**.586 (**)**	**.528 (**)**	.386 (**)	**.677 (**)**	1					
Q10	**.488 (**)**	**.492 (**)**	.325 (**)	.076 (**)	**.619 (**)**	**.635 (**)**	**.555 (**)**	**.422 (**)**	**.716 (**)**	**.749 (**)**	1				
Q11	**.534 (**)**	**.534 (**)**	.366 (**)	.062 (*)	**.547 (**)**	**.574 (**)**	**.498 (**)**	**.428 (**)**	**.616 (**)**	**.590 (**)**	**.623 (**)**	1			
Q12	**.508 (**)**	**.545 (**)**	.386 (**)	.082 (**)	**.573 (**)**	**.623 (**)**	**.526 (**)**	.393 (**)	**.644 (**)**	**.604 (**)**	**.675 (**)**	**.732 (**)**	1		
Q13	**.535 (**)**	**.559 (**)**	**.401 (**)**	.064 (*)	**.614 (**)**	**.612 (**)**	**.536 (**)**	**.451 (**)**	**.655 (**)**	**.610 (**)**	**.691 (**)**	**.667 (**)**	**.730 (**)**	1	
Q14	**.527 (**)**	**.520 (**)**	.351 (**)	.029	**.688 (**)**	**.680 (**)**	**.628 (**)**	**.453 (**)**	**.797 (**)**	**.717 (**)**	**.778 (**)**	**.706 (**)**	**.741 (**)**	**.731 (**)**	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　計算機センター
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.75	1.065	3.80	0.358	3.93	0.839	3.94	0.298	3.93	0.827	3.93	0.257	3.88	0.878	3.88	0.290	3.93	0.905	3.96	0.299
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.74	0.998	3.78	0.345	4.06	0.808	4.08	0.295	4.00	0.841	4.00	0.271	3.88	0.903	3.86	0.304	3.91	0.910	3.95	0.289
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.11	0.831	4.11	0.298	4.01	0.925	3.99	0.344	3.88	0.983	3.87	0.368	3.71	1.091	3.71	0.380
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.31	1.047	2.32	0.588	2.37	1.099	2.29	0.569	2.07	1.021	2.03	0.460	1.90	1.013	1.87	0.362
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.03	0.783	4.01	0.382	4.01	0.774	4.02	0.251	3.96	0.817	3.98	0.319	4.01	0.866	4.01	0.336
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.17	0.839	4.17	0.412	4.09	0.860	4.11	0.333	4.13	0.836	4.12	0.387	4.04	0.934	4.06	0.383
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.77	1.015	3.78	0.479	3.90	0.919	3.89	0.362	3.77	1.011	3.84	0.413	4.03	0.958	4.05	0.415
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.51	1.150	2.54	0.417	2.84	1.165	2.88	0.483	2.86	1.265	2.92	0.439	3.47	1.197	3.47	0.496
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.82	1.116	3.86	0.553	4.02	0.890	4.02	0.463	3.93	0.900	3.97	0.363	3.92	0.901	3.92	0.390	3.92	1.009	3.93	0.475
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.94	0.898	3.95	0.341	3.88	0.932	3.90	0.371	3.91	0.900	3.91	0.343	3.93	0.970	3.95	0.394
	(10)	この授業の水準に満足している	3.79	1.055	3.84	0.452	3.94	0.832	3.95	0.389	3.93	0.843	3.96	0.367	3.96	0.825	3.95	0.341	3.94	0.919	3.94	0.394
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.73	1.030	3.80	0.405	3.83	0.865	3.87	0.316	3.86	0.901	3.89	0.315	3.84	0.913	3.89	0.322	3.84	0.976	3.89	0.378
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.11	0.778	4.13	0.310	4.12	0.790	4.14	0.263	4.12	0.772	4.10	0.259	4.05	0.898	4.06	0.343
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.83	0.895	3.84	0.337
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.84	1.036	3.91	0.482	3.99	0.825	3.99	0.412	3.94	0.838	3.96	0.323	3.97	0.828	3.97	0.339	3.95	0.943	3.96	0.429

Ⅶ 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの令和5年度の授業評価アンケートの実施率は99.47%となっており、回答率については、60.21%であった。回答率に関しては、令和2年度が28.24%、令和3年度が47.18%、令和4年度39.66%であったことと比べると、回答率は上がっていることが分かる。しかし、アンケートがオンラインでの実施であったことから、対面で行っていた時期と比べるとまだ解答率は少ないことからアンケートの回答率の向上を目指す取り組みが必要だと考える。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

この項目の科目ベースの平均値は、前年度の4.00から今年度は4.05となったが、大きな変化は特になかったと言えよう。履修登録時に授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージした上で授業に臨むと、学びの姿勢や学習効果にも変化を与えると考えられる。そのような高い教育効果が期待できることから、次年度はより高い数値を得られるよう、引き続きシラバスなどを通して授業のねらいや目標や内容の周知徹底を図りたい。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」

この項目は、前年度は平均値4.17であったが、今年度もほぼ同様の4.18となった。この項目はQ3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」（0.636）とQ12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」(0.6)と相関していることから、引き続き、教材や課題を工夫し、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりを進めていく必要があろう。

Q3-1「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

Q3-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）１週間あたり平均で5：4.5 時間以上　4：3 時間以上4.5 時間未満　3：2 時間以上3 時間未満　2：90 分以上2 時間未満1：90 分未満

3-1に関しては、科目ベースの平均値は4.05であった。2020年度より新たに追加された質問項目であるが、2020年度は4.29、2021年度は4.22、2022年度は4.11であり、年々減少傾向が続いている。

3-2に関しては、科目ベースの平均値は1.83であった。昨年度は2.03、一昨年度は2.26となっているので減少傾向が見られる。語学は日々の積み重ねが重要であるため、引き続

き、授業内での課題や小テストに限らず、授業外での課題の提出などにより、学生自身が普段から語学学習に取り組むよう教員が工夫することが必要であろう。

Q4「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

この項目の科目ベースの平均値は4.19であった。昨年、一昨年度は4.12であったため、今年度の全体平均と比較すると少しの上昇が見られる。授業方法やシラバスの記載内容の変更が生じた場合は、その周知方法等を含め熟考した上で、学生に対し適切なタイミングで適切な説明を行い、引き続き学生が安心して学べる授業運営に努めたい。この項目は他の多くの項目と相関しているが、特にQ5（0.665）、Q6（0.61）、Q8（0.67）、Q14（0.651）との高い相関性が見られることを考慮すると、学生への伝達方法や配布資料を工夫することが、学生の理解度を向上させることに繋がり、授業に対する評価も高まることが分かる。

Q5「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」

この項目の科目ベースの平均値は 4.19 であった。一昨年度は 4.19、昨年度は 4.15 であり、あまり大きな変化は見られない。この項目は Q4（0.665）、 Q8（0.651）、Q9（0.608） 、Q10（ 0.625）、 Q11（0.619）、Q12（0.618）、Q13（0.608）、及び Q14（0.66） といった学生の学習成果の評価を直接的に示す多くの項目と高い相関性を示しているので、今後も教員間でも情報共有を積極的に行いながら、各教員が学生の興味や学習意欲を掻き立て、学生の主体的な学習を促すような教材作成に努めたい。

Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.23であった。一昨年度は 4.13、昨年度は 4.12 であり、0.1ポイント上昇したことが分かる。この項目は Q8（0.667）とQ14（0.625）高い相関にあり、学生の学習内容の理解度にも関連するため、今後も引き続き、各教員が積極的に質問の機会を設け、学生とのコミュニケーションを密に図るよう努める必要があろう。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.13であった。一昨年度は 3.83 、昨年度は 3.94であったことから、昨年度より0.19ポイント上昇し、改善傾向を示している。令和5年度は、それまでの新型コロナウイルス感染の影響下で行われていた遠隔授業が減り対面授業が増えたことにより、教室内での履修者同士の意見交換の機会を積極的に提供していたことが一例として挙げることできる。

Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.26であり、一昨年度の 4.18、昨年度の 4.19を上回っており、全て対面授業で行われていた2019年度の4.32と比べても徐々に数値がその基準に回復していることが分かる。この項目は Q4（0.67）、Q5（0.651）、Q6（0.667）、Q9（0.685）、Q10（0.699）、Q11（0.649）、Q12（0.643）、Q13（0.634）、Q14（0.771）と高い相関性を示しているので、学生の学習効果に与える影響が極めて大きい要素であると言えよう。ここ 5 年間いずれも 4.0 以上の数値を維持しているが、今後も教員の話し方や授業スタイル、教材等を工夫し、より適切な授業運営を心がけていく必要があるだろう。

Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

この科目ベースの平均値は 4.18 であった。一昨年度の 4.12、昨年度の 4.15 と比較すると徐々に改善している。Q9-2の項目を見てみると、72.75%が「5.多い」と回答し、21.53%が「4.少ない」という回答であった。この項目は Q5（0.608）、Q8（0.685）、Q10（0.78）、Q11（0.622）、Q12（0.629）、Q13（0.632）、Q14（0.715）と高い相関性を示している。特にQ10の「この授業の水準に満足している」とQ14の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」との相関性を示しており、授業のボリューム（内容の量）については、今後も授業内や授業外の課題に関しても、適量になるような工夫をすることが必要であると考える。

Q10「この授業の水準に満足している」

この科目ベースの平均値は 4.18 であり、一昨年度は 4.14、昨年度は 4.15 であった。この項目は Q5（0.625）、Q8（0.699）、Q9（0.78）、Q11（0.668）、Q12（0.674）、Q13（0.666）、Q14（0.752）と高い相関性を示している。今後も学生のレベルや理解度をよく把握し、学生のレベルにあったテキストを選択したり、教材、指導法を工夫したりすることなど引き続き努力していきたい。また、習熟度別クラスなどにおいても今より学生のレベルにあった授業を提供することを目指したい。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.12 で、一昨年度は 4.09、昨年度は 4.07 であったことからも上昇が見られる。この項目は Q5（0.619）、Q8（0.649）、Q8（0.649）、Q9（0.622）、Q10（0.668）と高い相関性を示している。特にQ12（0.773）、Q13（0.716）、Q14（0.721）とは非常に高い相関を示しているので、この項目の数値を挙げるような工夫や努力は学生の学習意欲や内容理解の向上にもつながると考えられる。今後も学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、その言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからで

ある。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

この項目の科目ベースの平均値は 4.15 であった。一昨年度は 4.14、昨年度は 4.10 であり、概ね学生に知的満足感を与えることができているといえよう。 この項目は Q2（0.6）、Q5（0.618)、Q8(0.643）、Q9(0.629）、Q10(0.674) と高い相関がある。特に Q11(0.773）、Q13(0.746）、Q14(0.739) とは非常に高い相関があるので、引き続き、学生の学びや成長を促進するような教材や指導法の工夫を図りたい。さらに、相関性の高いQ11(0.773)と同様に、学生が新しいことを学び、知的好奇心を満たしながら、新たなものの見方を得られるよう、教材や動画などにおいても工夫を続けて行う。

Q13「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」

この項目は令和5年度に改めて足された項目である。この項目の科目ベースの平均値は4.04であった。新しい項目のため、来年度との比較が必要ではあるが、今後もシラバスに記載されている到達目標を学生に伝え、これらの到達目標を達成することができるような授業計画が必要である。この項目は Q5（0.608）、Q8(0.634）、Q9(0.632）、Q10(0.666) と高い相関があり、特に Q11(0.716）、Q12(0.746）、Q14(0.704) とは非常に高い相関があるので、今後もシラバスに書かれている到達目標をオリエンテーションなどであらためて学生に伝え、授業が終わる頃には学生が自らの知識や能力が向上したと感じられるよう、さまざまな工夫を行うことが必要である。

Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.23 で、一昨年度は 4.16、昨年度は 4.15 であったことから少し改善傾向が見られる。この項目は、今まで見てきたようにQ4（0.651）、Q5（0.66）、Q6（0.625)、Q8(0.771）、Q9(0.715）、Q10(0.752)、 Q11(0.721）、Q12(0.739）、Q13(0.704)と高い相関があることから、総合的に評価が高い授業とは、教員の説明が適切で分かりやすく、学習内容が理解できるよう工夫されており、授業で配布された教材が学習を進めるのに役立ち、教員に質問する機会がある授業だと言うことが明らかになった。さらに、学生の知的好奇心が刺激され、かつ自らの知識や能力の向上が感じられる授業を提供できるようにするには、授業のボリュームなどを工夫し、学生のレベルや理解度を考慮しながら、学生の学習意欲を向上させ、達成感や知的満足感も得られるような教材作成や授業スタイルのより一層の工夫が求められるだろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学科目では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示す項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余

地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための、教員の努力と授業環境の整備が求められるだろう。

外国語教育研究センターが開講する英語クラスに関しては、令和 3 年度より経済学部を除く法学部、文学部、理学部の3学部の英語授業において、少人数クラス編成、習熟度別クラス編成という新しい英語プログラムを開始したところである。これにより学生のレベルに合ったよりきめ細やかな指導を行うことが可能になった。この新英語プログラムによって、新しい学習内容や学習方法を取り入れながら、学生の英語力をさらに高めることができるよう、新英語プログラムのより一層の定着を目指したい。

令和2年度以降新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業形態の変更など余儀なくされたが、令和5年度はほとんどの授業において対面授業を行えるようになり、学生が意欲的に外国語学習に取り組めるような学習環境を整えることで、学生の外国語学習をしっかりと支援することが可能になった。外国語教育研究センターでは、今後も授業評価アンケートの結果を有効に活用し、授業内容や方法の改善に役立てながら、学生のより一層の語学学習の活性化を目指し、引き続き外国語教育の更なる充実を図っていきたいと考えている。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

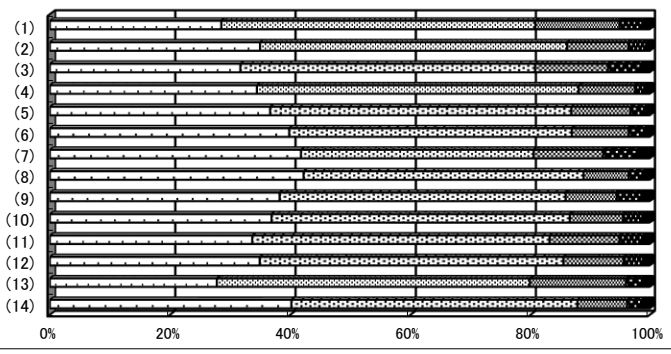
部門名　　外国語教育研究センター

形態名　　語学

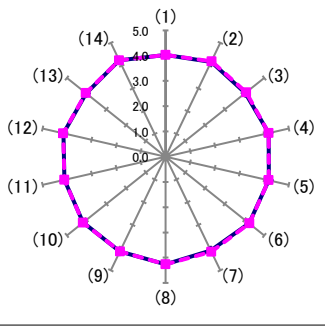
	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,621	10,997	60.21%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,882	3,448	932	254	82	23	6,621	4.03	0.832	4.05	0.325
		28.42%	52.08%	14.08%	3.84%	1.24%	0.35%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	2,310	3,382	682	194	41	12	6,621	4.17	0.773	4.18	0.284
		34.89%	51.08%	10.30%	2.93%	0.62%	0.18%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	2,093	3,238	809	363	101	17	6,621	4.04	0.892	4.05	0.340
		31.61%	48.91%	12.22%	5.48%	1.53%	0.26%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	141	152	496	1,460	1,933	1,958	6,140	1.83	1.001	1.83	0.436
		2.30%	2.48%	8.08%	23.78%	31.48%	31.89%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,266	3,529	623	103	59	41	6,621	4.19	0.739	4.19	0.323
		34.22%	53.30%	9.41%	1.56%	0.89%	0.62%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,419	3,312	658	156	57	19	6,621	4.19	0.775	4.19	0.344
		36.54%	50.02%	9.94%	2.36%	0.86%	0.29%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	2,629	3,110	631	178	56	17	6,621	4.22	0.793	4.23	0.398
		39.71%	46.97%	9.53%	2.69%	0.85%	0.26%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	2,756	2,556	771	373	144	21	6,621	4.12	0.971	4.13	0.576
		41.63%	38.60%	11.64%	5.63%	2.17%	0.32%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,786	3,082	498	160	75	20	6,621	4.26	0.792	4.26	0.395
		42.08%	46.55%	7.52%	2.42%	1.13%	0.30%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	2,524	3,147	566	275	92	17	6,621	4.17	0.855	4.18	0.379
		38.12%	47.53%	8.55%	4.15%	1.39%	0.26%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	267	79	–	–	–	21	367	–	–	–	–
		72.75%	21.53%	–	–	–	5.72%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	2,425	3,268	589	213	82	44	6,621	4.18	0.818	4.18	0.375
		36.63%	49.36%	8.90%	3.22%	1.24%	0.66%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	183	98	–	–	–	14	295	–	–	–	–
		62.03%	33.22%	–	–	–	4.75%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,219	3,262	775	251	84	30	6,621	4.10	0.843	4.12	0.388
		33.51%	49.27%	11.71%	3.79%	1.27%	0.45%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	2,304	3,339	667	216	74	21	6,621	4.15	0.812	4.15	0.378
		34.80%	50.43%	10.07%	3.26%	1.12%	0.32%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	1,833	3,437	1,066	188	76	21	6,621	4.02	0.810	4.04	0.361
		27.68%	51.91%	16.10%	2.84%	1.15%	0.32%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,648	3,146	550	161	89	27	6,621	4.23	0.807	4.23	0.418
		39.99%	47.52%	8.31%	2.43%	1.34%	0.41%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　部門名　外国語教育研究センター
形態名　語学

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.576 (**)	1													
Q3	.436 (**)	.636 (**)	1												
Q3-2	.126 (**)	.183 (**)	.296 (**)	1											
Q4	.495 (**)	.495 (**)	.405 (**)	.099 (**)	1										
Q5	.486 (**)	.509 (**)	.405 (**)	.090 (**)	.665 (**)	1									
Q6	.416 (**)	.450 (**)	.349 (**)	.055 (**)	.610 (**)	.595 (**)	1								
Q7	.326 (**)	.363 (**)	.275 (**)	.053 (**)	.425 (**)	.448 (**)	.543 (**)	1							
Q8	.456 (**)	.487 (**)	.357 (**)	.067 (**)	.670 (**)	.651 (**)	.667 (**)	.502 (**)	1						
Q9	.465 (**)	.490 (**)	.351 (**)	.028	.568 (**)	.608 (**)	.557 (**)	.471 (**)	.685 (**)	1					
Q10	.479 (**)	.515 (**)	.372 (**)	.053 (**)	.597 (**)	.625 (**)	.577 (**)	.461 (**)	.699 (**)	.780 (**)	1				
Q11	.563 (**)	.576 (**)	.417 (**)	.109 (**)	.582 (**)	.619 (**)	.561 (**)	.441 (**)	.649 (**)	.622 (**)	.668 (**)	1			
Q12	.547 (**)	.600 (**)	.451 (**)	.086 (**)	.581 (**)	.618 (**)	.549 (**)	.410 (**)	.643 (**)	.629 (**)	.674 (**)	.773 (**)	1		
Q13	.575 (**)	.587 (**)	.438 (**)	.082 (**)	.599 (**)	.608 (**)	.541 (**)	.460 (**)	.634 (**)	.632 (**)	.666 (**)	.716 (**)	.746 (**)	1	
Q14	.504 (**)	.548 (**)	.388 (**)	.048 (**)	.651 (**)	.660 (**)	.625 (**)	.482 (**)	.771 (**)	.715 (**)	.752 (**)	.721 (**)	.739 (**)	.704 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　外国語教育研究センター
形態名　語学

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.86	1.003	3.91	0.352	4.02	0.788	4.02	0.334	4.05	0.775	4.05	0.284	3.98	0.821	4.00	0.343	4.03	0.832	4.05	0.325
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.00	0.898	4.03	0.329	4.25	0.733	4.25	0.319	4.25	0.712	4.25	0.253	4.16	0.759	4.17	0.307	4.17	0.773	4.18	0.284
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.30	0.723	4.29	0.348	4.23	0.753	4.22	0.282	4.10	0.827	4.11	0.347	4.04	0.892	4.05	0.340
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.42	1.025	2.37	0.539	2.26	1.008	2.26	0.493	2.01	0.933	2.03	0.447	1.83	1.001	1.83	0.436
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.05	0.824	4.04	0.421	4.12	0.768	4.12	0.327	4.12	0.780	4.12	0.348	4.19	0.739	4.19	0.323
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.14	0.840	4.13	0.400	4.19	0.737	4.19	0.294	4.15	0.764	4.15	0.326	4.19	0.775	4.19	0.344
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.04	0.957	4.04	0.511	4.12	0.839	4.13	0.399	4.13	0.840	4.12	0.430	4.22	0.793	4.23	0.398
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.40	1.298	3.44	0.930	3.81	1.132	3.83	0.707	3.92	1.094	3.94	0.668	4.12	0.971	4.13	0.576
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.29	0.864	4.32	0.418	4.07	0.905	4.06	0.496	4.19	0.773	4.18	0.370	4.18	0.815	4.19	0.408	4.26	0.792	4.26	0.395
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.06	0.870	4.07	0.390	4.12	0.815	4.12	0.315	4.14	0.811	4.15	0.362	4.17	0.855	4.18	0.379
	(10)	この授業の水準に満足している	4.14	0.882	4.17	0.366	4.05	0.837	4.05	0.402	4.15	0.754	4.14	0.296	4.14	0.787	4.15	0.354	4.18	0.818	4.18	0.375
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.10	0.898	4.13	0.373	3.97	0.873	3.98	0.422	4.09	0.793	4.09	0.324	4.06	0.823	4.07	0.369	4.10	0.843	4.12	0.388
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.03	0.861	4.03	0.423	4.14	0.776	4.14	0.322	4.10	0.800	4.10	0.379	4.15	0.812	4.15	0.378
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.02	0.810	4.04	0.361
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.27	0.848	4.29	0.398	4.04	0.898	4.04	0.467	4.16	0.774	4.16	0.344	4.15	0.812	4.15	0.407	4.23	0.807	4.23	0.418

Ⅷ スポーツ・健康科学センター

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が５類へと移行となり、全面的に対面形式で授業を実施することができた１年であった。また、６月にはスポーツ・健康科学Ⅰ（文学部・理学部１年必修）およびスポーツ・健康科学Ⅱ（理学部２年必修）において、コロナ禍で中止していたスポーツテストを TE1 以外の全クラスで実施することが出来た。さらに、スポーツ・健康科学Ⅰでは、トレーニングルームでの授業も全クラス実施することが出来た。

授業評価アンケートの回答率についてコロナ禍以前は 80%であったが、令和２年度は 29.47%、令和３年度は 43.5%、令和４年度は 55.45%であった。令和５年度も 55.45%で、半数程度の回答率に留まった。実施率は 97.46%となっているので、今後も授業内での実施時間を確保するよう努めていきたい。

1. 項目別

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、平均値 4.31 であり、「強くそう思う」「そう思う」と 回答した学生は 87.59%であった。本センターで開講している授業において扱っているスポーツ種目は一般的にも馴染みのあるものが多く、学生もイメージがつきやすかったのではないかと考える。

Q2「私は、この授業に意欲的に取組んだ」については、平均値 4.48 であった。93.19%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、授業実施者としても嬉しく思う。全面的に対面授業を実施できた上で、コロナ禍以前の平均値を上回る結果となったことは、昨年度同様スポーツ・健康科学科目における対面実技の価値を感じられる結果であった。

Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」については、平均値 4.00 であったが、取り組んだ時間については 半数以上の学生が 2 時間未満であり、無回答の学生も多かった。昨年度と同じ傾向であった。学生が選択している種目に対して興味を持つような話題提供や動画コンテンツを準備し、学生が主体的に自宅学習に取り組むような工夫をすることが必要である。

Q４「授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の 変更についての教員からの説明は適切だった」は、平均値 4.40 であった。昨年の 4.38

よりも少しポイントが向上していることから、各教員が適切に学生に説明を行えていること、変更が生じた際に教員間でも共有できていることが窺える。また、Moodle にも変更点等を記載しておくことで、口頭での説明を補う形で良い方向に作用したとも考えられる。

Q5「この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った」については、平均値 4.05 であり、71.4%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答していた。昨年度より若干ポイントが低下した。授業が概ね対面で実施したため、学生が講義動画を閲覧する機会自体が少なかったように思う。今後は、少ない機会の中でも学習を進めるために役立つよう、工夫を凝らした教材作りを進めていきたい。

Q６「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値が 4.44 であり、3 年間で少しずつポイントが向上している。概ね対面で実施できたことで、技能の上達に向けて直接質問をすることが容易であった。また、スポーツ・健康科学Ⅰでは、学習したことを振り返る「実習ノート」の活用をすることで、直接質問がしにくい学生もそのノートに質問を記入することができている。このようなことがポイントを維持・向上できた要因と考えられる。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値 4.45 であり、昨年度の 4.39 よりも少し向上した。実技の授業では個人種目・チーム種目問わず、授業を通して他の学生とコミュニケーションを図る機会は多いと感じる。ここでも、スポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となった。

Q８「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」については、平均値 4.53 で昨年度の 4.47 よりも少し向上しており、好評価を受けている。94.03%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、3 年間を通して高い評価であった。対面授業が主となったものの、コロナ禍で作成した映像コンテンツなども利用しながら、各教員が伝え方を工夫できた結果であると思われる。

Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」については、平均値 4.51 であり、昨年度の 4.47 より少しポイントが高い結果となった。93.73%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、概ねボリュームとしては問題ないと考えられる。しかし、満足していない履修者 25 名のうち 9 名が「量が多かった」と回答し、15 名が「量が少なかった」と回答していた。学生の体力は個人差があるのでなかなか難しい問題であるが、授業中の学生の様子を十分観察しながら、強度調整を行っていきたい。

Q10「この授業の水準に満足している」については平均値 4.51 であり、こちらも昨年度と同程度の結果となった。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した履修者 26 名のうち、11 名が「高すぎる」と回答し、15 名が「低すぎる」と回答していた。Q10 の授業のボリュームについての回答同様、一部の学生にとっては、ボリュームも水準も高く感じたり、低く感じたりしているので、こちらについても、授業中の学生の様子を十分観察しながら、水準の調整を行っていきたい。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」 については、平均値 4.38 であった。昨年度の 4.29 よりはポイントは向上したものの、コロナ禍以前（2019 年度は 4.46 ポイント）よりはまだ低い状況となっている。コロナ禍に作成したオンデマンド教材では、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示(様々な練習ドリルの紹介)、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせる内容も多く作成した。引き続き、予習や復習に使用できる動画も多いため、実技に加えて上手く活用しながら、学生の学びを促進できるよう工夫したいと思う。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」については、平均値 4.45 で昨年度の 4.37 より少しポイントが向上した結果となった。概ね対面で実技が実施できたことで、技術が向上していく過程を実感できたことが結果に繋がっていると考えられる。

Q13「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」については、平均値が 4.37 で「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生は、89.47%という結果で到達目標を達成している結果となった。実技科目のため、学生の体力に差があり、全員が到達目標を達成するのは難しいと思われる。

Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.57 で昨年度の 4.51 より少しポイントが向上した結果となった。ここでも、スポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となったが、これに満足せず、各教員が授業改善に意欲的に取り組めるよう、講習会や実技研修等に取り組んでいきたいと思う。

2. 相関係数から

相関係数が 0.65 以上の項目は、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」と Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられてい

た」・Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」・Q10「この授業の水準に満足している」・Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」と Q10「この授業の水準に満足している」・Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q10「この授業の水準に満足している」と Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」・Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」・Q13「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」・Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」と Q13「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」・Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q13「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」と Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」であった。

令和 5 年度は実技がほとんど実施できなかった令和 2 年度と比較すると、履修者の評価は全体的に高まり、一昨年、昨年度の評価とほぼ同等の結果となった。実技実施の重要性と価値を改めて実感させられる結果となった。また、コロナ禍で作成した動画コンテンツをブラッシュアップし、授業内で使用するケースも見られ、より伝え方の工夫を施しやすくなった。今後も引き続き、コロナ禍以前に戻すだけにならないよう、動画教材や LMS の活用も踏まえ、授業運営に活かしていこうと思う。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

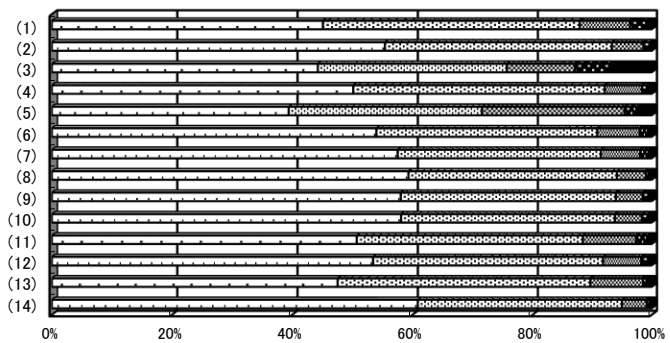
部門名　　スポーツ・健康科学センター

形態名　　演習

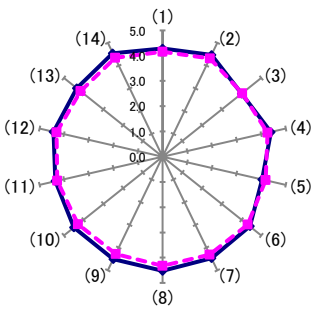
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,643	2,370	69.32%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	738	701	138	47	13	6	1,643	4.29	0.800	4.31	0.306
		44.92%	42.67%	8.40%	2.86%	0.79%	0.37%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	909	622	87	19	4	2	1,643	4.47	0.674	4.48	0.252
		55.33%	37.86%	5.30%	1.16%	0.24%	0.12%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	725	515	187	95	117	4	1,643	4.00	1.197	4.00	0.490
		44.13%	31.35%	11.38%	5.78%	7.12%	0.24%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	62	30	50	328	437	520	1,427	1.84	1.123	1.82	0.420
		4.34%	2.10%	3.50%	22.99%	30.62%	36.44%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	819	686	102	16	11	9	1,643	4.40	0.710	4.40	0.273
		49.85%	41.75%	6.21%	0.97%	0.67%	0.55%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	646	527	392	34	41	3	1,643	4.04	0.970	4.05	0.365
		39.32%	32.08%	23.86%	2.07%	2.50%	0.18%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	884	604	117	23	10	5	1,643	4.42	0.738	4.44	0.296
		53.80%	36.76%	7.12%	1.40%	0.61%	0.30%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	942	556	108	23	9	5	1,643	4.46	0.729	4.45	0.352
		57.33%	33.84%	6.57%	1.40%	0.55%	0.30%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	973	572	80	10	6	2	1,643	4.52	0.654	4.53	0.240
		59.22%	34.81%	4.87%	0.61%	0.37%	0.12%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	951	589	74	18	7	4	1,643	4.50	0.677	4.51	0.242
		57.88%	35.85%	4.50%	1.10%	0.43%	0.24%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	9	15	−	−	−	1	25	−	−	−	−
		36.00%	60.00%	−	−	−	4.00%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	946	582	74	18	9	14	1,643	4.50	0.688	4.51	0.232
		57.58%	35.42%	4.50%	1.10%	0.55%	0.85%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	11	15	−	−	−	1	27	−	−	−	−
		40.74%	55.56%	−	−	−	3.70%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	828	616	146	31	12	10	1,643	4.36	0.782	4.38	0.300
		50.40%	37.49%	8.89%	1.89%	0.73%	0.61%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	875	629	105	21	8	5	1,643	4.43	0.714	4.45	0.252
		53.26%	38.28%	6.39%	1.28%	0.49%	0.30%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	779	691	145	12	12	4	1,643	4.35	0.733	4.37	0.284
		47.41%	42.06%	8.83%	0.73%	0.73%	0.24%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	998	560	68	8	6	3	1,643	4.55	0.636	4.57	0.256
		60.74%	34.08%	4.14%	0.49%	0.37%	0.18%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　部門名　スポーツ・健康科学センター
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.505 (**)	1													
Q3	.340 (**)	.442 (**)	1												
Q3-2	.093 (**)	.108 (**)	.217 (**)	1											
Q4	.493 (**)	.462 (**)	.314 (**)	.063	1										
Q5	.434 (**)	.380 (**)	.385 (**)	.128 (**)	.557 (**)	1									
Q6	.447 (**)	.456 (**)	.317 (**)	.068 (*)	.624 (**)	.541 (**)	1								
Q7	.394 (**)	.425 (**)	.292 (**)	.076 (*)	.472 (**)	.435 (**)	.600 (**)	1							
Q8	.430 (**)	.482 (**)	.301 (**)	.053	.593 (**)	.470 (**)	.678 (**)	.597 (**)	1						
Q9	.486 (**)	.491 (**)	.292 (**)	.009	.575 (**)	.429 (**)	.633 (**)	.546 (**)	.717 (**)	1					
Q10	.482 (**)	.533 (**)	.291 (**)	.050	.605 (**)	.449 (**)	.613 (**)	.521 (**)	.688 (**)	.754 (**)	1				
Q11	.546 (**)	.530 (**)	.401 (**)	.114 (**)	.565 (**)	.520 (**)	.570 (**)	.520 (**)	.622 (**)	.618 (**)	.640 (**)	1			
Q12	.501 (**)	.556 (**)	.372 (**)	.084 (*)	.550 (**)	.467 (**)	.564 (**)	.514 (**)	.618 (**)	.615 (**)	.658 (**)	.749 (**)	1		
Q13	.595 (**)	.571 (**)	.365 (**)	.125 (**)	.599 (**)	.508 (**)	.579 (**)	.520 (**)	.577 (**)	.595 (**)	.618 (**)	.708 (**)	.689 (**)	1	
Q14	.499 (**)	.533 (**)	.325 (**)	.054	.619 (**)	.448 (**)	.641 (**)	.511 (**)	.708 (**)	.703 (**)	.724 (**)	.672 (**)	.702 (**)	.691 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　スポーツ・健康科学センター
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.13	1.037	4.23	0.415	3.87	0.860	3.86	0.418	4.23	0.778	4.27	0.298	4.22	0.838	4.23	0.324	4.29	0.800	4.31	0.306
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.40	0.846	4.46	0.325	3.99	0.772	4.00	0.347	4.43	0.711	4.46	0.255	4.49	0.673	4.49	0.249	4.47	0.674	4.48	0.252
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.04	0.797	4.04	0.356	4.07	1.091	4.11	0.390	4.07	1.138	4.05	0.477	4.00	1.197	4.00	0.490
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	1.62	0.802	1.62	0.397	1.69	0.792	1.68	0.392	1.76	1.023	1.74	0.466	1.84	1.123	1.82	0.420
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	3.82	0.877	3.82	0.337	4.32	0.658	4.35	0.240	4.39	0.672	4.38	0.242	4.40	0.710	4.40	0.273
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.19	0.783	4.19	0.254	4.18	0.743	4.18	0.262	4.10	0.899	4.09	0.286	4.04	0.970	4.05	0.365
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.13	1.132	3.14	0.434	4.32	0.750	4.35	0.300	4.39	0.744	4.38	0.299	4.42	0.738	4.44	0.296
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.24	1.143	2.26	0.560	4.25	0.847	4.28	0.414	4.41	0.781	4.39	0.387	4.46	0.729	4.45	0.352
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.64	0.650	4.68	0.270	4.12	0.649	4.12	0.229	4.43	0.607	4.46	0.229	4.49	0.652	4.47	0.263	4.52	0.654	4.53	0.240
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.92	0.845	3.92	0.364	4.45	0.618	4.48	0.231	4.48	0.633	4.47	0.255	4.50	0.677	4.51	0.242
	(10)	この授業の水準に満足している	4.55	0.710	4.60	0.287	3.86	0.863	3.85	0.420	4.46	0.596	4.49	0.242	4.50	0.653	4.49	0.249	4.50	0.688	4.51	0.232
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.39	0.874	4.46	0.385	3.80	0.858	3.81	0.370	4.27	0.771	4.31	0.288	4.30	0.807	4.29	0.318	4.36	0.782	4.38	0.300
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	3.73	0.885	3.74	0.400	4.35	0.702	4.38	0.279	4.39	0.735	4.37	0.320	4.43	0.714	4.45	0.252
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.35	0.733	4.37	0.284
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.62	0.680	4.67	0.302	3.81	0.799	3.81	0.341	4.48	0.607	4.52	0.265	4.51	0.640	4.51	0.255	4.55	0.636	4.57	0.256

Ⅸ 全学共通科目運営委員会

本章では、「全学共通科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

１．集計データからわかること

令和 5（2023）年度の「基礎教養科目」開設科目数は 150 科目、内訳として講義形態が 145 科目、演習形態が 5 科目となっており、アンケート実施率は講義形態、演習形態共に 100.00%であった。総履修者数は、17,198 名であるが、このうちアンケート回答者数は 6,354 名に留まり、回答率は 36.95%という結果となった。前年度の回答率 34.01%と比較すると 2.94 ポイント上昇しているが、現行のアンケート形式と実施時期になってから、ほぼ同水準の数字を維持している。

また、「基礎教養科目」の回答率 36.95%という値は全科目平均の 42.16%を下回っているが、講義科目の回答率は、基礎教養科目 36.99%に対して、全科目平均 37.92%と概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。

以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 5 科目（集計対象科目は 4 科目）のみであるため、特に記載がないものについては、全て講義形式のものを引用している。

Q1 私は、履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）は 84.78%であり、講義形式全体の 80.46%と比較しても高い数値となっていることから、基礎教養科目としては、授業内容をイメージしやすいシラバスとなっていることが窺える。また、大学全体でみると、81.06%と前年度の 77.47%から上昇し、講義形式、演習形式の差も少なくなっていることから、シラバスの記載方法について、改善の傾向がみられることが窺える。

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

学生の授業への意欲度については、肯定の割合が 81.04%となり、令和 4（2022）年度の 81.60%から若干下降したが、この値は、アンケート実施形態を WEB アンケートに変更する以前の 60%前後に比べて高くなっている。アンケートの実施形態が WEB アンケートとなった当初は、回答者数が前年の 3 割程度に大きく減少しており、回答者の傾向が受講に意欲的であった学生に偏っている可能性が考えられたが、現在は従来の 6 割強に回復した

うえで、肯定の割合が高い数値を維持しており、学生が意欲的に取り組んでいることが窺える。

Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

Q3-2 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1 週間あたり平均で

従来は授業時間外学習時間を問う設問であったが、遠隔授業の実施を鑑み、受講時間全体を含めた学習時間を問う設問となっているが、3 時間以上が 3.79%である一方、2 時間未満は 55.31%となっている。大学設置基準上必要とされている予習・復習時間の目安が 3 倍とされている点を鑑みると、学習時間が不足しがちであることが窺える。

Q4 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった

授業実施方法の変更について、説明が適切であったと肯定的に捉える割合は 88.90%であり、講義形式全体の 85.69%を上回る結果となった。概ね適切な説明がなされたといえよう。

Q5 この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った

LMS の活用に伴い授業内容の理解における教材の質が重要となる中で、肯定の割合は 88.63%と、講義形式全体の 84.38%を上回り、適切な教材が用いられた授業が実施されていたことが窺える。

Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

コロナ禍による遠隔授業の実施に伴い、一方的な教材の提供だけではなく、学生からの相談に速やかに応じる体制が確保されていることが重視されるようになったが、肯定の割合は 82.25%と講義形式全体の 79.75%を上回る結果となった。大学全体では演習形式に比べて、講義形式で肯定的な回答の割合が低くなる傾向の中、基礎教養科目では講義形式でも一定の機会が設けられていることが窺える。

Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

Q6 の教員への質問の機会と同様、遠隔授業の実施に伴い、履修者同士の意見交換の機会を確保することも重視されるようになったが、大学全般で演習形式や語学の授業に比べて、講義形式の肯定の割合は低くなっている。その中でも基礎教養科目では 54.35%と講義形式全体の 55.88%と比較して同水準の値となっているものの、改善の必要があると考えられる。

Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

学習内容の理解しやすさについては、講義形式全体の平均 82.55%（令和 4 年度 81.33%）を上回り、肯定の割合は 88.63%（令和 4 年度 89.50%）となっている。両年度とも講義形式全体の平均より高い値を示している点において、傾向に大きな変化はない。

Q9 この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している

Q9-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

授業のボリュームについては、肯定の割合が 87.98%と講義形式全体の 81.94%を上回り満足度の高さが窺える。一方で否定的な回答の内訳としては「多い」が 63.48%、「少ない」が 29.21%であるが、否定的な回答の割合が全体の 2.83%と高くないことから、授業全体のボリュームを調整するのではなく、「多い」と感じる学生をラーニング・サポートセンターにてフォローするといった配慮が必要であるといえる。

Q10 この授業の水準に満足している

Q10-2 授業の水準について、どのように感じましたか

授業の水準の満足度について、肯定の割合は 88.81%であり、令和 4（2022）年度のレベルの適切度と比較すると 89.20%から減少する結果となっているが、同水準を維持している。また、講義形式全体の平均 82.71%を上回っているため、水準の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となっている。

なお、否定的な回答をした学生の内訳は「高すぎる」という回答が 57.46%、「低すぎる」という回答が 36.57%と、従来、半々に近かった比率から変化が生じているため、今後の傾向に注視していく必要がある。

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激については、講義形式全体の平均 83.49%を上回り、肯定の割合は 89.49%とかなり高い数値であった。

Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

自らの知識や能力が向上したと感じる満足度についても、講義形式全体の平均 83.55%を上回り、肯定の割合は 86.95%であった。

Q13 シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる

シラバスに記載されている到達目標を達成したと肯定的に感じる割合は 81.60%と比較的高い数値になっており、シラバスの記載に当たり、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの整合性に留意することや、学生を主語にしてイメージしやすい目標を設定することなど、記載要領に基づき適切な目標を設定できていることが窺える。

Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価についての肯定の割合は 89.03%であり、対前年度（令和 4 年度 87.83%）から上昇しており、令和 3 年度が 88.52%であった点も含めて考慮すると、近年は 80%を超える高水準を維持していると評価できる。

２．今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で 18 回目の実施となったが、前年に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これはコロナ禍で得た経験を基に、過去のアンケート結果等を踏まえた各担当教員における授業内容改善の努力が結果としてあらわれたものと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

なお、例年半数程度に留まっていた回答率が毎年の課題となっているが、令和 5（2023）年度については、WEB 形式導入当初の令和 2（2020）年度の 19.67%から上昇し 36.95%という結果となり、前年と同水準を維持している。しかしながら、対面形式の授業内で実施していた令和元年度以前の 3 年間の 56～57%台から大きく下降している。引き続き、授業時間内での回答時間を促すことで改善に期待したい。

また、アンケート結果は、単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふまえ、従来の平成 28 年度のＧＰＡ制度導入に伴う「棄権」の廃止や、平成 30（2018）年度新入学生以降のキャップ制の導入等、履修や成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化に加えて、授業実施方法の改善や遠隔授業が教育効果に及ぼす影響を引き続き注視していきたい。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

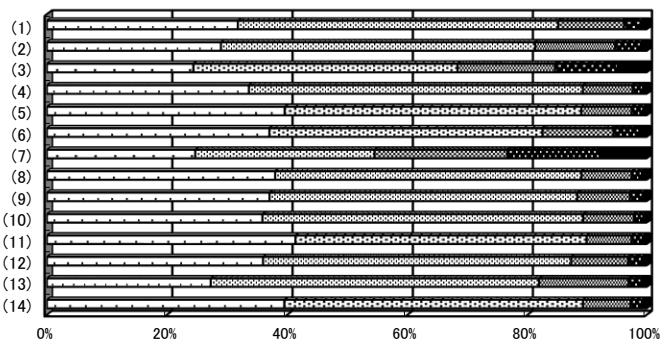
部門名　　全学共通教育運営委員会

形態名　　講義

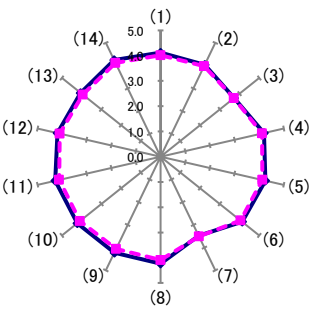
	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,298	17,026	36.99%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,993	3,347	694	182	57	25	6,298	4.12	0.782	4.16	0.243
		31.64%	53.14%	11.02%	2.89%	0.91%	0.40%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,819	3,285	844	270	63	17	6,298	4.04	0.828	4.08	0.269
		28.88%	52.16%	13.40%	4.29%	1.00%	0.27%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,530	2,757	1,023	663	304	21	6,298	3.72	1.091	3.69	0.333
		24.29%	43.78%	16.24%	10.53%	4.83%	0.33%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	105	96	378	1,411	1,526	1,794	5,310	1.82	0.942	1.80	0.459
		1.98%	1.81%	7.12%	26.57%	28.74%	33.79%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,108	3,491	524	113	36	26	6,298	4.20	0.710	4.23	0.225
		33.47%	55.43%	8.32%	1.79%	0.57%	0.41%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,481	3,101	532	125	33	26	6,298	4.26	0.737	4.27	0.260
		39.39%	49.24%	8.45%	1.98%	0.52%	0.41%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	2,324	2,856	750	272	78	18	6,298	4.13	0.871	4.18	0.327
		36.90%	45.35%	11.91%	4.32%	1.24%	0.29%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,551	1,872	1,388	976	495	16	6,298	3.48	1.236	3.58	0.656
		24.63%	29.72%	22.04%	15.50%	7.86%	0.25%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,380	3,202	527	111	49	29	6,298	4.24	0.741	4.28	0.272
		37.79%	50.84%	8.37%	1.76%	0.78%	0.46%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	2,323	3,218	553	138	40	26	6,298	4.22	0.746	4.26	0.257
		36.88%	51.10%	8.78%	2.19%	0.64%	0.41%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	113	52	–	–	–	13	178	–	–	–	–
		63.48%	29.21%	–	–	–	7.30%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	2,245	3,348	534	99	35	37	6,298	4.22	0.712	4.26	0.260
		35.65%	53.16%	8.48%	1.57%	0.56%	0.59%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	77	49	–	–	–	8	134	–	–	–	–
		57.46%	36.57%	–	–	–	5.97%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,592	3,044	474	121	39	28	6,298	4.28	0.737	4.32	0.227
		41.16%	48.33%	7.53%	1.92%	0.62%	0.44%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	2,256	3,220	602	149	46	25	6,298	4.19	0.761	4.24	0.230
		35.82%	51.13%	9.56%	2.37%	0.73%	0.40%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	1,710	3,429	943	140	52	24	6,298	4.05	0.764	4.07	0.255
		27.15%	54.45%	14.97%	2.22%	0.83%	0.38%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,480	3,127	501	122	49	19	6,298	4.25	0.748	4.29	0.268
		39.38%	49.65%	7.95%	1.94%	0.78%	0.30%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

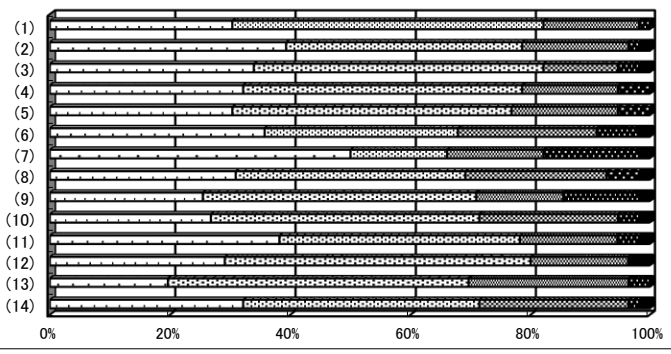
部門名　　全学共通教育運営委員会

形態名　　演習

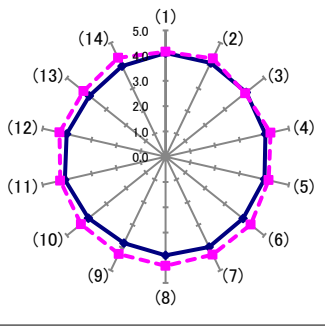
	合計	総履修者数	回答率
回答数	56	172	32.56%

質問項目		回答者ベース									科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	17	29	9	1	0	0	56	4.11	0.731	4.05	0.300
		30.36%	51.79%	16.07%	1.79%	0.00%	0.00%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	22	22	10	1	1	0	56	4.13	0.896	4.03	0.400
		39.29%	39.29%	17.86%	1.79%	1.79%	0.00%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	19	27	7	2	1	0	56	4.09	0.880	4.00	0.391
		33.93%	48.21%	12.50%	3.57%	1.79%	0.00%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	1	0	7	12	17	16	53	1.81	0.938	1.80	0.054
		1.89%	0.00%	13.21%	22.64%	32.08%	30.19%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	18	26	9	3	0	0	56	4.05	0.840	4.02	0.175
		32.14%	46.43%	16.07%	5.36%	0.00%	0.00%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	17	26	10	3	0	0	56	4.02	0.842	3.99	0.138
		30.36%	46.43%	17.86%	5.36%	0.00%	0.00%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	20	18	13	4	1	0	56	3.93	1.024	3.84	0.529
		35.71%	32.14%	23.21%	7.14%	1.79%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	28	9	9	9	1	0	56	3.96	1.221	3.79	0.985
		50.00%	16.07%	16.07%	16.07%	1.79%	0.00%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	17	21	13	3	1	1	56	3.91	0.967	3.89	0.410
		30.36%	37.50%	23.21%	5.36%	1.79%	1.79%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	14	25	8	7	1	1	56	3.80	1.026	3.72	0.477
		25.00%	44.64%	14.29%	12.50%	1.79%	1.79%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	6	2	−	−	−	0	8	−	−	−	−
		75.00%	25.00%	−	−	−	0.00%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	15	25	13	2	1	0	56	3.91	0.900	3.91	0.309
		26.79%	44.64%	23.21%	3.57%	1.79%	0.00%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	2	1	−	−	−	0	3	−	−	−	−
		66.67%	33.33%	−	−	−	0.00%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	21	22	9	2	1	1	56	4.09	0.928	4.04	0.375
		37.50%	39.29%	16.07%	3.57%	1.79%	1.79%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	16	28	9	0	2	1	56	4.02	0.892	4.04	0.289
		28.57%	50.00%	16.07%	0.00%	3.57%	1.79%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	11	28	15	2	0	0	56	3.86	0.773	3.86	0.243
		19.64%	50.00%	26.79%	3.57%	0.00%	0.00%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	18	22	14	1	1	0	56	3.98	0.904	3.91	0.420
		32.14%	39.29%	25.00%	1.79%	1.79%	0.00%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　部門名　全学共通教育運営委員会
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	**.574 (**)**	1													
Q3	.378 (**)	**.530 (**)**	1												
Q3-2	.108 (**)	.173 (**)	.275 (**)	1											
Q4	**.511 (**)**	**.469 (**)**	.330 (**)	.066 (**)	1										
Q5	**.496 (**)**	**.470 (**)**	.327 (**)	.075 (**)	**.628 (**)**	1									
Q6	**.422 (**)**	.385 (**)	.300 (**)	.081 (**)	**.542 (**)**	**.501 (**)**	1								
Q7	.342 (**)	.342 (**)	.264 (**)	.072 (**)	.338 (**)	.298 (**)	**.442 (**)**	1							
Q8	**.499 (**)**	**.480 (**)**	.286 (**)	.056 (**)	**.640 (**)**	**.626 (**)**	**.567 (**)**	**.407 (**)**	1						
Q9	**.489 (**)**	**.466 (**)**	.289 (**)	.059 (**)	**.593 (**)**	**.584 (**)**	**.502 (**)**	.364 (**)	**.703 (**)**	1					
Q10	**.517 (**)**	**.508 (**)**	.309 (**)	.048 (**)	**.614 (**)**	**.609 (**)**	**.531 (**)**	.369 (**)	**.709 (**)**	**.767 (**)**	1				
Q11	**.518 (**)**	**.509 (**)**	.319 (**)	.081 (**)	**.551 (**)**	**.572 (**)**	**.462 (**)**	.323 (**)	**.638 (**)**	**.621 (**)**	**.679 (**)**	1			
Q12	**.567 (**)**	**.560 (**)**	.350 (**)	.087 (**)	**.553 (**)**	**.579 (**)**	**.472 (**)**	.358 (**)	**.624 (**)**	**.622 (**)**	**.665 (**)**	**.761 (**)**	1		
Q13	**.583 (**)**	**.557 (**)**	.368 (**)	.083 (**)	**.595 (**)**	**.569 (**)**	**.505 (**)**	**.412 (**)**	**.624 (**)**	**.619 (**)**	**.678 (**)**	**.655 (**)**	**.714 (**)**	1	
Q14	**.536 (**)**	**.532 (**)**	.318 (**)	.074 (**)	**.624 (**)**	**.636 (**)**	**.546 (**)**	.376 (**)	**.719 (**)**	**.715 (**)**	**.761 (**)**	**.709 (**)**	**.708 (**)**	**.701 (**)**	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　部門名　全学共通教育運営委員会
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.618 (**)	1													
Q3	.324 (*)	.609 (**)	1												
Q3-2	.130	.214	.352 (*)	1											
Q4	.672 (**)	.450 (**)	.510 (**)	.186	1										
Q5	.618 (**)	.576 (**)	.636 (**)	.178	.872 (**)	1									
Q6	.496 (**)	.446 (**)	.451 (**)	.132	.511 (**)	.465 (**)	1								
Q7	.453 (**)	.420 (**)	.460 (**)	.190	.374 (**)	.319 (*)	.711 (**)	1							
Q8	.574 (**)	.338 (*)	.441 (**)	.159	.638 (**)	.678 (**)	.611 (**)	.494 (**)	1						
Q9	.642 (**)	.600 (**)	.479 (**)	.122	.630 (**)	.727 (**)	.562 (**)	.551 (**)	.803 (**)	1					
Q10	.623 (**)	.488 (**)	.447 (**)	.062	.583 (**)	.674 (**)	.308 (*)	.411 (**)	.716 (**)	.747 (**)	1				
Q11	.701 (**)	.678 (**)	.439 (**)	.042	.535 (**)	.679 (**)	.530 (**)	.498 (**)	.628 (**)	.798 (**)	.718 (**)	1			
Q12	.568 (**)	.686 (**)	.542 (**)	.175	.544 (**)	.643 (**)	.443 (**)	.425 (**)	.603 (**)	.640 (**)	.665 (**)	.765 (**)	1		
Q13	.543 (**)	.630 (**)	.527 (**)	.224	.516 (**)	.507 (**)	.492 (**)	.457 (**)	.571 (**)	.658 (**)	.530 (**)	.581 (**)	.696 (**)	1	
Q14	.663 (**)	.654 (**)	.596 (**)	.037	.575 (**)	.741 (**)	.529 (**)	.559 (**)	.785 (**)	.847 (**)	.802 (**)	.840 (**)	.760 (**)	.673 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　全学共通教育運営委員会
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.94	0.936	3.98	0.291	4.10	0.780	4.12	0.225	4.14	0.751	4.14	0.240	4.07	0.768	4.10	0.220	4.12	0.782	4.16	0.243
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.65	1.041	3.68	0.358	4.14	0.791	4.17	0.237	4.12	0.792	4.09	0.272	4.04	0.803	4.06	0.252	4.04	0.828	4.08	0.269
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.12	0.831	4.13	0.274	4.00	0.898	3.96	0.295	3.87	0.963	3.80	0.307	3.72	1.091	3.69	0.333
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.18	0.982	2.22	0.459	2.03	0.910	2.03	0.333	1.87	0.844	1.80	0.277	1.82	0.942	1.80	0.459
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.14	0.767	4.14	0.305	4.19	0.700	4.20	0.235	4.20	0.677	4.22	0.199	4.20	0.710	4.23	0.225
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.27	0.757	4.29	0.293	4.28	0.689	4.25	0.236	4.26	0.686	4.26	0.229	4.26	0.737	4.27	0.260
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.10	0.958	4.08	0.518	4.08	0.867	4.08	0.388	4.13	0.823	4.13	0.350	4.13	0.871	4.18	0.327
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.10	1.295	3.10	0.796	3.28	1.257	3.37	0.693	3.22	1.252	3.35	0.659	3.48	1.236	3.58	0.656
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.26	0.817	4.28	0.292	4.17	0.809	4.18	0.367	4.22	0.720	4.21	0.278	4.22	0.693	4.25	0.271	4.24	0.741	4.28	0.272
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.12	0.845	4.12	0.356	4.16	0.767	4.14	0.278	4.19	0.737	4.20	0.254	4.22	0.746	4.26	0.257
	(10)	この授業の水準に満足している	4.13	0.844	4.15	0.273	4.13	0.788	4.15	0.325	4.19	0.707	4.17	0.295	4.22	0.689	4.22	0.273	4.22	0.712	4.26	0.260
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.24	0.828	4.26	0.280	4.29	0.739	4.30	0.262	4.30	0.696	4.26	0.249	4.29	0.688	4.31	0.223	4.28	0.737	4.32	0.227
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.19	0.752	4.22	0.271	4.22	0.712	4.20	0.233	4.21	0.722	4.24	0.240	4.19	0.761	4.24	0.230
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.05	0.764	4.07	0.255
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.27	0.806	4.28	0.267	4.20	0.797	4.20	0.332	4.23	0.719	4.21	0.288	4.23	0.705	4.26	0.244	4.25	0.748	4.29	0.268

部門名　全学共通教育運営委員会
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	0.00	0.000	0.00	0.000	–	–	–	–	4.16	0.723	4.14	0.426	4.17	0.785	4.18	0.348	4.11	0.731	4.05	0.300
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	0.00	0.000	0.00	0.000	–	–	–	–	4.06	0.801	4.05	0.434	4.09	0.742	4.11	0.324	4.13	0.896	4.03	0.400
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	–	–	–	–	3.72	1.054	3.61	0.893	4.00	1.029	4.01	0.346	4.09	0.880	4.00	0.391
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	–	–	–	–	1.94	0.748	2.04	0.370	1.79	0.833	1.77	0.088	1.81	0.938	1.80	0.054
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	–	–	–	–	4.13	0.871	4.09	0.570	4.23	0.731	4.24	0.443	4.05	0.840	4.02	0.175
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	–	–	–	–	4.13	0.793	4.11	0.374	4.23	0.731	4.25	0.289	4.02	0.842	3.99	0.138
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	–	–	–	–	3.94	1.045	3.92	0.698	4.26	0.611	4.27	0.336	3.93	1.024	3.84	0.529
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	–	–	–	–	3.72	1.085	3.72	0.721	4.20	0.933	4.23	0.602	3.96	1.221	3.79	0.985
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	0.00	0.000	0.00	0.000	–	–	–	–	4.13	0.833	4.14	0.449	4.17	0.891	4.21	0.424	3.91	0.967	3.89	0.410
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	–	–	–	–	4.19	0.749	4.19	0.392	4.23	0.690	4.26	0.380	3.80	1.026	3.72	0.477
	(10)	この授業の水準に満足している	0.00	0.000	0.00	0.000	–	–	–	–	4.09	0.856	4.13	0.510	4.31	0.676	4.36	0.386	3.91	0.900	3.91	0.309
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	0.00	0.000	0.00	0.000	–	–	–	–	4.25	0.718	4.25	0.496	4.14	1.033	4.19	0.457	4.09	0.928	4.04	0.375
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	4.16	0.847	4.17	0.500	4.09	0.919	4.13	0.330	4.02	0.892	4.04	0.289
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.86	0.773	3.86	0.243
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	0.00	0.000	0.00	0.000	–	–	–	–	4.25	0.842	4.26	0.418	4.23	0.731	4.28	0.467	3.98	0.904	3.91	0.420

Ⅹ 教職課程

教職課程開設科目は、教員免許取得を希望する学生が自発的に履修するものであるが、開設科目と履修単位数等は教育職員免許法等に基づき、授業内容も、「教職課程コア・カリキュラム」に沿うよう文部科学省・課程認定の指導・助言を受けるなど、他の専門科目とは幾分異なる側面を持つものとなっている。

また、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業の多くは講義形式となっており、履修者も比較的多くならざるをえないこと、教育行政が求める「実践的指導力」の育成に応えるため、教科教育法の授業を中心とした講義では模擬授業や場面指導など具体的かつ実践的な内容及び方法が求められ、安易に履修学生の実態や要望に対応することが、できにくくなっている。

このような状況にあっても、担当教員の専門性、工夫や努力により、設置形態の多くを占める講義科目では、むしろ積極的評価を受けるものが少なくない。2023 年度の集計結果をみても、「(2)意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む)」、「(3)毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」など、授業参加の前提となる学ぶ意欲や姿勢を反映した質問、あるいは担当者の授業内容・方法にかかわる「 (7)履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」など、授業特性の中核に位置づく多くの項目で、高い評価を得ており、このことが結果的に、「(12)自らの知識や能力が向上したと感じる」、「(13) シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」等、総括的質問に対する肯定的評価の多さに反映したものと推測できる。

とりわけ、「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」は経年的評価においても、一貫して高い肯定的評価を得てきており、今後も、教職課程として、各担当教員の創意工夫の報告と共有化を図っていきたい。

なお、教育職員免許法の一部改正が施行され、2022（令和 4）年度入学者から、新たに「ICT 活用の理論と実践」科目（2 単位）が必修となり、専門性の高い教育・講義科目の提供とともに、施設面での改善が進められている。また、2022（令和 4）年度から教職課程全体の「自己点検・評価活動」が義務化され、本学教職課程においてもこれを実施した。

教職課程においては、授業評価アンケートの結果をふまえつつ、活動全般にわたっての点検・評価作業を行い、現状と課題を共有し、改善の取り組みを続けていきたい。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

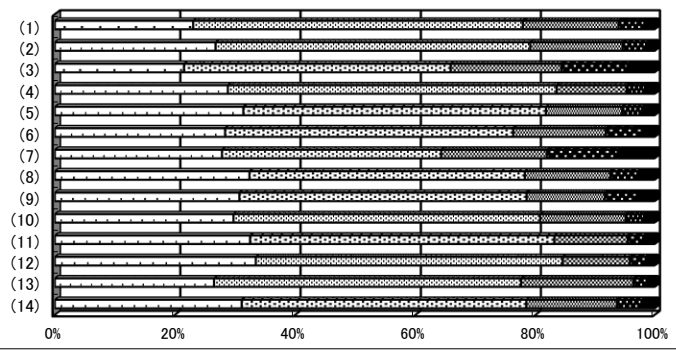
部門名　　教職課程

形態名　　講義

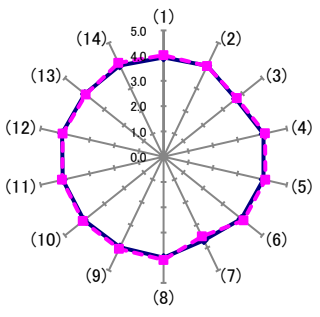
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,174	2,219	52.91%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	269	641	188	51	20	5	1,174	3.93	0.846	3.94	0.204
		22.91%	54.60%	16.01%	4.34%	1.70%	0.43%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	313	613	182	46	17	3	1,174	3.99	0.843	4.04	0.292
		26.66%	52.21%	15.50%	3.92%	1.45%	0.26%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	252	520	217	130	54	1	1,174	3.67	1.072	3.73	0.321
		21.47%	44.29%	18.48%	11.07%	4.60%	0.09%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	15	33	74	229	316	322	989	1.80	0.974	1.76	0.302
		1.52%	3.34%	7.48%	23.15%	31.95%	32.56%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	335	637	137	36	19	10	1,174	4.06	0.820	4.08	0.294
		28.53%	54.26%	11.67%	3.07%	1.62%	0.85%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	367	590	150	39	25	3	1,174	4.05	0.874	4.09	0.351
		31.26%	50.26%	12.78%	3.32%	2.13%	0.26%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	331	560	182	71	25	5	1,174	3.94	0.934	3.97	0.399
		28.19%	47.70%	15.50%	6.05%	2.13%	0.43%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	325	426	206	139	73	5	1,174	3.68	1.178	3.63	0.683
		27.68%	36.29%	17.55%	11.84%	6.22%	0.43%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	378	535	168	53	34	6	1,174	4.00	0.955	4.03	0.484
		32.20%	45.57%	14.31%	4.51%	2.90%	0.51%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	359	559	154	63	35	4	1,174	3.98	0.961	4.02	0.428
		30.58%	47.61%	13.12%	5.37%	2.98%	0.34%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	70	25	–	–	–	3	98	–	–	–	–
		71.43%	25.51%	–	–	–	3.06%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	347	596	168	36	21	6	1,174	4.04	0.852	4.06	0.424
		29.56%	50.77%	14.31%	3.07%	1.79%	0.51%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	26	29	–	–	–	2	57	–	–	–	–
		45.61%	50.88%	–	–	–	3.51%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	379	591	144	32	21	7	1,174	4.09	0.844	4.10	0.355
		32.28%	50.34%	12.27%	2.73%	1.79%	0.60%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	391	598	132	33	16	4	1,174	4.12	0.817	4.15	0.339
		33.30%	50.94%	11.24%	2.81%	1.36%	0.34%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	310	598	221	27	15	3	1,174	3.99	0.813	4.01	0.313
		26.41%	50.94%	18.82%	2.30%	1.28%	0.26%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	363	553	178	48	26	6	1,174	4.01	0.910	4.04	0.466
		30.92%	47.10%	15.16%	4.09%	2.21%	0.51%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

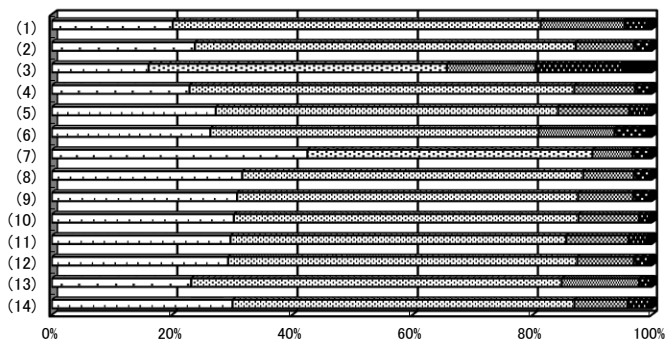
部門名　　教職課程

形態名　　演習

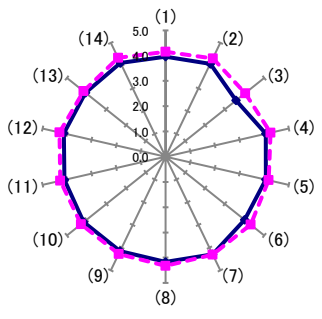
	合計	総履修者数	回答率
回答数	897	1,909	46.99%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	180	548	126	33	8	2	897	3.96	0.754	3.96	0.243
		20.07%	61.09%	14.05%	3.68%	0.89%	0.22%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	213	568	87	24	3	2	897	4.08	0.684	4.11	0.246
		23.75%	63.32%	9.70%	2.68%	0.33%	0.22%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	144	444	132	131	44	2	897	3.57	1.075	3.62	0.369
		16.05%	49.50%	14.72%	14.60%	4.91%	0.22%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	6	14	30	179	240	251	720	1.65	0.830	1.73	0.459
		0.83%	1.94%	4.17%	24.86%	33.33%	34.86%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	204	571	91	22	3	6	897	4.07	0.675	4.02	0.336
		22.74%	63.66%	10.14%	2.45%	0.33%	0.67%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	244	510	107	29	5	2	897	4.07	0.753	4.03	0.323
		27.20%	56.86%	11.93%	3.23%	0.56%	0.22%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	236	489	114	48	8	2	897	4.00	0.829	3.97	0.305
		26.31%	54.52%	12.71%	5.35%	0.89%	0.22%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	380	425	60	25	4	3	897	4.29	0.749	4.22	0.453
		42.36%	47.38%	6.69%	2.79%	0.45%	0.33%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	283	508	76	24	3	3	897	4.17	0.715	4.11	0.372
		31.55%	56.63%	8.47%	2.68%	0.33%	0.33%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	276	509	83	24	4	1	897	4.15	0.726	4.09	0.330
		30.77%	56.74%	9.25%	2.68%	0.45%	0.11%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	17	8	–	–	–	3	28	–	–	–	–
		60.71%	28.57%	–	–	–	10.71%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	270	512	91	15	4	5	897	4.15	0.699	4.09	0.355
		30.10%	57.08%	10.14%	1.67%	0.45%	0.56%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	8	8	–	–	–	3	19	–	–	–	–
		42.11%	42.11%	–	–	–	15.79%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	265	499	93	27	8	5	897	4.11	0.770	4.10	0.314
		29.54%	55.63%	10.37%	3.01%	0.89%	0.56%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	262	520	85	22	5	3	897	4.13	0.721	4.12	0.288
		29.21%	57.97%	9.48%	2.45%	0.56%	0.33%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	207	551	116	17	2	4	897	4.06	0.675	4.03	0.294
		23.08%	61.43%	12.93%	1.90%	0.22%	0.45%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	268	508	80	32	4	5	897	4.13	0.748	4.08	0.387
		29.88%	56.63%	8.92%	3.57%	0.45%	0.56%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　**部門名　教職課程**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	**.619 (**)**	1													
Q3	**.449 (**)**	**.581 (**)**	1												
Q3-2	.074	.121 (**)	.278 (**)	1											
Q4	**.550 (**)**	**.553 (**)**	.359 (**)	-.042	1										
Q5	**.480 (**)**	**.540 (**)**	.336 (**)	-.050	**.713 (**)**	1									
Q6	**.437 (**)**	**.465 (**)**	.361 (**)	-.032	**.652 (**)**	**.599 (**)**	1								
Q7	.316 (**)	.365 (**)	.386 (**)	.071	**.418 (**)**	.325 (**)	**.482 (**)**	1							
Q8	**.472 (**)**	**.515 (**)**	.348 (**)	-.062	**.673 (**)**	**.690 (**)**	**.627 (**)**	**.434 (**)**	1						
Q9	**.479 (**)**	**.512 (**)**	.341 (**)	-.094 (*)	**.612 (**)**	**.634 (**)**	**.529 (**)**	**.435 (**)**	**.719 (**)**	1					
Q10	**.504 (**)**	**.525 (**)**	.360 (**)	-.048	**.659 (**)**	**.653 (**)**	**.562 (**)**	**.447 (**)**	**.747 (**)**	**.768 (**)**	1				
Q11	**.530 (**)**	**.580 (**)**	.378 (**)	-.027	**.659 (**)**	**.671 (**)**	**.540 (**)**	**.429 (**)**	**.689 (**)**	**.676 (**)**	**.757 (**)**	1			
Q12	**.502 (**)**	**.587 (**)**	.377 (**)	-.029	**.625 (**)**	**.646 (**)**	**.546 (**)**	.387 (**)	**.688 (**)**	**.650 (**)**	**.735 (**)**	**.840 (**)**	1		
Q13	**.556 (**)**	**.582 (**)**	.390 (**)	-.086 (*)	**.658 (**)**	**.654 (**)**	**.565 (**)**	**.406 (**)**	**.682 (**)**	**.650 (**)**	**.724 (**)**	**.751 (**)**	**.770 (**)**	1	
Q14	**.503 (**)**	**.550 (**)**	.396 (**)	-.048	**.672 (**)**	**.691 (**)**	**.607 (**)**	**.425 (**)**	**.782 (**)**	**.737 (**)**	**.803 (**)**	**.773 (**)**	**.765 (**)**	**.745 (**)**	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　教職課程**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	.550 (**)	1													
Q3	.299 (**)	.437 (**)	1												
Q3-2	-.016	.040	.176 (**)	1											
Q4	.490 (**)	.418 (**)	.235 (**)	-.025	1										
Q5	.453 (**)	.407 (**)	.301 (**)	-.010	.613 (**)	1									
Q6	.399 (**)	.348 (**)	.266 (**)	-.107 (*)	.575 (**)	.589 (**)	1								
Q7	.260 (**)	.257 (**)	.104 (**)	-.043	.430 (**)	.434 (**)	.476 (**)	1							
Q8	.449 (**)	.419 (**)	.233 (**)	-.033	.602 (**)	.620 (**)	.542 (**)	.511 (**)	1						
Q9	.440 (**)	.415 (**)	.230 (**)	-.075	.579 (**)	.605 (**)	.565 (**)	.451 (**)	.722 (**)	1					
Q10	.459 (**)	.457 (**)	.250 (**)	.000	.605 (**)	.605 (**)	.573 (**)	.456 (**)	.749 (**)	.777 (**)	1				
Q11	.520 (**)	.504 (**)	.292 (**)	.058	.532 (**)	.584 (**)	.479 (**)	.409 (**)	.633 (**)	.632 (**)	.684 (**)	1			
Q12	.509 (**)	.483 (**)	.254 (**)	.043	.514 (**)	.593 (**)	.495 (**)	.409 (**)	.627 (**)	.588 (**)	.641 (**)	.759 (**)	1		
Q13	.544 (**)	.489 (**)	.278 (**)	.034	.576 (**)	.603 (**)	.549 (**)	.405 (**)	.652 (**)	.637 (**)	.693 (**)	.628 (**)	.709 (**)	1	
Q14	.480 (**)	.477 (**)	.256 (**)	-.036	.606 (**)	.623 (**)	.584 (**)	.475 (**)	.746 (**)	.745 (**)	.813 (**)	.734 (**)	.721 (**)	.733 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　教職課程
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.71	1.062	3.90	0.376	3.83	0.838	3.97	0.318	3.97	0.849	4.06	0.313	3.79	0.910	3.91	0.345	3.93	0.846	3.94	0.204
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.70	0.997	3.90	0.393	4.07	0.833	4.15	0.231	4.09	0.808	4.17	0.265	3.90	0.878	4.00	0.398	3.99	0.843	4.04	0.292
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	3.86	1.034	3.97	0.399	4.00	0.922	4.04	0.217	3.67	1.061	3.76	0.345	3.67	1.072	3.73	0.321
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.37	1.056	2.43	0.471	2.15	0.983	2.16	0.326	2.02	1.012	1.89	0.339	1.80	0.974	1.76	0.302
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	3.88	0.907	4.01	0.379	4.08	0.770	4.14	0.258	4.01	0.787	4.09	0.334	4.06	0.820	4.08	0.294
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	3.84	1.019	4.11	0.520	3.96	0.919	4.09	0.376	4.02	0.836	4.15	0.366	4.05	0.874	4.09	0.351
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.68	1.122	3.85	0.613	3.99	0.881	4.04	0.435	3.97	0.923	3.99	0.451	3.94	0.934	3.97	0.399
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.04	1.458	3.04	1.041	3.79	1.208	3.60	0.863	3.45	1.263	3.50	0.837	3.68	1.178	3.63	0.683
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.05	1.068	4.32	0.511	3.74	1.005	3.99	0.519	4.01	0.895	4.11	0.391	3.96	0.889	4.07	0.484	4.00	0.955	4.03	0.484
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.84	0.980	4.03	0.421	4.05	0.854	4.12	0.378	4.01	0.851	4.08	0.399	3.98	0.961	4.02	0.428
	(10)	この授業の水準に満足している	4.02	0.979	4.27	0.489	3.82	0.890	4.03	0.451	4.07	0.775	4.15	0.356	4.05	0.781	4.12	0.393	4.04	0.852	4.06	0.424
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.12	0.953	4.37	0.440	4.02	0.904	4.21	0.374	4.16	0.771	4.26	0.336	4.07	0.831	4.13	0.390	4.09	0.844	4.10	0.355
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	3.97	0.891	4.16	0.371	4.07	0.797	4.15	0.303	4.04	0.808	4.11	0.442	4.12	0.817	4.15	0.339
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.99	0.813	4.01	0.313
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.07	1.008	4.33	0.503	3.79	0.971	4.02	0.498	4.04	0.864	4.13	0.362	3.98	0.865	4.09	0.475	4.01	0.910	4.04	0.466

部門名　教職課程
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	3.89	1.050	3.97	0.321	4.07	0.774	4.08	0.281	3.98	0.854	4.05	0.316	3.93	0.849	3.99	0.249	3.96	0.754	3.96	0.243
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.05	0.885	4.10	0.310	4.27	0.679	4.29	0.254	4.15	0.824	4.24	0.304	4.14	0.741	4.16	0.302	4.08	0.684	4.11	0.246
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	3.99	0.912	3.99	0.378	3.93	0.935	4.02	0.354	3.91	0.932	3.93	0.311	3.57	1.075	3.62	0.369
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.40	1.172	2.47	0.621	2.24	1.101	2.23	0.531	1.86	0.946	1.96	0.496	1.65	0.830	1.73	0.459
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	4.21	0.732	4.21	0.273	4.04	0.833	4.10	0.336	4.14	0.771	4.10	0.362	4.07	0.675	4.02	0.336
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.24	0.731	4.22	0.323	3.99	0.873	4.06	0.410	4.13	0.847	4.13	0.322	4.07	0.753	4.03	0.323
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	4.08	0.945	4.05	0.444	4.06	0.868	4.14	0.387	4.11	0.826	4.04	0.353	4.00	0.829	3.97	0.305
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.65	1.225	3.67	0.730	3.89	1.080	3.90	0.666	4.33	0.844	4.24	0.538	4.29	0.749	4.22	0.453
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.34	0.847	4.37	0.336	4.21	0.778	4.18	0.326	4.03	0.879	4.11	0.443	4.20	0.830	4.15	0.382	4.17	0.715	4.11	0.372
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	4.24	0.703	4.23	0.260	4.04	0.816	4.10	0.365	4.22	0.798	4.20	0.352	4.15	0.726	4.09	0.330
	(10)	この授業の水準に満足している	4.25	0.838	4.29	0.318	4.23	0.690	4.23	0.266	4.06	0.799	4.11	0.333	4.21	0.787	4.19	0.362	4.15	0.699	4.09	0.355
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.33	0.869	4.35	0.303	4.26	0.750	4.23	0.392	4.08	0.848	4.15	0.359	4.22	0.836	4.20	0.380	4.11	0.770	4.10	0.314
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.28	0.700	4.26	0.315	4.03	0.850	4.11	0.331	4.17	0.811	4.16	0.336	4.13	0.721	4.12	0.288
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.06	0.675	4.03	0.294
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.34	0.827	4.36	0.320	4.25	0.774	4.24	0.281	4.03	0.881	4.11	0.408	4.17	0.841	4.13	0.368	4.13	0.748	4.08	0.387

XI 学芸員課程委員会

［アンケート結果に基づく評価の前提について］

2023 年度は講義・演習ともに対面授業に切り替わった年度だった。コロナ前は例年、講義、演習ともに 100%の実施率だったが、コロナ禍では実施率の低下が確認されていた。今年度は実施率が回復しており、コロナ禍での一時的な低下だったことが実証されたことになる。

［講義科目］

設問項目のうち、ポイントが下がっている項目が、（３）「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」(3.92→3.59)、（３）―2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、１週間あたり平均で」(2.01→1.58）のみだった。そのほかは総じて一昨年度と比べると 0.2～0.5 ポイント上昇しており、対面授業の満足度が高いことがうかがえた。

逆に（３）の一定時間を確保して授業の内容に取り組む姿勢が低下している点が気にかかるものの、すぐに理由が見当たらない。

［演習］

設問項目のうち、ポイントが下がっている項目が、（５）「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」(4.33→4.66→4.63)、(10)「この授業の水準に満足している」（4.33→4.69→4.67）と、あくまでわずかな差ではあるが、昨年度からは 0.02～0.03 ポイント下降している。ただしコロナ禍の 2022 年度から大幅にポイントが上昇していることには変わりなく、若干の下降はすべての授業が対面に戻ったなかでの実習への期待の裏返しかもしれない。

本学の学芸員課程の博物館実習を担当している講師陣は、博物館・美術館の現場の一線で活躍している現役の方々や一線で活躍されていた方々であり、演習そのものの満足度は高いと言えるが、講師の授業スキルに依存するところが大きいため、講師陣の慎重な選定と、学芸員課程のカリキュラムについての十分な理解を求める必要があると考えられる。

講義での評価ポイントと照らし合わせてみると、学芸員課程を履修している学生は、講義時間以外に自主的に学習する時間を確保していない傾向が見て取れるが、演習においては、そうでもなく、自主学習の比重を演習に置いていることが推測される。

［授業への取り組み、今後の課題］

一昨年度は、博物館実習では、取り扱い講習の際に、美術品輸送業者として定評のあるヤマト運輸の美術品取り扱いスタッフを講師として、輸送を想定した梱包実習を行うなど、実

践に即したかたちでの講義が実施されていた。学芸員として採択率の高い本学の学芸員課程では、こうした特別講義などを取り入れて、より実践的かつ魅力的な講義を増やしていくことによって、我が国の博物館・美術館を担う人材の底上げを図りたい。

また社会で博物館・美術館が求められる役割も変わりつつあり、それに即して令和 4 年度に博物館法改正が行われたが、昨年度時点で文科省よりカリキュラムの見直しは要請されなかった。ただし現場では、法改正にともなう実務の付加などが想定されるため、それに即応できるような授業内容を用意した。引き続き本学の学芸員課程の授業内容も、時代に即応した内容にアップデートしていく予定である。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

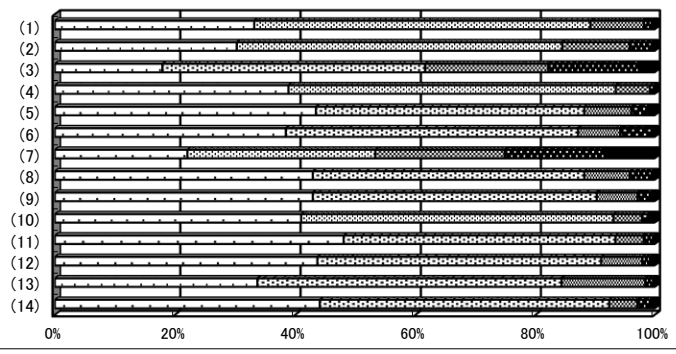
部門名　　学芸員

形態名　　講義

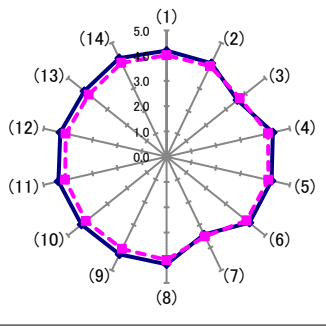
	合計	総履修者数	回答率
回答数	381	806	47.27%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	126	213	34	5	2	1	381	4.20	0.694	4.24	0.189
		33.07%	55.91%	8.92%	1.31%	0.52%	0.26%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	115	206	43	14	2	1	381	4.10	0.776	4.14	0.162
		30.18%	54.07%	11.29%	3.67%	0.52%	0.26%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	68	166	78	58	10	1	381	3.59	1.032	3.60	0.224
		17.85%	43.57%	20.47%	15.22%	2.62%	0.26%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	2	1	17	74	112	106	312	1.58	0.747	1.57	0.278
		0.64%	0.32%	5.45%	23.72%	35.90%	33.97%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	148	208	22	3	0	0	381	4.31	0.616	4.36	0.153
		38.85%	54.59%	5.77%	0.79%	0.00%	0.00%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	165	170	30	10	5	1	381	4.26	0.818	4.31	0.337
		43.31%	44.62%	7.87%	2.62%	1.31%	0.26%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	146	185	27	20	2	1	381	4.19	0.823	4.28	0.350
		38.32%	48.56%	7.09%	5.25%	0.52%	0.26%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	84	119	82	64	32	0	381	3.42	1.236	3.53	0.583
		22.05%	31.23%	21.52%	16.80%	8.40%	0.00%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	163	172	29	14	2	1	381	4.26	0.795	4.34	0.257
		42.78%	45.14%	7.61%	3.67%	0.52%	0.26%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	163	180	26	8	3	1	381	4.29	0.753	4.36	0.236
		42.78%	47.24%	6.82%	2.10%	0.79%	0.26%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	6	5	−	−	−	0	11	−	−	−	−
		54.55%	45.45%	−	−	−	0.00%	100.00%				
(10)	この授業の水準に満足している	154	196	18	4	4	5	381	4.31	0.708	4.37	0.212
		40.42%	51.44%	4.72%	1.05%	1.05%	1.31%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	3	5	−	−	−	0	8	−	−	−	−
		37.50%	62.50%	−	−	−	0.00%	100.00%				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	182	172	18	6	1	2	381	4.39	0.679	4.46	0.194
		47.77%	45.14%	4.72%	1.57%	0.26%	0.52%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	165	179	26	5	3	3	381	4.32	0.728	4.38	0.199
		43.31%	46.98%	6.82%	1.31%	0.79%	0.79%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	127	191	53	5	1	4	381	4.16	0.728	4.21	0.184
		33.33%	50.13%	13.91%	1.31%	0.26%	1.05%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	167	183	18	8	3	2	381	4.33	0.734	4.39	0.242
		43.83%	48.03%	4.72%	2.10%	0.79%	0.52%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



学習院大学　令和5(2023)年度　授業アンケート　集計結果

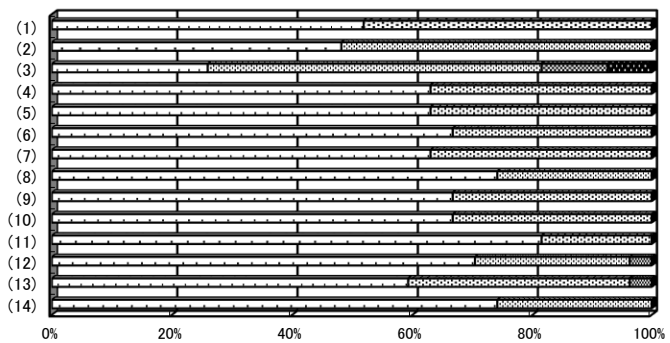
部門名　　学芸員

形態名　　演習

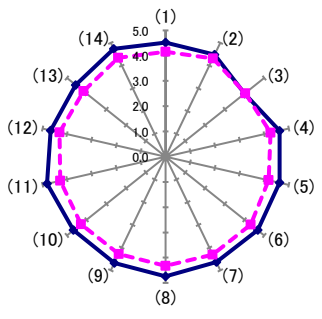
	合計	総履修者数	回答率
回答数	27	35	77.14%

質問項目		回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	14	13	0	0	0	0	27	4.52	0.509	4.52	0.179
		51.85%	48.15%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	13	14	0	0	0	0	27	4.48	0.509	4.47	0.286
		48.15%	51.85%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	7	15	3	2	0	0	27	4.00	0.832	3.99	0.390
		25.93%	55.56%	11.11%	7.41%	0.00%	0.00%	100.00%				
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	0	2	3	9	5	6	25	2.11	0.937	2.17	0.236
		0.00%	8.00%	12.00%	36.00%	20.00%	24.00%	100.00%				
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	17	10	0	0	0	0	27	4.63	0.492	4.63	0.137
		62.96%	37.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	17	10	0	0	0	0	27	4.63	0.492	4.64	0.175
		62.96%	37.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	18	9	0	0	0	0	27	4.67	0.480	4.67	0.178
		66.67%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	17	10	0	0	0	0	27	4.63	0.492	4.63	0.137
		62.96%	37.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	20	7	0	0	0	0	27	4.74	0.447	4.74	0.131
		74.07%	25.93%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	18	9	0	0	0	0	27	4.67	0.480	4.67	0.127
		66.67%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	0	0	–	–	–	0	0	–	–	–	–
		–	–	–	–	–	–	–				
(10)	この授業の水準に満足している	18	9	0	0	0	0	27	4.67	0.480	4.67	0.127
		66.67%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	0	0	–	–	–	0	0	–	–	–	–
		–	–	–	–	–	–	–				
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	22	5	0	0	0	0	27	4.81	0.396	4.82	0.137
		81.48%	18.52%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	19	7	1	0	0	0	27	4.67	0.555	4.67	0.067
		70.37%	25.93%	3.70%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	16	10	1	0	0	0	27	4.56	0.577	4.55	0.122
		59.26%	37.04%	3.70%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	20	7	0	0	0	0	27	4.74	0.447	4.74	0.131
		74.07%	25.93%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				

(1) ～ (14) における回答の割合



(1) ～ (14) における平均比較



相関係数表　　**部門名　学芸員**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	**.567 (**)**	1													
Q3	.389 (**)	**.499 (**)**	1												
Q3-2	.009	.020	.277 (**)	1											
Q4	**.415 (**)**	**.404 (**)**	.283 (**)	.031	1										
Q5	.365 (**)	.360 (**)	.274 (**)	.083	**.574 (**)**	1									
Q6	.240 (**)	.318 (**)	.248 (**)	.085	**.504 (**)**	**.541 (**)**	1								
Q7	.236 (**)	.355 (**)	.374 (**)	.143 (*)	.314 (**)	.323 (**)	**.483 (**)**	1							
Q8	.294 (**)	.330 (**)	.177 (**)	.024	**.519 (**)**	**.569 (**)**	**.583 (**)**	.362 (**)	1						
Q9	.334 (**)	.366 (**)	.203 (**)	.040	**.563 (**)**	**.575 (**)**	**.595 (**)**	.300 (**)	**.713 (**)**	1					
Q10	.358 (**)	.393 (**)	.208 (**)	.047	**.567 (**)**	**.650 (**)**	**.582 (**)**	.315 (**)	**.710 (**)**	**.770 (**)**	1				
Q11	**.445 (**)**	**.472 (**)**	.226 (**)	.031	**.494 (**)**	**.497 (**)**	**.490 (**)**	.307 (**)	**.567 (**)**	**.630 (**)**	**.695 (**)**	1			
Q12	**.458 (**)**	**.476 (**)**	.187 (**)	.000	**.500 (**)**	**.539 (**)**	**.489 (**)**	.275 (**)	**.626 (**)**	**.622 (**)**	**.741 (**)**	**.804 (**)**	1		
Q13	**.481 (**)**	**.533 (**)**	.250 (**)	.039	**.533 (**)**	**.493 (**)**	**.507 (**)**	.369 (**)	**.527 (**)**	**.591 (**)**	**.657 (**)**	**.693 (**)**	**.724 (**)**	1	
Q14	.333 (**)	.379 (**)	.179 (**)	.036	**.521 (**)**	**.656 (**)**	**.617 (**)**	.342 (**)	**.722 (**)**	**.740 (**)**	**.803 (**)**	**.712 (**)**	**.714 (**)**	**.653 (**)**	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　学芸員**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1														
Q2	**.780 (**)**	1													
Q3	.272	**.454 (*)**	1												
Q3-2	.369	.353	**.432**	1											
Q4	**.642 (**)**	**.586 (**)**	.188	**.566 (*)**	1										
Q5	**.642 (**)**	**.432 (*)**	.188	**.572 (*)**	**.841 (**)**	1									
Q6	**.734 (**)**	**.524 (**)**	.192	.332	**.597 (**)**	**.759 (**)**	1								
Q7	**.642 (**)**	**.586 (**)**	.282	**.449**	**.524 (**)**	**.682 (**)**	**.759 (**)**	1							
Q8	**.614 (**)**	**.570 (**)**	.207	**.447**	**.771 (**)**	**.771 (**)**	**.657 (**)**	**.596 (**)**	1						
Q9	**.577 (**)**	.367	.096	.225	**.597 (**)**	**.759 (**)**	**.667 (**)**	**.597 (**)**	**.837 (**)**	1					
Q10	**.577 (**)**	.367	.096	.225	**.597 (**)**	**.759 (**)**	**.667 (**)**	**.597 (**)**	**.837 (**)**	1.000 (**)	1				
Q11	**.495 (**)**	.269	.117	**.462 (*)**	**.424 (*)**	**.622 (**)**	**.472 (*)**	**.424 (*)**	**.588 (**)**	**.674 (**)**	**.674 (**)**	1			
Q12	**.499 (**)**	.318	.083	.278	.376	**.517 (**)**	**.433 (*)**	.235	**.569 (**)**	**.577 (**)**	**.577 (**)**	**.759 (**)**	1		
Q13	**.683 (**)**	**.625 (**)**	.240	**.406**	**.752 (**)**	**.617 (**)**	**.416 (*)**	.346	**.729 (**)**	**.555 (**)**	**.555 (**)**	**.467 (*)**	**.600 (**)**	1	
Q14	**.614 (**)**	**.570 (**)**	.207	**.447**	**.771 (**)**	**.771 (**)**	**.657 (**)**	**.596 (**)**	1.000 (**)	**.837 (**)**	**.837 (**)**	**.588 (**)**	**.569 (**)**	**.729 (**)**	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

学習院大学　令和5(2023)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　学芸員
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.05	0.822	4.11	0.226	3.99	0.757	4.03	0.210	4.05	0.674	4.09	0.235	4.01	0.706	4.04	0.236	4.20	0.694	4.24	0.189
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	3.80	0.924	3.87	0.305	4.06	0.841	4.08	0.290	4.02	0.710	4.05	0.165	4.05	0.715	4.08	0.213	4.10	0.776	4.14	0.162
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	4.08	0.862	4.01	0.347	3.98	0.814	4.01	0.239	3.92	0.883	3.95	0.331	3.59	1.032	3.60	0.224
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	2.30	1.109	2.06	0.617	1.97	0.872	2.01	0.384	2.01	0.788	2.05	0.416	1.58	0.747	1.57	0.278
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	3.80	0.941	3.97	0.514	4.11	0.651	4.13	0.179	4.05	0.797	4.09	0.314	4.31	0.616	4.36	0.153
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	4.05	0.833	4.18	0.376	4.19	0.637	4.23	0.226	4.15	0.782	4.21	0.337	4.26	0.818	4.31	0.337
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	3.28	1.263	3.51	0.741	3.97	0.857	4.03	0.428	3.98	0.886	4.05	0.432	4.19	0.823	4.28	0.350
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	2.31	1.237	2.51	0.953	3.06	1.241	3.22	0.757	3.20	1.199	3.26	0.588	3.42	1.236	3.53	0.583
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.35	0.724	4.40	0.197	3.90	0.886	4.06	0.403	4.16	0.656	4.22	0.229	4.08	0.836	4.15	0.395	4.26	0.795	4.34	0.257
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	3.94	0.873	4.08	0.361	4.12	0.663	4.16	0.204	4.13	0.753	4.16	0.279	4.29	0.753	4.36	0.236
	(10)	この授業の水準に満足している	4.27	0.717	4.32	0.184	3.94	0.844	4.08	0.369	4.16	0.645	4.20	0.173	4.15	0.744	4.19	0.335	4.31	0.708	4.37	0.212
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.45	0.706	4.51	0.208	4.17	0.746	4.26	0.358	4.23	0.645	4.29	0.212	4.27	0.667	4.30	0.258	4.39	0.679	4.46	0.194
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	4.12	0.783	4.23	0.333	4.18	0.612	4.22	0.177	4.18	0.730	4.22	0.303	4.32	0.728	4.38	0.199
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.16	0.728	4.21	0.184
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.38	0.713	4.44	0.222	3.92	0.919	4.08	0.440	4.13	0.643	4.19	0.231	4.14	0.764	4.20	0.343	4.33	0.734	4.39	0.242

部門名　学芸員
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	4.49	0.643	4.49	0.242	–	–	–	–	4.33	0.516	4.33	–	4.52	0.509	4.51	0.199	4.52	0.509	4.52	0.179
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）	4.50	0.628	4.52	0.277	–	–	–	–	4.33	0.516	4.33	–	4.48	0.575	4.48	0.225	4.48	0.509	4.47	0.286
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	–	–	–	–	–	–	–	–	4.33	0.516	4.33	–	3.76	1.123	3.75	0.535	4.00	0.832	3.99	0.390
	(3)-2	私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上　4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満　2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	–	–	–	–	–	–	–	–	1.75	0.500	1.75	–	1.59	0.507	1.61	0.283	2.11	0.937	2.17	0.236
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった	–	–	–	–	–	–	–	–	4.67	0.516	4.67	–	4.45	0.572	4.44	0.219	4.63	0.492	4.63	0.137
	(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った	–	–	–	–	–	–	–	–	4.33	0.516	4.33	–	4.66	0.814	4.65	0.251	4.63	0.492	4.64	0.175
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	–	–	–	–	4.67	0.516	4.67	–	4.79	0.412	4.79	0.138	4.67	0.480	4.67	0.178
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	–	–	–	–	–	–	–	–	4.50	0.548	4.50	–	4.48	0.575	4.50	0.365	4.63	0.492	4.63	0.137
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.83	0.379	4.84	0.219	–	–	–	–	4.67	0.516	4.67	–	4.69	0.471	4.68	0.219	4.74	0.447	4.74	0.131
	(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している	–	–	–	–	–	–	–	–	4.17	0.753	4.17	–	4.66	0.553	4.65	0.190	4.67	0.480	4.67	0.127
	(10)	この授業の水準に満足している	4.76	0.458	4.78	0.243	–	–	–	–	4.33	0.516	4.33	–	4.69	0.541	4.68	0.186	4.67	0.480	4.67	0.127
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.80	0.462	4.81	0.201	–	–	–	–	4.67	0.516	4.67	–	4.79	0.412	4.79	0.088	4.81	0.396	4.82	0.137
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	4.50	0.548	4.50	–	4.69	0.471	4.69	0.079	4.67	0.555	4.67	0.067
	(13)	シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.56	0.577	4.55	0.122
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.80	0.437	4.81	0.242	–	–	–	–	4.50	0.548	4.50	–	4.69	0.541	4.68	0.219	4.74	0.447	4.74	0.131

第４章

授業への取り組み例

Ⅰ 法学部

以下に、前年度の授業評価アンケートの結果を踏まえて授業等の改善を行った事例を記述する。

- 難易度の面で、学生に分かりやすくするため、レジュメに手を入れた。

- 前年度授業評価アンケートにおいて、「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」の得点がやや低かった。そこで、授業内においてグループ・ディスカッションの時間を設けることで、履修者同士の意見交換を促すようにした。

- 授業の水準について「高すぎる」との回答した学生の割合が高かったため、レジュメの内容を充実させ、授業の際は、板書で図を書きながら解説を加えるなどした。

Ⅱ 経済学部

1. 令和５年度以降に行った授業改善方法について

- 受講者が１００人以上いる講義においても教員が黒板で解く計算問題を受講者各自に深く理解させる方法として、学生による解説動画の利用を導入した。学生は講義後に自分のスマートフォンカメラの前で計算問題を白紙から始めて解きながら話して解説する。そして、その動画をオンラインで教員に提出する。学生が解説する計算問題は講義で扱われた問題に似ているが、各自が数字などを少し変えた改変版であるので、バリエーションが多い。提出された動画は教員による確認後、全受講者が再生できるように共有される。学生目線での解説は教員による解説を補っており、学生の理解を深めるとともにモティベーション向上につながる。なお、動画撮影は任意で氏名や顔などは含まれない。

- 授業科目名：マーケティング・コミュニケーションⅠ

(1) responの使用
  - 内容：受講者数が100名以上であり、1対1のコミュニケーションを取ることが難しいため、responを使用して学生が飽きないよう工夫している。具体的には、授業開始から10〜20分程度経った時点で、講義のトピックに関連したアンケートや、クイズを出題している。
  - 知見：responは出席確認システムとして使うには抜け穴が多いが、自分の周りの学生がどのような意見を持っているか知ることができるなど、学生の関心を引くためのツールとしては、有効だと考える。

(2) 動画の使用
  - 内容：マーケティング・コミュニケーションについての講義であるため、実際の企業の取り組みや、動画広告を授業中に見ることで、学生が飽きないよう工夫している。
  - 知見：明らかに集中力を欠いていた学生であっても、動画を流すと興味を持つことがうかがえる。そのため、理解するために動画を流すまでもない些細なことであっても、適切な動画があれば使用したい。

- １０５分授業実施に伴い、以前より長く質問時間をとるようにしている。時間をとり、くだらない質問でもよい、というと質問してくる学生が増えた。

- 授業科目名：基礎ミクロ経済学

コロナ期間中に、学生の理解度を確認するため、LMSで練習問題を学生が解く機会を設けた。対面での授業が復活したのちも、LMSで練習問題を解くようにさせて、一定以上の正答率の場合には、成績に加点するようにした。令和5年度はLMSのシステムが変更になったことに合わせて、練習問題を移行して続けている。LMSで学生の都合の良い時間に練習問題を解くことができるので、復習の良い機会になっている。着実にこの課題をこなした学生の理解度は高まっていると感じている。

- 講義名：キャリアデザイン　Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、インターンシップと仕事経験

【課題認識】
生成ＡＩだけに頼らない自らの思考に基づく学習の機会と、複数人でのグループ討議により個々の学生を孤立化させない環境の設定。また、集団間競争と集団内協調の意識を喚起することにより組織での成功体験の醸成と相互扶助精神喚起の必要性。

【取り組み内容】

1） 主体的な実践力の喚起：独力でのレポート評価での客観性を保つために、講義において、定期的に講義内容に基づいた課題を出し、自筆で記述させることを試みた。
2） 定期的な理解度確認：中間時に講義前半の理解度を確認するための「理解度確認」を教科書を参考にさせず、記憶にどの程度刻まれたかを確認する機会を設定するとともに、その時間内で、回答と解説を加えることにより理解の促進を試みた。
3） グループ演習による集団活動経験：２０分程度のグループ演習を講義時間中に設定し、個人での考察と複数メンバーでの考察を交互に体験することにより理解を促進するように試みるとともに、全体での発表の時間を制約時間の中で実施し、効率的に伝達する経験を積ませることと心がけた。
4） 理論と実践の結合：講義に関連する時事問題を取り上げ、理論と実際の関係性をつなげる演習課題を隔週で実施し、現実的な思考ができるように工夫した。
5） 集団間の競争と協調：ホワイトボード（黒板）に演習結果を描写させ、グループ間での議論の量と質の相違を鮮明に比較できるようにし、集団演習の出来栄えに関する競争意識による集中力を喚起する。

- 学部演習、大学院演習・授業：これらの授業は、対面で実施し、資料配布、課題提出受理、各種連絡などは、Moodleを利用した。学部演習では、2022年度に続き、外部の非営利機関が開催している、社会問題の解決を目指すプログラムにゼミ生を3チームに分けて参加させた。このプログラムは、実務家と連携して実践的解決に取り組むことを課題としており、他大学（高校、中学校、小学校も含む）からも多くの学生が参加し、京都で開催されるイベントで相互に学習する場もあり、アクティブラーニングを通じて多くのことを学べる機会となった。これらの授業で輪読を行う場合には、レジメや議論したい点を事前にMoodleに提出させ、ゼミ生が閲覧・予習できる環境を整えた。
- 学部授業「経営組織論I、II」：2023年度から全面的に対面授業に切り替えて実施している。資料配布、各種連絡、出欠管理などは、Moodleを利用した。300 人を超える履修者へのレクチャー型の授業だが、具体的な事例の話を交えることで授業内容への関心を高める工夫を行った。授業で用いるスライド教材は全て事前にMoodleで配布し、授業での理解を支援するよう努めた。期末試験終了後は、正答（記述式については模範回答例）をMoodleで公開し、振り返り学習を促し、支援した。2024年度は、授業時間が長くなったことから、学生の集中力を保つことが重要になっており、授業中に動画を観賞したり、Moodleを利用して授業中にアンケートや小クイズを実施することを試みた。
- 学部授業「産業事情（現代企業論）」：実務家をゲスト講師として招いて多様な業界・企業の概要・就職・仕事・キャリアについてご講義いただく授業である。2020、2021年度は全てZOOM同時配信型で実施したが（毎回ゲスト講師にご来校いただき、会議室からZOOMを通じて同時配信型でご講義いただく）、2022、2023年度については、ゲスト講師のご講義を教室で直接うかがう経験の重要性に鑑み、対面授業に切り替え、教室にてご講義いただいた。資料配布、出欠管理、期末レポート提出は、Moodleを利用した。2023年度からは、学期スタート直後から期末レポートの記入用のスペースをMoodleに用意し、学期末の提出期限まで随時加筆修正可能とすることで、学生が円滑にレポートを作成できる仕組みを用意した。

- 受講者の授業への集中力を高めるため、講義資料を事前配布する際、資料内の重要なキーワードをブランクにし、授業内での説明を聞いて記入するように促した。（経営戦略Ⅰ・Ⅱ）

- 研究活動の質の向上のために、他大学とのミニ・セミナーにて研究の中間成果等を発表させ、質疑に臨む機会を設けた（演習3年）

- 授業名【経営財務I】

経営財務Iは、企業価値評価、事業価値評価において計算が欠かせない。そのため適宜授業中にresponを利用し問題を解いてもらう取り組みを行っている。今後は、実際のケースを利用し、ファイナンスの問題を考えてもらう予定である。ケースを通じて身近にファイナンスを感じてもらいたいと考えている。

- 授業名【経営入門演習】

経営入門演習では、経営学に関する基本的な課題についてグループワークを課し、1年生にパワーポイントを使って発表させ皆で議論している。発表の回数を多くもうけることでアウトプットのためのインプットを行う習慣をつける狙いがある。ファイナンスを身近に感じてもらうために東京証券取引所の見学も予定している。

- Moodleを利用して、授業の概要や流れを提示しながら、資料をダウンロードできるページを作成した。
- Moodleを利用して、どの資料が多くの学生にダウンロードされているのかを調べ、資料作成の改善に役立てた。

- 講義名：一般経済史、外国書講読、入門演習、演習

資料配布方法：Moodle コーストピックに、講義パワーポイントと、講義パワーポイントの説明動画（Youtubeリンク）、参考資料、参考動画 を掲示した。
授業方法： 所定の授業時間には、対面での講義/セミナー形式の授業を開き、オンデマンド配信の資料で自習をしてきた学生たちに概要を解説した後に、講義内容についての理解度の確認と活発な議論を促した。
得られた知見：講義内容のオンライン配布を希望する学生が大多数であるため、授業時間内は「反転授業形式」でディスカッションタイムとし、自習ができているかを相互評価する機会とした。大人数での遠隔授業で行っていたブレイクアウトを、対面授業でも実施することはやや難しく、ICT ツールを複数組み合わせた工夫が必要で、令和5年度にMoodleへの転換で困難になった部分を克服し、さらに工夫を続ける。

2. 対面主体の今後の授業体制において、活用できる、活用したいと思われる手法について

- 科目：キャリアデザイン（ＩＢ，ＩＣ，ＩＥ，ⅡＡ，ⅡＢ，ⅡＥ，ⅢＣ）

活用した手法：大教室（受講者100名以上）でのグループディスカッション

・キャリアデザイン科目では学年や学部を問わず多様なメンバーが小グループに分かれてグループディスカッションすることで、お互いの考え方や価値観の違いから新たな学びや気付きを得ることを１つの目的（狙い）としている。
・昨年までのオンライン授業（Zoom）では、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って学年学部を問わず自動割り付けでグループを作っていたが、対面授業でも以下の方法でランダムにグループ分けができる体制とした。
・具体的には以下のような番号（連番）を付したプリントを授業前に配布し、授業開始時は好きな席に座ってもらうが、グループディスカッションの前に席替えをし、その数字の席（プリントの裏面に印刷）に座ってもらうことで、毎回 学年学部を

問わず新たなメンバーでグループディスカッションができる体制としている。

（表面）

CD１（キャリア・デザイン１：振り返りシート）　番号：＿1＿

第＿＿回　授業日：＿＿＿年＿＿月＿＿日

学部：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

● 提出：授業翌日の 12:00 まで（Moodle）　注）締め切り時間後の提出は一切不可

● ファイル名（すべて半角英数字）：授業回（XX）＋ 科目名（CD1）＋ ローマ字氏名

例：第１回 CD1 空野太郎の場合 ⇒ ファイル名：01CD1SORANOTARO

テーマ ①：

テーマ ②：

テーマ ③：希望者のみの自由記述（質問 ・ 意見 ・ 感想 など）

グループ・ワークの「グループ番号」と「メンバー」を記入

１回目	グループ番号		２回目	グループ番号	
メンバー	氏名		メンバー	氏名	
自分			自分		
メンバー１			メンバー１		
メンバー２			メンバー２		
メンバー３			メンバー３		
メンバー４			メンバー４		
メンバー５			メンバー５		

－ 以上 －

（裏面）

・グループディスカッションをする際には下記のようなルールで都度役割分担を決めているので、各人が毎回ランダムに異なる役割に就けるようにしている。
・また、初対面であっても役割分担を決めるための会話がグループ内で自然に始まることから、その後のグループディスカッションにもスムーズに入っていけるような仕掛となっている。
役割分担の決め方（例示）

例１：グループの中で　学籍番号の下三桁が一番小さい人がファシリテーター
学籍番号の下三桁が二番目に小さい人がタイムキーパー
学籍番号の下三桁が三番目に小さい人が発表者

例２：グループの中で　最初に誕生日が来る人がファシリテーター
二番目に誕生日が来る人がタイムキーパー
三番目に誕生日が来る人が発表者

以下、講義運営上で工夫した対面講義の良さを生かした教育プロセス
１）講義時間内での記述式レポート課題の作成と提出
２）グループおよびペアでの集団演習と、全体発表によるコミュニケーション力およびプレゼンテーション力の醸成
３）グループ間競争を促すことにより心理的な集中度を高める構成と、グループ内の協調関係の醸成支援により孤立化を避ける試み。

● 対面授業に移行した場合でも、資料の配布や学生の提出物の受理、小テストの実施などにおいては、引き続き、LMS（Moodle）を積極的に活用したいと考えている。
産業事情など、ゲスト講師を招く場合に、ゲストのご都合によっては（例えば、地方・海外在住のゲスト講師など）、Zoomを利用した同時配信型授業を部分的に活用したいと考えている。
対面授業が受講できない、特別配慮を必要とする学生に対しては、可能な範囲で、Zoomを利用したハイブリッド型授業を取り入れたいと考えている。
対面のみならず、今後はZoomでの発表スキルも大事である。Zoomでいかに聴衆の興味

を引く発表・質問ができるのか考えてみたい。

- 毎週対面授業を実施していたが、ZOOMによる同時配信も行い、心身が不調であるときも授業にアクセスできるようにしている。これにより、学生が孤立状態に陥らなくてもすむような授業環境を提供できると考えている。
- 個々の学生からの質問に、丁寧に答えるために、Zoomによる個人ミーティングを実施している。友人と共に複数人で参加してもよい。授業後の短い時間での質問や、研究室を訪問しての対面型相談よりも、学生にとっては、気軽で理解度も上がるのではないかと考えている。

- 対面主体の授業では、6-7名以上になると議論がしにくいので、大人数の講義等の際には、教室内でブレイクアウトをし、教員およびTA/SAのファシリテーションのもとで、少人数で親しく話し合える場を提供している。基本的には、オンデマンドでの資料配信＋対面での討議という、「反転授業形式」を全ての科目で継続的に活用していきたい。学生からの要望も多いため、資料配布やアンケート等の回収のみならず、ランダムなグループ分けやグループごとの連絡、グループワークの促進など、Moodle や Respon の利点を活かした活用方法を継続的に適宜実施したい。そのためには、Moodle等のICTツールが確実に安定して使用可能であるように、しっかりとカスタマイズされている必要がある。

Ⅲ 文学部

【日本語日本文学科】
いくつかの科目での例を紹介する。
・講義科目において、双方向コミュニケーションサービス「Slido」を用いて、即時的に学生の反応、感想、質問を確認していく授業に取り組んだ。
・講義、演習ともに、「先週の復習→リアクションペーパーのうち、よいものを紹介し、質問に答える→今週の講義→リアクションペーパーを書いてもらう」という流れを繰り返すことで、各回の連続性を高めている。
・講義、演習において、すべてのリアクションペーパーにチェックを入れ、おもしろいところにラインマーカーを引き、必要に応じてコメントを付して、返却している。
・講義科目において、授業の初期に講義ノートを全員に提出させ、そのうち優秀なもの 3 点を全員に公開し、自分のノートと比較させると同時に、「大学におけるノートのとり方」というマニュアル数種（本学と他大学や他サイト）を配布し、学習させた。さらに、後日、それらを学んだ上での別の時間でのノートを再度全員に提出させた。
・講義科目において、必須課題としているテキストの「疑問箇所」（各章毎に 3〜6 ヶ所ずつ、なぜわからないかも説明して提出）の課題から数点（数人分)、授業で取り上げ、他の学生に説明（解釈）させつつ、教員が疑問点に答えて解説した。

【ドイツ語圏文化学科】
１）基礎教育の充実
ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて３年次から３つのコース（言語・情 報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース）のうちいずれかを選択し、専門の勉強を始める。３つのコースに進む前の段階として、１・２年次は、基礎的なドイツ語力を付けるカリキュラムが組まれている。その中心となるのは、日本人教員が担当する初級・中級文法のクラスが週２コマ（１年生)、３コマ（２年生)、ドイツ語母語話者と日本人の教員がティームティーチングをするコミュニケーション主体のクラスが週３コマ用意されている。これらの授業はいずれも基本的に１クラス 25 名以下（再履修者がいても 30 人以下）に 押さえられており、きめ細かい指導を行っている。１年次の第１学期には、令和２年度から、「アカデミック・スキルズ入門」という科目を新規開講し、口頭発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成といったアカデミック・スキルの指導を行うことで初年次教育を充実させてきた。１年次に、基礎ゼミナールの形で学部 ４年間に必要な基本的な技能と知識を教授することで、学生

の授業に対する総合的な満足度は高まってきていると考えられる。１年次の第２学期から２年次にかけては、１学期完結の形で「現代地域事情入門ゼミナール」、「言語・情報コース入門ゼミナール」、「文学・文化コース入門ゼミナール」を必修としている。これらは基本的に１クラス 25 人以下の体制で、「アカデミック・スキルズ入門」で 基礎を学習したディスカッション、グループワーク、口頭発表の仕方を実践的に学ぶとともに、ドイツの現代地域事情、言語・情報、文学・文化の基礎的な知識を身に着ける機会となっている。このように１年半にわたって３つ分野の入門ゼミナールを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、３年次に専門コースを選択する際に役立つように制度設計している。

２）アクティブ・ラーニングの実践

ドイツ語圏文化学科のゼミナールではリアクションペーパーを導入し、学生の学習状況を把握し、質問等にきめ細かく答えられる態勢になっている。また、あらかじめ課題に関するレポートを提出させて授業中はその内容に対する討議を行う「反転学習」や、respon のアンケート機能を用いたインタラクティブな授業を実践している。これらの実践により、「履修者同士の意見交換の機会」や「教員への質問の機会」や「意欲的な取り組み」の点において、学生から高い評価を得ることができていると言えるであろう。 また、毎年５月に、１年生と３・４年生を対象にした文献検索等のガイダンスを大学図書館に依頼し実施している。それぞれの学年で必要な到達目標を勘案し、教員と図書館職員との打ち合わせをした上で実施した。これにより、１年生は基本的な文献の検索、３・４年生は卒業論文・卒業研究執筆に必要な専門文献を検索し入手する技術が身につくようにしている。

３）卒業論文・卒業研究のきめ細やかな指導体制

卒業論文指導は、３年次の７月に行われる第１回ガイダンスのあと、半年以上の準備期間を経て、４年生の４月から本格的に始まる。令和４年度は各教員とも、オンラインでの指導も取り入れつつ、充実した指導を行った。

４）コロナ後における工夫

2023 年度 5 月以降は、感染拡大への配慮をしつつも、授業は対面で行うことを基本としている。その際、コロナ禍において新しいツールとして加わった LMS や Zoom を引き続き利用し、アンケート機能を使ったインタラクティブな授業や、ハイブリッド型の指導、学生が PC を授業に持ってきて行う実践的な授業を展開している。

【フランス語圏文化学科】

令和２年度から導入された必修科目「入門演習」は、１年次前期の学生を対象とした少人数のグループワークを基本とする演習形式であり、大学での学びに欠かせない

アカデミック・スキル（大学図書館を利用した情報や文献の検索、文献資料の読解及び要約、レポートの作成、発表の仕方など）を習得することを目的としている。導入から４年目となった本授業の効果がスキルの習得に限定されることなく、入学当初より教師と学生、学生同士の意見交換を促進しアカデミックな学びにふさわしい場を醸成するというかたちで結実している。フランス語圏文化学科では令和４年度以降の入学生を対象に規定を改定し、卒業研究として全員に卒業翻訳あるいは卒業論文を課すこととなったが、その準備として１年次に履修する「入門演習」に加え、２年次必修科目「基礎演習Ⅱ」において研究テーマの口頭発表やレポート作成の指導を行い、アカデミック・スキルの段階的な向上を図っている。

令和５年度は、前年度に引き続き学科主催イベント「フランス詩と歌曲の夕べ」を開催した。本公演は 3〜４年次学生向けの開講科目「フランス語圏文化演習（文学・思想）B」と連携しており、履修生や近隣大学の学生を含めた聴衆にとって、ジャンルの垣根を超えた芸術の広がりを体験する機会となっている。

【心理学科】
・対面授業において、Moodle のチャット機能を用いて学生からの発言を求めている。昨今の学生は、授業やゼミの場で口頭での発言を躊躇する傾向が強い。Moodle のチャット機能を用いることで、他の学生の前で皆に見られながら発言をしなければならないというハードルが下がり、学生からの積極的な発言を促すことにつながっている。

・対面授業において、Moodle を使って課題を出している。Moodle の「小課題」機能を使うと、Excel で結果をまとめて出力できるというメリットがある。そのメリットを活かし、その場で結果の Excel ファイルをダウンロードして内容を整理・分類して、結果を学生に示しながらフィードバックしている。Moodle を活用することで、１回の授業の中で課題を行うことと結果のフィードバックを負担なく行うことができる。
・対面授業のコメントペーパー集めでも Moodle を活用している。Moodle の「アナウンスメント」機能を使うことで、Excel 形式のファイルで結果をダウンロードできる。これを利用して、授業のその場で教員が結果を整理して学生にフィードバックしている。

・学生相互が学び合うアクティブラーニングの技法を演習に取り入れている。一人がけの机と椅子を動かして、全員で円になってディスカッションをしたり、４人程度の島に別れてグループワークを行なったりといった授業を展開している。

【教育学科】

①初年次教育の一環として 1 年次第 1 学期に学科教員全員が担当する「基礎演習」を設け、「聞く」「読む」「書く」「発表する」という 4 つの側面で、学生の今後の学びの基本的スキルを身につけさせることにしている。毎回の授業では複数の教員がそれぞれ異なる視点から上記 4 つの側面に対し、講義をしたり学生のレポートにコメントを出したりしている。とりわけ各自の関心のある教育的課題について文献を調べ、レポートを書き、それに基づき最終のプレゼンテーションを行うという一連の流れの中では、学生自身の教育的課題への向き合い方もかなり深められているように思われる。

②教員養成を主目的としている教育学科では教育法の授業が設けられているが、それらの授業の中で学生同士あるいは個人で模擬授業や部分指導をする機会も多い。そのため学科としても閲覧室に各教科の最新の各社教科書や指導書一式を配備し、学生の自学自習の環境を整えている。

③小学校教員免許取得のための最終的な科目である「教職実践演習（小）」は 4 年間の学びの集大成ととらえ、各自の学びを振り返りつつ、通常の授業内では学習し切れなかった教育課題（例えば、アタッチメントや安全教育など）についても専門の研究者を外部講師として招聘し講義を受けられるようにしている。

Ⅳ 理学部

取り組み例 1（化学科）

105 分授業になったので，出席確認を兼ねた小テストを授業の中に挟んだ（これまでは授業後に Moodle で提出)。小テストは問題（簡単な式の導出などすぐに解けそうなもの）を書いた A4 の問題用紙を 1 枚ずつ配り、出席者にその場で答を書いてもらう。10 分程度たったら，解答が書かれた問題用紙を近くの出席者と交換し、解答に対するコメントを互いに書く。コメントが付いた問題用紙を回収して確認し次の週に返した。
隣席の友人に対するコメントの多くは称賛で（「すごいと思います」、「解こうとしていてえらいです」）やさしさに溢れていた。ただし，解答とコメントの双方について間違えていることも多々あり、授業中の気分転換および交友関係の確認としては機能しているかもしれない。

取り組み例 2（化学科）

毎回の授業後に、Moodle を利用することにより課題レポートを課した。授業時間内では、授業内容をインプットすることに偏りがちなため、授業後に自分でじっくり考え、かつ手を動かしてアウトプットさせるのが目的であった。採点後のレポートについては、評価点を知らせて、Moodle 上に解答例を掲示するだけでなく、各個人に間違えた箇所についての具体的なコメントを送った。また、授業が 105 分になったため、その次の授業の冒頭において少し時間を割き、多くの学生が誤答した問題の講評や、説明不足のために正確に伝えられていなかったと思われる内容の補足を行った。課題レポートは、元々学生にアウトプットさせるのが主目的であったが、学生の習熟度をある程度把握することや、さらに自分（教員）の伝え方に問題があった箇所を認識するためにも有効であった。

取り組み例 3（化学科）

90 分の際には，最初の 10 分弱で出席を兼ねた小テストを行なった。授業の途中で問題を出して，少し考えてもらって学生に答えを黒板に書いてもらい，解説することをおこなったが、学生がさっと答えを書いてくれるとよいが，モタモタするとあっという間に時間が過ぎてしまい、実際はなかなか十分な時間を取ることができずにいた。今年度から 105 分になり，少し時間に余裕ができたので，ほぼ毎回演習の時間を取るようにして，しばらく考えてもらい，学生数名をあてて，黒板に書いてもらい，修正・解説等を行なっている。学生の気分転換にもなって良いかと思われる。

取り組み例 4（数学科）

105 分授業における集中力の維持の方便として、新 1 年生の授業において、50 分ほど経過した時点で 10 分の小テストと 5 分の休憩、そしてその後の 5 分の解説を挟む。小テストの問題は、学期を通してどのような能力を身につけることが期待されているかを週 2 回というリズム感を持って学生に伝えることができ、また小テストの下段にコメント欄を作り、実質的に授業アンケートを週 2 回行うことは、結果的に教員と学生の距離を短くすることに繋がった。

取り組み例 5（化学科）

化学科では、化学科の教授・准教授 9 人全員が参加する隔週開催の化学科相談会で、1 年生から 3 年生の必修科目の授業の出席状況や、授業の様子について話し合っている。学生の反応や意見を取り入れて、非常勤講師の授業の様子や問題点を話し合い、授業方法の改善や翌年度の非常勤講師の交替の可能性を自由に議論している。教育現場の様子の情報を共有し、率直な意見を交わすことで、教育の質の向上をはかっている。

取り組み例 6（数学科）

数学科では毎週の教室会議で、1 年生、2 年生の必修科目の授業の様子を、演習を担当している助教の先生方のインプットも含めて取り上げ、特に新 1 年生の 1 学期の様子を基礎ゼミ等の様子も含めて話し合うことを慣習化している。カリキュラムの変更の可能性、10 年以上本学にいる教員による過去のカリキュラムの共有、昨今の新入生の学力の客観的な指標の共有、近年のコロナ禍による学力の低下とそれへの対応策、学生の就職に対する考え方、大学院進学に対する教員の立場（例：博士前期課程と博士後期課程への進学を勧めるか否か、それに付随する責任）等を自由に議論することで、教育の現場の様子を共有することに多くの意義があるように思われる。特に、助教からのインプットを教室全体で共有することで、年配の教授が垣間見ることのできない学生の本音をも知ることができ、教育に必然的に付随する Authority の構造に深みと柔軟性を持たせることに役に立っている。

取り組み例 7（理学部全体）

各学科では、毎年 5 月下旬、6 月上旬ごろ、1 年生を対象に新入生懇親会を行う。そこで、学生及び教員の簡単な自己紹介の後に、授業に関する意見や要望が聴取・集約する機会があり、それをもとに他の教員と改善について相談をした。

取り組み例 8（物理学科）

(1) 演習は 2 クラスに分かれていて、各担当者が独自に作問しているが、「別クラスの問題も見たい」という要望に応える形で、各クラスの Moodle 上に、他クラスの演習問題も見られるように配慮するなどした。

(2) 講義との連携をとってほしい、という要望に応える形で、関連する内容を講義する他の教員が、演習の Moodle を閲覧できるように設定して、進捗状況を把握できるようにした。

(3) 今年度から 105 分が 2 コマ連続となったため、冒頭に「小テスト」とその「相互採点」を導入した。前回の復習と、定着度の確認を目的としている。相互採点は、採点の責任を負った状態で他者の答案をよく検討し、自身の解答との違いを見出してもらうことで理解を深めてもらうことを意図している。

(4) 演習問題の類題を「提出課題」として与えて、自宅学習のきっかけとしてもらっている。

(5) コロナがある程度おさまったので、3–4 名のグループで着席させて、グループ内での議論を推奨している。グループは 3 回ごとにランダムに入れ替えて、議論相手が固定化しないよう配慮している。学習が遅れている学生が孤立しないこと、議論を通じて理解を深めてもらうことを意図している。

(6) 学生の意思表示を可視化するために、赤青の色付きのパネルを毎回配布している。挙手での意思表示はあまり有効でないと感じていたので、全員同時にアクションを取らせる方式にした。解説中にパネルを掲げてもらうことで、理解の状況を瞬時に色で判別できるのが効果的で、演習の進捗状況の把握にも利用している。

Ⅴ 国際社会科学部

【事例①】
授業評価アンケートでは、「私はこの授業に意欲的に取り組んだ」の項目で高い評価となっているものの、「私がこの授業に使った 1 週間あたりの平均時間」は、あまり多くない傾向が見て取れた。宿題を出しても、多人数講義では、採点時間の確保が難しいことから提出させていなかったことが一因と考えられた。そこで、多人数講義において宿題を出した場合には、次の週に授業内でランダムに当てて解答してもらい、評価にも一部反映させることにした。これによって、多人数講義でも受講生が緊張感をもって宿題に向き合うようになったと感じる。

入門演習において、データ分析の実習は 2 学期の入門演習 II でカバーすることになっている。しかし、十分な実習時間をとれない場合があることが分かったため、1 学期の入門演習 I でもデータ分析の実習を行うようにした。これによって、受講生のデータによる仮設の検証への意識がより高まった。

【事例②】
「Health Economics」は国際社会科学部の 3 年生向けの講義科目です。英語で開講された大人数講義なので、アクティブ・ラーニングができるように様々な工夫が行われました。授業中に学生同士の交流機会が少ないという問題点が去年度の授業評価アンケートで分かりました。その問題を改善するために、授業内容に関するディスカッション活動時間を積極的に設けました。毎回の授業中に 2～4 人のグループを自由に作らせて、講義で紹介された概念やモデルなどを現実問題に関連づけながら学生同士を議論させます。同時に教員と SA が巡回し、学生同士の議論にも適宜参加します。最後にグループごとに纏められ議論の結果が学習管理システム Moodle に提出され、参加者のパフォーマンスについても自己評価しなければならないので、参加意識の向上が著しく見られました。提出された回答に関して、次回の授業で教員がコメントしたり模範回答を共有したりすることで学生と教員の意見交換も増えました。また、大人数の授業では学生の意見や理解度を把握しにくいという問題も良くあります。そこで、Moodle を活用して、授業中に常に講義内容に関連するクイズ問題を答えさせたり、意見フォーラムで学生の意見を取集したりすることで、より学生の学習状況とフィードバックが把握できます。今学期の履修者数が 159 人ですが、上記の取り組みで「Health Economics」は学生にとってより参加しやすい講義になっていると思います。

【事例③】
全般的に、コロナ禍以降 Moodle にすべての教材がアップロードされることに学生が慣れてしまい、対面授業を軽視する姿勢が見られる。対面授業への出席を促すため、履修者数が 100 名を超す講義科目においても、対面授業では印刷した教材を配布し、授業内で発言した

者に対して加点としての発言点を付与することとした。

英語講義科目の Case Study Methods は英語で書かれたシラバスをよく理解しないままに履修を開始し、途中で脱落する者が多かったため、開講前に日本語でガイダンス資料を提示するようにした。その結果、研究方法論を学ぶ科目であるということが浸透し、クラスの規模が適正サイズとなり、卒論執筆や大学院進学を検討している学生が履修してくれるようになった。

２年生が主な対象となる英語講義科目の Sustainable Development は、教員からの一方的な講義を廃止し、オンデマンド教材の自己学習、日本語による補足説明、グループ・ディスカッション及び、ディスカッションを踏まえた解説という授業構成に変更した。本科目は海外からの協定留学生が受講するため、グループ・ディスカッションを通じて、日本人学生と留学生が対話する機会を提供することができた。ただし、ネイティブの学生と日本人学生が同条件で学ぶことは困難なため、留学生には開講前に「日本人学生の大半がまだ英語で専門科目を学ぶことに慣れていないこと、日本人学生の英語力を前提に授業を組み立てているため学習内容の進度が限定されること、日本人学生の学習に協力してほしいこと」を説明し、了解の上で受講してもらった。

【事例④】

「国際会計論」の授業評価アンケート結果では、学生の授業時間外の勉強が少なかったとあった。授業時間外の勉強を増やすために、LMS システムを使っていくつかの資料を共有し、課題を増やした。また、授業に関連するメディアの記事やユーチューブのビデオなどを紹介し、受講生の好奇心を育てることに取り組んだ。

例として、次ページに Moodle の授業ページのスクリーンショットを示す。6 月 27 日には、統合報告書の５つの経営資本についての講義で三菱商事社の事例を用いた。予習・復習できる資料について４種類を用意した。

１）三菱商事社の事業紹介（中央の図とリンク）: 通学中でも携帯端末等で確認することが出来ることから、紹介したものである。

２）同社の最新の統合報告書（URL リンク）: 企業情報について実践的に勉強できる素材として紹介した。

３）参考文献: 国際統合報告フレームワークを載せて、基礎的な知識を身に付けることができるものを紹介した。

４）「９．経営資本」のファイル: 授業で用いるパワーポイントである。パソコンを使って直接にノートを書き込めるため、授業後の復習に役立てることが期待できる。

6/27 経営資本

本日のメニュー：

1.経営資本とは何か　2．無形資産と経営資本との関係　3．三菱商事の事例

参考資料：

三菱商事の6つの資本：6つの資本 - オンライン統合報告書2022 | 三菱商事 (mitsubishicorp.com)

https://us06web.zoom.us/j/81356532301 (パスワード: 076020)

FICHIER
9.経営資本

Marquer comme terminé

FICHIER
統合報告書フレームワーク

Marquer comme terminé

VI 計算機センター

ここでは、「人工知能概論」「プログラミング中級」という、データサイエンス副専攻・MDASH 応用基礎レベル・リテラシーレベルのコア科目について紹介する。

授業名：人工知能概論

- 授業概要
  - 現在の AI ブームの中で AI に興味をもった学生のほとんどは、第二次世界大戦後まもなく始まった AI 研究がどのように変遷して今日の AI ブームに至るのかを知らない。そのため、AI 研究の方法論の変遷を具体的な研究者の営みがわかる逸話などを交えて紹介した。また、数学、哲学、認知科学、言語学など様々な分野との関係や、AI への他分野からの批判、初期 AI 研究者の楽観的な見方なども幅広く扱った。さらに近代文学とラノベ作品のテキストクラスタリング問題を通して、機械学習における特徴設計と高次元データの扱いについて解説した。AI の社会実装にともなうバイアスやプライバシーの問題と、システム評価における dataleakage などの典型的なミスについても触れた。
- 授業運営
  - 授業開始時の受講者数は 120 名以上であった。最終的に毎回コンスタントに出席する学生は 90 名程度になった。毎回リアクションペーパーの記入を課し、次回の授業で書かれている質問を匿名化して共有し、回答する時間を設けた(毎回 30 分以上費やした)。他の受講者の考え方や疑問点がわかること、自分の質問への回答が毎回得られることで、みな積極的にリアクションペーパーに質問や考えを記入していた。
- 学生の反応
  - AI の歴史や社会的な課題を通して、哲学、認知科学、言語学、文学などとの関わりについても触れたことから、各々の専門とつながりの深い学生の反応はとても良かった。AI の歴史では避けて通れない論理学に関する箇所は多くの学生がやや難しいと感じたようである。高次元データの分析に関する数理的な箇所については、全学対象の授業ということでもっぱら現象面や性質の解説にとどめ、数理的な扱いを極力減らしたことから、一部の理学部の学生からはもっと数理的な側面も学びたいという声もあった。

授業名：プログラミング中級

- 授業概要
  - Python の初級レベルのプログラミングスキルがある学生を対象とした授業である。百人一首の 1 字決まりの句の抽出とその n 字決まりへの一般化や、ナンプレ（数独）を解くためのプログラミングをとおして、ファイルの入出力、文字コード、immutable と mutable の違い、関数の副作用、変数のスコープ、他のプログラミング言語との違いなどについ

て学んだ。

- 授業運営
  - JupyterNotebook によるプログラミングは初心者のハードルは低いものの、大域変数の多用による状態の複雑化、標準入出力の学習が難しくなることなどの問題があるため、中級の授業ではシェルとエディタによるプログラミングに受講者が慣れることを目指した。多くのプログラミング学習サイトや、競技プログラミングに取り組む際にも必須となる階層ファイルシステム、シェル、標準入出力等について、最初に授業で扱った。また、エラーが出たときには、ChatGPT にプログラムとエラーをそのままコピー・ペーストして質問することを推奨した。さらに、課題への取り組みや、独習の際にも ChatGPT を使うことを推奨した。
- 学生の反応と次年度の取り組みにどう活かすか
  - 受講者からは、説明が丁寧で、初めて関数の書き方や if 文の論理式についてよく理解できたとの声があった。一方で、中級レベルとして理解してほしい内容を盛り込みすぎたために、プログラミング作業にじっくり取り組む時間を確保することが出来ず、多くの脱落者を生む一因となってしまった。来年度からの 105 分授業を活かしてプログラミングの作業時間を拡充する予定である。また、授業時間しかプログラミングをしない受講者に、もっとプログラミングに取り組んでもらえるような課題についても工夫したい。

Ⅶ 外国語教育研究センター

令和2年度から令和4年度はコロナ禍の影響により、オンライン（オンデマンド・Zoom)、対面授業、そしてハイブリッド（対面授業とオンラインの併用）など、その状況に合わせて教員はさまざまな工夫を凝らしながら授業を行なってきた。これらの取り組みに関しては過去のアンケートの結果から見ても、学生から肯定的な評価を得られていたことが分かる。

令和5年度は、外国語教育研究センターのほとんどの科目は対面授業に戻り、教員はコロナ禍で行なっていた工夫を継続しながら、対面での授業を行なった。例えば、その一例として授業と併用して使っているオンライン・プラットフォーム（Moodleなど）での取り組みが挙げられる。オンライン上で、教科書に関する問題や、授業で学んだ知識を応用する問題を学生は課題として提出することで、学生の学習の進み具合を図ることが可能になった。その課題の間違いが多かった箇所などに関しても、授業で詳しい説明を行い、フォローアップをすることで学生の理解を深めることができた。授業の取り組みとして以下のことが挙げられる。

- 英語カリキュラム改編に伴い、令和5年度より英語のリーディングとインターラクションの授業において教科書リストが導入され、英語を学ぶ際に必要な知識やスキルなどを授業でより効果的に学べるようになった。具体的には、例えば速読や文章を正確に読むために必要なスキミングやスキャニングなどのスキルの学習や、学生の専門分野に対応した今後の英語での発表のための文章構成やパラグラフリーディングの学習や日常会話においても自然な英語が身につくようなアクティビティの充実なども考えられる。
- また外国語教育研究センターでは英語カリキュラム改編に伴い、令和6年3月に英語リーディングとインターラクションを教えている教員を対象としたワークショップを行った。このワークショップの目的は、授業の内容を学生がより効果的に学べるよう、教員が授業で行なったアクティビティや取り組みなどを紹介し、今後の英語教育の向上を目指すものであった。ワークショップでは、教員が授業で行なったアクティビティや取り組みなどが紹介された。例えば、どのようなアクティビティやディスカッションが行われているかということに関しても具体的な取り組みが明らかになり、教員同士でもお互いの授業で行っている活動などに関しても意見交換できるような場になった。
- その他にも、外国語教育研究センターでは毎年3月に教員を対象にMoodleのワークショップを行っている。特に、ここ数年はMoodleに移行する期間でもあり、対面授業と併用してオンライン・プラットフォームを使えるよう支援するものであった。ワ

ークショップ当日は、教員が実際にパソコンを使いながら、Moodleの機能を知ることができるように説明が行われた。また、自宅に戻ってからもMoodleの使い方を理解できるように動画を制作し、その後も実際に使えるように支援を行った。

- 具体的には、教員はMoodleなどのオンライン・プラットフォームを継続して使い、学生が提出した課題にコメントやフィードバックを提供した。また、授業の際に学生が提出した課題をグループでのディスカッションに使い、その内容の理解を深めることができるように工夫した。
- 学生からの質問や授業に関する連絡についても、教員はMoodleのメッセージ機能やアナウンスメント機能などを使い、学生の疑問点や変更点に早急に対応できた。さらに、Moodleの機能を使い、学生がリーディングの音源を聴けるように工夫を行った。また、英語を聞きながら、それを真似して発音するシャドーイング（Shadowing）を継続的に行うことで、学生が発音や文法を意識しながら学べるよう、取り組みを行った。
- それらの取組み以外にも外国語学習を行う際に、学生自身の授業時間以外での学びも重要になる。そのため、外国語教育センターでアクセスできる外国語の多読教材の紹介を行い、授業時間外でも学生が主体的に学べるよう、外国語自習室にある教材の利用方法を教え、さらに課題に組み込む工夫をすることで、学生の知的好奇心が刺激されるよう、取り組んでいる。

また昨年度からの取り組みも継続的に行っているので、それらも下記に紹介する。

- コミュニケーションの授業では、授業時間の一部を使い、写真やビデオを見せながら現地の文化や社会等に関する説明を行い、学生たちの興味関心を喚起するよう努めた。
- リーディングの授業で、書画カメラでテクストを映し出し、直接原稿に線や矢印等を書き込んで、文の構造や、他の文との関係等を示すことで、学生の読解を助けた。
- 練習問題を解かせる際に、学生たちの机の間を頻繁に行き来し、理解の不十分な学生を積極的に見つけて、分からない点を再度説明したり、より噛み砕いた説明で理解させるように努めた。
- コミュニケーションの授業で会話や作文の練習をする際、学生の興味やモティベーションを高めるため、インターネット上の当該言語のサイトを教材に使い、その言語や社会等に対する親近感を持たせるようにした。
- 文法の授業で、学習内容が定着しやすくなるように、単元毎に試験を行った。
- リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテクスト等を用いて、アクチュアルな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。
- オンライン学習支援システムを利用して、自宅からアクセスすることで授業後も継続

して学習できる環境を提供している。

- オンライン学習支援システムで問題毎の正答率を出して、正答率の低い項目を重点的に復習させるようにした。
- 言語表現等の上達を図るため、授業中に当該外国語でブログを書かせ、コメントや意見を付け加えて返すようにしている。
- 興味を持たせながら語彙を増やすために、当該言語の辞典での語句の定義や解釈を示し、 その語句を推測させた。
- 日本語以外の外国語科目で、ネイティブスピーカーおよび長期留学経験者のティーチングアシスタントを使い、学生の実践的な演習の機会を増やした。

Ⅷ スポーツ・健康科学センター

スポーツ・健康科学センターの教員が実施した令和５年度の授業への取り組みについて

◆スポーツ･健康科学Ⅰ/Ⅱ（文学部･理学部1、2年生必修）について

・コロナ禍で令和２年度から中止していたスポーツテストを令和５年度より再開した。今まで行っていた種目を再検討し、Google フォームを活用するなど記録方法もデジタル化した。スマートフォン等で QR コードから記録画面を読み取り、各自がその場で記録を入力し、その後、集計・結果を出力しフィードバックを行った。また、令和２年の３月にエアコンが設置されたため、スポーツテスト実施時期（6 月中旬）も外気温を気にせずに行うことが出来た。

コロナ禍になる前の 2019 年度における本学 1 年生の各種目の平均値と 2023 年度を比較すると、各項目・男女とも 2023 年度のほうがやや低い傾向にあった。特にハーバードステップテストが 2023 年度の方が低い傾向にあったという興味深い結果となった。必修科目であるスポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱでスポーツテストを継続実施し、学生の体力の現状を把握していくことは必要と考える。

◆スポーツ･健康科学Ⅲ（全学部対象選択）について

・コロナ禍前よりも全体的に履修者が増加したことにより、各授業とも受講者の体力・技術レベルの差が大きくなってきている。そのような状況においても各自が満足できるような授業内容を工夫して実践している。

第５章

資料集(質問項目別基礎データクロス表)

Q1　私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	692 26.27%	1,308 49.66%	427 16.21%	149 5.66%	50 1.90%	8 0.30%	2,634 100.00%	3.93	0.905	3.96	0.299
外セ	語学	1,882 28.42%	3,448 52.08%	932 14.08%	254 3.84%	82 1.24%	23 0.35%	6,621 100.00%	4.03	0.832	4.05	0.325
スポ健	演習	738 44.92%	701 42.67%	138 8.40%	47 2.86%	13 0.79%	6 0.37%	1,643 100.00%	4.29	0.800	4.31	0.306
全学共通	講義	1,993 31.64%	3,347 53.14%	694 11.02%	182 2.89%	57 0.91%	25 0.40%	6,298 100.00%	4.12	0.782	4.16	0.243
	演習	17 30.36%	29 51.79%	9 16.07%	1 1.79%	0 0.00%	0 0.00%	56 100.00%	4.11	0.731	4.05	0.300
	計	2,010 31.63%	3,376 53.13%	703 11.06%	183 2.88%	57 0.90%	25 0.39%	6,354 100.00%	4.12	0.781	4.16	0.244
法学部	講義	1,807 27.91%	3,400 52.51%	969 14.97%	215 3.32%	42 0.65%	42 0.65%	6,475 100.00%	4.04	0.789	4.06	0.214
	演習	379 40.32%	422 44.89%	101 10.74%	26 2.77%	9 0.96%	3 0.32%	940 100.00%	4.21	0.816	4.25	0.379
	計	2,186 29.48%	3,822 51.54%	1,070 14.43%	241 3.25%	51 0.69%	45 0.61%	7,415 100.00%	4.07	0.794	4.13	0.299
経済学部	講義	1,745 25.94%	3,607 53.62%	988 14.69%	286 4.25%	72 1.07%	29 0.43%	6,727 100.00%	4.00	0.822	4.01	0.245
	演習	144 38.40%	169 45.07%	47 12.53%	12 3.20%	3 0.80%	0 0.00%	375 100.00%	4.17	0.826	4.23	0.328
	計	1,889 26.60%	3,776 53.17%	1,035 14.57%	298 4.20%	75 1.06%	29 0.41%	7,102 100.00%	4.00	0.823	4.06	0.285
文学部	講義	1,835 25.90%	3,945 55.69%	930 13.13%	314 4.43%	48 0.68%	12 0.17%	7,084 100.00%	4.02	0.793	4.08	0.253
	演習	968 33.48%	1,520 52.58%	289 10.00%	80 2.77%	23 0.80%	11 0.38%	2,891 100.00%	4.16	0.772	4.19	0.325
	計	2,803 28.10%	5,465 54.79%	1,219 12.22%	394 3.95%	71 0.71%	23 0.23%	9,975 100.00%	4.06	0.790	4.13	0.295
理学部	講義	677 23.75%	1,476 51.79%	520 18.25%	120 4.21%	47 1.65%	10 0.35%	2,850 100.00%	3.92	0.856	3.95	0.239
	演習	169 31.47%	277 51.58%	68 12.66%	15 2.79%	7 1.30%	1 0.19%	537 100.00%	4.09	0.815	4.15	0.235
	計	846 24.98%	1,753 51.76%	588 17.36%	135 3.99%	54 1.59%	11 0.32%	3,387 100.00%	3.95	0.852	3.99	0.250
国際社会科学部	講義	734 26.36%	1,478 53.09%	391 14.04%	138 4.96%	37 1.33%	6 0.22%	2,784 100.00%	3.98	0.851	4.04	0.232
	演習	75 30.00%	96 38.40%	48 19.20%	20 8.00%	11 4.40%	0 0.00%	250 100.00%	3.82	1.086	3.82	0.397
	語学	515 32.11%	758 47.26%	221 13.78%	72 4.49%	34 2.12%	4 0.25%	1,604 100.00%	4.03	0.912	4.05	0.334
	計	1,324 28.55%	2,332 50.28%	660 14.23%	230 4.96%	82 1.77%	10 0.22%	4,638 100.00%	3.99	0.887	4.03	0.320
教職課程	講義	269 22.91%	641 54.60%	188 16.01%	51 4.34%	20 1.70%	5 0.43%	1,174 100.00%	3.93	0.846	3.94	0.204
	演習	180 20.07%	548 61.09%	126 14.05%	33 3.68%	8 0.89%	2 0.22%	897 100.00%	3.96	0.754	3.96	0.243
	計	449 21.68%	1,189 57.41%	314 15.16%	84 4.06%	28 1.35%	7 0.34%	2,071 100.00%	3.94	0.807	3.95	0.225
学芸員	講義	126 33.07%	213 55.91%	34 8.92%	5 1.31%	2 0.52%	1 0.26%	381 100.00%	4.20	0.694	4.24	0.189
	演習	14 51.85%	13 48.15%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.52	0.509	4.52	0.179
	計	140 34.31%	226 55.39%	34 8.33%	5 1.23%	2 0.49%	1 0.25%	408 100.00%	4.22	0.688	4.28	0.214
合計		14,959 28.63%	27,396 52.43%	7,120 13.63%	2,020 3.87%	565 1.08%	188 0.36%	52,248 100.00%	4.04	0.822	4.08	0.306

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	9,878 27.13%	19,415 53.33%	5,141 14.12%	1,460 4.01%	375 1.03%	138 0.38%	36,407 100.00%	4.02	0.817	4.05	0.254
演習	2,684 35.24%	3,775 49.57%	826 10.85%	234 3.07%	74 0.97%	23 0.30%	7,616 100.00%	4.15	0.806	4.19	0.340
語学	2,397 29.14%	4,206 51.14%	1,153 14.02%	326 3.96%	116 1.41%	27 0.33%	8,225 100.00%	4.03	0.848	4.05	0.327
合計	14,959 28.63%	27,396 52.43%	7,120 13.63%	2,020 3.87%	565 1.08%	188 0.36%	52,248 100.00%	4.04	0.822	4.08	0.306

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	7,101 29.48%	11,976 49.72%	3,546 14.72%	1,064 4.42%	307 1.27%	91 0.38%	24,085 100.00%	4.02	0.858
学部2年	4,311 26.66%	8,739 54.04%	2,284 14.12%	594 3.67%	181 1.12%	61 0.38%	16,170 100.00%	4.02	0.811
学部3年	2,480 26.90%	5,323 57.74%	1,025 11.12%	297 3.22%	61 0.66%	33 0.36%	9,219 100.00%	4.07	0.752
学部4年	907 36.08%	1,270 50.52%	255 10.14%	64 2.55%	16 0.64%	2 0.08%	2,514 100.00%	4.19	0.766

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	3,366 31.96%	5,306 50.38%	1,315 12.49%	388 3.68%	126 1.20%	31 0.29%	10,532 100.00%	4.09	0.833	4.11	0.349
26～50名	3,054 30.76%	5,172 52.09%	1,240 12.49%	333 3.35%	96 0.97%	34 0.34%	9,929 100.00%	4.09	0.805	4.10	0.290
51～100名	2,607 26.82%	5,180 53.28%	1,370 14.09%	420 4.32%	123 1.27%	22 0.23%	9,722 100.00%	4.00	0.835	4.03	0.254
101～200名	2,313 26.54%	4,623 53.05%	1,297 14.88%	361 4.14%	93 1.07%	28 0.32%	8,715 100.00%	4.00	0.824	4.01	0.233
201名以上	3,619 27.11%	7,115 53.30%	1,898 14.22%	518 3.88%	127 0.95%	73 0.55%	13,350 100.00%	4.02	0.811	4.03	0.178
合計	14,959 28.63%	27,396 52.43%	7,120 13.63%	2,020 3.87%	565 1.08%	188 0.36%	52,248 100.00%	4.04	0.822	4.08	0.306

Q2　私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	693 26.31%	1,264 47.99%	456 17.31%	171 6.49%	40 1.52%	10 0.38%	2,634 100.00%	3.91	0.910	3.95	0.289
外セ	語学	2,310 34.89%	3,382 51.08%	682 10.30%	194 2.93%	41 0.62%	12 0.18%	6,621 100.00%	4.17	0.773	4.18	0.284
スポ健	演習	909 55.33%	622 37.86%	87 5.30%	19 1.16%	4 0.24%	2 0.12%	1,643 100.00%	4.47	0.674	4.48	0.252
全学共通	講義	1,819 28.88%	3,285 52.16%	844 13.40%	270 4.29%	63 1.00%	17 0.27%	6,298 100.00%	4.04	0.828	4.08	0.269
	演習	22 39.29%	22 39.29%	10 17.86%	1 1.79%	1 1.79%	0 0.00%	56 100.00%	4.13	0.896	4.03	0.400
	計	1,841 28.97%	3,307 52.05%	854 13.44%	271 4.27%	64 1.01%	17 0.27%	6,354 100.00%	4.04	0.828	4.08	0.272
法学部	講義	1,731 26.73%	3,204 49.48%	1,132 17.48%	308 4.76%	63 0.97%	37 0.57%	6,475 100.00%	3.97	0.850	4.00	0.256
	演習	435 46.28%	388 41.28%	83 8.83%	26 2.77%	6 0.64%	2 0.21%	940 100.00%	4.30	0.794	4.36	0.347
	計	2,166 29.21%	3,592 48.44%	1,215 16.39%	334 4.50%	69 0.93%	39 0.53%	7,415 100.00%	4.01	0.851	4.13	0.340
経済学部	講義	1,738 25.84%	3,421 50.85%	1,088 16.17%	363 5.40%	99 1.47%	18 0.27%	6,727 100.00%	3.94	0.876	3.97	0.285
	演習	187 49.87%	165 44.00%	14 3.73%	6 1.60%	2 0.53%	1 0.27%	375 100.00%	4.41	0.692	4.45	0.262
	計	1,925 27.11%	3,586 50.49%	1,102 15.52%	369 5.20%	101 1.42%	19 0.27%	7,102 100.00%	3.97	0.874	4.09	0.351
文学部	講義	1,924 27.16%	3,793 53.54%	967 13.65%	334 4.71%	52 0.73%	14 0.20%	7,084 100.00%	4.02	0.815	4.10	0.303
	演習	1,200 41.51%	1,430 49.46%	203 7.02%	50 1.73%	6 0.21%	2 0.07%	2,891 100.00%	4.30	0.694	4.31	0.271
	計	3,124 31.32%	5,223 52.36%	1,170 11.73%	384 3.85%	58 0.58%	16 0.16%	9,975 100.00%	4.10	0.792	4.20	0.306
理学部	講義	722 25.33%	1,478 51.86%	468 16.42%	151 5.30%	27 0.95%	4 0.14%	2,850 100.00%	3.95	0.845	3.98	0.249
	演習	239 44.51%	248 46.18%	34 6.33%	10 1.86%	4 0.74%	2 0.37%	537 100.00%	4.32	0.741	4.36	0.228
	計	961 28.37%	1,726 50.96%	502 14.82%	161 4.75%	31 0.92%	6 0.18%	3,387 100.00%	4.01	0.840	4.06	0.288
国際社会科学部	講義	685 24.60%	1,394 50.07%	457 16.42%	198 7.11%	43 1.54%	7 0.25%	2,784 100.00%	3.89	0.908	3.96	0.271
	演習	103 41.20%	109 43.60%	28 11.20%	7 2.80%	2 0.80%	1 0.40%	250 100.00%	4.22	0.815	4.23	0.303
	語学	718 44.76%	709 44.20%	134 8.35%	35 2.18%	7 0.44%	1 0.06%	1,604 100.00%	4.31	0.751	4.32	0.277
	計	1,506 32.47%	2,212 47.69%	619 13.35%	240 5.17%	52 1.12%	9 0.19%	4,638 100.00%	4.05	0.875	4.21	0.321
教職課程	講義	313 26.66%	613 52.21%	182 15.50%	46 3.92%	17 1.45%	3 0.26%	1,174 100.00%	3.99	0.843	4.04	0.292
	演習	213 23.75%	568 63.32%	87 9.70%	24 2.68%	3 0.33%	2 0.22%	897 100.00%	4.08	0.684	4.11	0.246
	計	526 25.40%	1,181 57.03%	269 12.99%	70 3.38%	20 0.97%	5 0.24%	2,071 100.00%	4.03	0.779	4.08	0.268
学芸員	講義	115 30.18%	206 54.07%	43 11.29%	14 3.67%	2 0.52%	1 0.26%	381 100.00%	4.10	0.776	4.14	0.162
	演習	13 48.15%	14 51.85%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.48	0.509	4.47	0.286
	計	128 31.37%	220 53.92%	43 10.54%	14 3.43%	2 0.49%	1 0.25%	408 100.00%	4.13	0.767	4.20	0.222
合計		16,089 30.79%	26,315 50.37%	6,999 13.40%	2,227 4.26%	482 0.92%	136 0.26%	52,248 100.00%	4.06	0.833	4.16	0.316

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	9,740 26.75%	18,658 51.25%	5,637 15.48%	1,855 5.10%	406 1.12%	111 0.30%	36,407 100.00%	3.98	0.853	4.03	0.284
演習	3,321 43.61%	3,566 46.82%	546 7.17%	143 1.88%	28 0.37%	12 0.16%	7,616 100.00%	4.32	0.719	4.34	0.294
語学	3,028 36.81%	4,091 49.74%	816 9.92%	229 2.78%	48 0.58%	13 0.16%	8,225 100.00%	4.20	0.771	4.21	0.288
合計	16,089 30.79%	26,315 50.37%	6,999 13.40%	2,227 4.26%	482 0.92%	136 0.26%	52,248 100.00%	4.06	0.833	4.16	0.316

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	7,812 32.44%	11,588 48.11%	3,328 13.82%	1,057 4.39%	231 0.96%	69 0.29%	24,085 100.00%	4.07	0.849
学部2年	4,562 28.21%	8,441 52.20%	2,239 13.85%	734 4.54%	155 0.96%	39 0.24%	16,170 100.00%	4.02	0.830
学部3年	2,697 29.25%	4,987 54.09%	1,115 12.09%	325 3.53%	70 0.76%	25 0.27%	9,219 100.00%	4.08	0.786
学部4年	884 35.16%	1,198 47.65%	303 12.05%	101 4.02%	26 1.03%	2 0.08%	2,514 100.00%	4.12	0.844

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	4,229 40.15%	5,042 47.87%	952 9.04%	246 2.34%	50 0.47%	13 0.12%	10,532 100.00%	4.25	0.752	4.26	0.311
26～50名	3,516 35.41%	4,960 49.95%	1,078 10.86%	295 2.97%	56 0.56%	24 0.24%	9,929 100.00%	4.17	0.778	4.19	0.305
51～100名	2,660 27.36%	5,018 51.61%	1,430 14.71%	494 5.08%	98 1.01%	22 0.23%	9,722 100.00%	3.99	0.846	4.02	0.277
101～200名	2,233 25.62%	4,487 51.49%	1,374 15.77%	480 5.51%	116 1.33%	25 0.29%	8,715 100.00%	3.95	0.868	3.95	0.234
201名以上	3,451 25.85%	6,808 51.00%	2,165 16.22%	712 5.33%	162 1.21%	52 0.39%	13,350 100.00%	3.95	0.863	3.95	0.208
合計	16,089 30.79%	26,315 50.37%	6,999 13.40%	2,227 4.26%	482 0.92%	136 0.26%	52,248 100.00%	4.06	0.833	4.16	0.316

Q3　私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	646 24.53%	1,089 41.34%	472 17.92%	303 11.50%	113 4.29%	11 0.42%	2,634 100.00%	3.71	1.091	3.71	0.380
外セ	語学	2,093 31.61%	3,238 48.91%	809 12.22%	363 5.48%	101 1.53%	17 0.26%	6,621 100.00%	4.04	0.892	4.05	0.340
スポ健	演習	725 44.13%	515 31.35%	187 11.38%	95 5.78%	117 7.12%	4 0.24%	1,643 100.00%	4.00	1.197	4.00	0.490
全学共通	講義	1,530 24.29%	2,757 43.78%	1,023 16.24%	663 10.53%	304 4.83%	21 0.33%	6,298 100.00%	3.72	1.091	3.69	0.333
	演習	19 33.93%	27 48.21%	7 12.50%	2 3.57%	1 1.79%	0 0.00%	56 100.00%	4.09	0.880	4.00	0.391
	計	1,549 24.38%	2,784 43.81%	1,030 16.21%	665 10.47%	305 4.80%	21 0.33%	6,354 100.00%	3.73	1.089	3.70	0.337
法学部	講義	1,433 22.13%	2,739 42.30%	1,365 21.08%	714 11.03%	188 2.90%	36 0.56%	6,475 100.00%	3.70	1.026	3.74	0.262
	演習	380 40.43%	385 40.96%	113 12.02%	43 4.57%	17 1.81%	2 0.21%	940 100.00%	4.14	0.924	4.21	0.454
	計	1,813 24.45%	3,124 42.13%	1,478 19.93%	757 10.21%	205 2.76%	38 0.51%	7,415 100.00%	3.76	1.024	3.91	0.414
経済学部	講義	1,525 22.67%	3,141 46.69%	1,138 16.92%	669 9.95%	226 3.36%	28 0.42%	6,727 100.00%	3.76	1.021	3.80	0.344
	演習	139 37.07%	170 45.33%	40 10.67%	17 4.53%	9 2.40%	0 0.00%	375 100.00%	4.10	0.931	4.14	0.428
	計	1,664 23.43%	3,311 46.62%	1,178 16.59%	686 9.66%	235 3.31%	28 0.39%	7,102 100.00%	3.78	1.019	3.89	0.396
文学部	講義	1,465 20.68%	3,311 46.74%	1,173 16.56%	887 12.52%	233 3.29%	15 0.21%	7,084 100.00%	3.69	1.038	3.75	0.391
	演習	1,015 35.11%	1,370 47.39%	321 11.10%	150 5.19%	32 1.11%	3 0.10%	2,891 100.00%	4.10	0.872	4.11	0.386
	計	2,480 24.86%	4,681 46.93%	1,494 14.98%	1,037 10.40%	265 2.66%	18 0.18%	9,975 100.00%	3.81	1.010	3.92	0.427
理学部	講義	618 21.68%	1,338 46.95%	511 17.93%	285 10.00%	91 3.19%	7 0.25%	2,850 100.00%	3.74	1.010	3.76	0.357
	演習	224 41.71%	234 43.58%	53 9.87%	17 3.17%	7 1.30%	2 0.37%	537 100.00%	4.22	0.847	4.25	0.336
	計	842 24.86%	1,572 46.41%	564 16.65%	302 8.92%	98 2.89%	9 0.27%	3,387 100.00%	3.82	1.001	3.86	0.404
国際社会科学部	講義	593 21.30%	1,173 42.13%	522 18.75%	369 13.25%	120 4.31%	7 0.25%	2,784 100.00%	3.63	1.089	3.69	0.356
	演習	91 36.40%	109 43.60%	33 13.20%	15 6.00%	2 0.80%	0 0.00%	250 100.00%	4.09	0.896	4.10	0.357
	語学	733 45.70%	657 40.96%	128 7.98%	59 3.68%	16 1.00%	11 0.69%	1,604 100.00%	4.28	0.839	4.28	0.301
	計	1,417 30.55%	1,939 41.81%	683 14.73%	443 9.55%	138 2.98%	18 0.39%	4,638 100.00%	3.88	1.045	4.09	0.417
教職課程	講義	252 21.47%	520 44.29%	217 18.48%	130 11.07%	54 4.60%	1 0.09%	1,174 100.00%	3.67	1.072	3.73	0.321
	演習	144 16.05%	444 49.50%	132 14.72%	131 14.60%	44 4.91%	2 0.22%	897 100.00%	3.57	1.075	3.62	0.369
	計	396 19.12%	964 46.55%	349 16.85%	261 12.60%	98 4.73%	3 0.14%	2,071 100.00%	3.63	1.074	3.67	0.350
学芸員	講義	68 17.85%	166 43.57%	78 20.47%	58 15.22%	10 2.62%	1 0.26%	381 100.00%	3.59	1.032	3.60	0.224
	演習	7 25.93%	15 55.56%	3 11.11%	2 7.41%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.00	0.832	3.99	0.390
	計	75 18.38%	181 44.36%	81 19.85%	60 14.71%	10 2.45%	1 0.25%	408 100.00%	3.62	1.025	3.67	0.291
合計		13,700 26.22%	23,398 44.78%	8,325 15.93%	4,972 9.52%	1,685 3.23%	168 0.32%	52,248 100.00%	3.82	1.030	3.93	0.413

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	8,130 22.33%	16,234 44.59%	6,499 17.85%	4,078 11.20%	1,339 3.68%	127 0.35%	36,407 100.00%	3.71	1.049	3.74	0.350
演習	2,744 36.03%	3,269 42.92%	889 11.67%	472 6.20%	229 3.01%	13 0.17%	7,616 100.00%	4.03	0.998	4.07	0.439
語学	2,826 34.36%	3,895 47.36%	937 11.39%	422 5.13%	117 1.42%	28 0.34%	8,225 100.00%	4.08	0.887	4.10	0.345
合計	13,700 26.22%	23,398 44.78%	8,325 15.93%	4,972 9.52%	1,685 3.23%	168 0.32%	52,248 100.00%	3.82	1.030	3.93	0.413

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	6,729 27.94%	10,272 42.65%	3,952 16.41%	2,196 9.12%	855 3.55%	81 0.34%	24,085 100.00%	3.83	1.049
学部2年	3,832 23.70%	7,333 45.35%	2,673 16.53%	1,730 10.70%	552 3.41%	50 0.31%	16,170 100.00%	3.75	1.040
学部3年	2,308 25.04%	4,566 49.53%	1,298 14.08%	811 8.80%	206 2.23%	30 0.33%	9,219 100.00%	3.87	0.964
学部4年	713 28.36%	1,132 45.03%	375 14.92%	217 8.63%	72 2.86%	5 0.20%	2,514 100.00%	3.88	1.011

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	3,745 35.56%	4,785 45.43%	1,203 11.42%	563 5.35%	210 1.99%	26 0.25%	10,532 100.00%	4.07	0.927	4.08	0.406
26～50名	2,877 28.98%	4,482 45.14%	1,398 14.08%	873 8.79%	270 2.72%	29 0.29%	9,929 100.00%	3.89	1.009	3.91	0.412
51～100名	2,172 22.34%	4,378 45.03%	1,715 17.64%	1,070 11.01%	357 3.67%	30 0.31%	9,722 100.00%	3.72	1.046	3.73	0.338
101～200名	1,910 21.92%	3,837 44.03%	1,579 18.12%	1,027 11.78%	329 3.78%	33 0.38%	8,715 100.00%	3.69	1.058	3.69	0.287
201名以上	2,996 22.44%	5,916 44.31%	2,430 18.20%	1,439 10.78%	519 3.89%	50 0.37%	13,350 100.00%	3.71	1.052	3.72	0.286
合計	13,700 26.22%	23,398 44.78%	8,325 15.93%	4,972 9.52%	1,685 3.23%	168 0.32%	52,248 100.00%	3.82	1.030	3.93	0.413

Q3－2　私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、１週間あたり平均で

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5 4.5 時間以上	4 3 時間以上 4.5 時間未満	3 2 時間以上 3 時間未満	2 90 分以上 2 時間未満	1 90 分未満	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	47 2.13%	72 3.26%	180 8.16%	541 24.51%	614 27.82%	753 34.12%	2,207 100.00%	1.90	1.013	1.87	0.362
外セ	語学	141 2.30%	152 2.48%	496 8.08%	1,460 23.78%	1,933 31.48%	1,958 31.89%	6,140 100.00%	1.83	1.001	1.83	0.436
スポ健	演習	62 4.34%	30 2.10%	50 3.50%	328 22.99%	437 30.62%	520 36.44%	1,427 100.00%	1.84	1.123	1.82	0.420
全学共通	講義	105 1.98%	96 1.81%	378 7.12%	1,411 26.57%	1,526 28.74%	1,794 33.79%	5,310 100.00%	1.82	0.942	1.80	0.459
	演習	1 1.89%	0 0.00%	7 13.21%	12 22.64%	17 32.08%	16 30.19%	53 100.00%	1.81	0.938	1.80	0.054
	計	106 1.98%	96 1.79%	385 7.18%	1,423 26.53%	1,543 28.77%	1,810 33.75%	5,363 100.00%	1.82	0.941	1.80	0.452
法学部	講義	99 1.79%	157 2.84%	421 7.60%	1,440 26.01%	1,545 27.90%	1,875 33.86%	5,537 100.00%	1.86	0.966	1.91	0.316
	演習	66 7.52%	73 8.31%	126 14.35%	191 21.75%	158 18.00%	264 30.07%	878 100.00%	2.51	1.285	2.54	0.742
	計	165 2.57%	230 3.59%	547 8.53%	1,631 25.42%	1,703 26.55%	2,139 33.34%	6,415 100.00%	1.95	1.042	2.14	0.596
経済学部	講義	173 2.98%	228 3.93%	505 8.70%	1,386 23.88%	1,410 24.29%	2,102 36.22%	5,804 100.00%	2.02	1.088	2.00	0.502
	演習	17 4.87%	16 4.58%	47 13.47%	76 21.78%	76 21.78%	117 33.52%	349 100.00%	2.23	1.191	2.20	0.714
	計	190 3.09%	244 3.97%	552 8.97%	1,462 23.76%	1,486 24.15%	2,219 36.06%	6,153 100.00%	2.03	1.096	2.06	0.569
文学部	講義	103 1.73%	97 1.63%	353 5.93%	1,540 25.89%	1,900 31.94%	1,956 32.88%	5,949 100.00%	1.74	0.909	1.79	0.472
	演習	109 4.03%	150 5.54%	306 11.31%	614 22.69%	631 23.32%	896 33.11%	2,706 100.00%	2.17	1.168	2.16	0.678
	計	212 2.45%	247 2.85%	659 7.61%	2,154 24.89%	2,531 29.24%	2,852 32.95%	8,655 100.00%	1.87	1.016	1.97	0.608
理学部	講義	99 4.01%	131 5.31%	325 13.17%	610 24.73%	564 22.86%	738 29.91%	2,467 100.00%	2.19	1.140	2.17	0.510
	演習	110 21.53%	51 9.98%	58 11.35%	66 12.92%	76 14.87%	150 29.35%	511 100.00%	3.15	1.540	3.13	0.930
	計	209 7.02%	182 6.11%	383 12.86%	676 22.70%	640 21.49%	888 29.82%	2,978 100.00%	2.35	1.271	2.36	0.728
国際社会科学部	講義	57 2.49%	68 2.97%	202 8.83%	479 20.94%	685 29.94%	797 34.83%	2,288 100.00%	1.88	1.053	1.92	0.375
	演習	8 3.43%	14 6.01%	31 13.30%	52 22.32%	49 21.03%	79 33.91%	233 100.00%	2.22	1.145	2.19	0.499
	語学	74 4.87%	82 5.40%	235 15.48%	361 23.78%	242 15.94%	524 34.52%	1,518 100.00%	2.38	1.156	2.39	0.578
	計	139 3.44%	164 4.06%	468 11.59%	892 22.08%	976 24.16%	1,400 34.66%	4,039 100.00%	2.09	1.123	2.23	0.558
教職課程	講義	15 1.52%	33 3.34%	74 7.48%	229 23.15%	316 31.95%	322 32.56%	989 100.00%	1.80	0.974	1.76	0.302
	演習	6 0.83%	14 1.94%	30 4.17%	179 24.86%	240 33.33%	251 34.86%	720 100.00%	1.65	0.830	1.73	0.459
	計	21 1.23%	47 2.75%	104 6.09%	408 23.87%	556 32.53%	573 33.53%	1,709 100.00%	1.74	0.920	1.74	0.394
学芸員	講義	2 0.64%	1 0.32%	17 5.45%	74 23.72%	112 35.90%	106 33.97%	312 100.00%	1.58	0.747	1.57	0.278
	演習	0 0.00%	2 8.00%	3 12.00%	9 36.00%	5 20.00%	6 24.00%	25 100.00%	2.11	0.937	2.17	0.236
	計	2 0.59%	3 0.89%	20 5.93%	83 24.63%	117 34.72%	112 33.23%	337 100.00%	1.62	0.776	1.67	0.354
合計		1,294 2.85%	1,467 3.23%	3,844 8.46%	11,058 24.34%	12,536 27.60%	15,224 33.52%	45,423 100.00%	1.94	1.058	1.98	0.565

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5 4.5 時間以上	4 3 時間以上 4.5 時間未満	3 2 時間以上 3 時間未満	2 90 分以上 2 時間未満	1 90 分未満	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
講義	700 2.27%	883 2.86%	2,455 7.95%	7,710 24.98%	8,672 28.10%	10,443 33.84%	30,863 100.00%	1.88	1.007	1.89	0.456
演習	379 5.49%	350 5.07%	658 9.53%	1,527 22.12%	1,689 24.47%	2,299 33.31%	6,902 100.00%	2.18	1.235	2.16	0.717
語学	215 2.81%	234 3.06%	731 9.55%	1,821 23.78%	2,175 28.40%	2,482 32.41%	7,658 100.00%	1.94	1.055	1.95	0.527
合計	1,294 2.85%	1,467 3.23%	3,844 8.46%	11,058 24.34%	12,536 27.60%	15,224 33.52%	45,423 100.00%	1.94	1.058	1.98	0.565

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5 4.5 時間以上	4 3 時間以上 4.5 時間未満	3 2 時間以上 3 時間未満	2 90 分以上 2 時間未満	1 90 分未満	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部１年	600 2.86%	679 3.24%	1,788 8.53%	4,999 23.86%	5,849 27.91%	7,038 33.59%	20,953 100.00%	1.94	1.062
学部２年	328 2.37%	394 2.85%	1,104 7.98%	3,307 23.90%	3,929 28.39%	4,776 34.51%	13,838 100.00%	1.88	1.021
学部３年	262 3.21%	282 3.45%	743 9.09%	2,143 26.22%	2,136 26.14%	2,606 31.89%	8,172 100.00%	1.99	1.069
学部４年	82 3.69%	96 4.32%	178 8.02%	554 24.95%	556 25.05%	754 33.96%	2,220 100.00%	2.04	1.125

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5 4.5 時間以上	4 3 時間以上 4.5 時間未満	3 2 時間以上 3 時間未満	2 90 分以上 2 時間未満	1 90 分未満	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	338 3.47%	374 3.84%	1,011 10.39%	2,241 23.02%	2,547 26.17%	3,222 33.10%	9,733 100.00%	2.03	1.115	2.04	0.627
26～50名	340 3.88%	289 3.30%	677 7.73%	2,109 24.08%	2,423 27.67%	2,919 33.33%	8,757 100.00%	1.97	1.119	1.96	0.586
51～100名	218 2.64%	284 3.44%	718 8.69%	2,047 24.77%	2,309 27.94%	2,689 32.53%	8,265 100.00%	1.93	1.046	1.94	0.497
101～200名	198 2.70%	228 3.11%	563 7.68%	1,793 24.47%	2,185 29.83%	2,359 32.20%	7,326 100.00%	1.88	1.040	1.87	0.342
201名以上	200 1.76%	292 2.57%	875 7.71%	2,868 25.29%	3,072 27.09%	4,035 35.58%	11,342 100.00%	1.86	0.963	1.86	0.237
合計	1,294 2.85%	1,467 3.23%	3,844 8.46%	11,058 24.34%	12,536 27.60%	15,224 33.52%	45,423 100.00%	1.94	1.058	1.98	0.565

Q4　授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	753 28.59%	1,334 50.65%	393 14.92%	95 3.61%	49 1.86%	10 0.38%	2,634 100.00%	4.01	0.866	4.01	0.336
外セ	語学	2,266 34.22%	3,529 53.30%	623 9.41%	103 1.56%	59 0.89%	41 0.62%	6,621 100.00%	4.19	0.739	4.19	0.323
スポ健	演習	819 49.85%	686 41.75%	102 6.21%	16 0.97%	11 0.67%	9 0.55%	1,643 100.00%	4.40	0.710	4.40	0.273
全学共通	講義	2,108 33.47%	3,491 55.43%	524 8.32%	113 1.79%	36 0.57%	26 0.41%	6,298 100.00%	4.20	0.710	4.23	0.225
	演習	18 32.14%	26 46.43%	9 16.07%	3 5.36%	0 0.00%	0 0.00%	56 100.00%	4.05	0.840	4.02	0.175
	計	2,126 33.46%	3,517 55.35%	533 8.39%	116 1.83%	36 0.57%	26 0.41%	6,354 100.00%	4.20	0.711	4.23	0.226
法学部	講義	2,010 31.04%	3,509 54.19%	724 11.18%	134 2.07%	53 0.82%	45 0.69%	6,475 100.00%	4.13	0.752	4.15	0.245
	演習	450 47.87%	402 42.77%	64 6.81%	17 1.81%	4 0.43%	3 0.32%	940 100.00%	4.36	0.727	4.37	0.326
	計	2,460 33.18%	3,911 52.74%	788 10.63%	151 2.04%	57 0.77%	48 0.65%	7,415 100.00%	4.16	0.752	4.23	0.298
経済学部	講義	1,882 27.98%	3,796 56.43%	762 11.33%	177 2.63%	64 0.95%	46 0.68%	6,727 100.00%	4.09	0.762	4.11	0.233
	演習	175 46.67%	159 42.40%	33 8.80%	5 1.33%	1 0.27%	2 0.53%	375 100.00%	4.35	0.719	4.37	0.305
	計	2,057 28.96%	3,955 55.69%	795 11.19%	182 2.56%	65 0.92%	48 0.68%	7,102 100.00%	4.10	0.762	4.18	0.278
文学部	講義	2,169 30.62%	4,197 59.25%	531 7.50%	116 1.64%	38 0.54%	33 0.47%	7,084 100.00%	4.18	0.681	4.20	0.241
	演習	1,072 37.08%	1,519 52.54%	203 7.02%	60 2.08%	27 0.93%	10 0.35%	2,891 100.00%	4.23	0.746	4.23	0.417
	計	3,241 32.49%	5,716 57.30%	734 7.36%	176 1.76%	65 0.65%	43 0.43%	9,975 100.00%	4.20	0.701	4.21	0.338
理学部	講義	717 25.16%	1,569 55.05%	438 15.37%	82 2.88%	32 1.12%	12 0.42%	2,850 100.00%	4.01	0.790	4.02	0.271
	演習	173 32.22%	290 54.00%	61 11.36%	4 0.74%	6 1.12%	3 0.56%	537 100.00%	4.16	0.738	4.19	0.256
	計	890 26.28%	1,859 54.89%	499 14.73%	86 2.54%	38 1.12%	15 0.44%	3,387 100.00%	4.03	0.784	4.05	0.277
国際社会科学部	講義	827 29.71%	1,508 54.17%	315 11.31%	78 2.80%	40 1.44%	16 0.57%	2,784 100.00%	4.09	0.805	4.12	0.253
	演習	86 34.40%	132 52.80%	22 8.80%	7 2.80%	3 1.20%	0 0.00%	250 100.00%	4.16	0.792	4.18	0.322
	語学	582 36.28%	761 47.44%	172 10.72%	56 3.49%	26 1.62%	7 0.44%	1,604 100.00%	4.14	0.860	4.16	0.456
	計	1,495 32.23%	2,401 51.77%	509 10.97%	141 3.04%	69 1.49%	23 0.50%	4,638 100.00%	4.11	0.824	4.15	0.394
教職課程	講義	335 28.53%	637 54.26%	137 11.67%	36 3.07%	19 1.62%	10 0.85%	1,174 100.00%	4.06	0.820	4.08	0.294
	演習	204 22.74%	571 63.66%	91 10.14%	22 2.45%	3 0.33%	6 0.67%	897 100.00%	4.07	0.675	4.02	0.336
	計	539 26.03%	1,208 58.33%	228 11.01%	58 2.80%	22 1.06%	16 0.77%	2,071 100.00%	4.06	0.761	4.05	0.318
学芸員	講義	148 38.85%	208 54.59%	22 5.77%	3 0.79%	0 0.00%	0 0.00%	381 100.00%	4.31	0.616	4.36	0.153
	演習	17 62.96%	10 37.04%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.63	0.492	4.63	0.137
	計	165 40.44%	218 53.43%	22 5.39%	3 0.74%	0 0.00%	0 0.00%	408 100.00%	4.34	0.613	4.41	0.180
合計		16,811 32.18%	28,334 54.23%	5,226 10.00%	1,127 2.16%	471 0.90%	279 0.53%	52,248 100.00%	4.15	0.754	4.19	0.328

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	10,949 30.07%	20,249 55.62%	3,846 10.56%	834 2.29%	331 0.91%	198 0.54%	36,407 100.00%	4.12	0.754	4.14	0.266
演習	3,014 39.57%	3,795 49.83%	585 7.68%	134 1.76%	55 0.72%	33 0.43%	7,616 100.00%	4.26	0.736	4.27	0.370
語学	2,848 34.63%	4,290 52.16%	795 9.67%	159 1.93%	85 1.03%	48 0.58%	8,225 100.00%	4.18	0.764	4.18	0.358
合計	16,811 32.18%	28,334 54.23%	5,226 10.00%	1,127 2.16%	471 0.90%	279 0.53%	52,248 100.00%	4.15	0.754	4.19	0.328

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	7,894 32.78%	12,567 52.18%	2,713 11.26%	563 2.34%	217 0.90%	131 0.54%	24,085 100.00%	4.14	0.773
学部2年	4,800 29.68%	9,145 56.56%	1,618 10.01%	349 2.16%	172 1.06%	86 0.53%	16,170 100.00%	4.12	0.753
学部3年	2,900 31.46%	5,316 57.66%	722 7.83%	172 1.87%	62 0.67%	47 0.51%	9,219 100.00%	4.18	0.706
学部4年	1,061 42.20%	1,221 48.57%	163 6.48%	37 1.47%	19 0.76%	13 0.52%	2,514 100.00%	4.31	0.723

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	3,960 37.60%	5,317 50.48%	898 8.53%	209 1.98%	100 0.95%	48 0.46%	10,532 100.00%	4.22	0.761	4.23	0.383
26～50名	3,449 34.74%	5,294 53.32%	883 8.89%	173 1.74%	76 0.77%	54 0.54%	9,929 100.00%	4.20	0.733	4.20	0.293
51～100名	2,895 29.78%	5,347 55.00%	1,099 11.30%	255 2.62%	87 0.89%	39 0.40%	9,722 100.00%	4.11	0.767	4.10	0.269
101～200名	2,633 30.21%	4,873 55.92%	886 10.17%	176 2.02%	81 0.93%	66 0.76%	8,715 100.00%	4.13	0.745	4.13	0.217
201名以上	3,874 29.02%	7,503 56.20%	1,460 10.94%	314 2.35%	127 0.95%	72 0.54%	13,350 100.00%	4.11	0.756	4.10	0.205
合計	16,811 32.18%	28,334 54.23%	5,226 10.00%	1,127 2.16%	471 0.90%	279 0.53%	52,248 100.00%	4.15	0.754	4.19	0.328

Q5　この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	889 33.75%	1,220 46.32%	329 12.49%	130 4.94%	62 2.35%	4 0.15%	2,634 100.00%	4.04	0.934	4.06	0.383
外セ	語学	2,419 36.54%	3,312 50.02%	658 9.94%	156 2.36%	57 0.86%	19 0.29%	6,621 100.00%	4.19	0.775	4.19	0.344
スポ健	演習	646 39.32%	527 32.08%	392 23.86%	34 2.07%	41 2.50%	3 0.18%	1,643 100.00%	4.04	0.970	4.05	0.365
全学共通	講義	2,481 39.39%	3,101 49.24%	532 8.45%	125 1.98%	33 0.52%	26 0.41%	6,298 100.00%	4.26	0.737	4.27	0.260
	演習	17 30.36%	26 46.43%	10 17.86%	3 5.36%	0 0.00%	0 0.00%	56 100.00%	4.02	0.842	3.99	0.138
	計	2,498 39.31%	3,127 49.21%	542 8.53%	128 2.01%	33 0.52%	26 0.41%	6,354 100.00%	4.25	0.738	4.26	0.261
法学部	講義	2,212 34.16%	3,170 48.96%	761 11.75%	205 3.17%	90 1.39%	37 0.57%	6,475 100.00%	4.12	0.837	4.16	0.283
	演習	454 48.30%	389 41.38%	70 7.45%	17 1.81%	9 0.96%	1 0.11%	940 100.00%	4.34	0.774	4.37	0.355
	計	2,666 35.95%	3,559 48.00%	831 11.21%	222 2.99%	99 1.34%	38 0.51%	7,415 100.00%	4.15	0.833	4.23	0.326
経済学部	講義	2,113 31.41%	3,453 51.33%	798 11.86%	245 3.64%	91 1.35%	27 0.40%	6,727 100.00%	4.08	0.834	4.10	0.295
	演習	154 41.07%	153 40.80%	57 15.20%	8 2.13%	3 0.80%	0 0.00%	375 100.00%	4.19	0.828	4.23	0.353
	計	2,267 31.92%	3,606 50.77%	855 12.04%	253 3.56%	94 1.32%	27 0.38%	7,102 100.00%	4.09	0.834	4.14	0.315
文学部	講義	2,508 35.40%	3,783 53.40%	564 7.96%	166 2.34%	48 0.68%	15 0.21%	7,084 100.00%	4.21	0.739	4.24	0.262
	演習	1,145 39.61%	1,454 50.29%	217 7.51%	46 1.59%	22 0.76%	7 0.24%	2,891 100.00%	4.27	0.730	4.27	0.384
	計	3,653 36.62%	5,237 52.50%	781 7.83%	212 2.13%	70 0.70%	22 0.22%	9,975 100.00%	4.22	0.737	4.25	0.326
理学部	講義	864 30.32%	1,345 47.19%	460 16.14%	128 4.49%	48 1.68%	5 0.18%	2,850 100.00%	4.00	0.893	3.99	0.348
	演習	195 36.31%	270 50.28%	55 10.24%	8 1.49%	5 0.93%	4 0.74%	537 100.00%	4.20	0.757	4.20	0.265
	計	1,059 31.27%	1,615 47.68%	515 15.21%	136 4.02%	53 1.56%	9 0.27%	3,387 100.00%	4.03	0.876	4.04	0.343
国際社会科学部	講義	852 30.60%	1,436 51.58%	324 11.64%	121 4.35%	40 1.44%	11 0.40%	2,784 100.00%	4.06	0.852	4.08	0.280
	演習	85 34.00%	111 44.40%	35 14.00%	16 6.40%	3 1.20%	0 0.00%	250 100.00%	4.04	0.920	4.04	0.445
	語学	615 38.34%	749 46.70%	168 10.47%	44 2.74%	23 1.43%	5 0.31%	1,604 100.00%	4.18	0.835	4.19	0.397
	計	1,552 33.46%	2,296 49.50%	527 11.36%	181 3.90%	66 1.42%	16 0.34%	4,638 100.00%	4.10	0.851	4.14	0.375
教職課程	講義	367 31.26%	590 50.26%	150 12.78%	39 3.32%	25 2.13%	3 0.26%	1,174 100.00%	4.05	0.874	4.09	0.351
	演習	244 27.20%	510 56.86%	107 11.93%	29 3.23%	5 0.56%	2 0.22%	897 100.00%	4.07	0.753	4.03	0.323
	計	611 29.50%	1,100 53.11%	257 12.41%	68 3.28%	30 1.45%	5 0.24%	2,071 100.00%	4.06	0.824	4.06	0.335
学芸員	講義	165 43.31%	170 44.62%	30 7.87%	10 2.62%	5 1.31%	1 0.26%	381 100.00%	4.26	0.818	4.31	0.337
	演習	17 62.96%	10 37.04%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.63	0.492	4.64	0.175
	計	182 44.61%	180 44.12%	30 7.35%	10 2.45%	5 1.23%	1 0.25%	408 100.00%	4.29	0.805	4.37	0.336
合計		18,442 35.30%	25,779 49.34%	5,717 10.94%	1,530 2.93%	610 1.17%	170 0.33%	52,248 100.00%	4.15	0.815	4.18	0.345

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
講義	12,451 34.20%	18,268 50.18%	3,948 10.84%	1,169 3.21%	442 1.21%	129 0.35%	36,407 100.00%	4.13	0.820	4.15	0.313
演習	2,957 38.83%	3,450 45.30%	943 12.38%	161 2.11%	88 1.16%	17 0.22%	7,616 100.00%	4.19	0.817	4.21	0.382
語学	3,034 36.89%	4,061 49.37%	826 10.04%	200 2.43%	80 0.97%	24 0.29%	8,225 100.00%	4.19	0.787	4.19	0.356
合計	18,442 35.30%	25,779 49.34%	5,717 10.94%	1,530 2.93%	610 1.17%	170 0.33%	52,248 100.00%	4.15	0.815	4.18	0.345

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	8,628 35.82%	11,348 47.12%	2,944 12.22%	766 3.18%	323 1.34%	76 0.32%	24,085 100.00%	4.13	0.844
学部2年	5,271 32.60%	8,401 51.95%	1,783 11.03%	476 2.94%	179 1.11%	60 0.37%	16,170 100.00%	4.12	0.800
学部3年	3,250 35.25%	4,838 52.48%	787 8.54%	234 2.54%	78 0.85%	32 0.35%	9,219 100.00%	4.19	0.762
学部4年	1,130 44.95%	1,113 44.27%	193 7.68%	50 1.99%	27 1.07%	1 0.04%	2,514 100.00%	4.30	0.783

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	4,055 38.50%	5,001 47.48%	1,094 10.39%	240 2.28%	110 1.04%	32 0.30%	10,532 100.00%	4.20	0.796	4.21	0.382
26～50名	3,741 37.68%	4,707 47.41%	1,095 11.03%	246 2.48%	115 1.16%	25 0.25%	9,929 100.00%	4.18	0.812	4.18	0.327
51～100名	3,311 34.06%	4,835 49.73%	1,095 11.26%	342 3.52%	116 1.19%	23 0.24%	9,722 100.00%	4.12	0.830	4.11	0.311
101～200名	2,974 34.13%	4,494 51.57%	853 9.79%	253 2.90%	110 1.26%	31 0.36%	8,715 100.00%	4.15	0.806	4.13	0.279
201名以上	4,361 32.67%	6,742 50.50%	1,580 11.84%	449 3.36%	159 1.19%	59 0.44%	13,350 100.00%	4.11	0.824	4.11	0.260
合計	18,442 35.30%	25,779 49.34%	5,717 10.94%	1,530 2.93%	610 1.17%	170 0.33%	52,248 100.00%	4.15	0.815	4.18	0.345

Q6　この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	930 35.31%	1,111 42.18%	383 14.54%	141 5.35%	59 2.24%	10 0.38%	2,634 100.00%	4.03	0.958	4.05	0.415
外セ	語学	2,629 39.71%	3,110 46.97%	631 9.53%	178 2.69%	56 0.85%	17 0.26%	6,621 100.00%	4.22	0.793	4.23	0.398
スポ健	演習	884 53.80%	604 36.76%	117 7.12%	23 1.40%	10 0.61%	5 0.30%	1,643 100.00%	4.42	0.738	4.44	0.296
全学共通	講義	2,324 36.90%	2,856 45.35%	750 11.91%	272 4.32%	78 1.24%	18 0.29%	6,298 100.00%	4.13	0.871	4.18	0.327
	演習	20 35.71%	18 32.14%	13 23.21%	4 7.14%	1 1.79%	0 0.00%	56 100.00%	3.93	1.024	3.84	0.529
	計	2,344 36.89%	2,874 45.23%	763 12.01%	276 4.34%	79 1.24%	18 0.28%	6,354 100.00%	4.13	0.873	4.17	0.336
法学部	講義	2,017 31.15%	2,989 46.16%	1,006 15.54%	326 5.03%	98 1.51%	39 0.60%	6,475 100.00%	4.01	0.900	4.05	0.345
	演習	503 53.51%	353 37.55%	59 6.28%	18 1.91%	4 0.43%	3 0.32%	940 100.00%	4.42	0.733	4.46	0.381
	計	2,520 33.99%	3,342 45.07%	1,065 14.36%	344 4.64%	102 1.38%	42 0.57%	7,415 100.00%	4.06	0.891	4.20	0.410
経済学部	講義	1,941 28.85%	3,277 48.71%	1,054 15.67%	337 5.01%	97 1.44%	21 0.31%	6,727 100.00%	3.99	0.882	4.03	0.283
	演習	198 52.80%	141 37.60%	32 8.53%	4 1.07%	0 0.00%	0 0.00%	375 100.00%	4.42	0.693	4.46	0.378
	計	2,139 30.12%	3,418 48.13%	1,086 15.29%	341 4.80%	97 1.37%	21 0.30%	7,102 100.00%	4.01	0.878	4.15	0.362
文学部	講義	2,526 35.66%	3,482 49.15%	752 10.62%	260 3.67%	54 0.76%	10 0.14%	7,084 100.00%	4.15	0.810	4.18	0.320
	演習	1,246 43.10%	1,335 46.18%	217 7.51%	63 2.18%	22 0.76%	8 0.28%	2,891 100.00%	4.29	0.761	4.31	0.372
	計	3,772 37.81%	4,817 48.29%	969 9.71%	323 3.24%	76 0.76%	18 0.18%	9,975 100.00%	4.19	0.798	4.24	0.351
理学部	講義	751 26.35%	1,407 49.37%	503 17.65%	143 5.02%	41 1.44%	5 0.18%	2,850 100.00%	3.94	0.877	3.97	0.271
	演習	237 44.13%	236 43.95%	46 8.57%	10 1.86%	5 0.93%	3 0.56%	537 100.00%	4.29	0.778	4.30	0.286
	計	988 29.17%	1,643 48.51%	549 16.21%	153 4.52%	46 1.36%	8 0.24%	3,387 100.00%	4.00	0.871	4.03	0.305
国際社会科学部	講義	904 32.47%	1,300 46.70%	383 13.76%	134 4.81%	52 1.87%	11 0.40%	2,784 100.00%	4.03	0.908	4.04	0.385
	演習	132 52.80%	87 34.80%	21 8.40%	7 2.80%	3 1.20%	0 0.00%	250 100.00%	4.35	0.843	4.34	0.385
	語学	750 46.76%	673 41.96%	119 7.42%	41 2.56%	17 1.06%	4 0.25%	1,604 100.00%	4.31	0.803	4.32	0.405
	計	1,786 38.51%	2,060 44.42%	523 11.28%	182 3.92%	72 1.55%	15 0.32%	4,638 100.00%	4.15	0.881	4.24	0.417
教職課程	講義	331 28.19%	560 47.70%	182 15.50%	71 6.05%	25 2.13%	5 0.43%	1,174 100.00%	3.94	0.934	3.97	0.399
	演習	236 26.31%	489 54.52%	114 12.71%	48 5.35%	8 0.89%	2 0.22%	897 100.00%	4.00	0.829	3.97	0.305
	計	567 27.38%	1,049 50.65%	296 14.29%	119 5.75%	33 1.59%	7 0.34%	2,071 100.00%	3.97	0.890	3.97	0.348
学芸員	講義	146 38.32%	185 48.56%	27 7.09%	20 5.25%	2 0.52%	1 0.26%	381 100.00%	4.19	0.823	4.28	0.350
	演習	18 66.67%	9 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.67	0.480	4.67	0.178
	計	164 40.20%	194 47.55%	27 6.62%	20 4.90%	2 0.49%	1 0.25%	408 100.00%	4.22	0.813	4.35	0.356
合計		18,723 35.83%	24,222 46.36%	6,409 12.27%	2,100 4.02%	632 1.21%	162 0.31%	52,248 100.00%	4.12	0.860	4.20	0.384

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
講義	11,870 32.60%	17,167 47.15%	5,040 13.84%	1,704 4.68%	506 1.39%	120 0.33%	36,407 100.00%	4.05	0.881	4.09	0.343
演習	3,474 45.61%	3,272 42.96%	619 8.13%	177 2.32%	53 0.70%	21 0.28%	7,616 100.00%	4.31	0.775	4.33	0.376
語学	3,379 41.08%	3,783 45.99%	750 9.12%	219 2.66%	73 0.89%	21 0.26%	8,225 100.00%	4.24	0.795	4.25	0.401
合計	18,723 35.83%	24,222 46.36%	6,409 12.27%	2,100 4.02%	632 1.21%	162 0.31%	52,248 100.00%	4.12	0.860	4.20	0.384

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	8,781 36.46%	10,809 44.88%	3,102 12.88%	1,001 4.16%	321 1.33%	71 0.29%	24,085 100.00%	4.11	0.877
学部2年	5,296 32.75%	7,855 48.58%	2,070 12.80%	695 4.30%	202 1.25%	52 0.32%	16,170 100.00%	4.08	0.858
学部3年	3,331 36.13%	4,470 48.49%	981 10.64%	323 3.50%	80 0.87%	34 0.37%	9,219 100.00%	4.16	0.814
学部4年	1,149 45.70%	1,023 40.69%	238 9.47%	72 2.86%	27 1.07%	5 0.20%	2,514 100.00%	4.27	0.831

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	4,659 44.24%	4,687 44.50%	837 7.95%	244 2.32%	80 0.76%	25 0.24%	10,532 100.00%	4.29	0.773	4.30	0.401
26～50名	3,941 39.69%	4,488 45.20%	1,069 10.77%	305 3.07%	91 0.92%	35 0.35%	9,929 100.00%	4.20	0.820	4.20	0.361
51～100名	3,196 32.87%	4,641 47.74%	1,307 13.44%	433 4.45%	123 1.27%	22 0.23%	9,722 100.00%	4.07	0.867	4.07	0.300
101～200名	2,915 33.45%	4,102 47.07%	1,141 13.09%	411 4.72%	120 1.38%	26 0.30%	8,715 100.00%	4.07	0.881	4.04	0.349
201名以上	4,012 30.05%	6,304 47.22%	2,055 15.39%	707 5.30%	218 1.63%	54 0.40%	13,350 100.00%	3.99	0.904	3.98	0.309
合計	18,723 35.83%	24,222 46.36%	6,409 12.27%	2,100 4.02%	632 1.21%	162 0.31%	52,248 100.00%	4.12	0.860	4.20	0.384

Q7　この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	576 21.87%	867 32.92%	606 23.01%	377 14.31%	200 7.59%	8 0.30%	2,634 100.00%	3.47	1.197	3.47	0.496
外セ	語学	2,756 41.63%	2,556 38.60%	771 11.64%	373 5.63%	144 2.17%	21 0.32%	6,621 100.00%	4.12	0.971	4.13	0.576
スポ健	演習	942 57.33%	556 33.84%	108 6.57%	23 1.40%	9 0.55%	5 0.30%	1,643 100.00%	4.46	0.729	4.45	0.352
全学共通	講義	1,551 24.63%	1,872 29.72%	1,388 22.04%	976 15.50%	495 7.86%	16 0.25%	6,298 100.00%	3.48	1.236	3.58	0.656
	演習	28 50.00%	9 16.07%	9 16.07%	9 16.07%	1 1.79%	0 0.00%	56 100.00%	3.96	1.221	3.79	0.985
	計	1,579 24.85%	1,881 29.60%	1,397 21.99%	985 15.50%	496 7.81%	16 0.25%	6,354 100.00%	3.48	1.236	3.59	0.663
法学部	講義	1,293 19.97%	1,918 29.62%	1,621 25.03%	1,143 17.65%	462 7.14%	38 0.59%	6,475 100.00%	3.38	1.193	3.31	0.517
	演習	478 50.85%	269 28.62%	110 11.70%	60 6.38%	22 2.34%	1 0.11%	940 100.00%	4.19	1.028	4.30	0.565
	計	1,771 23.88%	2,187 29.49%	1,731 23.34%	1,203 16.22%	484 6.53%	39 0.53%	7,415 100.00%	3.48	1.204	3.67	0.717
経済学部	講義	1,242 18.46%	2,328 34.61%	1,621 24.10%	1,038 15.43%	469 6.97%	29 0.43%	6,727 100.00%	3.42	1.160	3.42	0.482
	演習	210 56.00%	121 32.27%	28 7.47%	10 2.67%	3 0.80%	3 0.80%	375 100.00%	4.41	0.808	4.44	0.454
	計	1,452 20.44%	2,449 34.48%	1,649 23.22%	1,048 14.76%	472 6.65%	32 0.45%	7,102 100.00%	3.48	1.165	3.69	0.652
文学部	講義	1,718 24.25%	2,482 35.04%	1,472 20.78%	1,026 14.48%	360 5.08%	26 0.37%	7,084 100.00%	3.59	1.151	3.71	0.638
	演習	1,276 44.14%	1,167 40.37%	283 9.79%	132 4.57%	28 0.97%	5 0.17%	2,891 100.00%	4.22	0.872	4.21	0.491
	計	2,994 30.02%	3,649 36.58%	1,755 17.59%	1,158 11.61%	388 3.89%	31 0.31%	9,975 100.00%	3.77	1.115	3.95	0.625
理学部	講義	517 18.14%	1,107 38.84%	743 26.07%	332 11.65%	143 5.02%	8 0.28%	2,850 100.00%	3.54	1.072	3.56	0.401
	演習	252 46.93%	223 41.53%	45 8.38%	7 1.30%	8 1.49%	2 0.37%	537 100.00%	4.32	0.802	4.33	0.245
	計	769 22.70%	1,330 39.27%	788 23.27%	339 10.01%	151 4.46%	10 0.30%	3,387 100.00%	3.66	1.072	3.72	0.485
国際社会科学部	講義	846 30.39%	1,075 38.61%	455 16.34%	276 9.91%	120 4.31%	12 0.43%	2,784 100.00%	3.81	1.106	3.80	0.524
	演習	148 59.20%	81 32.40%	14 5.60%	5 2.00%	2 0.80%	0 0.00%	250 100.00%	4.47	0.761	4.48	0.260
	語学	896 55.86%	584 36.41%	78 4.86%	33 2.06%	8 0.50%	5 0.31%	1,604 100.00%	4.46	0.728	4.45	0.350
	計	1,890 40.75%	1,740 37.52%	547 11.79%	314 6.77%	130 2.80%	17 0.37%	4,638 100.00%	4.07	1.024	4.26	0.501
教職課程	講義	325 27.68%	426 36.29%	206 17.55%	139 11.84%	73 6.22%	5 0.43%	1,174 100.00%	3.68	1.178	3.63	0.683
	演習	380 42.36%	425 47.38%	60 6.69%	25 2.79%	4 0.45%	3 0.33%	897 100.00%	4.29	0.749	4.22	0.453
	計	705 34.04%	851 41.09%	266 12.84%	164 7.92%	77 3.72%	8 0.39%	2,071 100.00%	3.94	1.059	3.95	0.637
学芸員	講義	84 22.05%	119 31.23%	82 21.52%	64 16.80%	32 8.40%	0 0.00%	381 100.00%	3.42	1.236	3.53	0.583
	演習	17 62.96%	10 37.04%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.63	0.492	4.63	0.137
	計	101 24.75%	129 31.62%	82 20.10%	64 15.69%	32 7.84%	0 0.00%	408 100.00%	3.50	1.238	3.72	0.680
合計		15,535 29.73%	18,195 34.82%	9,700 18.57%	6,048 11.58%	2,583 4.94%	187 0.36%	52,248 100.00%	3.73	1.150	3.94	0.643

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
講義	8,152 22.39%	12,194 33.49%	8,194 22.51%	5,371 14.75%	2,354 6.47%	142 0.39%	36,407 100.00%	3.51	1.177	3.56	0.579
演習	3,731 48.99%	2,861 37.57%	657 8.63%	271 3.56%	77 1.01%	19 0.25%	7,616 100.00%	4.30	0.848	4.30	0.469
語学	3,652 44.40%	3,140 38.18%	849 10.32%	406 4.94%	152 1.85%	26 0.32%	8,225 100.00%	4.19	0.938	4.20	0.550
合計	15,535 29.73%	18,195 34.82%	9,700 18.57%	6,048 11.58%	2,583 4.94%	187 0.36%	52,248 100.00%	3.73	1.150	3.94	0.643

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	7,569 31.43%	8,427 34.99%	4,363 18.12%	2,490 10.34%	1,158 4.81%	78 0.32%	24,085 100.00%	3.78	1.139
学部2年	4,577 28.31%	5,658 34.99%	3,055 18.89%	1,999 12.36%	814 5.03%	67 0.41%	16,170 100.00%	3.69	1.154
学部3年	2,465 26.74%	3,321 36.02%	1,762 19.11%	1,187 12.88%	446 4.84%	38 0.41%	9,219 100.00%	3.67	1.143
学部4年	792 31.50%	736 29.28%	476 18.93%	349 13.88%	157 6.25%	4 0.16%	2,514 100.00%	3.66	1.229

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	4,930 46.81%	3,831 36.37%	1,046 9.93%	514 4.88%	179 1.70%	32 0.30%	10,532 100.00%	4.22	0.933	4.21	0.589
26～50名	3,514 35.39%	3,619 36.45%	1,536 15.47%	864 8.70%	365 3.68%	31 0.31%	9,929 100.00%	3.91	1.088	3.92	0.630
51～100名	2,419 24.88%	3,418 35.16%	2,021 20.79%	1,292 13.29%	544 5.60%	28 0.29%	9,722 100.00%	3.61	1.158	3.63	0.551
101～200名	1,912 21.94%	2,921 33.52%	2,019 23.17%	1,304 14.96%	520 5.97%	39 0.45%	8,715 100.00%	3.51	1.162	3.49	0.489
201名以上	2,760 20.67%	4,406 33.00%	3,078 23.06%	2,074 15.54%	975 7.30%	57 0.43%	13,350 100.00%	3.44	1.189	3.45	0.438
合計	15,535 29.73%	18,195 34.82%	9,700 18.57%	6,048 11.58%	2,583 4.94%	187 0.36%	52,248 100.00%	3.73	1.150	3.94	0.643

Q8　教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	815 30.94%	1,136 43.13%	413 15.68%	173 6.57%	85 3.23%	12 0.46%	2,634 100.00%	3.92	1.009	3.93	0.475
外セ	語学	2,786 42.08%	3,082 46.55%	498 7.52%	160 2.42%	75 1.13%	20 0.30%	6,621 100.00%	4.26	0.792	4.26	0.395
スポ健	演習	973 59.22%	572 34.81%	80 4.87%	10 0.61%	6 0.37%	2 0.12%	1,643 100.00%	4.52	0.654	4.53	0.240
全学共通	講義	2,380 37.79%	3,202 50.84%	527 8.37%	111 1.76%	49 0.78%	29 0.46%	6,298 100.00%	4.24	0.741	4.28	0.272
	演習	17 30.36%	21 37.50%	13 23.21%	3 5.36%	1 1.79%	1 1.79%	56 100.00%	3.91	0.967	3.89	0.410
	計	2,397 37.72%	3,223 50.72%	540 8.50%	114 1.79%	50 0.79%	30 0.47%	6,354 100.00%	4.23	0.744	4.27	0.283
法学部	講義	2,287 35.32%	3,073 47.46%	723 11.17%	234 3.61%	116 1.79%	42 0.65%	6,475 100.00%	4.12	0.873	4.11	0.350
	演習	502 53.40%	342 36.38%	61 6.49%	23 2.45%	9 0.96%	3 0.32%	940 100.00%	4.39	0.795	4.43	0.405
	計	2,789 37.61%	3,415 46.06%	784 10.57%	257 3.47%	125 1.69%	45 0.61%	7,415 100.00%	4.15	0.868	4.22	0.401
経済学部	講義	1,965 29.21%	3,394 50.45%	862 12.81%	343 5.10%	133 1.98%	30 0.45%	6,727 100.00%	4.00	0.898	4.02	0.362
	演習	170 45.33%	161 42.93%	34 9.07%	7 1.87%	2 0.53%	1 0.27%	375 100.00%	4.31	0.757	4.35	0.370
	計	2,135 30.06%	3,555 50.06%	896 12.62%	350 4.93%	135 1.90%	31 0.44%	7,102 100.00%	4.02	0.893	4.10	0.391
文学部	講義	2,543 35.90%	3,650 51.52%	599 8.46%	213 3.01%	57 0.80%	22 0.31%	7,084 100.00%	4.19	0.776	4.23	0.322
	演習	1,245 43.06%	1,379 47.70%	144 4.98%	83 2.87%	31 1.07%	9 0.31%	2,891 100.00%	4.29	0.780	4.30	0.455
	計	3,788 37.97%	5,029 50.42%	743 7.45%	296 2.97%	88 0.88%	31 0.31%	9,975 100.00%	4.22	0.778	4.26	0.393
理学部	講義	762 26.74%	1,387 48.67%	466 16.35%	157 5.51%	71 2.49%	7 0.25%	2,850 100.00%	3.92	0.933	3.95	0.379
	演習	179 33.33%	272 50.65%	65 12.10%	9 1.68%	8 1.49%	4 0.74%	537 100.00%	4.14	0.802	4.13	0.318
	計	941 27.78%	1,659 48.98%	531 15.68%	166 4.90%	79 2.33%	11 0.32%	3,387 100.00%	3.95	0.917	3.99	0.374
国際社会科学部	講義	869 31.21%	1,342 48.20%	365 13.11%	130 4.67%	67 2.41%	11 0.40%	2,784 100.00%	4.02	0.922	4.05	0.399
	演習	105 42.00%	105 42.00%	28 11.20%	6 2.40%	5 2.00%	1 0.40%	250 100.00%	4.20	0.880	4.21	0.421
	語学	735 45.82%	669 41.71%	113 7.04%	50 3.12%	27 1.68%	10 0.62%	1,604 100.00%	4.28	0.857	4.29	0.481
	計	1,709 36.85%	2,116 45.62%	506 10.91%	186 4.01%	99 2.13%	22 0.47%	4,638 100.00%	4.12	0.906	4.21	0.463
教職課程	講義	378 32.20%	535 45.57%	168 14.31%	53 4.51%	34 2.90%	6 0.51%	1,174 100.00%	4.00	0.955	4.03	0.484
	演習	283 31.55%	508 56.63%	76 8.47%	24 2.68%	3 0.33%	3 0.33%	897 100.00%	4.17	0.715	4.11	0.372
	計	661 31.92%	1,043 50.36%	244 11.78%	77 3.72%	37 1.79%	9 0.43%	2,071 100.00%	4.07	0.863	4.07	0.426
学芸員	講義	163 42.78%	172 45.14%	29 7.61%	14 3.67%	2 0.52%	1 0.26%	381 100.00%	4.26	0.795	4.34	0.257
	演習	20 74.07%	7 25.93%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.74	0.447	4.74	0.131
	計	183 44.85%	179 43.87%	29 7.11%	14 3.43%	2 0.49%	1 0.25%	408 100.00%	4.29	0.786	4.41	0.285
合計		19,177 36.70%	25,009 47.87%	5,264 10.08%	1,803 3.45%	781 1.49%	214 0.41%	52,248 100.00%	4.15	0.849	4.21	0.411

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	12,162 33.41%	17,891 49.14%	4,152 11.40%	1,428 3.92%	614 1.69%	160 0.44%	36,407 100.00%	4.09	0.867	4.11	0.381
演習	3,494 45.88%	3,367 44.21%	501 6.58%	165 2.17%	65 0.85%	24 0.32%	7,616 100.00%	4.33	0.765	4.33	0.413
語学	3,521 42.81%	3,751 45.60%	611 7.43%	210 2.55%	102 1.24%	30 0.36%	8,225 100.00%	4.27	0.805	4.27	0.416
合計	19,177 36.70%	25,009 47.87%	5,264 10.08%	1,803 3.45%	781 1.49%	214 0.41%	52,248 100.00%	4.15	0.849	4.21	0.411

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	8,950 37.16%	11,115 46.15%	2,639 10.96%	873 3.62%	423 1.76%	85 0.35%	24,085 100.00%	4.14	0.876
学部2年	5,472 33.84%	8,107 50.14%	1,695 10.48%	597 3.69%	218 1.35%	81 0.50%	16,170 100.00%	4.12	0.838
学部3年	3,388 36.75%	4,659 50.54%	756 8.20%	273 2.96%	107 1.16%	36 0.39%	9,219 100.00%	4.19	0.799
学部4年	1,198 47.65%	1,056 42.00%	164 6.52%	55 2.19%	32 1.27%	9 0.36%	2,514 100.00%	4.33	0.798

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	4,782 45.40%	4,624 43.90%	716 6.80%	264 2.51%	110 1.04%	36 0.34%	10,532 100.00%	4.31	0.791	4.30	0.428
26～50名	4,006 40.35%	4,589 46.22%	877 8.83%	297 2.99%	123 1.24%	37 0.37%	9,929 100.00%	4.22	0.823	4.22	0.394
51～100名	3,289 33.83%	4,643 47.76%	1,160 11.93%	423 4.35%	178 1.83%	29 0.30%	9,722 100.00%	4.08	0.890	4.08	0.380
101～200名	2,898 33.25%	4,327 49.65%	954 10.95%	337 3.87%	157 1.80%	42 0.48%	8,715 100.00%	4.09	0.868	4.08	0.350
201名以上	4,202 31.48%	6,826 51.13%	1,557 11.66%	482 3.61%	213 1.60%	70 0.52%	13,350 100.00%	4.08	0.847	4.07	0.306
合計	19,177 36.70%	25,009 47.87%	5,264 10.08%	1,803 3.45%	781 1.49%	214 0.41%	52,248 100.00%	4.15	0.849	4.21	0.411

Q9　この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	761 28.89%	1,233 46.81%	384 14.58%	177 6.72%	70 2.66%	9 0.34%	2,634 100.00%	3.93	0.970	3.95	0.394
外セ	語学	2,524 38.12%	3,147 47.53%	566 8.55%	275 4.15%	92 1.39%	17 0.26%	6,621 100.00%	4.17	0.855	4.18	0.379
スポ健	演習	951 57.88%	589 35.85%	74 4.50%	18 1.10%	7 0.43%	4 0.24%	1,643 100.00%	4.50	0.677	4.51	0.242
全学共通	講義	2,323 36.88%	3,218 51.10%	553 8.78%	138 2.19%	40 0.64%	26 0.41%	6,298 100.00%	4.22	0.746	4.26	0.257
	演習	14 25.00%	25 44.64%	8 14.29%	7 12.50%	1 1.79%	1 1.79%	56 100.00%	3.80	1.026	3.72	0.477
	計	2,337 36.78%	3,243 51.04%	561 8.83%	145 2.28%	41 0.65%	27 0.42%	6,354 100.00%	4.22	0.749	4.25	0.279
法学部	講義	2,102 32.46%	3,173 49.00%	735 11.35%	343 5.30%	81 1.25%	41 0.63%	6,475 100.00%	4.07	0.873	4.05	0.292
	演習	442 47.02%	386 41.06%	57 6.06%	38 4.04%	14 1.49%	3 0.32%	940 100.00%	4.28	0.865	4.30	0.435
	計	2,544 34.31%	3,559 48.00%	792 10.68%	381 5.14%	95 1.28%	44 0.59%	7,415 100.00%	4.10	0.875	4.14	0.371
経済学部	講義	1,841 27.37%	3,426 50.93%	905 13.45%	403 5.99%	127 1.89%	25 0.37%	6,727 100.00%	3.96	0.905	3.99	0.333
	演習	160 42.67%	170 45.33%	31 8.27%	9 2.40%	3 0.80%	2 0.53%	375 100.00%	4.27	0.780	4.31	0.327
	計	2,001 28.18%	3,596 50.63%	936 13.18%	412 5.80%	130 1.83%	27 0.38%	7,102 100.00%	3.98	0.902	4.07	0.359
文学部	講義	2,414 34.08%	3,748 52.91%	594 8.39%	265 3.74%	50 0.71%	13 0.18%	7,084 100.00%	4.16	0.783	4.20	0.289
	演習	1,168 40.40%	1,392 48.15%	210 7.26%	90 3.11%	26 0.90%	5 0.17%	2,891 100.00%	4.24	0.790	4.25	0.423
	計	3,582 35.91%	5,140 51.53%	804 8.06%	355 3.56%	76 0.76%	18 0.18%	9,975 100.00%	4.18	0.786	4.22	0.360
理学部	講義	694 24.35%	1,426 50.04%	426 14.95%	228 8.00%	70 2.46%	6 0.21%	2,850 100.00%	3.86	0.957	3.89	0.313
	演習	176 32.77%	270 50.28%	55 10.24%	21 3.91%	12 2.23%	3 0.56%	537 100.00%	4.08	0.887	4.08	0.288
	計	870 25.69%	1,696 50.07%	481 14.20%	249 7.35%	82 2.42%	9 0.27%	3,387 100.00%	3.89	0.950	3.93	0.317
国際社会科学部	講義	792 28.45%	1,418 50.93%	376 13.51%	144 5.17%	48 1.72%	6 0.22%	2,784 100.00%	3.99	0.885	4.00	0.338
	演習	91 36.40%	102 40.80%	36 14.40%	17 6.80%	4 1.60%	0 0.00%	250 100.00%	4.04	0.963	4.05	0.440
	語学	643 40.09%	690 43.02%	137 8.54%	100 6.23%	29 1.81%	5 0.31%	1,604 100.00%	4.14	0.940	4.16	0.427
	計	1,526 32.90%	2,210 47.65%	549 11.84%	261 5.63%	81 1.75%	11 0.24%	4,638 100.00%	4.05	0.911	4.10	0.409
教職課程	講義	359 30.58%	559 47.61%	154 13.12%	63 5.37%	35 2.98%	4 0.34%	1,174 100.00%	3.98	0.961	4.02	0.428
	演習	276 30.77%	509 56.74%	83 9.25%	24 2.68%	4 0.45%	1 0.11%	897 100.00%	4.15	0.726	4.09	0.330
	計	635 30.66%	1,068 51.57%	237 11.44%	87 4.20%	39 1.88%	5 0.24%	2,071 100.00%	4.05	0.871	4.06	0.377
学芸員	講義	163 42.78%	180 47.24%	26 6.82%	8 2.10%	3 0.79%	1 0.26%	381 100.00%	4.29	0.753	4.36	0.236
	演習	18 66.67%	9 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.67	0.480	4.67	0.127
	計	181 44.36%	189 46.32%	26 6.37%	8 1.96%	3 0.74%	1 0.25%	408 100.00%	4.32	0.744	4.41	0.250
合計		17,912 34.28%	25,670 49.13%	5,410 10.35%	2,368 4.53%	716 1.37%	172 0.33%	52,248 100.00%	4.11	0.861	4.16	0.380

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	11,449 31.45%	18,381 50.49%	4,153 11.41%	1,769 4.86%	524 1.44%	131 0.36%	36,407 100.00%	4.06	0.867	4.08	0.340
演習	3,296 43.28%	3,452 45.33%	554 7.27%	224 2.94%	71 0.93%	19 0.25%	7,616 100.00%	4.27	0.796	4.28	0.400
語学	3,167 38.50%	3,837 46.65%	703 8.55%	375 4.56%	121 1.47%	22 0.27%	8,225 100.00%	4.16	0.872	4.17	0.390
合計	17,912 34.28%	25,670 49.13%	5,410 10.35%	2,368 4.53%	716 1.37%	172 0.33%	52,248 100.00%	4.11	0.861	4.16	0.380

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	8,410 34.92%	11,221 46.59%	2,793 11.60%	1,186 4.92%	401 1.66%	74 0.31%	24,085 100.00%	4.09	0.898
学部2年	5,130 31.73%	8,387 51.87%	1,673 10.35%	723 4.47%	200 1.24%	57 0.35%	16,170 100.00%	4.09	0.840
学部3年	3,110 33.73%	4,822 52.31%	786 8.53%	373 4.05%	90 0.98%	38 0.41%	9,219 100.00%	4.14	0.809
学部4年	1,111 44.19%	1,158 46.06%	142 5.65%	77 3.06%	23 0.91%	3 0.12%	2,514 100.00%	4.30	0.785

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	4,373 41.52%	4,743 45.03%	845 8.02%	419 3.98%	129 1.22%	23 0.22%	10,532 100.00%	4.22	0.848	4.22	0.412
26～50名	3,748 37.75%	4,745 47.79%	847 8.53%	420 4.23%	136 1.37%	33 0.33%	9,929 100.00%	4.17	0.854	4.17	0.361
51～100名	3,013 30.99%	4,859 49.98%	1,133 11.65%	545 5.61%	147 1.51%	25 0.26%	9,722 100.00%	4.04	0.887	4.04	0.338
101～200名	2,737 31.41%	4,397 50.45%	996 11.43%	426 4.89%	126 1.45%	33 0.38%	8,715 100.00%	4.06	0.868	4.06	0.308
201名以上	4,041 30.27%	6,926 51.88%	1,589 11.90%	558 4.18%	178 1.33%	58 0.43%	13,350 100.00%	4.06	0.842	4.05	0.262
合計	17,912 34.28%	25,670 49.13%	5,410 10.35%	2,368 4.53%	716 1.37%	172 0.33%	52,248 100.00%	4.11	0.861	4.16	0.380

Q9－2　授業のボリュームについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース	
		5 多い	4 少ない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	195 78.95%	45 18.22%	7 2.83%	247 100.00%	－	－	－	－
外セ	語学	267 72.75%	79 21.53%	21 5.72%	367 100.00%	－	－	－	－
スポ健	演習	9 36.00%	15 60.00%	1 4.00%	25 100.00%	－	－	－	－
全学共通	講義	113 63.48%	52 29.21%	13 7.30%	178 100.00%	－	－	－	－
	演習	6 75.00%	2 25.00%	0 0.00%	8 100.00%	－	－	－	－
	計	119 63.98%	54 29.03%	13 6.99%	186 100.00%	－	－	－	－
法学部	講義	360 84.91%	47 11.08%	17 4.01%	424 100.00%	－	－	－	－
	演習	45 86.54%	6 11.54%	1 1.92%	52 100.00%	－	－	－	－
	計	405 85.08%	53 11.13%	18 3.78%	476 100.00%	－	－	－	－
経済学部	講義	456 86.04%	58 10.94%	16 3.02%	530 100.00%	－	－	－	－
	演習	6 50.00%	6 50.00%	0 0.00%	12 100.00%	－	－	－	－
	計	462 85.24%	64 11.81%	16 2.95%	542 100.00%	－	－	－	－
文学部	講義	244 77.46%	66 20.95%	5 1.59%	315 100.00%	－	－	－	－
	演習	81 69.83%	28 24.14%	7 6.03%	116 100.00%	－	－	－	－
	計	325 75.41%	94 21.81%	12 2.78%	431 100.00%	－	－	－	－
理学部	講義	250 83.89%	45 15.10%	3 1.01%	298 100.00%	－	－	－	－
	演習	30 90.91%	3 9.09%	0 0.00%	33 100.00%	－	－	－	－
	計	280 84.59%	48 14.50%	3 0.91%	331 100.00%	－	－	－	－
国際社会科学部	講義	157 81.77%	30 15.63%	5 2.60%	192 100.00%	－	－	－	－
	演習	20 95.24%	1 4.76%	0 0.00%	21 100.00%	－	－	－	－
	語学	96 74.42%	29 22.48%	4 3.10%	129 100.00%	－	－	－	－
	計	273 79.82%	60 17.54%	9 2.63%	342 100.00%	－	－	－	－
教職課程	講義	70 71.43%	25 25.51%	3 3.06%	98 100.00%	－	－	－	－
	演習	17 60.71%	8 28.57%	3 10.71%	28 100.00%	－	－	－	－
	計	87 69.05%	33 26.19%	6 4.76%	126 100.00%	－	－	－	－
学芸員	講義	6 54.55%	5 45.45%	0 0.00%	11 100.00%	－	－	－	－
	演習	0 －	0 －	0 －	0 0.00%	－	－	－	－
	計	6 54.55%	5 45.45%	0 0.00%	11 100.00%	－	－	－	－
合計		2,428 78.73%	550 17.83%	106 3.44%	3,084 100.00%	－	－	－	－

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース	
	5 多い	4 少ない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,851 80.72%	373 16.27%	69 3.01%	2,293 100.00%	－	－	－	－
演習	214 72.54%	69 23.39%	12 4.07%	295 100.00%	－	－	－	－
語学	363 73.19%	108 21.77%	25 5.04%	496 100.00%	－	－	－	－
合計	2,428 78.73%	550 17.83%	106 3.44%	3,084 100.00%	－	－	－	－

【学部生・学年別】

	回答者ベース					
	5 多い	4 少ない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
学部1年	1,222 77.00%	301 18.97%	64 4.03%	1,587 100.00%	－	－
学部2年	764 82.77%	133 14.41%	26 2.82%	923 100.00%	－	－
学部3年	373 80.56%	76 16.41%	14 3.02%	463 100.00%	－	－
学部4年	66 66.00%	32 32.00%	2 2.00%	100 100.00%	－	－

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース	
	5 多い	4 少ない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	392 71.53%	138 25.18%	18 3.28%	548 100.00%	－	－	－	－
26～50名	439 78.96%	91 16.37%	26 4.68%	556 100.00%	－	－	－	－
51～100名	555 80.20%	122 17.63%	15 2.17%	692 100.00%	－	－	－	－
101～200名	456 82.61%	80 14.49%	16 2.90%	552 100.00%	－	－	－	－
201名以上	586 79.62%	119 16.17%	31 4.21%	736 100.00%	－	－	－	－
合計	2,428 78.73%	550 17.83%	106 3.44%	3,084 100.00%	－	－	－	－

Q10　この授業の水準に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	719 27.30%	1,272 48.29%	424 16.10%	156 5.92%	51 1.94%	12 0.46%	2,634 100.00%	3.94	0.919	3.94	0.394
外セ	語学	2,425 36.63%	3,268 49.36%	589 8.90%	213 3.22%	82 1.24%	44 0.66%	6,621 100.00%	4.18	0.818	4.18	0.375
スポ健	演習	946 57.58%	582 35.42%	74 4.50%	18 1.10%	9 0.55%	14 0.85%	1,643 100.00%	4.50	0.688	4.51	0.232
全学共通	講義	2,245 35.65%	3,348 53.16%	534 8.48%	99 1.57%	35 0.56%	37 0.59%	6,298 100.00%	4.22	0.712	4.26	0.260
	演習	15 26.79%	25 44.64%	13 23.21%	2 3.57%	1 1.79%	0 0.00%	56 100.00%	3.91	0.900	3.91	0.309
	計	2,260 35.57%	3,373 53.08%	547 8.61%	101 1.59%	36 0.57%	37 0.58%	6,354 100.00%	4.22	0.714	4.25	0.267
法学部	講義	2,056 31.75%	3,285 50.73%	784 12.11%	224 3.46%	74 1.14%	52 0.80%	6,475 100.00%	4.09	0.823	4.09	0.284
	演習	436 46.38%	387 41.17%	72 7.66%	34 3.62%	8 0.85%	3 0.32%	940 100.00%	4.29	0.825	4.33	0.402
	計	2,492 33.61%	3,672 49.52%	856 11.54%	258 3.48%	82 1.11%	55 0.74%	7,415 100.00%	4.12	0.825	4.18	0.352
経済学部	講義	1,828 27.17%	3,565 53.00%	889 13.22%	299 4.44%	99 1.47%	47 0.70%	6,727 100.00%	4.01	0.848	4.03	0.338
	演習	168 44.80%	160 42.67%	39 10.40%	6 1.60%	2 0.53%	0 0.00%	375 100.00%	4.30	0.760	4.32	0.342
	計	1,996 28.10%	3,725 52.45%	928 13.07%	305 4.29%	101 1.42%	47 0.66%	7,102 100.00%	4.02	0.846	4.10	0.362
文学部	講義	2,340 33.03%	3,816 53.87%	664 9.37%	178 2.51%	42 0.59%	44 0.62%	7,084 100.00%	4.17	0.744	4.20	0.282
	演習	1,170 40.47%	1,409 48.74%	199 6.88%	63 2.18%	22 0.76%	28 0.97%	2,891 100.00%	4.27	0.749	4.27	0.409
	計	3,510 35.19%	5,225 52.38%	863 8.65%	241 2.42%	64 0.64%	72 0.72%	9,975 100.00%	4.20	0.747	4.24	0.350
理学部	講義	672 23.58%	1,434 50.32%	493 17.30%	183 6.42%	56 1.96%	12 0.42%	2,850 100.00%	3.87	0.911	3.91	0.323
	演習	169 31.47%	275 51.21%	59 10.99%	21 3.91%	10 1.86%	3 0.56%	537 100.00%	4.07	0.866	4.08	0.344
	計	841 24.83%	1,709 50.46%	552 16.30%	204 6.02%	66 1.95%	15 0.44%	3,387 100.00%	3.91	0.907	3.94	0.334
国際社会科学部	講義	766 27.51%	1,473 52.91%	390 14.01%	105 3.77%	43 1.54%	7 0.25%	2,784 100.00%	4.01	0.841	4.00	0.343
	演習	84 33.60%	126 50.40%	27 10.80%	10 4.00%	2 0.80%	1 0.40%	250 100.00%	4.12	0.816	4.13	0.324
	語学	644 40.15%	738 46.01%	145 9.04%	48 2.99%	22 1.37%	7 0.44%	1,604 100.00%	4.21	0.833	4.23	0.394
	計	1,494 32.21%	2,337 50.39%	562 12.12%	163 3.51%	67 1.44%	15 0.32%	4,638 100.00%	4.09	0.842	4.15	0.386
教職課程	講義	347 29.56%	596 50.77%	168 14.31%	36 3.07%	21 1.79%	6 0.51%	1,174 100.00%	4.04	0.852	4.06	0.424
	演習	270 30.10%	512 57.08%	91 10.14%	15 1.67%	4 0.45%	5 0.56%	897 100.00%	4.15	0.699	4.09	0.355
	計	617 29.79%	1,108 53.50%	259 12.51%	51 2.46%	25 1.21%	11 0.53%	2,071 100.00%	4.09	0.791	4.08	0.386
学芸員	講義	154 40.42%	196 51.44%	18 4.72%	4 1.05%	4 1.05%	5 1.31%	381 100.00%	4.31	0.708	4.37	0.212
	演習	18 66.67%	9 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.67	0.480	4.67	0.127
	計	172 42.16%	205 50.25%	18 4.41%	4 0.98%	4 0.98%	5 1.23%	408 100.00%	4.33	0.701	4.43	0.229
合計		17,472 33.44%	26,476 50.67%	5,672 10.86%	1,714 3.28%	587 1.12%	327 0.63%	52,248 100.00%	4.13	0.814	4.18	0.371

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	11,127 30.56%	18,985 52.15%	4,364 11.99%	1,284 3.53%	425 1.17%	222 0.61%	36,407 100.00%	4.08	0.818	4.10	0.337
演習	3,276 43.01%	3,485 45.76%	574 7.54%	169 2.22%	58 0.76%	54 0.71%	7,616 100.00%	4.29	0.764	4.30	0.384
語学	3,069 37.31%	4,006 48.71%	734 8.92%	261 3.17%	104 1.26%	51 0.62%	8,225 100.00%	4.18	0.821	4.19	0.379
合計	17,472 33.44%	26,476 50.67%	5,672 10.86%	1,714 3.28%	587 1.12%	327 0.63%	52,248 100.00%	4.13	0.814	4.18	0.371

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	8,148 33.83%	11,717 48.65%	2,905 12.06%	859 3.57%	318 1.32%	138 0.57%	24,085 100.00%	4.11	0.844
学部2年	5,027 31.09%	8,570 53.00%	1,780 11.01%	519 3.21%	171 1.06%	103 0.64%	16,170 100.00%	4.11	0.798
学部3年	3,048 33.06%	4,948 53.67%	813 8.82%	274 2.97%	74 0.80%	62 0.67%	9,219 100.00%	4.16	0.767
学部4年	1,104 43.91%	1,150 45.74%	159 6.32%	58 2.31%	21 0.84%	22 0.88%	2,514 100.00%	4.31	0.763

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	4,258 40.43%	4,935 46.86%	857 8.14%	306 2.91%	110 1.04%	66 0.63%	10,532 100.00%	4.23	0.803	4.24	0.399
26～50名	3,686 37.12%	4,808 48.42%	921 9.28%	336 3.38%	109 1.10%	69 0.69%	9,929 100.00%	4.18	0.819	4.18	0.363
51～100名	2,932 30.16%	5,004 51.47%	1,227 12.62%	391 4.02%	107 1.10%	61 0.63%	9,722 100.00%	4.06	0.830	4.06	0.327
101～200名	2,691 30.88%	4,574 52.48%	1,028 11.80%	265 3.04%	108 1.24%	49 0.56%	8,715 100.00%	4.09	0.809	4.08	0.288
201名以上	3,905 29.25%	7,155 53.60%	1,639 12.28%	416 3.12%	153 1.15%	82 0.61%	13,350 100.00%	4.07	0.801	4.07	0.275
合計	17,472 33.44%	26,476 50.67%	5,672 10.86%	1,714 3.28%	587 1.12%	327 0.63%	52,248 100.00%	4.13	0.814	4.18	0.371

Q10－2　授業の水準について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース	
		5 高すぎる	4 低すぎる	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	148 71.50%	53 25.60%	6 2.90%	207 100.00%	－	－	－	－
外セ	語学	183 62.03%	98 33.22%	14 4.75%	295 100.00%	－	－	－	－
スポ健	演習	11 40.74%	15 55.56%	1 3.70%	27 100.00%	－	－	－	－
全学共通	講義	77 57.46%	49 36.57%	8 5.97%	134 100.00%	－	－	－	－
	演習	2 66.67%	1 33.33%	0 0.00%	3 100.00%	－	－	－	－
	計	79 57.66%	50 36.50%	8 5.84%	137 100.00%	－	－	－	－
法学部	講義	235 78.86%	46 15.44%	17 5.70%	298 100.00%	－	－	－	－
	演習	32 76.19%	6 14.29%	4 9.52%	42 100.00%	－	－	－	－
	計	267 78.53%	52 15.29%	21 6.18%	340 100.00%	－	－	－	－
経済学部	講義	311 78.14%	72 18.09%	15 3.77%	398 100.00%	－	－	－	－
	演習	5 62.50%	2 25.00%	1 12.50%	8 100.00%	－	－	－	－
	計	316 77.83%	74 18.23%	16 3.94%	406 100.00%	－	－	－	－
文学部	講義	167 75.91%	38 17.27%	15 6.82%	220 100.00%	－	－	－	－
	演習	55 64.71%	26 30.59%	4 4.71%	85 100.00%	－	－	－	－
	計	222 72.79%	64 20.98%	19 6.23%	305 100.00%	－	－	－	－
理学部	講義	204 85.36%	29 12.13%	6 2.51%	239 100.00%	－	－	－	－
	演習	25 80.65%	6 19.35%	0 0.00%	31 100.00%	－	－	－	－
	計	229 84.81%	35 12.96%	6 2.22%	270 100.00%	－	－	－	－
国際社会科学部	講義	86 58.11%	51 34.46%	11 7.43%	148 100.00%	－	－	－	－
	演習	8 66.67%	3 25.00%	1 8.33%	12 100.00%	－	－	－	－
	語学	31 44.29%	36 51.43%	3 4.29%	70 100.00%	－	－	－	－
	計	125 54.35%	90 39.13%	15 6.52%	230 100.00%	－	－	－	－
教職課程	講義	26 45.61%	29 50.88%	2 3.51%	57 100.00%	－	－	－	－
	演習	8 42.11%	8 42.11%	3 15.79%	19 100.00%	－	－	－	－
	計	34 44.74%	37 48.68%	5 6.58%	76 100.00%	－	－	－	－
学芸員	講義	3 37.50%	5 62.50%	0 0.00%	8 100.00%	－	－	－	－
	演習	0 －	0 －	0 －	0 0.00%	－	－	－	－
	計	3 37.50%	5 62.50%	0 0.00%	8 100.00%	－	－	－	－
合計		1,617 70.27%	573 24.90%	111 4.82%	2,301 100.00%	－	－	－	－

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース	
	5 高すぎる	4 低すぎる	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,257 73.55%	372 21.77%	80 4.68%	1,709 100.00%	－	－	－	－
演習	146 64.32%	67 29.52%	14 6.17%	227 100.00%	－	－	－	－
語学	214 58.63%	134 36.71%	17 4.66%	365 100.00%	－	－	－	－
合計	1,617 70.27%	573 24.90%	111 4.82%	2,301 100.00%	－	－	－	－

【学部生・学年別】

	回答者ベース					
	5 高すぎる	4 低すぎる	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
学部1年	803 68.22%	317 26.93%	57 4.84%	1,177 100.00%	－	－
学部2年	515 74.64%	134 19.42%	41 5.94%	690 100.00%	－	－
学部3年	255 73.28%	81 23.28%	12 3.45%	348 100.00%	－	－
学部4年	41 51.90%	37 46.84%	1 1.27%	79 100.00%	－	－

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース	
	5 高すぎる	4 低すぎる	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	242 58.17%	154 37.02%	20 4.81%	416 100.00%	－	－	－	－
26～50名	337 75.73%	88 19.78%	20 4.49%	445 100.00%	－	－	－	－
51～100名	366 73.49%	110 22.09%	22 4.42%	498 100.00%	－	－	－	－
101～200名	265 71.05%	89 23.86%	19 5.09%	373 100.00%	－	－	－	－
201名以上	407 71.53%	132 23.20%	30 5.27%	569 100.00%	－	－	－	－
合計	1,617 70.27%	573 24.90%	111 4.82%	2,301 100.00%	－	－	－	－

Q11　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	662 25.13%	1,215 46.13%	495 18.79%	180 6.83%	77 2.92%	5 0.19%	2,634 100.00%	3.84	0.976	3.89	0.378
外セ	語学	2,219 33.51%	3,262 49.27%	775 11.71%	251 3.79%	84 1.27%	30 0.45%	6,621 100.00%	4.10	0.843	4.12	0.388
スポ健	演習	828 50.40%	616 37.49%	146 8.89%	31 1.89%	12 0.73%	10 0.61%	1,643 100.00%	4.36	0.782	4.38	0.300
全学共通	講義	2,592 41.16%	3,044 48.33%	474 7.53%	121 1.92%	39 0.62%	28 0.44%	6,298 100.00%	4.28	0.737	4.32	0.227
	演習	21 37.50%	22 39.29%	9 16.07%	2 3.57%	1 1.79%	1 1.79%	56 100.00%	4.09	0.928	4.04	0.375
	計	2,613 41.12%	3,066 48.25%	483 7.60%	123 1.94%	40 0.63%	29 0.46%	6,354 100.00%	4.28	0.739	4.31	0.235
法学部	講義	2,254 34.81%	3,226 49.82%	722 11.15%	172 2.66%	65 1.00%	36 0.56%	6,475 100.00%	4.15	0.798	4.17	0.248
	演習	456 48.51%	377 40.11%	74 7.87%	24 2.55%	6 0.64%	3 0.32%	940 100.00%	4.34	0.783	4.40	0.384
	計	2,710 36.55%	3,603 48.59%	796 10.74%	196 2.64%	71 0.96%	39 0.53%	7,415 100.00%	4.18	0.798	4.26	0.324
経済学部	講義	1,919 28.53%	3,370 50.10%	988 14.69%	308 4.58%	107 1.59%	35 0.52%	6,727 100.00%	4.00	0.873	4.03	0.296
	演習	180 48.00%	163 43.47%	24 6.40%	6 1.60%	2 0.53%	0 0.00%	375 100.00%	4.37	0.722	4.41	0.330
	計	2,099 29.56%	3,533 49.75%	1,012 14.25%	314 4.42%	109 1.53%	35 0.49%	7,102 100.00%	4.02	0.870	4.13	0.349
文学部	講義	2,650 37.41%	3,707 52.33%	514 7.26%	152 2.15%	33 0.47%	28 0.40%	7,084 100.00%	4.25	0.719	4.29	0.267
	演習	1,244 43.03%	1,351 46.73%	193 6.68%	69 2.39%	21 0.73%	13 0.45%	2,891 100.00%	4.30	0.758	4.30	0.400
	計	3,894 39.04%	5,058 50.71%	707 7.09%	221 2.22%	54 0.54%	41 0.41%	9,975 100.00%	4.26	0.730	4.29	0.337
理学部	講義	767 26.91%	1,419 49.79%	470 16.49%	131 4.60%	47 1.65%	16 0.56%	2,850 100.00%	3.96	0.877	4.01	0.314
	演習	202 37.62%	262 48.79%	55 10.24%	6 1.12%	6 1.12%	6 1.12%	537 100.00%	4.22	0.764	4.24	0.254
	計	969 28.61%	1,681 49.63%	525 15.50%	137 4.04%	53 1.56%	22 0.65%	3,387 100.00%	4.00	0.865	4.06	0.315
国際社会科学部	講義	792 28.45%	1,456 52.30%	354 12.72%	124 4.45%	47 1.69%	11 0.40%	2,784 100.00%	4.02	0.863	4.07	0.298
	演習	90 36.00%	108 43.20%	32 12.80%	12 4.80%	6 2.40%	2 0.80%	250 100.00%	4.06	0.950	4.08	0.443
	語学	563 35.10%	744 46.38%	199 12.41%	62 3.87%	25 1.56%	11 0.69%	1,604 100.00%	4.10	0.875	4.12	0.386
	計	1,445 31.16%	2,308 49.76%	585 12.61%	198 4.27%	78 1.68%	24 0.52%	4,638 100.00%	4.05	0.873	4.10	0.368
教職課程	講義	379 32.28%	591 50.34%	144 12.27%	32 2.73%	21 1.79%	7 0.60%	1,174 100.00%	4.09	0.844	4.10	0.355
	演習	265 29.54%	499 55.63%	93 10.37%	27 3.01%	8 0.89%	5 0.56%	897 100.00%	4.11	0.770	4.10	0.314
	計	644 31.10%	1,090 52.63%	237 11.44%	59 2.85%	29 1.40%	12 0.58%	2,071 100.00%	4.10	0.812	4.10	0.331
学芸員	講義	182 47.77%	172 45.14%	18 4.72%	6 1.57%	1 0.26%	2 0.52%	381 100.00%	4.39	0.679	4.46	0.194
	演習	22 81.48%	5 18.52%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.81	0.396	4.82	0.137
	計	204 50.00%	177 43.38%	18 4.41%	6 1.47%	1 0.25%	2 0.49%	408 100.00%	4.42	0.672	4.52	0.231
合計		18,287 35.00%	25,609 49.01%	5,779 11.06%	1,716 3.28%	608 1.16%	249 0.48%	52,248 100.00%	4.14	0.825	4.18	0.364

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	12,197 33.50%	18,200 49.99%	4,179 11.48%	1,226 3.37%	437 1.20%	168 0.46%	36,407 100.00%	4.12	0.826	4.15	0.321
演習	3,308 43.43%	3,403 44.68%	626 8.22%	177 2.32%	62 0.81%	40 0.53%	7,616 100.00%	4.28	0.779	4.31	0.376
語学	2,782 33.82%	4,006 48.71%	974 11.84%	313 3.81%	109 1.33%	41 0.50%	8,225 100.00%	4.10	0.849	4.12	0.387
合計	18,287 35.00%	25,609 49.01%	5,779 11.06%	1,716 3.28%	608 1.16%	249 0.48%	52,248 100.00%	4.14	0.825	4.18	0.364

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	8,365 34.73%	11,333 47.05%	3,056 12.69%	905 3.76%	324 1.35%	102 0.42%	24,085 100.00%	4.11	0.859
学部2年	5,236 32.38%	8,322 51.47%	1,805 11.16%	538 3.33%	183 1.13%	86 0.53%	16,170 100.00%	4.11	0.813
学部3年	3,338 36.21%	4,765 51.69%	775 8.41%	209 2.27%	78 0.85%	54 0.59%	9,219 100.00%	4.21	0.757
学部4年	1,192 47.41%	1,105 43.95%	128 5.09%	60 2.39%	22 0.88%	7 0.28%	2,514 100.00%	4.35	0.761

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	4,088 38.82%	4,860 46.15%	1,077 10.23%	345 3.28%	114 1.08%	48 0.46%	10,532 100.00%	4.19	0.829	4.21	0.406
26～50名	3,813 38.40%	4,752 47.86%	922 9.29%	283 2.85%	101 1.02%	58 0.58%	9,929 100.00%	4.20	0.803	4.22	0.344
51～100名	3,117 32.06%	4,838 49.76%	1,232 12.67%	373 3.84%	125 1.29%	37 0.38%	9,722 100.00%	4.08	0.844	4.10	0.319
101～200名	2,961 33.98%	4,394 50.42%	945 10.84%	256 2.94%	113 1.30%	46 0.53%	8,715 100.00%	4.13	0.817	4.12	0.268
201名以上	4,308 32.27%	6,765 50.67%	1,603 12.01%	459 3.44%	155 1.16%	60 0.45%	13,350 100.00%	4.10	0.823	4.09	0.270
合計	18,287 35.00%	25,609 49.01%	5,779 11.06%	1,716 3.28%	608 1.16%	249 0.48%	52,248 100.00%	4.14	0.825	4.18	0.364

Q12　この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	842 31.97%	1,281 48.63%	336 12.76%	107 4.06%	57 2.16%	11 0.42%	2,634 100.00%	4.05	0.898	4.06	0.343
外セ	語学	2,304 34.80%	3,339 50.43%	667 10.07%	216 3.26%	74 1.12%	21 0.32%	6,621 100.00%	4.15	0.812	4.15	0.378
スポ健	演習	875 53.26%	629 38.28%	105 6.39%	21 1.28%	8 0.49%	5 0.30%	1,643 100.00%	4.43	0.714	4.45	0.252
全学共通	講義	2,256 35.82%	3,220 51.13%	602 9.56%	149 2.37%	46 0.73%	25 0.40%	6,298 100.00%	4.19	0.761	4.24	0.230
	演習	16 28.57%	28 50.00%	9 16.07%	0 0.00%	2 3.57%	1 1.79%	56 100.00%	4.02	0.892	4.04	0.289
	計	2,272 35.76%	3,248 51.12%	611 9.62%	149 2.34%	48 0.76%	26 0.41%	6,354 100.00%	4.19	0.762	4.23	0.233
法学部	講義	2,112 32.62%	3,308 51.09%	775 11.97%	177 2.73%	59 0.91%	44 0.68%	6,475 100.00%	4.13	0.791	4.14	0.251
	演習	452 48.09%	390 41.49%	70 7.45%	24 2.55%	4 0.43%	0 0.00%	940 100.00%	4.34	0.761	4.39	0.381
	計	2,564 34.58%	3,698 49.87%	845 11.40%	201 2.71%	63 0.85%	44 0.59%	7,415 100.00%	4.15	0.791	4.23	0.328
経済学部	講義	1,910 28.39%	3,495 51.95%	930 13.82%	272 4.04%	95 1.41%	25 0.37%	6,727 100.00%	4.02	0.845	4.04	0.273
	演習	172 45.87%	166 44.27%	30 8.00%	5 1.33%	1 0.27%	1 0.27%	375 100.00%	4.34	0.707	4.39	0.318
	計	2,082 29.32%	3,661 51.55%	960 13.52%	277 3.90%	96 1.35%	26 0.37%	7,102 100.00%	4.04	0.841	4.13	0.323
文学部	講義	2,385 33.67%	3,837 54.16%	625 8.82%	175 2.47%	38 0.54%	24 0.34%	7,084 100.00%	4.18	0.735	4.24	0.260
	演習	1,232 42.62%	1,390 48.08%	188 6.50%	56 1.94%	15 0.52%	10 0.35%	2,891 100.00%	4.31	0.723	4.31	0.378
	計	3,617 36.26%	5,227 52.40%	813 8.15%	231 2.32%	53 0.53%	34 0.34%	9,975 100.00%	4.22	0.734	4.27	0.324
理学部	講義	727 25.51%	1,486 52.14%	466 16.35%	112 3.93%	48 1.68%	11 0.39%	2,850 100.00%	3.96	0.854	3.99	0.281
	演習	210 39.11%	269 50.09%	43 8.01%	9 1.68%	4 0.74%	2 0.37%	537 100.00%	4.26	0.737	4.28	0.232
	計	937 27.66%	1,755 51.82%	509 15.03%	121 3.57%	52 1.54%	13 0.38%	3,387 100.00%	4.01	0.843	4.05	0.294
国際社会科学部	講義	773 27.77%	1,456 52.30%	358 12.86%	137 4.92%	48 1.72%	12 0.43%	2,784 100.00%	4.00	0.873	4.04	0.289
	演習	93 37.20%	107 42.80%	30 12.00%	15 6.00%	4 1.60%	1 0.40%	250 100.00%	4.08	0.936	4.09	0.388
	語学	617 38.47%	768 47.88%	142 8.85%	52 3.24%	21 1.31%	4 0.25%	1,604 100.00%	4.19	0.828	4.21	0.380
	計	1,483 31.97%	2,331 50.26%	530 11.43%	204 4.40%	73 1.57%	17 0.37%	4,638 100.00%	4.07	0.866	4.15	0.363
教職課程	講義	391 33.30%	598 50.94%	132 11.24%	33 2.81%	16 1.36%	4 0.34%	1,174 100.00%	4.12	0.817	4.15	0.339
	演習	262 29.21%	520 57.97%	85 9.48%	22 2.45%	5 0.56%	3 0.33%	897 100.00%	4.13	0.721	4.12	0.288
	計	653 31.53%	1,118 53.98%	217 10.48%	55 2.66%	21 1.01%	7 0.34%	2,071 100.00%	4.13	0.777	4.13	0.310
学芸員	講義	165 43.31%	179 46.98%	26 6.82%	5 1.31%	3 0.79%	3 0.79%	381 100.00%	4.32	0.728	4.38	0.199
	演習	19 70.37%	7 25.93%	1 3.70%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.67	0.555	4.67	0.067
	計	184 45.10%	186 45.59%	27 6.62%	5 1.23%	3 0.74%	3 0.74%	408 100.00%	4.34	0.723	4.43	0.214
合計		17,813 34.09%	26,473 50.67%	5,620 10.76%	1,587 3.04%	548 1.05%	207 0.40%	52,248 100.00%	4.14	0.804	4.20	0.343

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
講義	11,561 31.75%	18,860 51.80%	4,250 11.67%	1,167 3.21%	410 1.13%	159 0.44%	36,407 100.00%	4.10	0.810	4.14	0.289
演習	3,331 43.74%	3,506 46.03%	561 7.37%	152 2.00%	43 0.56%	23 0.30%	7,616 100.00%	4.31	0.741	4.33	0.352
語学	2,921 35.51%	4,107 49.93%	809 9.84%	268 3.26%	95 1.16%	25 0.30%	8,225 100.00%	4.16	0.816	4.17	0.379
合計	17,813 34.09%	26,473 50.67%	5,620 10.76%	1,587 3.04%	548 1.05%	207 0.40%	52,248 100.00%	4.14	0.804	4.20	0.343

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	8,329 34.58%	11,777 48.90%	2,801 11.63%	796 3.30%	286 1.19%	96 0.40%	24,085 100.00%	4.13	0.829
学部2年	5,089 31.47%	8,513 52.65%	1,832 11.33%	503 3.11%	169 1.05%	64 0.40%	16,170 100.00%	4.11	0.798
学部3年	3,152 34.19%	4,931 53.49%	799 8.67%	230 2.49%	66 0.72%	41 0.44%	9,219 100.00%	4.18	0.749
学部4年	1,087 43.24%	1,165 46.34%	179 7.12%	53 2.11%	25 0.99%	5 0.20%	2,514 100.00%	4.29	0.771

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	4,180 39.69%	4,991 47.39%	931 8.84%	300 2.85%	103 0.98%	27 0.26%	10,532 100.00%	4.22	0.800	4.24	0.387
26～50名	3,813 38.40%	4,894 49.29%	879 8.85%	215 2.17%	88 0.89%	40 0.40%	9,929 100.00%	4.23	0.768	4.23	0.317
51～100名	3,133 32.23%	5,024 51.68%	1,100 11.31%	328 3.37%	105 1.08%	32 0.33%	9,722 100.00%	4.11	0.811	4.11	0.284
101～200名	2,678 30.73%	4,602 52.81%	1,020 11.70%	267 3.06%	105 1.20%	43 0.49%	8,715 100.00%	4.09	0.806	4.08	0.253
201名以上	4,009 30.03%	6,962 52.15%	1,690 12.66%	477 3.57%	147 1.10%	65 0.49%	13,350 100.00%	4.07	0.817	4.06	0.238
合計	17,813 34.09%	26,473 50.67%	5,620 10.76%	1,587 3.04%	548 1.05%	207 0.40%	52,248 100.00%	4.14	0.804	4.20	0.343

Q13　シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	583 22.13%	1,262 47.91%	593 22.51%	140 5.32%	49 1.86%	7 0.27%	2,634 100.00%	3.83	0.895	3.84	0.337
外セ	語学	1,833 27.68%	3,437 51.91%	1,066 16.10%	188 2.84%	76 1.15%	21 0.32%	6,621 100.00%	4.02	0.810	4.04	0.361
スポ健	演習	779 47.41%	691 42.06%	145 8.83%	12 0.73%	12 0.73%	4 0.24%	1,643 100.00%	4.35	0.733	4.37	0.284
全学共通	講義	1,710 27.15%	3,429 54.45%	943 14.97%	140 2.22%	52 0.83%	24 0.38%	6,298 100.00%	4.05	0.764	4.07	0.255
	演習	11 19.64%	28 50.00%	15 26.79%	2 3.57%	0 0.00%	0 0.00%	56 100.00%	3.86	0.773	3.86	0.243
	計	1,721 27.09%	3,457 54.41%	958 15.08%	142 2.23%	52 0.82%	24 0.38%	6,354 100.00%	4.05	0.764	4.07	0.257
法学部	講義	1,592 24.59%	3,301 50.98%	1,270 19.61%	204 3.15%	62 0.96%	46 0.71%	6,475 100.00%	3.96	0.811	3.97	0.246
	演習	352 37.45%	431 45.85%	126 13.40%	26 2.77%	5 0.53%	0 0.00%	940 100.00%	4.17	0.799	4.22	0.396
	計	1,944 26.22%	3,732 50.33%	1,396 18.83%	230 3.10%	67 0.90%	46 0.62%	7,415 100.00%	3.98	0.812	4.06	0.331
経済学部	講義	1,529 22.73%	3,430 50.99%	1,333 19.82%	313 4.65%	94 1.40%	28 0.42%	6,727 100.00%	3.89	0.854	3.92	0.266
	演習	140 37.33%	178 47.47%	49 13.07%	7 1.87%	1 0.27%	0 0.00%	375 100.00%	4.20	0.752	4.24	0.320
	計	1,669 23.50%	3,608 50.80%	1,382 19.46%	320 4.51%	95 1.34%	28 0.39%	7,102 100.00%	3.91	0.852	4.01	0.313
文学部	講義	1,736 24.51%	3,885 54.84%	1,207 17.04%	188 2.65%	40 0.56%	28 0.40%	7,084 100.00%	4.00	0.758	4.06	0.279
	演習	907 31.37%	1,500 51.89%	392 13.56%	64 2.21%	17 0.59%	11 0.38%	2,891 100.00%	4.12	0.761	4.12	0.376
	計	2,643 26.50%	5,385 53.98%	1,599 16.03%	252 2.53%	57 0.57%	39 0.39%	9,975 100.00%	4.04	0.761	4.09	0.330
理学部	講義	545 19.12%	1,412 49.54%	707 24.81%	134 4.70%	45 1.58%	7 0.25%	2,850 100.00%	3.80	0.856	3.84	0.286
	演習	137 25.51%	298 55.49%	76 14.15%	18 3.35%	6 1.12%	2 0.37%	537 100.00%	4.01	0.797	4.05	0.273
	計	682 20.14%	1,710 50.49%	783 23.12%	152 4.49%	51 1.51%	9 0.27%	3,387 100.00%	3.83	0.850	3.88	0.295
国際社会科学部	講義	648 23.28%	1,383 49.68%	583 20.94%	113 4.06%	43 1.54%	14 0.50%	2,784 100.00%	3.90	0.858	3.95	0.269
	演習	62 24.80%	127 50.80%	47 18.80%	9 3.60%	4 1.60%	1 0.40%	250 100.00%	3.94	0.852	3.97	0.324
	語学	510 31.80%	772 48.13%	252 15.71%	50 3.12%	15 0.94%	5 0.31%	1,604 100.00%	4.07	0.826	4.09	0.372
	計	1,220 26.30%	2,282 49.20%	882 19.02%	172 3.71%	62 1.34%	20 0.43%	4,638 100.00%	3.96	0.851	4.03	0.345
教職課程	講義	310 26.41%	598 50.94%	221 18.82%	27 2.30%	15 1.28%	3 0.26%	1,174 100.00%	3.99	0.813	4.01	0.313
	演習	207 23.08%	551 61.43%	116 12.93%	17 1.90%	2 0.22%	4 0.45%	897 100.00%	4.06	0.675	4.03	0.294
	計	517 24.96%	1,149 55.48%	337 16.27%	44 2.12%	17 0.82%	7 0.34%	2,071 100.00%	4.02	0.757	4.02	0.301
学芸員	講義	127 33.33%	191 50.13%	53 13.91%	5 1.31%	1 0.26%	4 1.05%	381 100.00%	4.16	0.728	4.21	0.184
	演習	16 59.26%	10 37.04%	1 3.70%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.56	0.577	4.55	0.122
	計	143 35.05%	201 49.26%	54 13.24%	5 1.23%	1 0.25%	4 0.98%	408 100.00%	4.19	0.725	4.27	0.217
合計		13,734 26.29%	26,914 51.51%	9,195 17.60%	1,657 3.17%	539 1.03%	209 0.40%	52,248 100.00%	3.99	0.813	4.05	0.341

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	8,780 24.12%	18,891 51.89%	6,910 18.98%	1,264 3.47%	401 1.10%	161 0.44%	36,407 100.00%	3.95	0.818	3.98	0.290
演習	2,611 34.28%	3,814 50.08%	967 12.70%	155 2.04%	47 0.62%	22 0.29%	7,616 100.00%	4.16	0.764	4.17	0.363
語学	2,343 28.49%	4,209 51.17%	1,318 16.02%	238 2.89%	91 1.11%	26 0.32%	8,225 100.00%	4.03	0.813	4.05	0.364
合計	13,734 26.29%	26,914 51.51%	9,195 17.60%	1,657 3.17%	539 1.03%	209 0.40%	52,248 100.00%	3.99	0.813	4.05	0.341

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	6,365 26.43%	12,053 50.04%	4,491 18.65%	834 3.46%	256 1.06%	86 0.36%	24,085 100.00%	3.98	0.829
学部2年	3,997 24.72%	8,353 51.66%	3,021 18.68%	542 3.35%	180 1.11%	77 0.48%	16,170 100.00%	3.96	0.818
学部3年	2,392 25.95%	5,134 55.69%	1,350 14.64%	225 2.44%	81 0.88%	37 0.40%	9,219 100.00%	4.04	0.764
学部4年	848 33.73%	1,273 50.64%	315 12.53%	50 1.99%	20 0.80%	8 0.32%	2,514 100.00%	4.15	0.771

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	3,299 31.32%	5,283 50.16%	1,559 14.80%	263 2.50%	97 0.92%	31 0.29%	10,532 100.00%	4.09	0.799	4.10	0.379
26～50名	2,919 29.40%	5,101 51.37%	1,515 15.26%	266 2.68%	90 0.91%	38 0.38%	9,929 100.00%	4.06	0.796	4.07	0.331
51～100名	2,265 23.30%	5,098 52.44%	1,873 19.27%	348 3.58%	104 1.07%	34 0.35%	9,722 100.00%	3.94	0.815	3.95	0.279
101～200名	2,052 23.55%	4,538 52.07%	1,704 19.55%	279 3.20%	99 1.14%	43 0.49%	8,715 100.00%	3.94	0.813	3.95	0.248
201名以上	3,199 23.96%	6,894 51.64%	2,544 19.06%	501 3.75%	149 1.12%	63 0.47%	13,350 100.00%	3.94	0.825	3.94	0.224
合計	13,734 26.29%	26,914 51.51%	9,195 17.60%	1,657 3.17%	539 1.03%	209 0.40%	52,248 100.00%	3.99	0.813	4.05	0.341

Q14　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
計セ	講義	762 28.93%	1,251 47.49%	398 15.11%	146 5.54%	66 2.51%	11 0.42%	2,634 100.00%	3.95	0.943	3.96	0.429
外セ	語学	2,648 39.99%	3,146 47.52%	550 8.31%	161 2.43%	89 1.34%	27 0.41%	6,621 100.00%	4.23	0.807	4.23	0.418
スポ健	演習	998 60.74%	560 34.08%	68 4.14%	8 0.49%	6 0.37%	3 0.18%	1,643 100.00%	4.55	0.636	4.57	0.256
全学共通	講義	2,480 39.38%	3,127 49.65%	501 7.95%	122 1.94%	49 0.78%	19 0.30%	6,298 100.00%	4.25	0.748	4.29	0.268
	演習	18 32.14%	22 39.29%	14 25.00%	1 1.79%	1 1.79%	0 0.00%	56 100.00%	3.98	0.904	3.91	0.420
	計	2,498 39.31%	3,149 49.56%	515 8.11%	123 1.94%	50 0.79%	19 0.30%	6,354 100.00%	4.25	0.749	4.28	0.279
法学部	講義	2,236 34.53%	3,195 49.34%	722 11.15%	205 3.17%	81 1.25%	36 0.56%	6,475 100.00%	4.13	0.826	4.13	0.298
	演習	499 53.09%	346 36.81%	58 6.17%	25 2.66%	10 1.06%	2 0.21%	940 100.00%	4.38	0.806	4.43	0.417
	計	2,735 36.88%	3,541 47.75%	780 10.52%	230 3.10%	91 1.23%	38 0.51%	7,415 100.00%	4.17	0.828	4.24	0.373
経済学部	講義	1,966 29.23%	3,445 51.21%	915 13.60%	272 4.04%	112 1.66%	17 0.25%	6,727 100.00%	4.03	0.861	4.06	0.324
	演習	187 49.87%	155 41.33%	25 6.67%	5 1.33%	2 0.53%	1 0.27%	375 100.00%	4.39	0.719	4.43	0.336
	計	2,153 30.32%	3,600 50.69%	940 13.24%	277 3.90%	114 1.61%	18 0.25%	7,102 100.00%	4.04	0.858	4.16	0.365
文学部	講義	2,572 36.31%	3,713 52.41%	599 8.46%	140 1.98%	45 0.64%	15 0.21%	7,084 100.00%	4.22	0.733	4.25	0.301
	演習	1,274 44.07%	1,340 46.35%	187 6.47%	63 2.18%	23 0.80%	4 0.14%	2,891 100.00%	4.31	0.755	4.31	0.443
	計	3,846 38.56%	5,053 50.66%	786 7.88%	203 2.04%	68 0.68%	19 0.19%	9,975 100.00%	4.25	0.740	4.28	0.377
理学部	講義	749 26.28%	1,451 50.91%	477 16.74%	124 4.35%	42 1.47%	7 0.25%	2,850 100.00%	3.96	0.859	4.00	0.337
	演習	199 37.06%	278 51.77%	43 8.01%	8 1.49%	8 1.49%	1 0.19%	537 100.00%	4.22	0.774	4.22	0.281
	計	948 27.99%	1,729 51.05%	520 15.35%	132 3.90%	50 1.48%	8 0.24%	3,387 100.00%	4.00	0.851	4.04	0.337
国際社会科学部	講義	832 29.89%	1,431 51.40%	335 12.03%	119 4.27%	57 2.05%	10 0.36%	2,784 100.00%	4.03	0.881	4.06	0.371
	演習	100 40.00%	116 46.40%	22 8.80%	7 2.80%	5 2.00%	0 0.00%	250 100.00%	4.20	0.863	4.20	0.366
	語学	689 42.96%	708 44.14%	127 7.92%	51 3.18%	23 1.43%	6 0.37%	1,604 100.00%	4.24	0.842	4.26	0.454
	計	1,621 34.95%	2,255 48.62%	484 10.44%	177 3.82%	85 1.83%	16 0.34%	4,638 100.00%	4.11	0.872	4.20	0.431
教職課程	講義	363 30.92%	553 47.10%	178 15.16%	48 4.09%	26 2.21%	6 0.51%	1,174 100.00%	4.01	0.910	4.04	0.466
	演習	268 29.88%	508 56.63%	80 8.92%	32 3.57%	4 0.45%	5 0.56%	897 100.00%	4.13	0.748	4.08	0.387
	計	631 30.47%	1,061 51.23%	258 12.46%	80 3.86%	30 1.45%	11 0.53%	2,071 100.00%	4.06	0.845	4.06	0.423
学芸員	講義	167 43.83%	183 48.03%	18 4.72%	8 2.10%	3 0.79%	2 0.52%	381 100.00%	4.33	0.734	4.39	0.242
	演習	20 74.07%	7 25.93%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.74	0.447	4.74	0.131
	計	187 45.83%	190 46.57%	18 4.41%	8 1.96%	3 0.74%	2 0.49%	408 100.00%	4.35	0.725	4.45	0.263
合計		19,027 36.42%	25,535 48.87%	5,317 10.18%	1,545 2.96%	652 1.25%	172 0.33%	52,248 100.00%	4.17	0.819	4.22	0.399

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
講義	12,127 33.31%	18,349 50.40%	4,143 11.38%	1,184 3.25%	481 1.32%	123 0.34%	36,407 100.00%	4.12	0.828	4.14	0.350
演習	3,563 46.78%	3,332 43.75%	497 6.53%	149 1.96%	59 0.77%	16 0.21%	7,616 100.00%	4.34	0.753	4.35	0.409
語学	3,337 40.57%	3,854 46.86%	677 8.23%	212 2.58%	112 1.36%	33 0.40%	8,225 100.00%	4.23	0.814	4.24	0.426
合計	19,027 36.42%	25,535 48.87%	5,317 10.18%	1,545 2.96%	652 1.25%	172 0.33%	52,248 100.00%	4.17	0.819	4.22	0.399

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない				
学部1年	8,837 36.69%	11,410 47.37%	2,642 10.97%	773 3.21%	336 1.40%	87 0.36%	24,085 100.00%	4.15	0.843
学部2年	5,502 34.03%	8,229 50.89%	1,708 10.56%	479 2.96%	200 1.24%	52 0.32%	16,170 100.00%	4.14	0.812
学部3年	3,343 36.26%	4,724 51.24%	808 8.76%	228 2.47%	90 0.98%	26 0.28%	9,219 100.00%	4.20	0.775
学部4年	1,189 47.30%	1,084 43.12%	151 6.01%	61 2.43%	23 0.91%	6 0.24%	2,514 100.00%	4.34	0.775

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない						
25名以下	4,640 44.06%	4,711 44.73%	772 7.33%	257 2.44%	122 1.16%	30 0.28%	10,532 100.00%	4.28	0.798	4.29	0.434
26～50名	4,032 40.61%	4,684 47.17%	830 8.36%	250 2.52%	101 1.02%	32 0.32%	9,929 100.00%	4.24	0.791	4.25	0.378
51～100名	3,188 32.79%	4,875 50.14%	1,167 12.00%	345 3.55%	117 1.20%	30 0.31%	9,722 100.00%	4.10	0.831	4.10	0.345
101～200名	2,934 33.67%	4,364 50.07%	996 11.43%	263 3.02%	130 1.49%	28 0.32%	8,715 100.00%	4.12	0.833	4.11	0.322
201名以上	4,233 31.71%	6,901 51.69%	1,552 11.63%	430 3.22%	182 1.36%	52 0.39%	13,350 100.00%	4.10	0.824	4.09	0.290
合計	19,027 36.42%	25,535 48.87%	5,317 10.18%	1,545 2.96%	652 1.25%	172 0.33%	52,248 100.00%	4.17	0.819	4.22	0.399

令和６年度 FD・SD 推進委員会委員一覧

委員長	副　学　長	千　葉　　功
委　員	学生センター所長	椋　寛
委　員	学　長　室　部　長	鈴木　薫
委　員	法　学　部	鎮目　征樹
委　員	経　済　学　部	和田　哲夫
委　員	文　学　部	岡本　順治
委　員	理　学　部	山田　澄生
委　員	国際社会科学部	GARCIAClemence
委　員	法 務 研 究 科	尾　形　　健
委　員	スポーツ・健康科学センター	廣　紀江
委　員	計算機センター	前田　高志ニコラス
委　員	外国語教育研究センター	永田　祥子
委　員	教　職　課　程	梅野　正信
委　員	学芸員課程委員会	皿　井　　舞
委　員	学生センター部長	天野　創
委　員	キャリアセンター部長	井上　素子

学習院大学
令和５年度「授業評価アンケート」報告書

令和６年 10 月

編　集　　学習院大学 FD・SD 推進委員会
発　行　　学習院大学
〒171－8588　東京都豊島区目白１－５－１
TEL　03(5992)9537
お問合せ先：学長室経営企画課